

3. 土坑(第244~256図 PL.73~86・126・127)

C区では198基を検出している。殆どが屋敷内からの検出である。確認面は標高74.35~74.05m。屋敷内はピット・井戸・溝等と重複が著しく、全形が検出できないものも多い。覆土は、新しい土坑で一部上面に鉄分を含むものがあり、またロームを含むもの、粘質土を含む土坑も多い。

形状は、平面で円形・楕円形・隅丸方形・隅丸長方形・長方形で、その他に地下式土坑がある。断面は、円筒形や段を持つもの、挿鉢形がある。

屋敷外の180号土坑は、As-B 軽石降下以前と思われる。円形や楕円形の土坑は規模がやや小さいものが多い。隅丸方形は42号土坑。やや縦長が15号土坑で、底面に植物珪酸体が堆積していて、食料の貯蔵

施設の可能性があると思われる。隅丸長方形のグループは長径と短径の比が2:1弱が52・116号土坑、また27・32号土坑は3:1以上を持つ等、規模はさまざまである。

地下式土坑(地下式土倉)は長径2.00~3.50mで、8基確認した。張り出し部分を持ち、「L」または「T」の字状となる。東1・2堀の間、75号土坑の張り出し部分には、階段状の施設がある。また屋敷中央の広い範囲、124・129・147・208号土坑の張り出し部分は16号溝のほぼ中央にかかっている。208号土坑土層断面は、16号溝が208号土坑より新しく表現されているが、溝部分の土層が確認出来ないために、同時期か新旧関係があるか否かは不明。

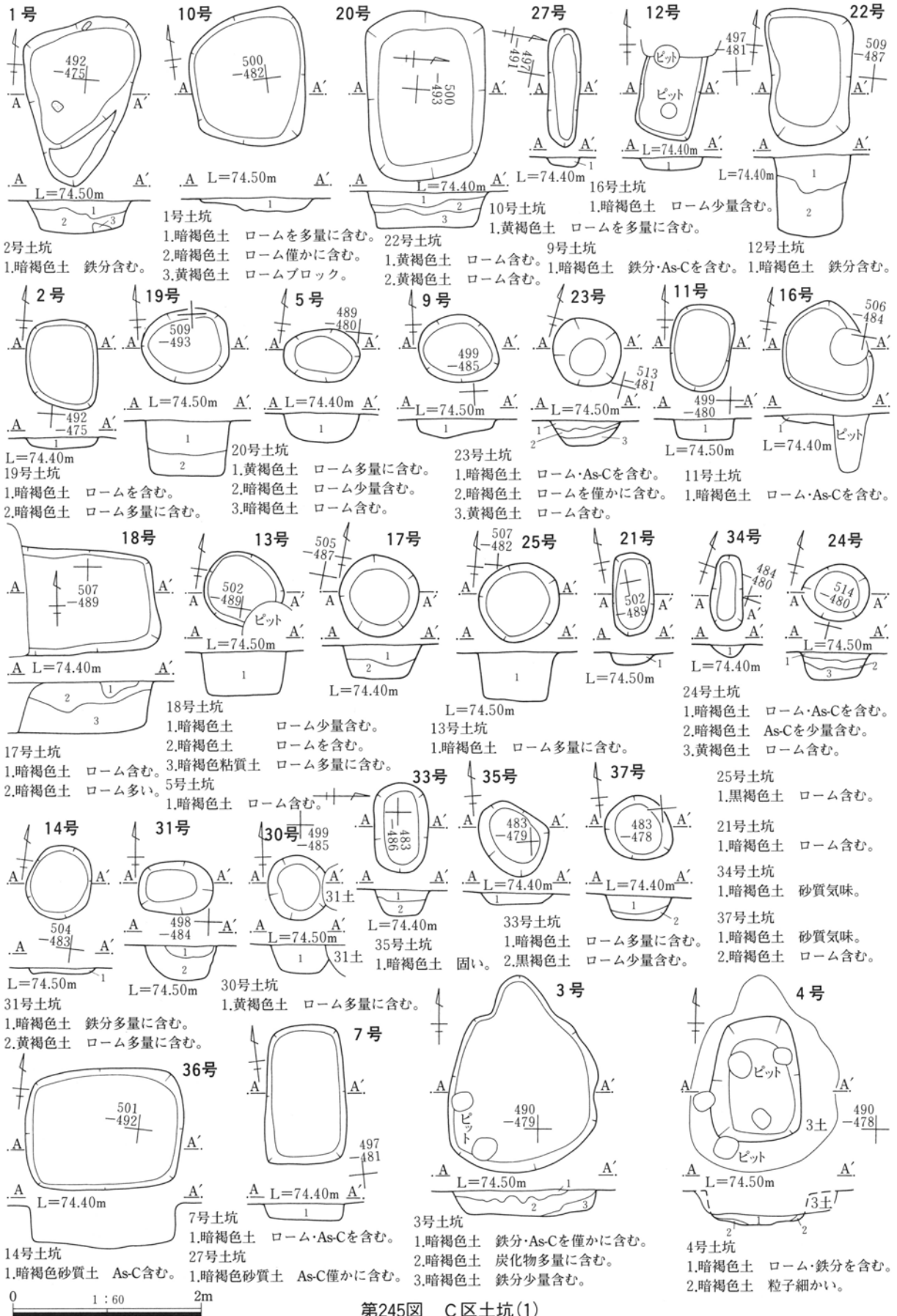
第13表 C区土坑計測表

No	位置 グリッド	形状	規模 (cm)			備 考	No	位置 グリッド	形状	規模 (cm)			備 考
			長軸	短軸	深さ					長軸	短軸	深さ	
1	491-474	不定形	178	113	53		44	489-477	隅丸方形	170	85	20	
2	492-476	楕円形	94	76	11		46	489-475	円形	105	97	17	
3	489-478	不定形	208	153	27		47	489-480	楕円形	146	109	48	
4	489-478	不定形	208	153	38		48	490-482	隅丸方形	257	138	45	
5	488-480	楕円形	82	56	32		49	484-475	円形	100	85	17	
7	497-481	隅丸方形	<148>	84	16		52	484-488	楕円形	214	98	17	
9	499-484	円形	87	68	21		53	483-490	楕円形	102	71	16	
10	499-481	楕円形	153	122	15		54	484-490	楕円形	155	107	35	
11	499-480	楕円形	92	63	23		55	486-491	楕円形	98	81	34	
12	496-481	隅丸方形	<88>	63	14		56	485-487	楕円形	127	85	23	
13	500-489	円形	(86)	75	46		57	484-493	楕円形	159	102	17	
14	504-482	円形	80	67	5		58	483-494	楕円形	257	105	48	
15	504-478	楕円形	365	78	54		59	486-490	円形	92	86	45	
16	505-483	楕円形	110	95	10		60	488-489	不明	<197>	92	29	
17	504-486	円形	85	82	36		61	485-476	楕円形	105	82	9	
18	506-488	隅丸方形	<136>	110	54		62	500-463	隅丸方形	299	85	37	
19	508-492	円形	93	80	58		63	499-463	楕円形	138	73	32	
20	497-492	隅丸方形	178	122	36		64	495-464	楕円形	188	93	25	
21	501-488	楕円形	88	44	12		65	496-462	隅丸方形	128	85	20	
22	508-487	隅丸方形	143	85	86		66	493-462	隅丸方形	141	85	35	
23	513-481	円形	73	71	27		67	491-462	円形	101	85	72	
24	514-479	円形	73	62	30		68	485-461	円形	93	80	45	
25	506-481	円形	86	82	53		69	491-463	楕円形	95	55	5	
26	504-493	隅丸方形	168	80	52		70	482-461	楕円形	103	59	5	
27	497-490	楕円形	76	32	9		71	481-462	隅丸方形	206	117	18	
28	501-492	隅丸方形	156	126	35		72	512-463	「T」字状	353		75	地下式土坑
29	501-491	隅丸方形	143	106	37		73	500-461	隅丸方形	326	107	22	
30	498-484	円形	70	57	30		74	496-460	隅丸方形	<228>	98	27	
31	498-484	楕円形	80	58	37		75	507-461	「L」字状	76	200	76	地下式土坑
32	510-440	楕円形	272	70	110		76	506-479	楕円形	115	86	15	
33	482-485	楕円形	95	56	28		77	503-465	不定形	<230>	220	45	
34	483-480	楕円形	81	35	13		78	499-465	楕円形	132	57	20	
35	482-478	楕円形	80	62	56		79	496-490	楕円形	(111)	80	10	
36	500-491	隅丸方形	166	130	47		81	485-494	円形	95	95	33	
37	482-478	円形	75	67	25		82	488-491	楕円形	(222)	(170)	36	
39	482-476	隅丸方形	158	87	42		83	493-493	楕円形	76	65	12	
40	506-489	隅丸方形	145	82	60		84	491-486	楕円形	93	68	22	
42	492-483	隅丸方形	220	213	42	4号火葬跡と重複	85	491-485	楕円形	(115)	54	23	
43	491-477	楕円形	140	85	32		87	494-480	楕円形	178	105	57	

第3節 C区から検出された遺構と遺物

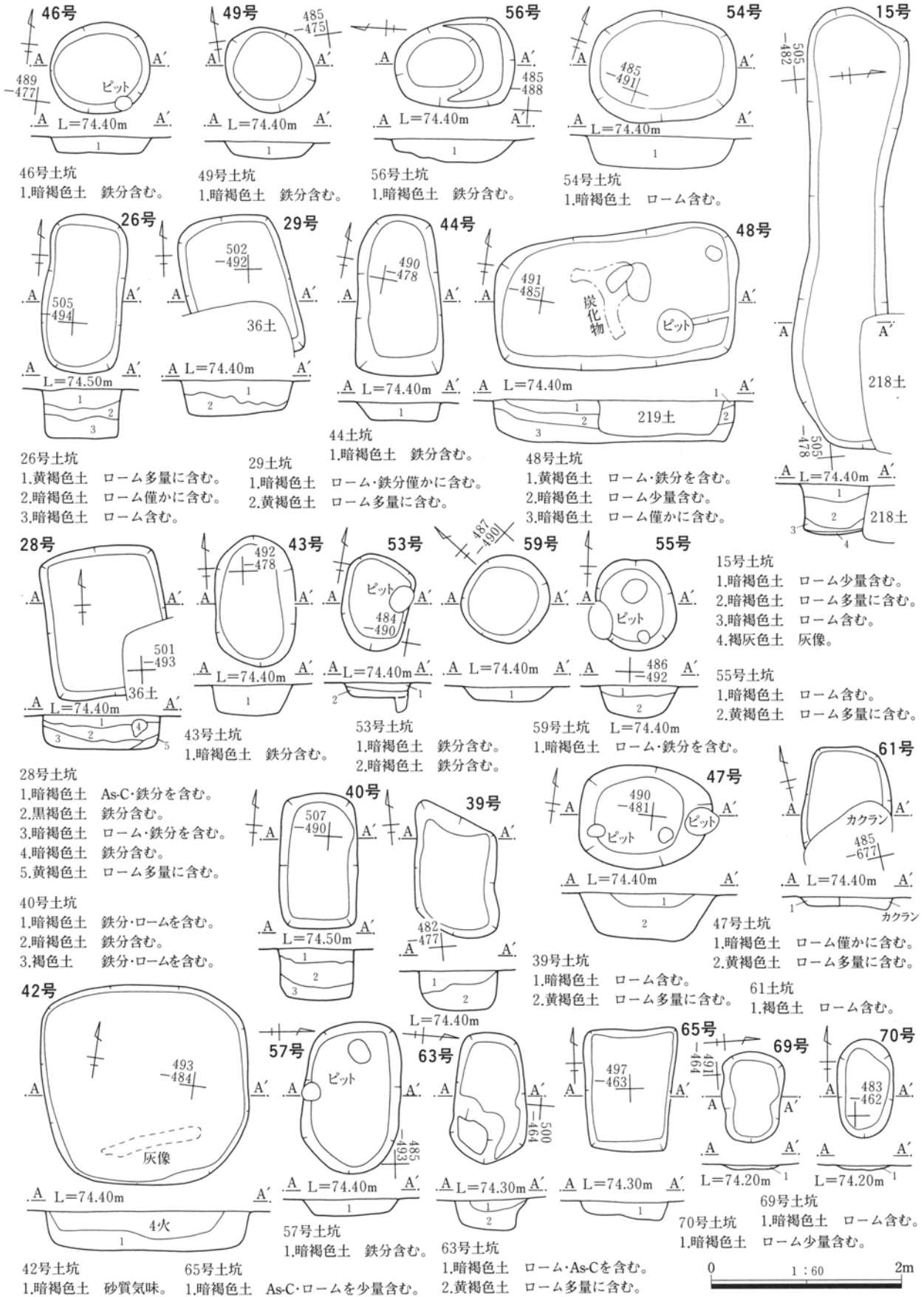
No.	位置 グリッド	形状	規模 (cm)			備 考	No.	位置 グリッド	形状	規模 (cm)			備 考
			長軸	短軸	深さ					長軸	短軸	深さ	
88	495-490	楕円形	195	125	42		162	500-479	隅丸方形	(168)	110	39	
89	501-479	楕円形	203	105	63		163	496-488	隅丸方形	(96)	94	34	
90	495-477	楕円形	106	74	45		164	497-488	隅丸方形	203	106	50	
91	496-494	楕円形	102	47	27		165	497-498	隅丸方形	(254)	(166)	62	
92	496-483	隅丸方形	(188)	(65)	18		166	500-481	隅丸方形	79	62	16	
93	504-487	隅丸方形	211	(78)	36		167	497-497	隅丸方形	183	(73)	38	
94	493-482	楕円形	130	65	20		169	480-483	円形	97	73	46	
97	487-478	楕円形	93	70	18		170	480-484	円形	53	52	42	
98	494-477	隅丸方形	85	51	11		171	505-479	隅丸方形	(285)	99	56	
99	491-478	隅丸方形	132	(56)	37		172	483-479	隅丸方形	110	49	61	
100	511-463	不明	(71)	(56)	8		174	483-481	隅丸方形	(211)	(115)	55	
101	509-461	不明	(85)	(74)	12		175	484-484	隅丸方形	150	90	55	
103	490-493	楕円形	(170)	(87)	68		177	482-478	楕円形	100	(57)	53	19号井戸と重複
104	488-493	隅丸方形	(314)	(196)	53		179	482-495	隅丸方形	126	(88)	33	
105	498-463	円形	84	78	18		180	505-522	不明	(175)	(125)	35	
106	494-461	楕円形	(110)	84	50		182	504-479	楕円形	(190)	73	22	
108	495-466	隅丸方形	81	69	43		183	503-480	隅丸方形	204	203	41	
109	496-465	隅丸方形	107	(67)	19		184	485-482	隅丸方形	(98)	(68)	38	
110	498-459	「L」字状	345	130	63	地下式土坑	185	482-491	楕円形	128	90	44	
111	485-460	不明	100	(36)	27		186	483-488	隅丸方形	154	78	9	
112	485-483	隅丸方形	(166)	115	63		189	496-475	隅丸方形	(73)	55	24	
115	486-475	不明	(82)	63	42		190	498-478	楕円形	(227)	110	28	
116	488-479	楕円形	187	101	25		191	494-482	円形	94	88	57	
117	501-465	不明	(82)	75	10		192	508-489	隅丸方形	221	119	13	
118	509-466	隅丸方形	72	54	10		193	504-489	隅丸方形	110	86	20	
119	502-461	隅丸方形	131	126	48		194	495-494	隅丸方形	236	115	50	
120	479-482	隅丸方形	(168)	106	37		195	499-494	隅丸方形	114	108	25	
121	482-481	隅丸方形	(115)	(50)	41		196	497-494	不明	123	86	43	
122	466-509	隅丸方形	(99)	(57)	24		198	495-475	隅丸方形	96	56	15	
124	505-474	「L」字状	210	(138)	64	地下式土坑	199	496-473	楕円形	(170)	69	25	
125	513-471	円形	82	77	92		200	484-492	隅丸方形	119	71	31	
127	512-465	「T」字状	133	(58)	72	地下式土坑	201	496-484	隅丸方形	224	95	51	
128	510-467	楕円形	(117)	84	35		202	498-480	隅丸方形	(138)	89	39	
129	510-477	「T」字状	(250)		77	地下式土坑	203	500-484	不明	(72)	63	45	
130	511-480	隅丸方形	(104)	100	45		205	491-474	隅丸方形	125	86	15	
131	502-478	隅丸方形	114	(78)	57		206	501-480	楕円形	(59)	(50)	37	
133	514-480	円形	(73)	65	14		207	489-475	隅丸方形	107	62	11	
134	513-481	円形	51	42	9		208	501-496	「L」字状	(213)		86	地下式土坑
137	514-483	楕円形	217	63	48		209	499-487	楕円形	188	88	23	
138	513-492	円形	84	79	48		211	499-488	円形	(66)	(62)	(34)	
139	513-492	隅丸方形	198	95	10		213	508-493	不明	(95)	80	26	
140	512-494	隅丸方形	277	175	28		214	508-494	隅丸方形	143	(38)	34	
141	508-489	隅丸方形	(207)	(171)	38		216	509-493	不明	(94)	(63)	29	
142	516-494	隅丸方形	96	26	5		217	504-491	隅丸方形	218	109	47	
143	515-497	隅丸方形	84	45	4		218	505-478	隅丸方形	148	115	60	
144	513-499	隅丸方形	102	29	6		219	490-483	円形	(132)	(95)	38	
145	509-491	隅丸方形	(91)	68	22		221	502-465	隅丸方形	108	85	71	
146	419-491	隅丸方形	165	90	54		222	506-464	隅丸方形	(224)	(62)	30	
147	509-496	「T」字状	334	276	53	地下式土坑	223	489-488	隅丸方形	200	139	40	
148	505-480	隅丸方形	214	(148)	27		224	483-486	隅丸方形	132	87	10	
149	504-479	楕円形	(106)	71	43		226	481-462	楕円形	(240)	71	26	
151	495-493	隅丸方形	94	79	23		227	482-480	楕円形	(65)	30	36	
152	499-493	楕円形	95	65	20		229	498-498	円形	(95)	(93)	28	
153	498-491	円形	62	55	46		230	490-491	楕円形	215	(102)	30	
154	499-490	楕円形	130	94	44		231	491-491	楕円形	77	45	28	
155	501-491	円形	78	59	58		232	488-490	不明	80	(52)	14	
158	499-488	円形	73	62	45		233	510-489	隅丸方形	(55)	50	19	
159	500-488	円形	86	76	37		234	510-487	隅丸方形	(178)	(146)	13	
160	493-494	楕円形	98	54	31		235	510-487	不定形	105	70	40	
161	501-482	隅丸方形	108	106	47		236	509-487	不明	(133)	(54)	39	

第3章 検出された遺構と遺物



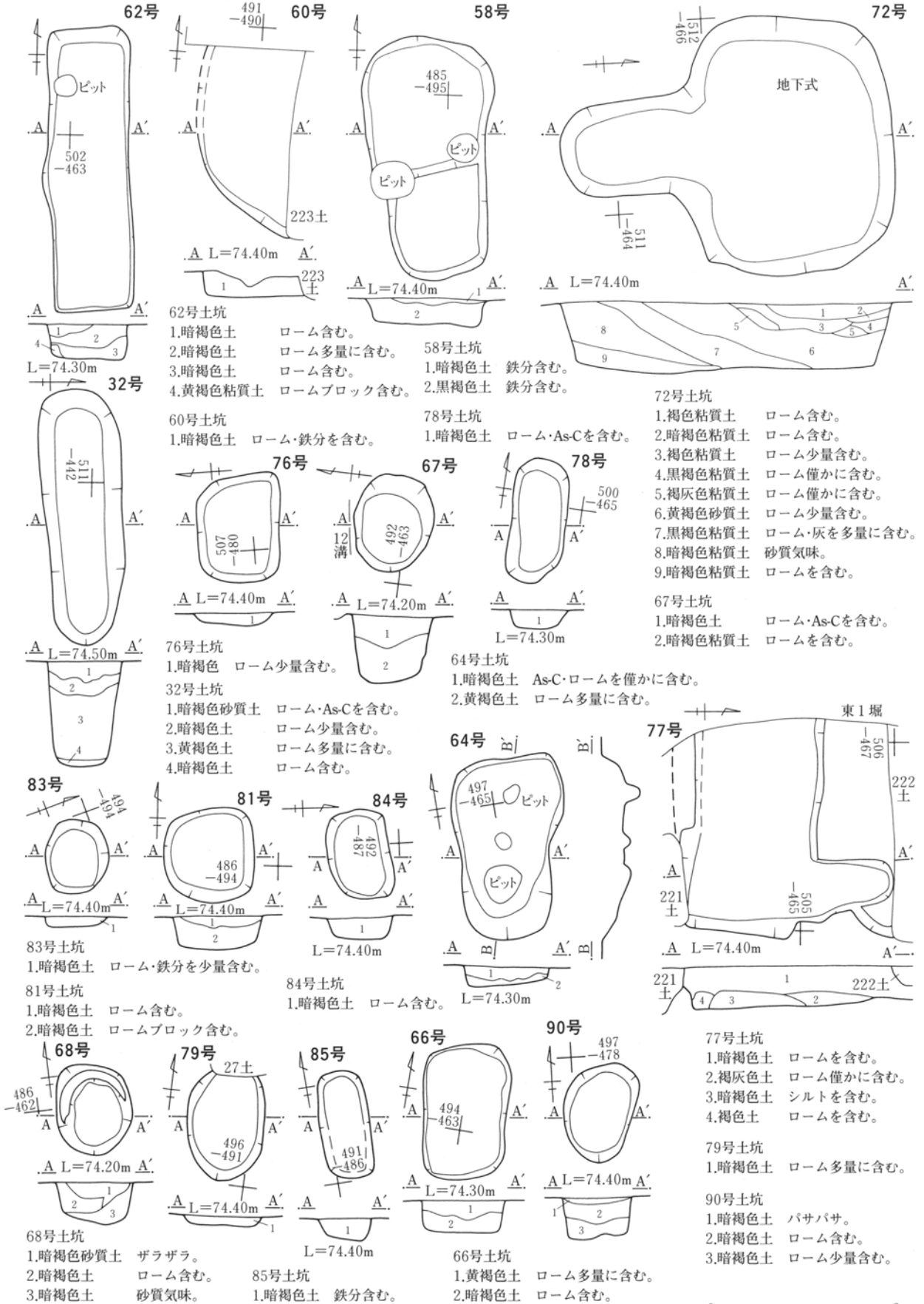
第245図 C区土坑(1)

第3節 C区から検出された遺構と遺物



第246図 C区土坑(2)

第3章 検出された遺構と遺物



第247図 C区土坑(3)

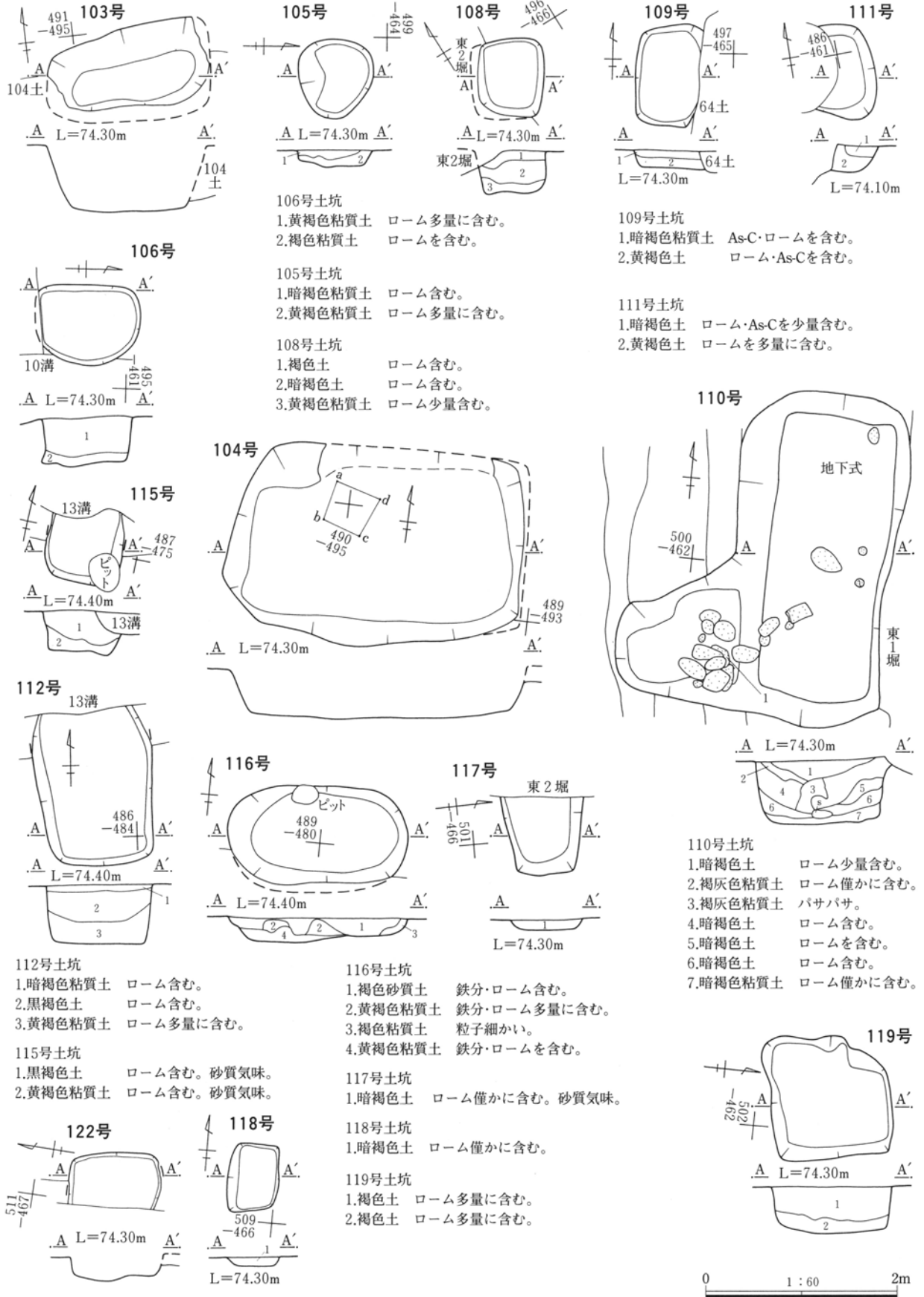
0 1:60 2m

第3節 C区から検出された遺構と遺物



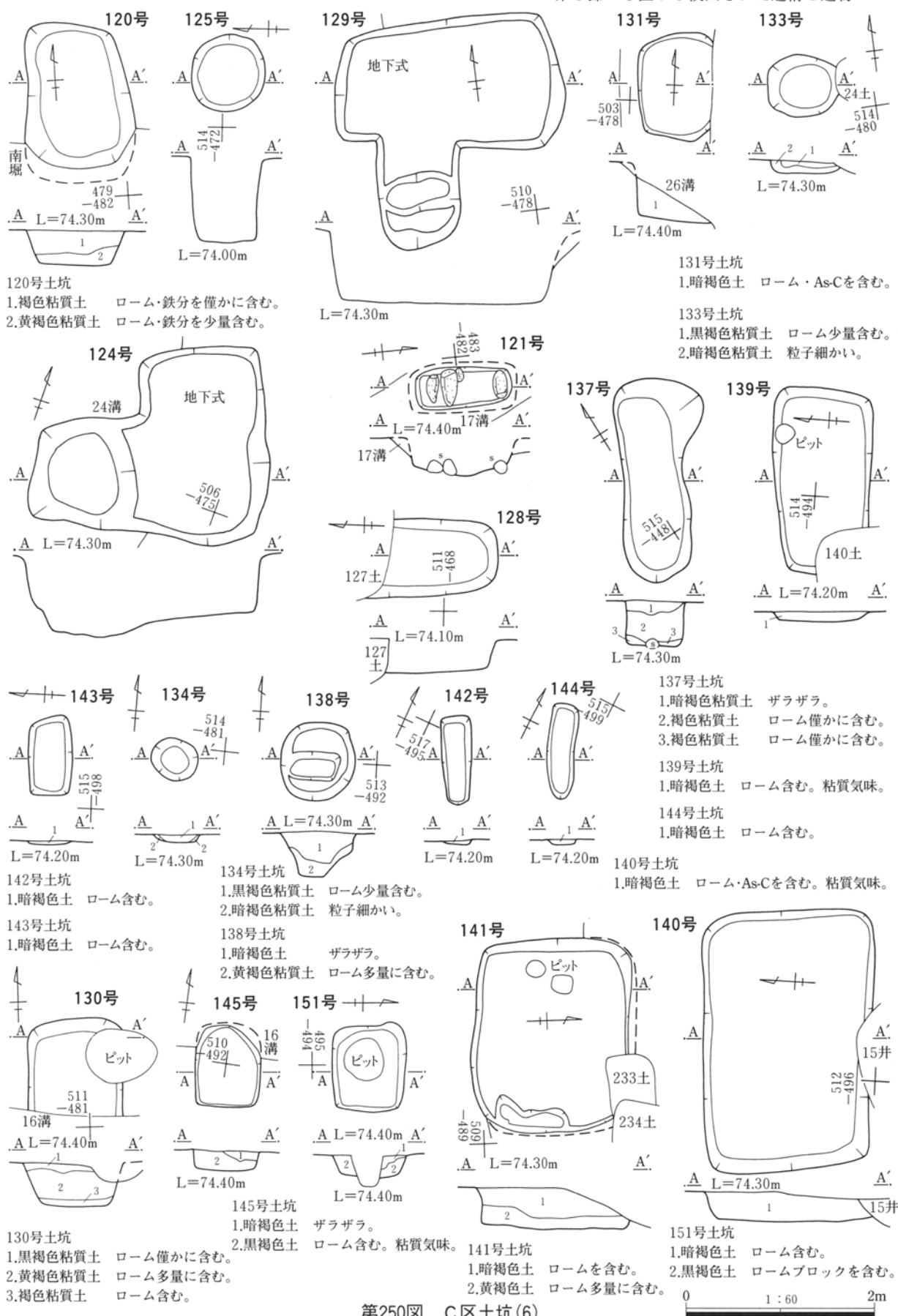
第248図 C区土坑(4)

第3章 検出された遺構と遺物

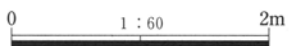


第249図 C区土坑(5)

第3節 C区から検出された遺構と遺物



第250図 C区土坑(6)



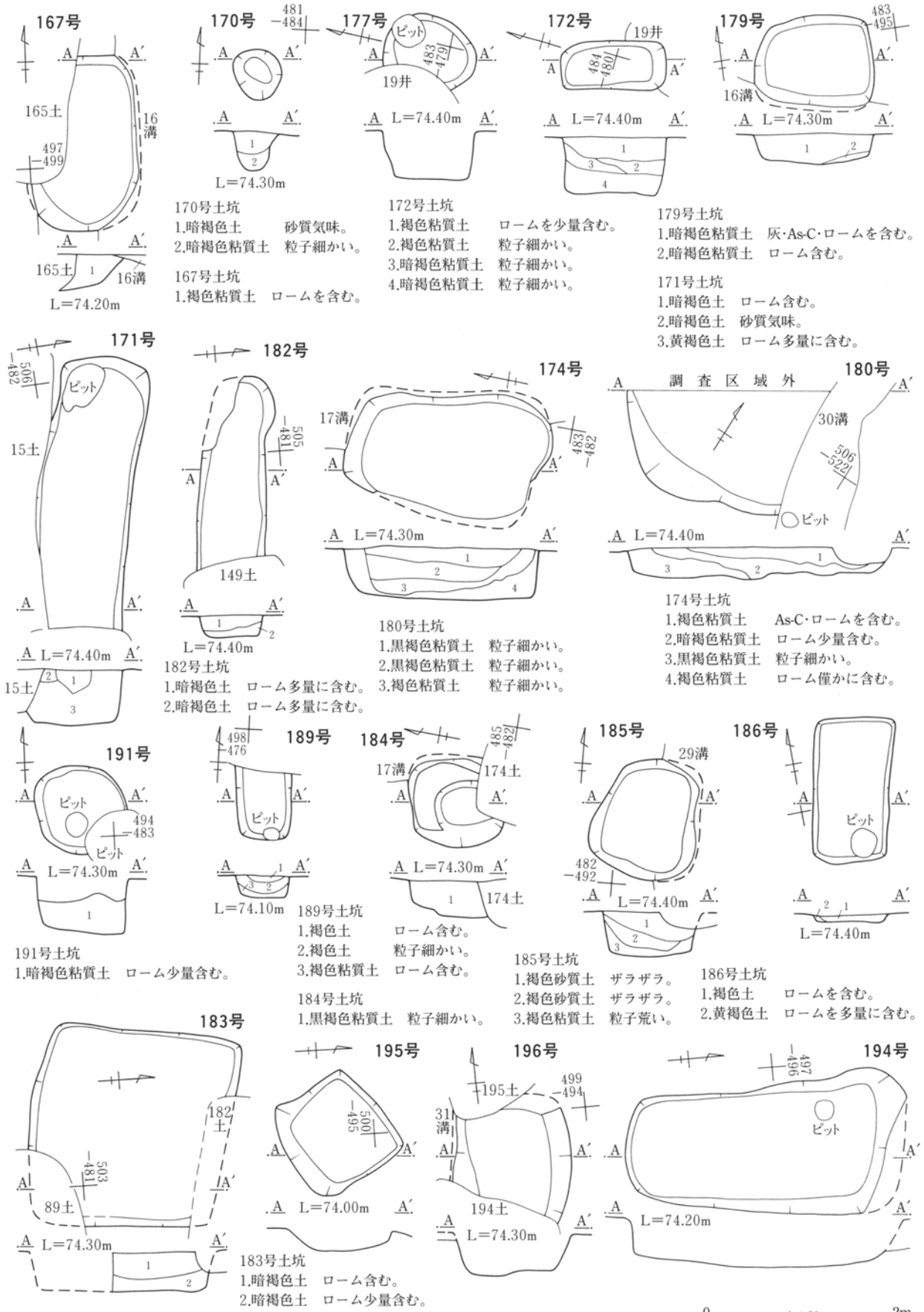
第3章 検出された遺構と遺物



第251図 C区土坑(7)

0 1:60 2m

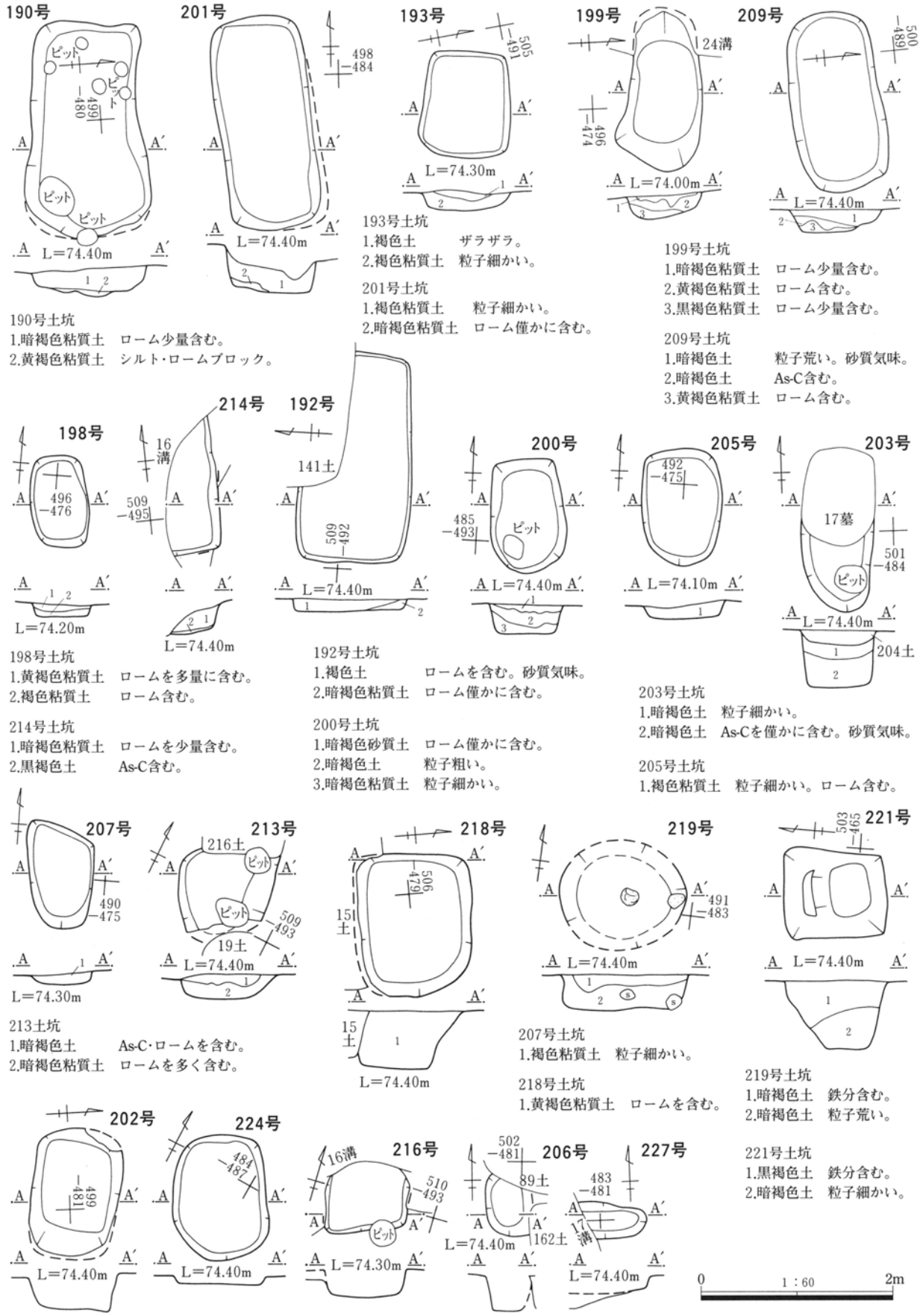
第3節 C区から検出された遺構と遺物



第252図 C区土坑(8)

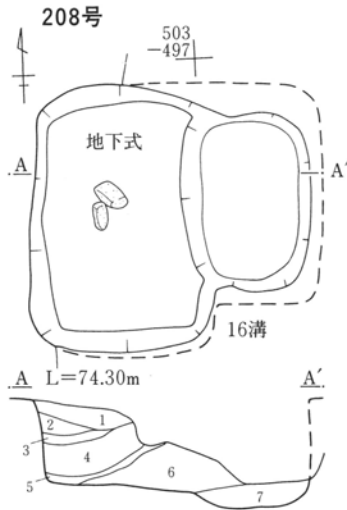
0 1:60 2m

第3章 検出された遺構と遺物

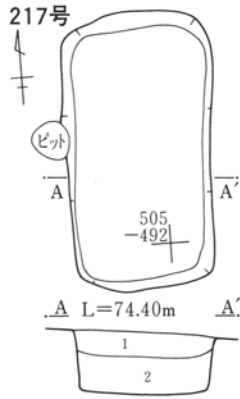


第253図 C区土坑(9)

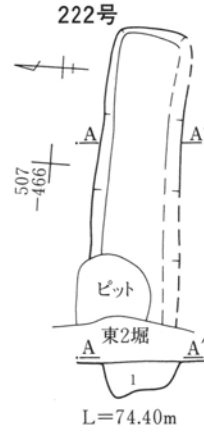
第3節 C区から検出された遺構と遺物



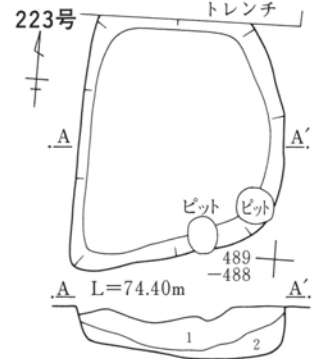
- 208号土坑
 1.褐色土 As-Cを含む。
 2.暗褐色土 As-Cを僅かに含む。
 3.暗褐色土 As-Cを少量含む。
 4.暗褐色土 As-Cを僅かに含む。
 5.暗褐色土 粒子細かい。
 6.黄褐色土 粘質気味。
 7.暗褐色土 粒子細かい。



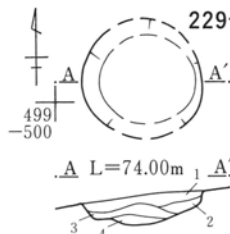
- 217号土坑
 1.暗褐色土 ローム含む。
 2.黄褐色土 ローム多量に含む。



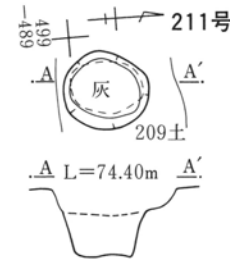
- 222号土坑
 1.暗褐色砂質土 粒子細かい。



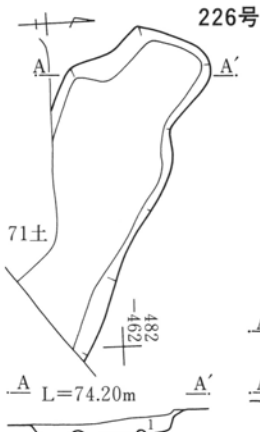
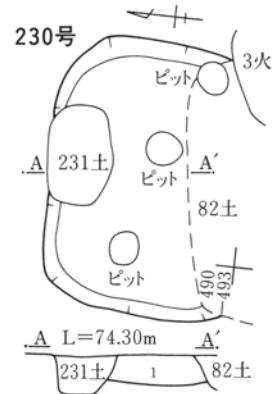
- 223号土坑
 1.暗褐色土 ローム・鉄分を含む。
 2.暗褐色土 ローム含む。



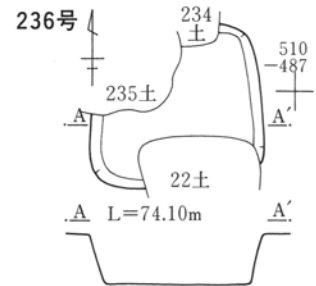
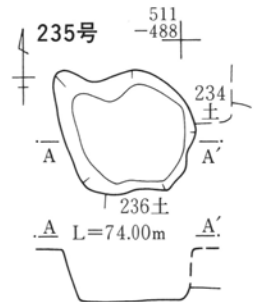
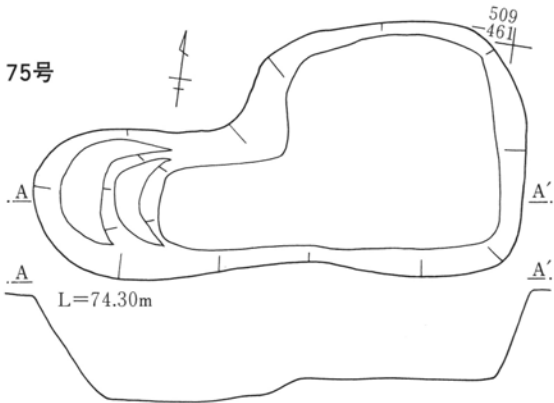
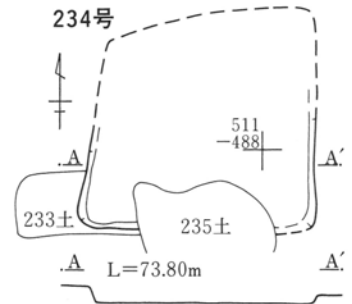
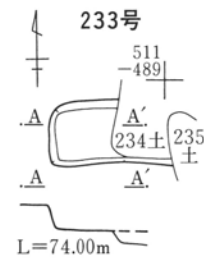
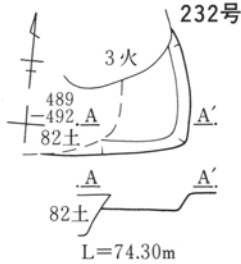
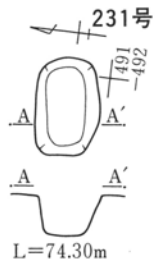
- 229号土坑
 1.黒褐色土 砂質気味。
 2.褐色粘質土 ローム・As-Cを含む。
 3.暗褐色粘質土 ローム僅かに含む。
 4.暗褐色粘質土 ローム含む。



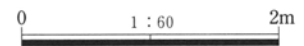
- 230号土坑
 1.暗褐色土 炭化物・鉄分・ロームを少量含む。



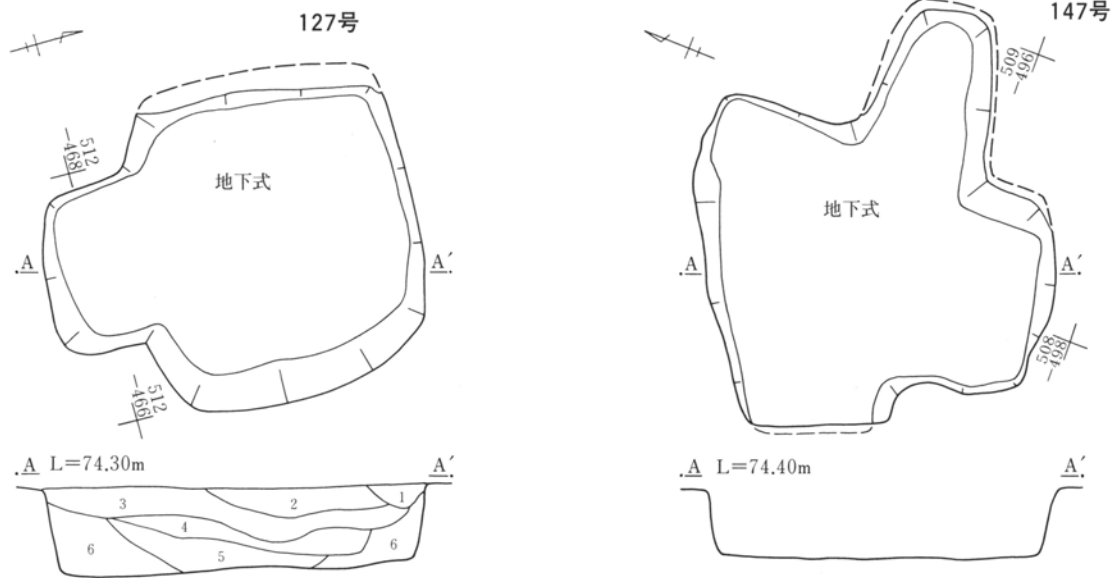
- 226号土坑
 1.暗褐色土 砂質気味。



第254図 C区土坑(10)



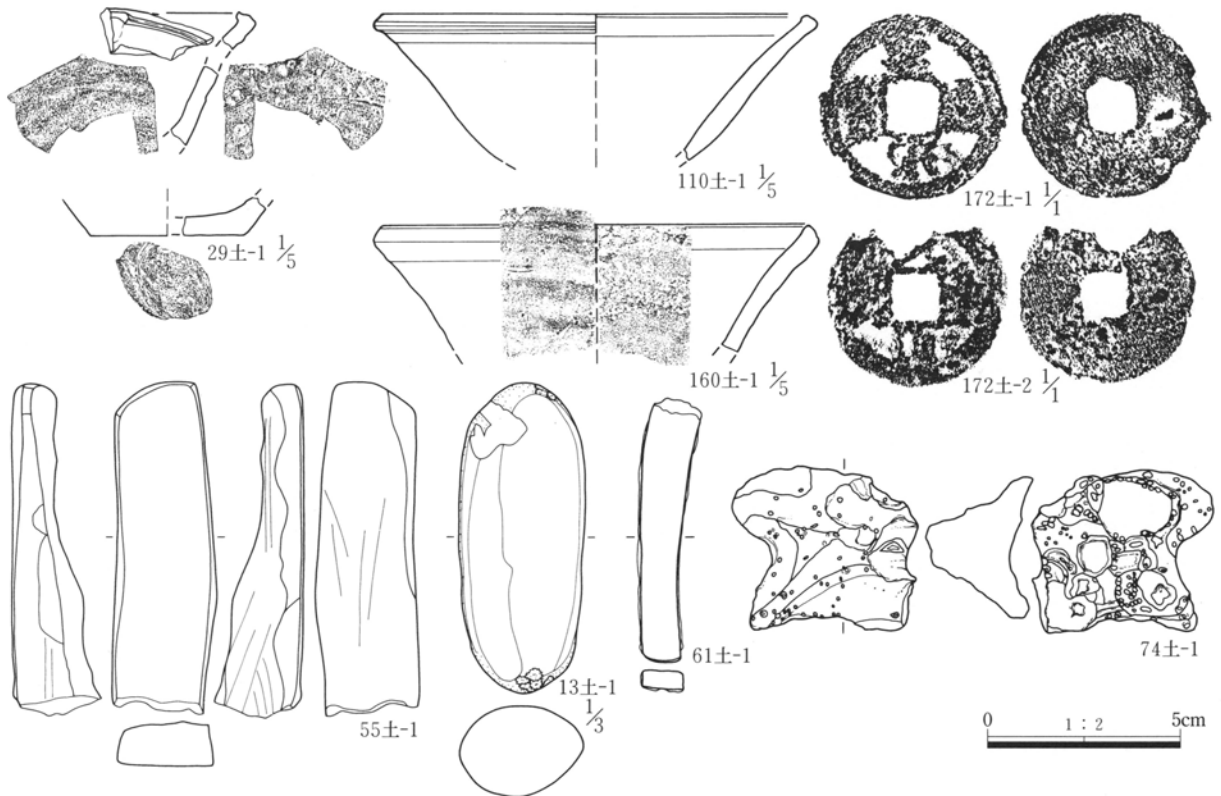
第3章 検出された遺構と遺物



127号土坑

1. 褐色粘質土 ロームやや多く含む。
2. 黒褐色砂質土 粒子やや荒い。
3. 褐色粘質土 ロームを多量に含む。
4. 褐色粘質土 粒子やや細かい。ロームを含む。
5. 褐色粘質土 粒子やや荒い。砂質的。
6. 黒褐色粘質土 粒子細かい。

第255図 C区土坑(11)



第256図 C区土坑出土遺物

4. 火葬跡・土坑墓(第257~265図

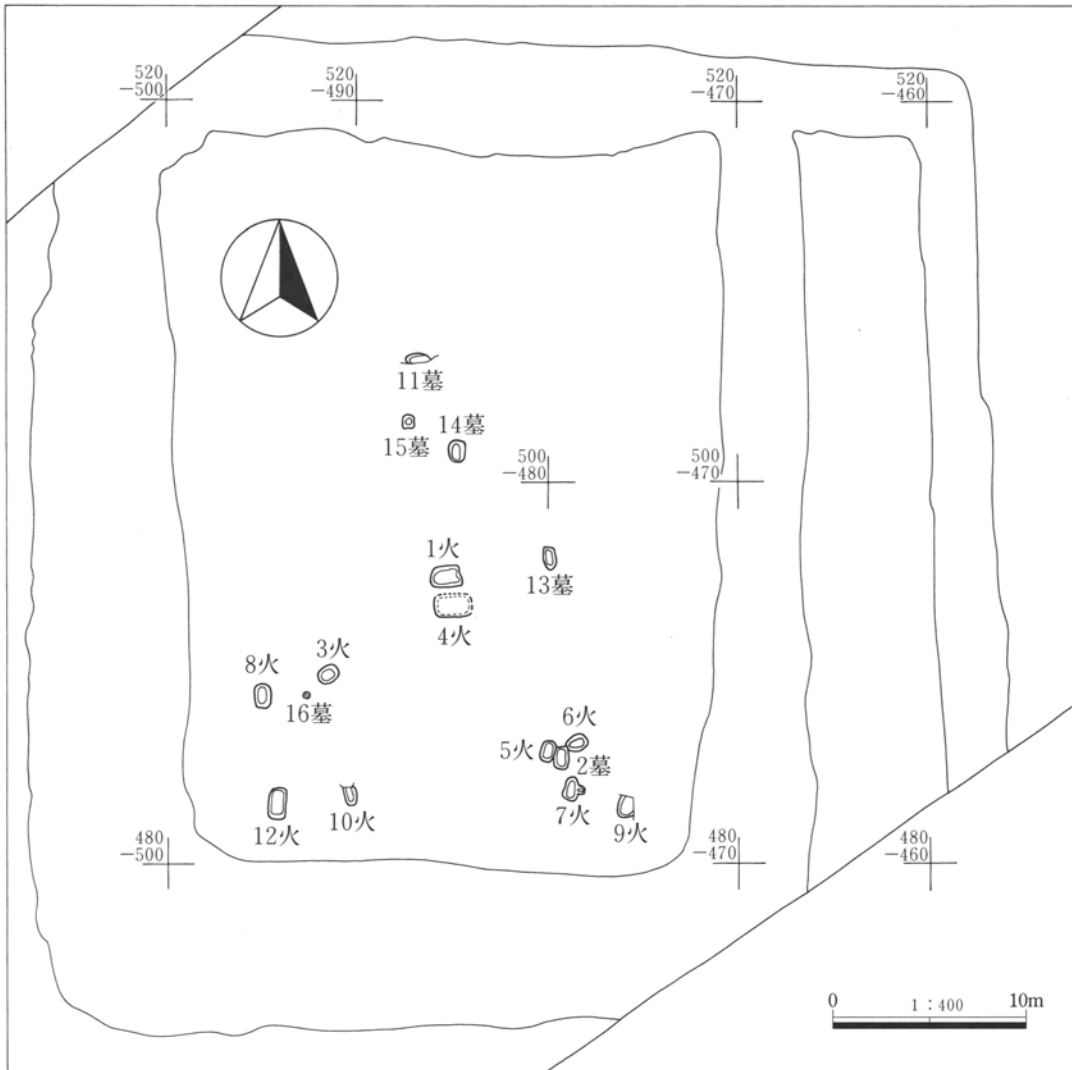
PL.64~67・124~126)

屋敷内で東2堀の西側に計16基検出した。多くは南部分に集中し、確認標高は約74.30m。

火葬跡は1・3~10・12号の10基検出した。1号は底面から約15cmに炭層が8cm堆積。3号は底面から5cmに焼土層が5~10cm堆積、炭・灰を含む。4号の底面付近は炭層で、鉄分を含んだ灰が10cm堆積。また確認面近くに、長さ15~35cm程の河原石が多く検出。5号は炭とロームが堆積し、40cm弱の河原石が4個並んでいる。6号は確認面から下5cmまで炭層、骨片と15cm程の石数点を検出。7号は「T」の字状の形状で、張り出し部分は浅い。底面から河

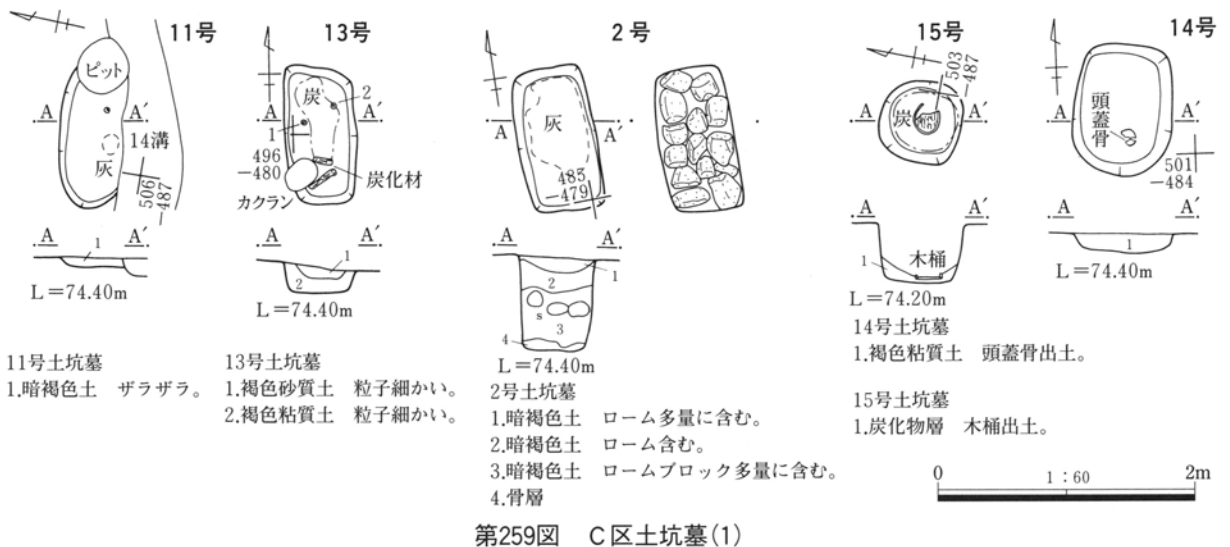
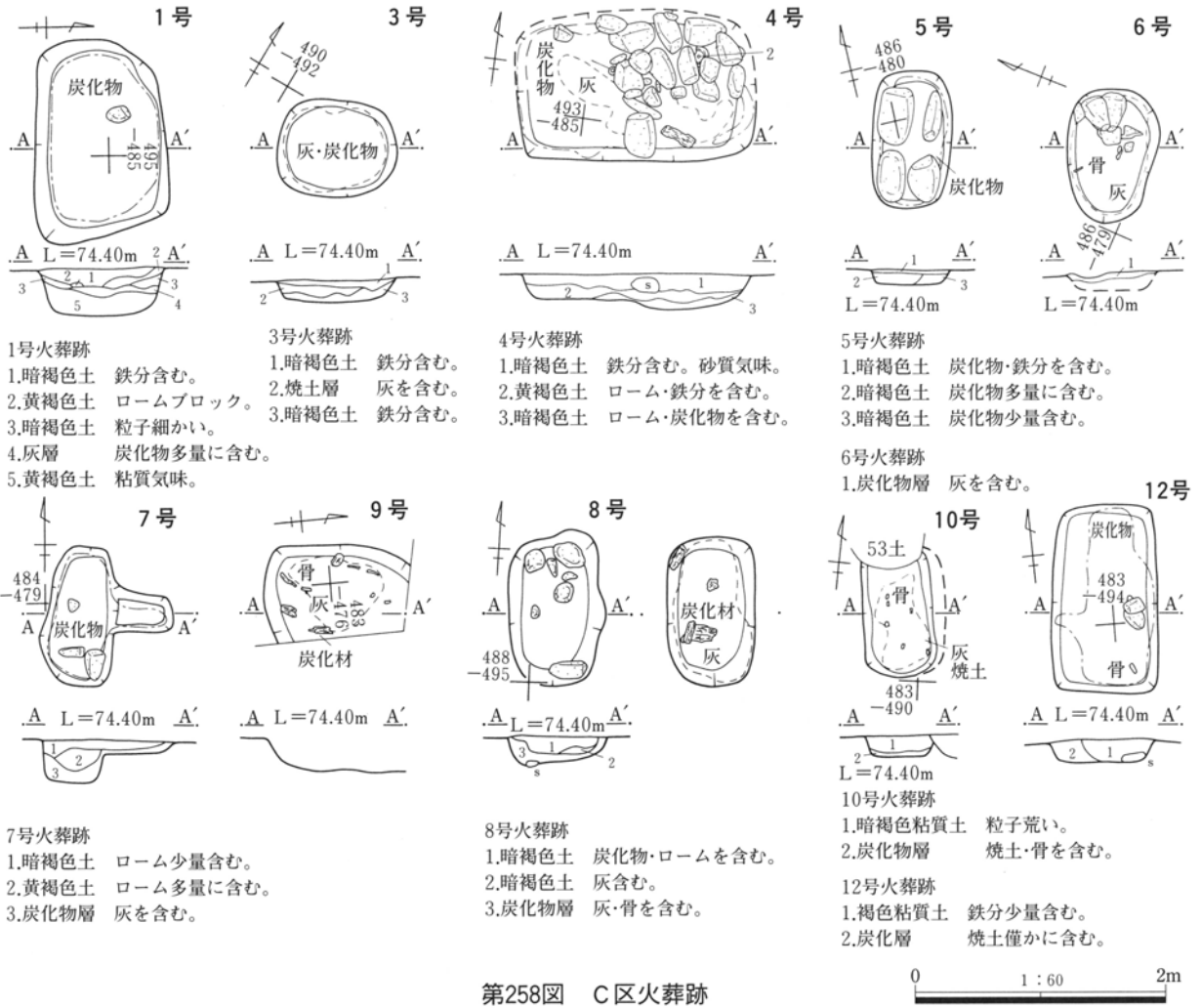
第14表 C区火葬跡・土坑墓計測表

No.	位置 グリッド	形状	規模 (cm)			備考
			長軸	短軸	深さ	
1	494-484	隅丸方形	162	95	36	火葬跡
2	485-478	隅丸方形	113	57	74	土坑墓
3	489-491	楕円形	95	77	17	火葬跡
4	492-483	隅丸方形	210	190	42	火葬跡
5	485-479	隅丸方形	109	59	13	火葬跡
6	486-477	楕円形	106	61	12	火葬跡
7	483-478	不定形	113		32	火葬跡
8	488-494	楕円形	123	66	23	火葬跡
9	482-475	不明	<114>	<68>	27	火葬跡
10	483-489	楕円形	<88>	53		火葬跡
11	506-486	楕円形	110	50	7	土坑墓
12	482-493	隅丸方形	133	57	17	火葬跡
13	495-479	隅丸方形	108	53	23	土坑墓
14	500-484	隅丸方形	103	75	58	土坑墓
15	502-486	円形	70	68	44	土坑墓
16	488-492	楕円形	(41)	29	68	土坑墓



第257図 C区火葬跡・土坑墓全体図

第3章 検出された遺構と遺物

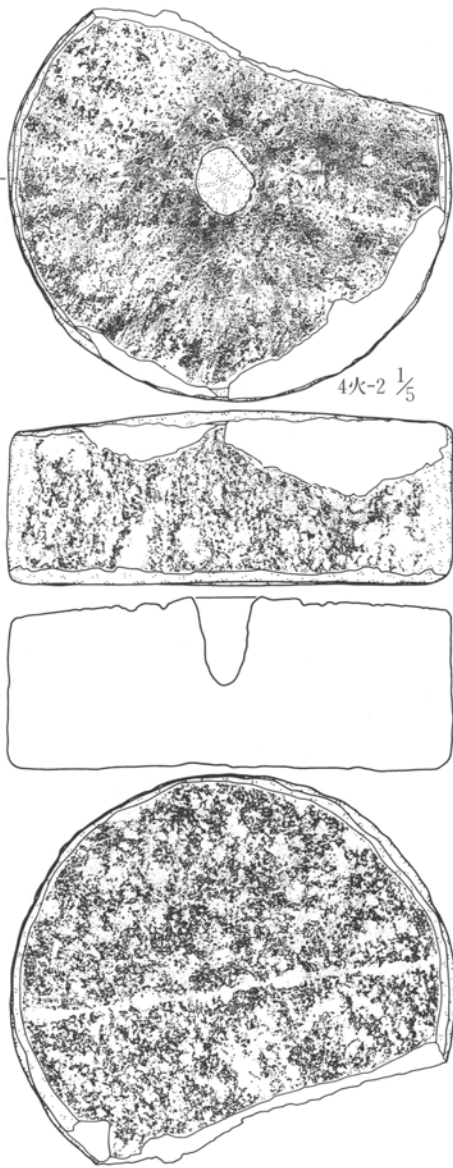


第3節 C区から検出された遺構と遺物

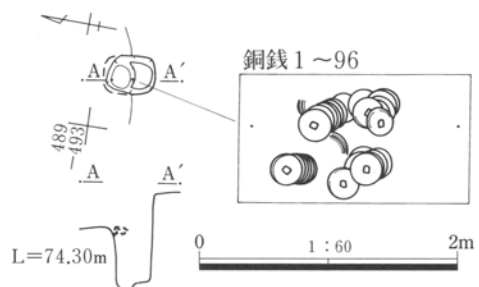
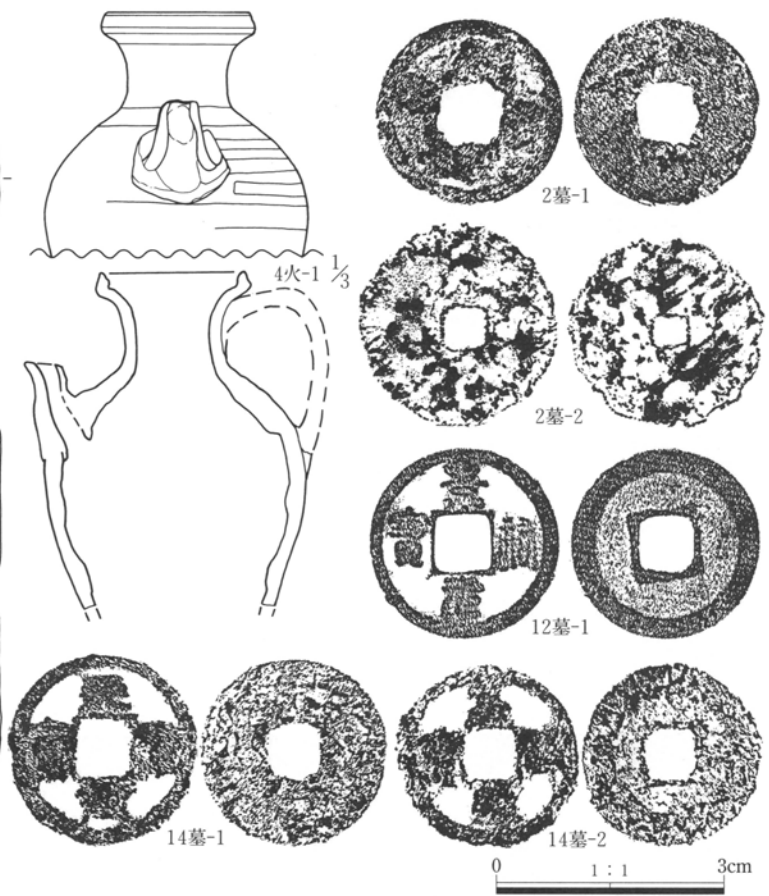
原石を3点、約10cmの炭層がある。8号は、底面から15~30cmの河原石を多く検出、炭層は約10cm程で、炭化材・灰・骨片を含み堆積。壁は焼土化している。9号は底面が炭層で、炭化物・灰・骨片、一部に焼土を含む。10号は底面から厚さ5cmに炭・灰・焼土を含む層。壁は焼土化している。12号は底面中央が縦に長く、炭と焼土・骨片を含む層。20cm弱の河原石2点検出。検出したいずれの石も黒く煤けていた。

土坑墓は2・11・13~16号で6基検出した。2号

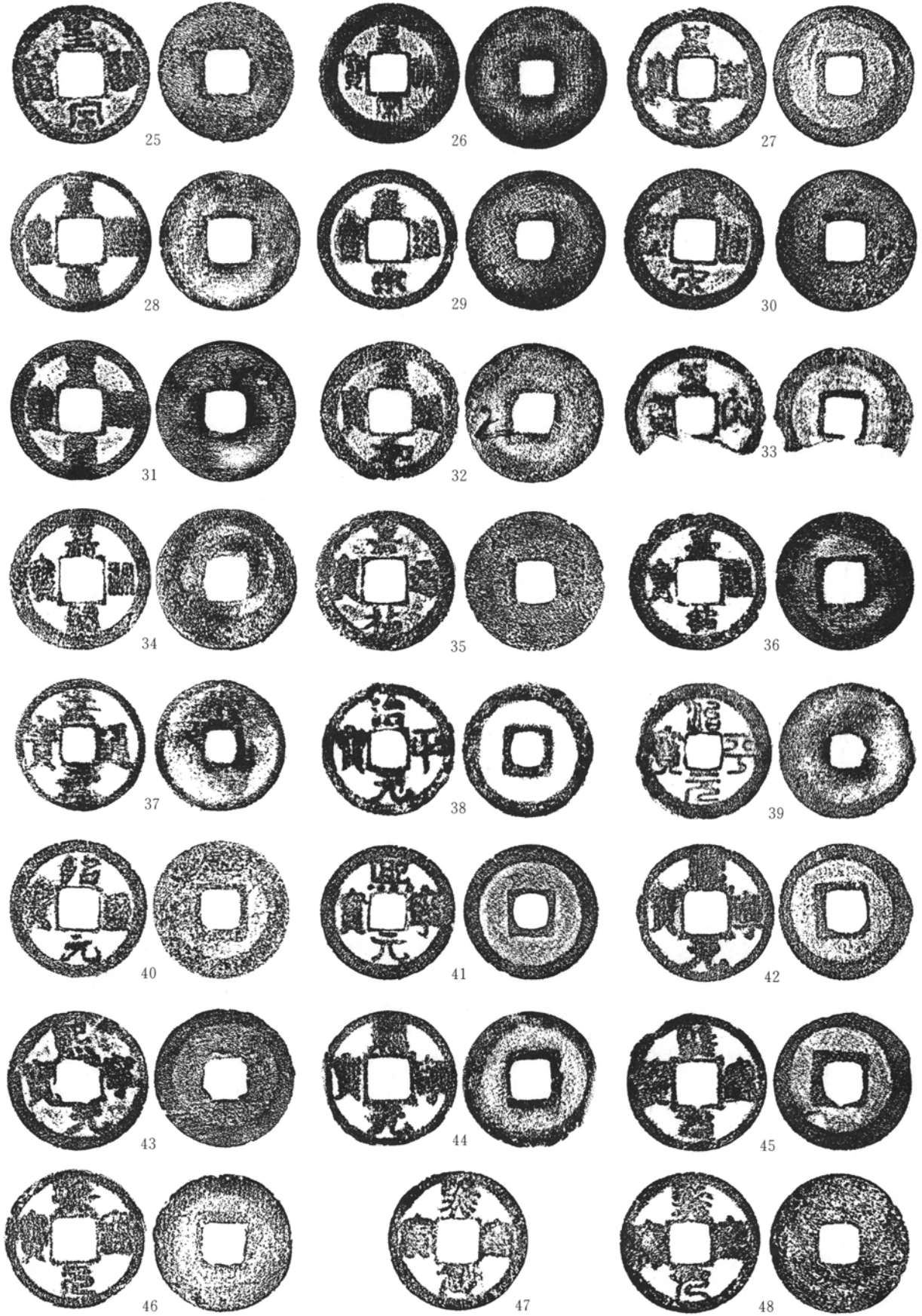
は深さ70cm、底面は骨が溶けた状態で堆積。中位に20cm程の河原石が隙間なく並べてある。11号は確認面が浅く、底面中央部分に灰小ブロック。13号は底面から10cm、ほぼ中央に炭化材・灰が堆積。15号は深さ45cm、底面に約5cm炭層。16号は銅銭が約100枚出土した。状態の良いものは欠損し、付着物の多いものもある。この遺構は銅銭の保管場所である可能性が高い。14号は中央やや南寄りに頭蓋骨を検出した。



第260図 C区火葬跡・土坑墓出土遺物

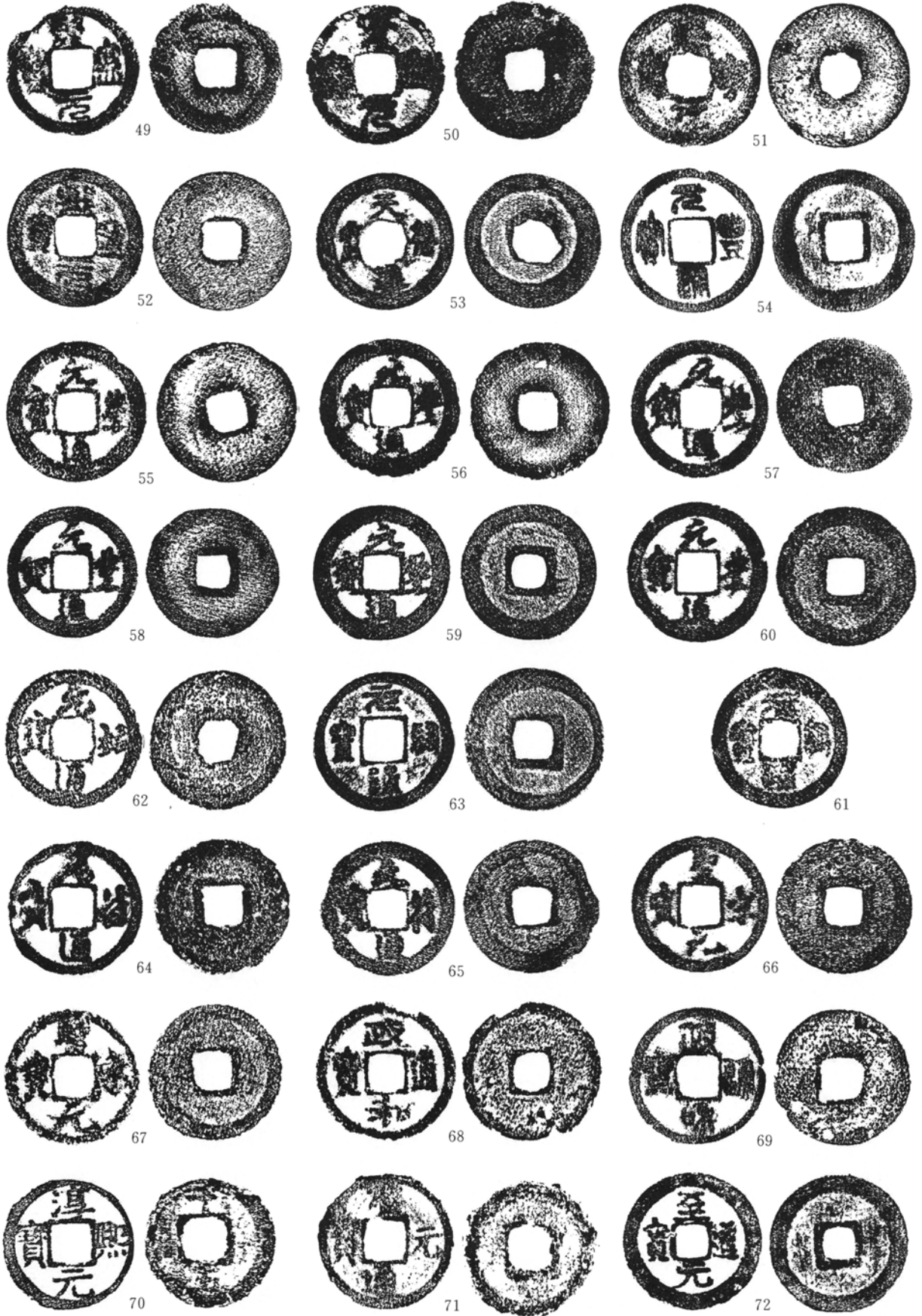


第261図 C区16号土坑墓(2)

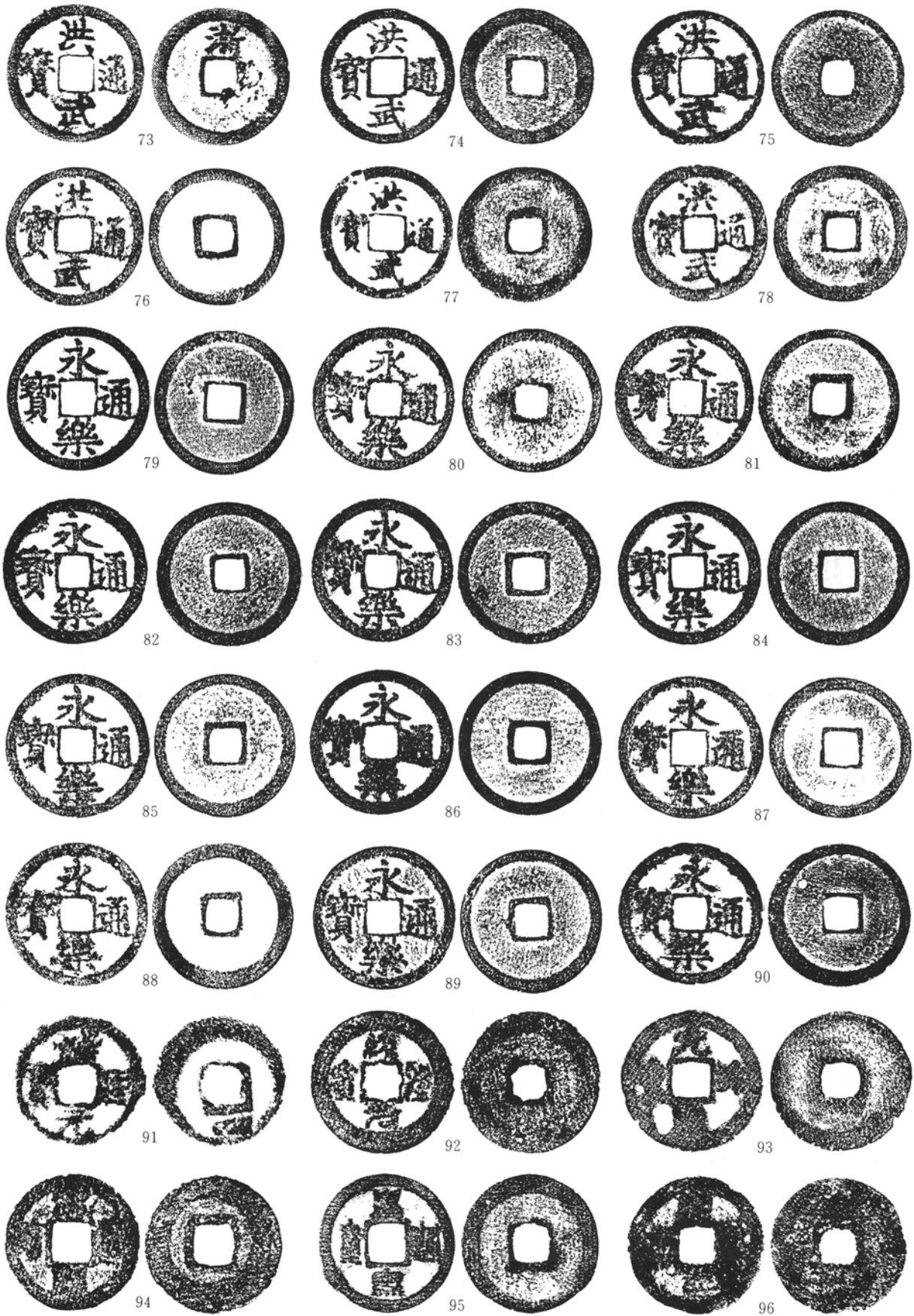


第263図 C区16号土坑墓出土遺物(2)

0 1 : 1 3cm



第264図 C区16号土坑墓出土遺物(3)



第265図 C区16号土坑墓出土遺物(4)

5. 溝(第267図)

32号溝(第266図)

位置 500-440→490-450グリッド

傾斜方向 北東→南西 高低差 4cm

規模 長さ13.50×上幅0.50m 深さ 7cm

所見 北東は33号溝に、南西は35号溝に接する。

遺物 なし

33号溝(第266図 PL.52・129)

位置 500-440→490-450グリッド

傾斜方向 不明 高低差 2cm

規模 長さ13.10×上幅0.58m 深さ 10cm

所見 32号溝の南東に沿っている。南東端は34号溝と接する。覆土は表土に近似。

遺物 覆土中から、砥石が出土している。

34号溝(第266図 PL.52)

位置 505-430→490-450グリッド

傾斜方向 北東→南西 高低差 10cm

規模 長さ30.10×上幅0.75m 深さ26cm

所見 北東は区域外に続く。33号溝の南東に沿っている。覆土は表土に近似する。

遺物 なし

35号溝(第266図 PL.52・53)

位置 500-455→490-450グリッド

傾斜方向 北→南 高低差 不明

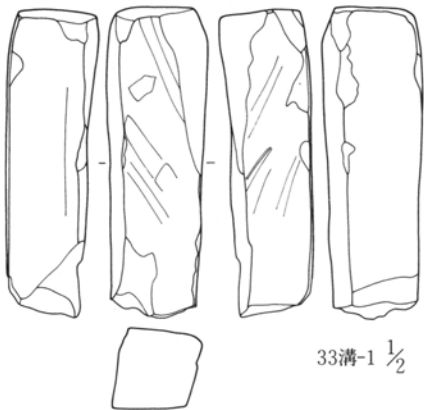
規模 長さ10.50×上幅0.30m 深さ 8cm

所見 北は屋敷の東1堀に接して、東1堀の東側で南北に位置する。南はトレンチで途切れる。覆土は

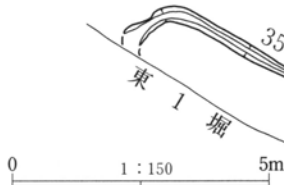
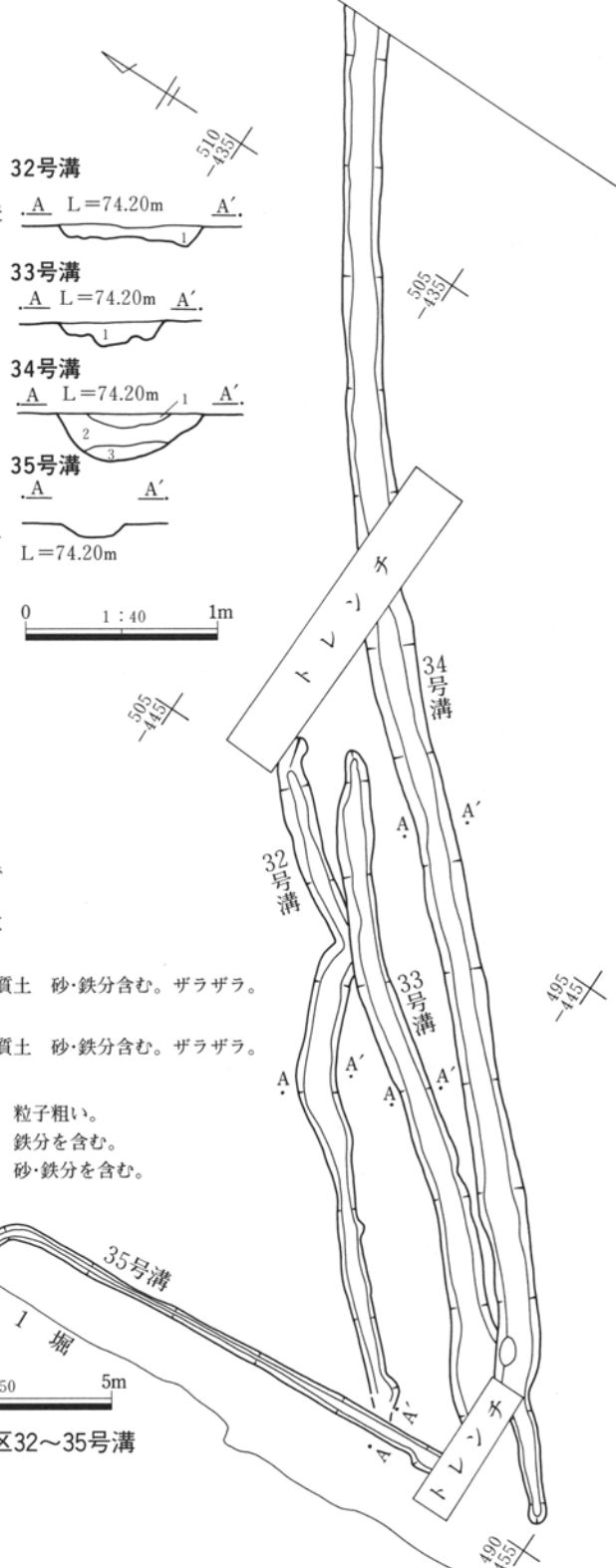
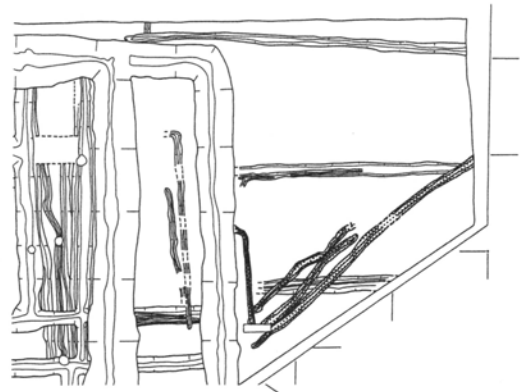
表土に近似する。

遺物 なし

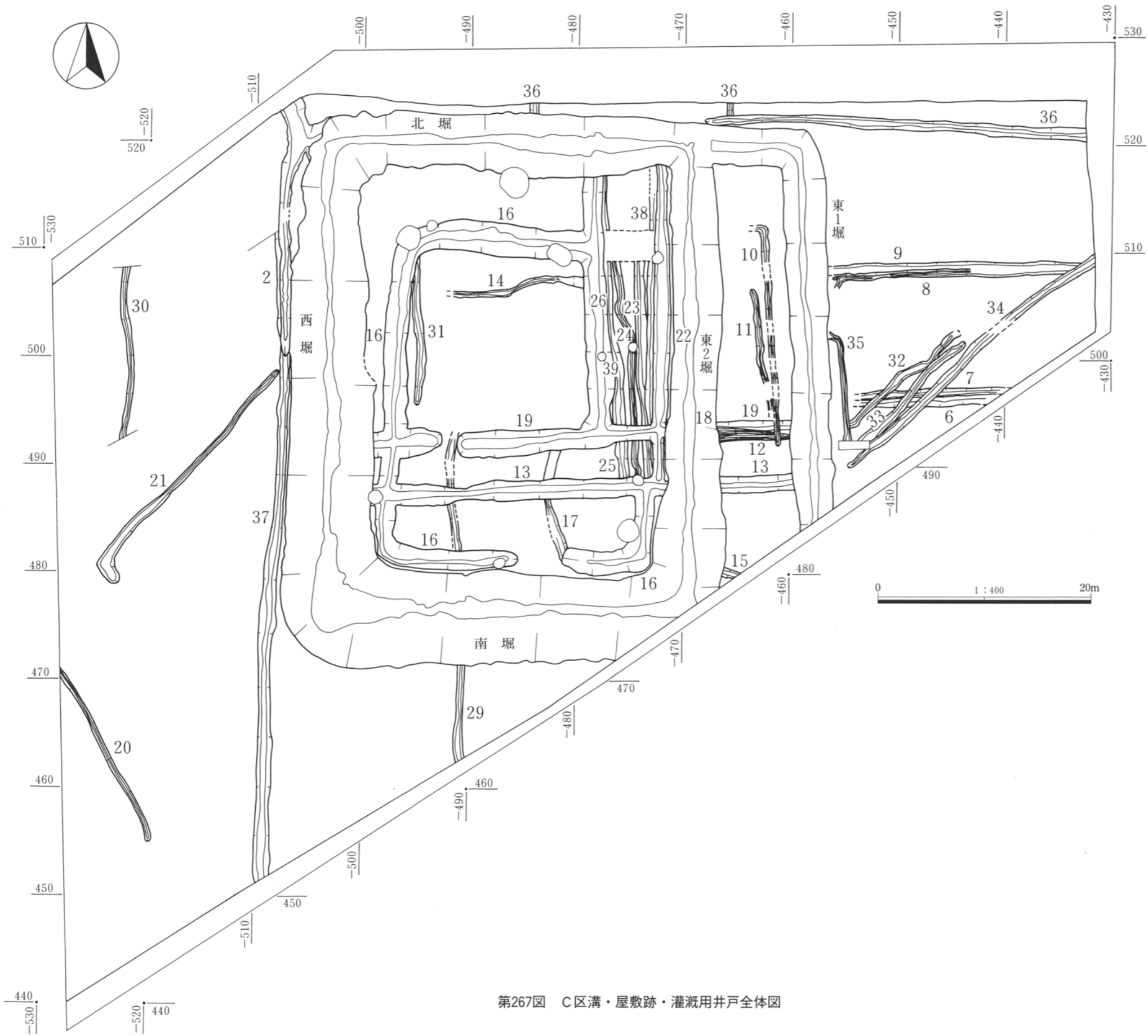
- 32号溝
1.暗褐色砂質土 砂・鉄分含む。ザラザラ。
- 33号溝
1.暗褐色砂質土 砂・鉄分含む。ザラザラ。
- 34号溝
1.暗褐色土 粒子粗い。
2.砂層 鉄分を含む。
3.暗褐色土 砂・鉄分を含む。



33溝-1 1/2



第266図 C区32~35号溝



第267図 C区溝・屋敷跡・灌溉用井戸全体図

2号溝(第269・270図 PL.48・129)

位置 520-505→500-505グリッド

傾斜方向 北→南 高低差 約8cm

規模 長さ23.70×上幅0.80m 深さ 52cm

所見 北は区域外に続く。東と南に屋敷の堀を廻るように位置する36・37号溝は、一連の溝。覆土は表土と近似する。近現代。

遺物 覆土中から、陶器の徳利、磁器の小鉢、煙管等を出土している。

23号溝(第270図 PL.53)

位置 505-470→485-470グリッド

傾斜方向 北→南 高低差 23cm

規模 長さ20.00×上幅1.10m 深さ 38cm

所見 屋敷内、22・26号溝の間に南北に位置。北は東西方向の16号溝、南は13号溝付近で途切れる。確認は土層断面による。

遺物 なし

24号溝(第270図 PL.53)

位置 505-475→485-470グリッド

傾斜方向 北西→南 高低差 不明

規模 長さ20.50×上幅0.70m 深さ 20cm

所見 23号溝の西に位置。確認は土層断面による。

遺物 なし

25号溝(第269・270図 PL.53・129)

位置 510-475→485-475グリッド

傾斜方向 北→南 高低差 不明

規模 長さ28.00×上幅1.10m 深さ 28cm

所見 24号溝の西に沿っている。北は26号溝に接する。確認は土層断面による。

遺物 底面付近から、五輪塔が出土。

31号溝(第269・270図 PL.52・129)

位置 505-495→495-490グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 長さ13.15×上幅0.70m 深さ 43cm

所見 16号溝の東に位置し、北は16号溝に接する。南側は途切れる。

遺物 覆土中から、軟質陶器の鉢を出土。

38号溝(第270図 PL.53)

位置 515-470→485-470グリッド

傾斜方向 北→南 高低差 30cm

規模 長さ29.10×上幅0.90m 深さ 58cm

所見 南北は北堀と13号溝に、また23号溝の東に接している。確認は土層断面による。

遺物 なし

39号溝(第270図)

位置 495-477グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 上幅1.10m以上 深さ 30cm

所見 26号溝の東に位置し、接する。確認は土層断面による。

遺物 なし

40号溝(第270図)

位置 38号溝と重複する。 高低差 不明

規模 上幅0.97m 深さ 21cm

所見 38号溝との重複を土層断面で確認。

遺物 なし

第3章 検出された遺構と遺物

10号溝(第269・271図 PL.48・129)

位置 510-460→490-460グリッド

傾斜方向 西→北東コーナー→南 深さ 15cm

高低差 10cm 規模 長さ21.20×上幅0.38m

所見 東1・2堀の間、南北方向の溝。他の遺構との重複関係で、最も新しい。

遺物 銅銭が出土。

11号溝(第271図 PL.48・49)

位置 505-460→495-460グリッド

傾斜方向 北→南 高低差 12cm

規模 長さ12.70×上幅0.40m 深さ 10cm

所見 10号溝の西に沿う南北方向の溝。重複関係は、最も新しい。

遺物 なし

12号溝(第268・271図 PL.48・49・128)

位置 490-465→490-455グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 長さ6.80×上幅0.27m 深さ 10cm

所見 東1・2堀の間、東西方向の溝。10・11号溝と覆土は近似するが、両溝より古い。19号溝より新しい。

遺物 覆土中から、砥石が出土。

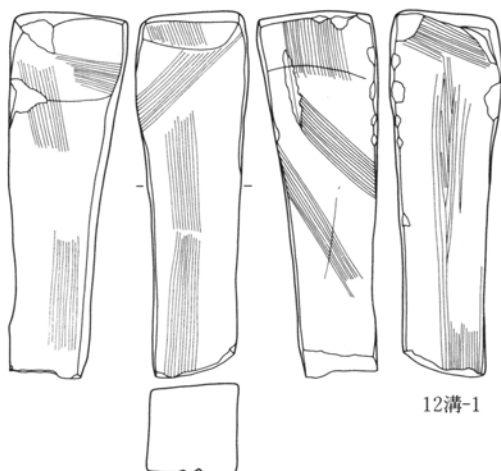
15号溝(第271図 PL.49)

位置 475-460グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 長さ1.40×上幅0.55m 深さ 40cm

所見 13号溝と覆土が近似する。 遺物 なし



17号溝(第268・271図 PL.51・128)

位置 490-480→480-480グリッド

傾斜方向 北西→南東 高低差 10cm

規模 長さ10.10×上幅0.80m 深さ 22cm

所見 南北は13・16号溝に接する。北は19号溝付近まで続く。16号溝は関連する溝の可能性はある。

遺物 覆土中から、砥石が出土。

18号溝(第271図 PL.49)

位置 490-465→490-460グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 長さ5.40×上幅0.35m 深さ 5cm

所見 12号溝とほぼ同様で、北に位置する。

遺物 なし

29号溝(第271図 PL.52)

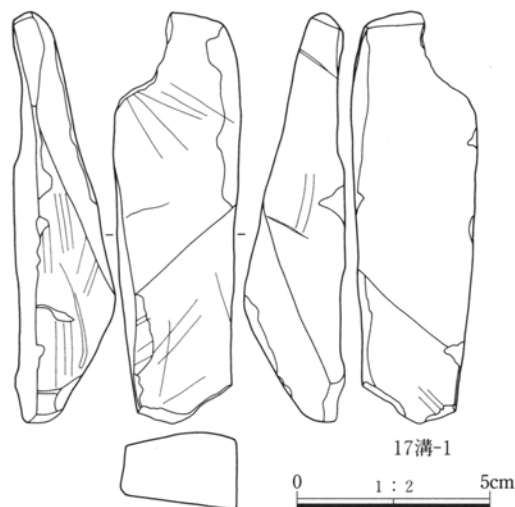
位置 490-490→460-490グリッド

傾斜方向 南→北か 高低差 15cm

規模 長さ30.00×上幅0.68m 深さ 20cm

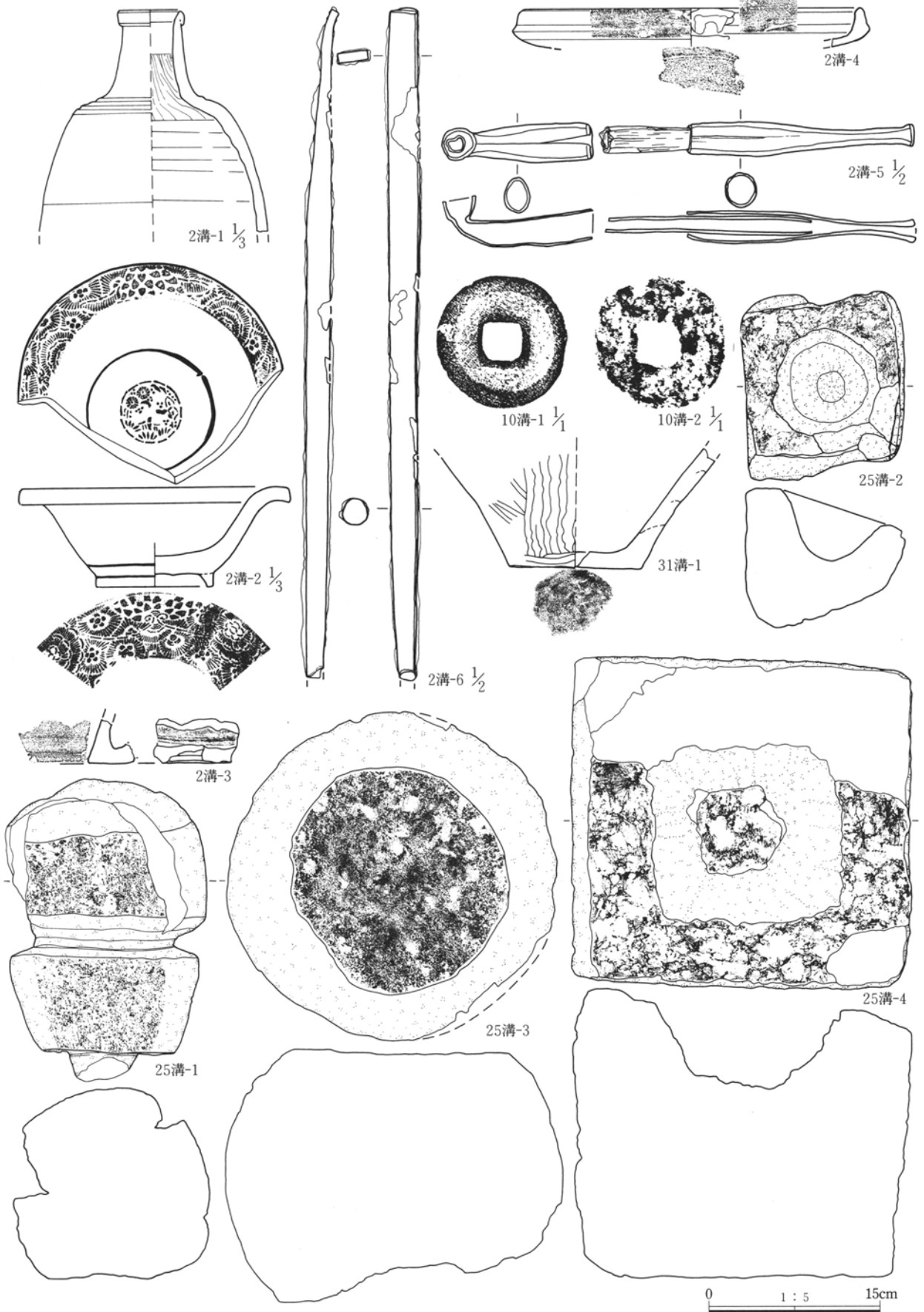
所見 北は19号溝付近で途切れ、南は区域外に延びる。覆土は表土に近似。

遺物 なし

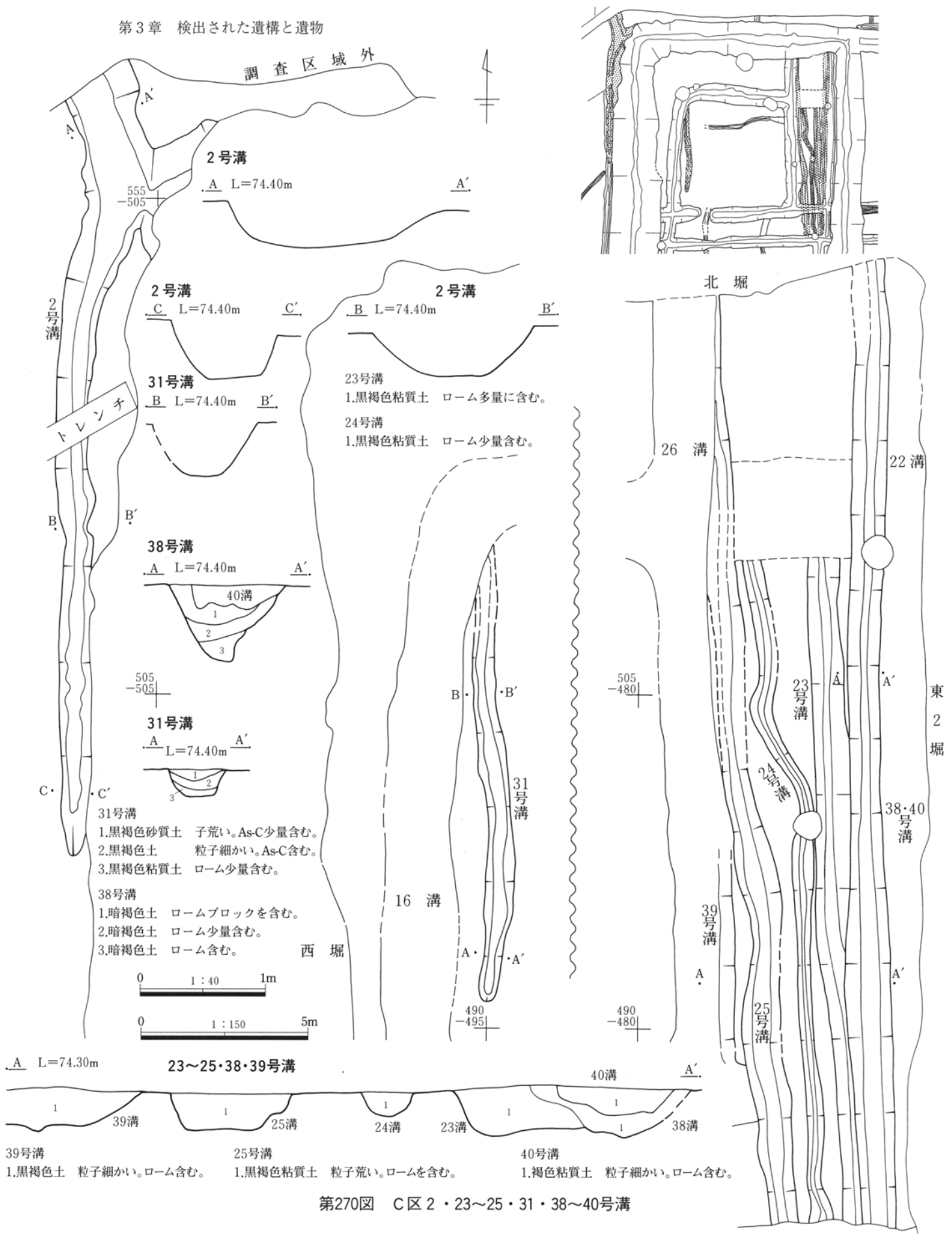


第268図 C区12・17号溝出土遺物

第3節 C区から検出された遺構と遺物

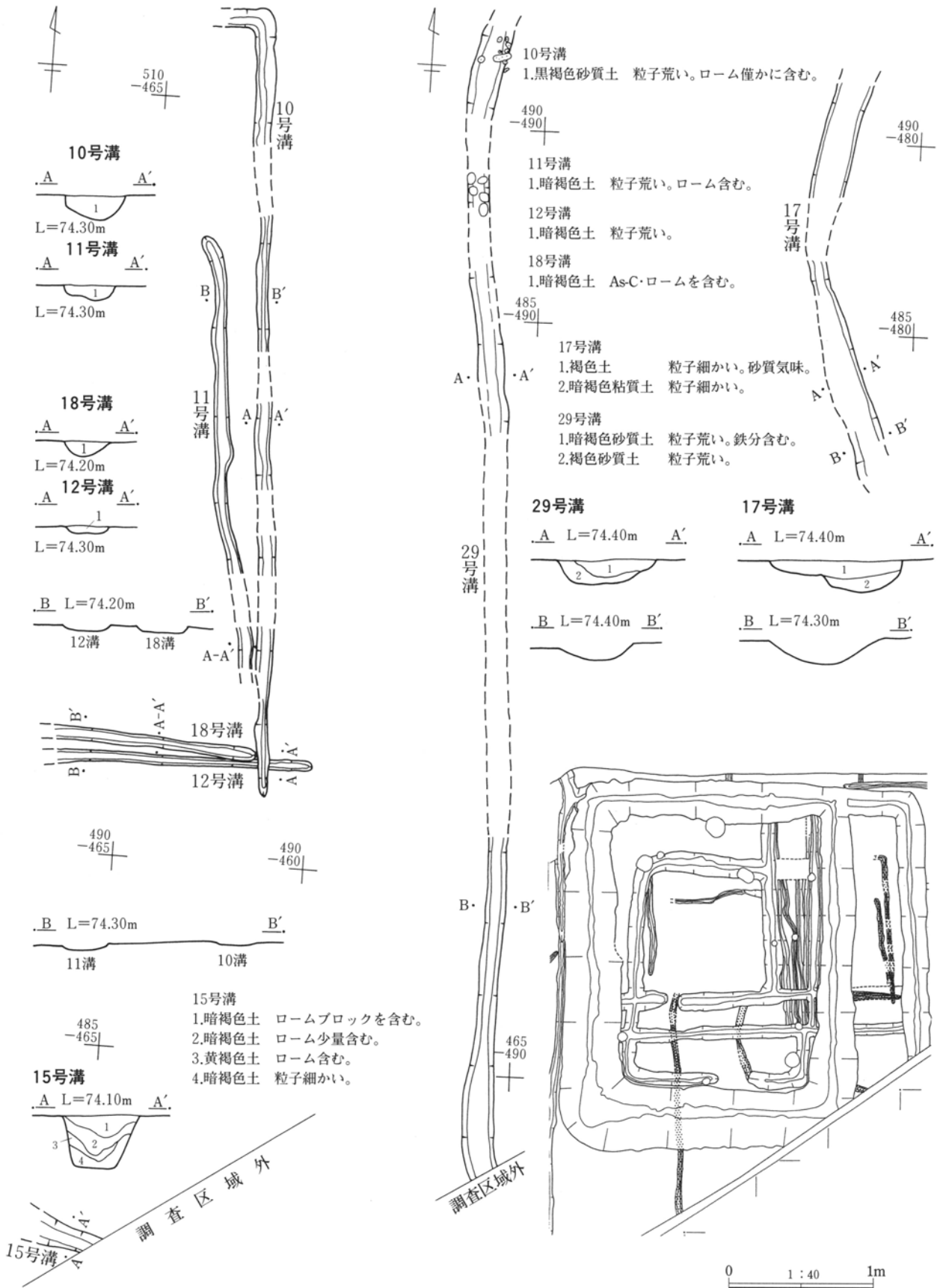


第269図 C区2・10・25・31号溝出土遺物



第270図 C区2・23~25・31・38~40号溝

第3節 C区から検出された遺構と遺物



第271図 C区10~12・15・17・18・29号溝

第3章 検出された遺構と遺物

20号溝(第272図 PL.52)

位置 470-525→455-515グリッド

傾斜方向 北西→南東 高低差 6cm

規模 長さ18.80×上幅0.35m 深さ 7cm

所見 調査区の西端、屋敷の西側に確認。北西は区域外に続き、南東は途切れる。底面に凹凸がある。覆土は粘質土が多い。確認面より上に、As-Bの薄い堆積がある。平安時代か、それ以前。

遺物 なし

21号溝(第272図 PL.52)

位置 495-505→475-520グリッド

傾斜方向 北東→南西 高低差 18cm

規模 長さ26.60×上幅0.75m 深さ 10cm

所見 20号溝とほぼ同様。北東端は37号溝に接する。南西は「く」の字状に南東へ折れて途切れる。

遺物 なし

30号溝(第272図)

位置 505-520→490-520グリッド

傾斜方向 北→南 高低差 5cm

規模 長さ16.00×上幅0.45m 深さ 15cm

所見 20号溝とほぼ同様。北端は区域外へ続き、南は調査区の北から1/3で調査を止めている。

遺物 なし

6号溝(第273図 PL.48・129)

位置 495-450→495-444グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 長さ13.00×上幅1.00m 深さ 8cm

所見 東西方向、7号溝の南に位置。

遺物 覆土中から軟質陶器の鉢。

7号溝(第273図 PL.48)

位置 495-450→495-440グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 長さ13.50×上幅0.50m 深さ 10cm

所見 8・9号溝と近接し、東西方向に同様な形態を持ち、覆土は近似する。底面は凹凸がある。

遺物 なし

8号溝(第273図 PL.48)

位置 505-455→505-440グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 長さ13.00×上幅0.50m 深さ 10cm

所見 調査区の東端、屋敷の東側を東西に走る。9号溝とほぼ重なる。

遺物 なし

9号溝(第273図 PL.48)

位置 505-455→505-430グリッド

傾斜方向 不明 高低差 不明

規模 長さ24.10×上幅0.80m 深さ 17cm

所見 調査区の東端、屋敷の東側を東西に走る。8号溝と重複、覆土は近似する。底面は凹凸がある。

遺物 なし

14号溝(第273図 PL.49)

位置 505-490→505-475グリッド

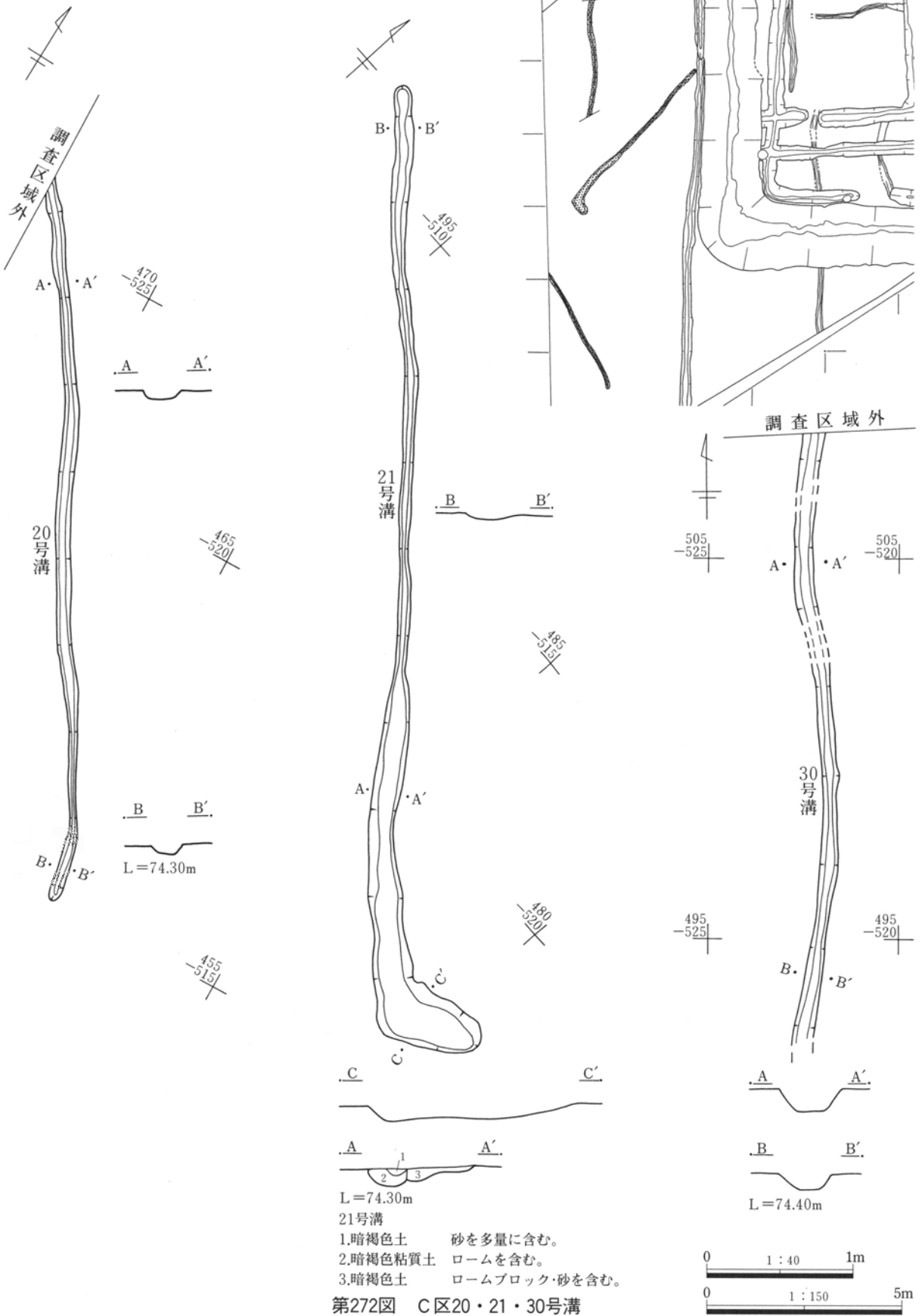
傾斜方向 西→東 高低差 10cm

規模 長さ12.80×上幅0.38m 深さ 20cm

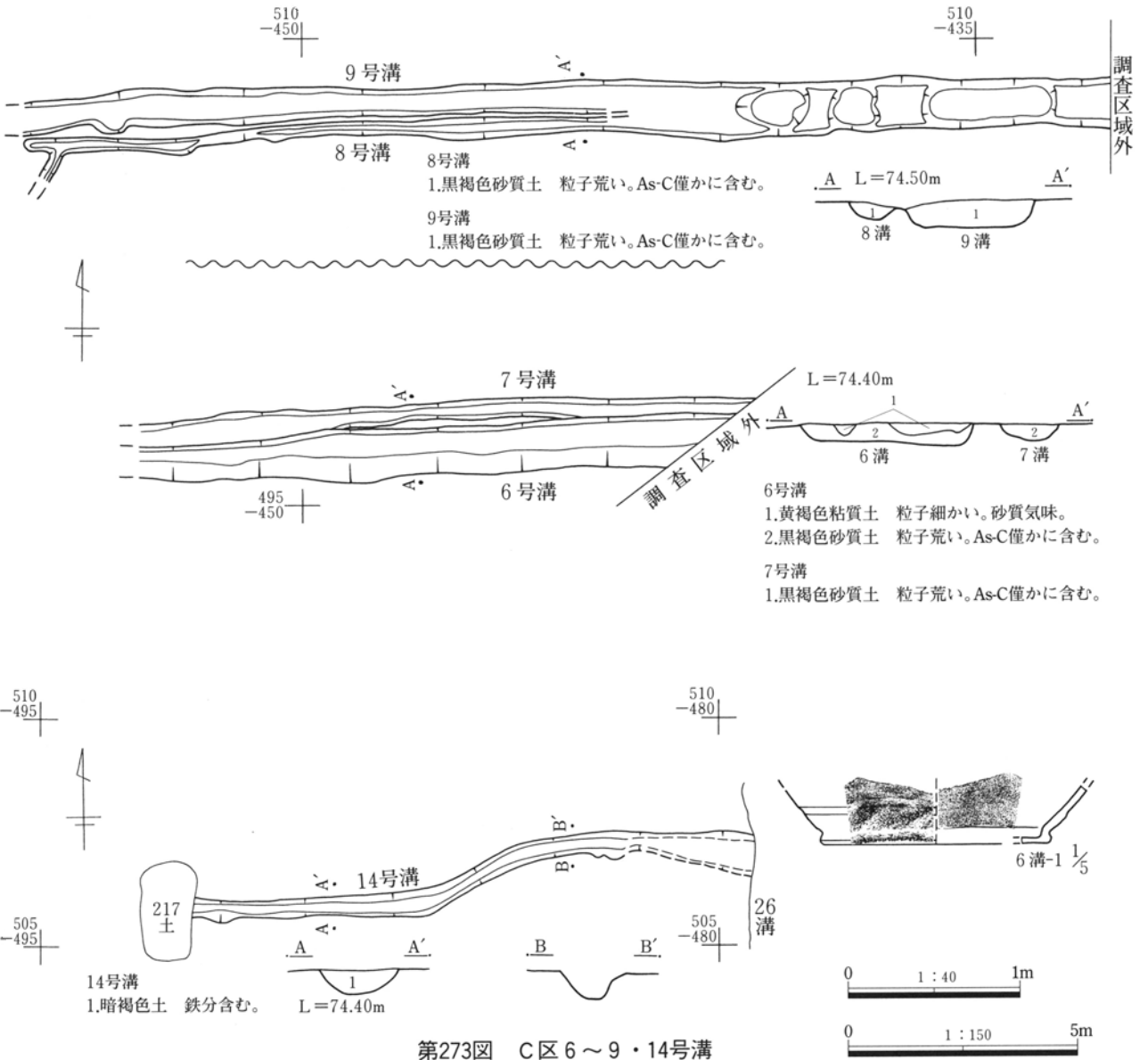
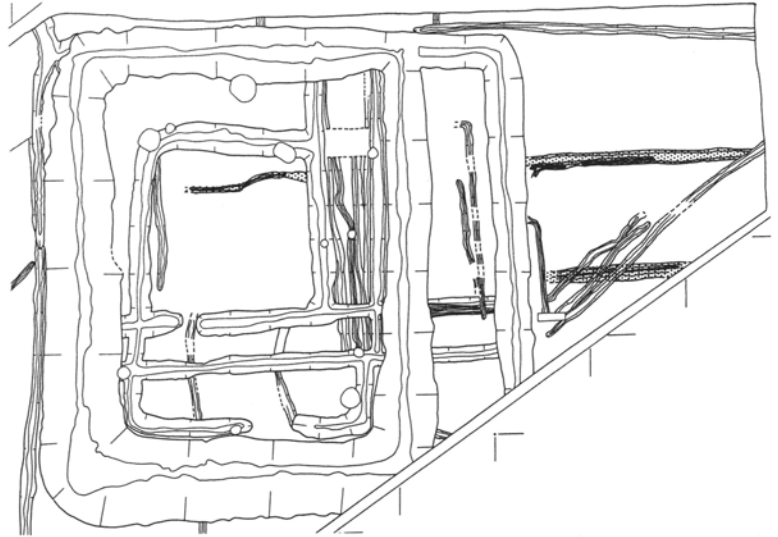
所見 屋敷内北寄りを東西に走る。西端は217号土坑、東端は26号溝付近まで確認した。217号土坑より古く、その他の遺構より新しい。

遺物 なし

第3節 C区から検出された遺構と遺物



第272図 C区20・21・30号溝



第273図 C区6～9・14号溝

36号溝(第274図 PL.48)

位置 520-430→520-490グリッド

傾斜方向 西→東 高低差 約5cm

規模 長さ60.20×上幅0.80m 深さ 45cm

所見 屋敷北堀と重複する東西方向の溝。東2堀の北付近で溝が途切れ、検出長は57.40mを測る。底面標高は74.15m程で、覆土は表土と近似する。近代以降。

遺物 なし

37号溝(第274図)

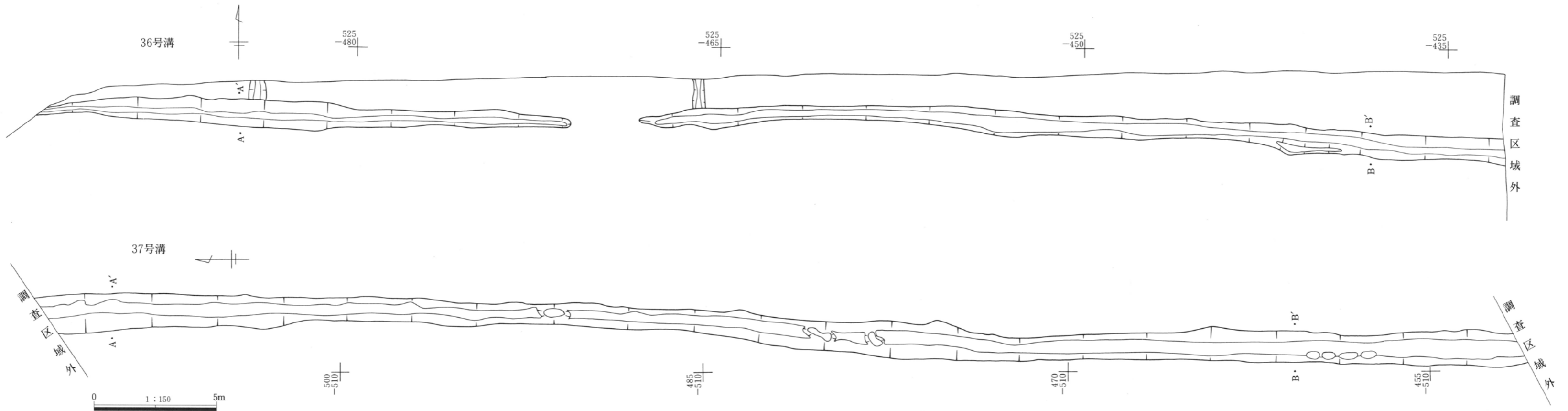
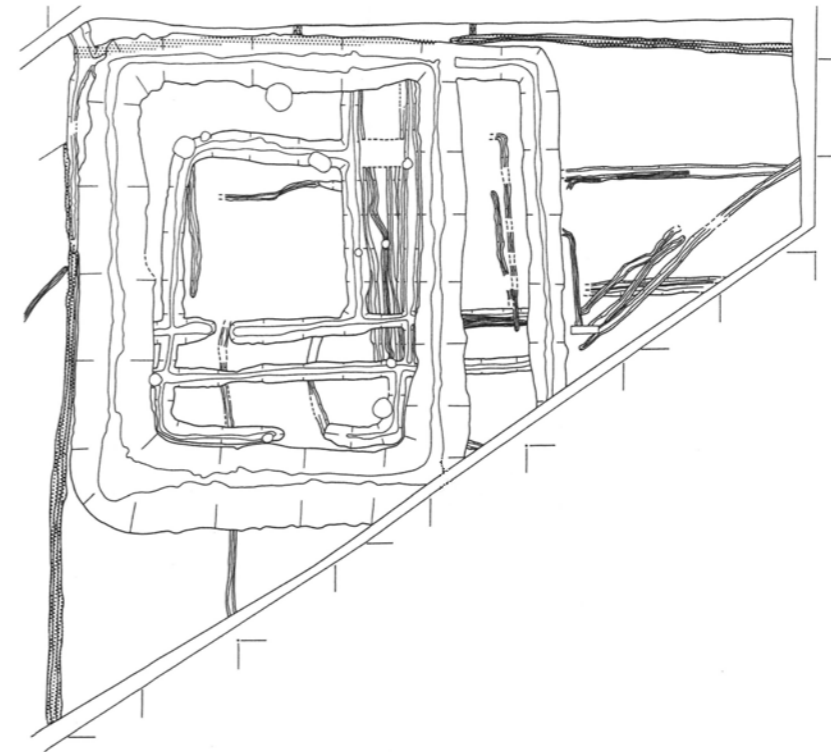
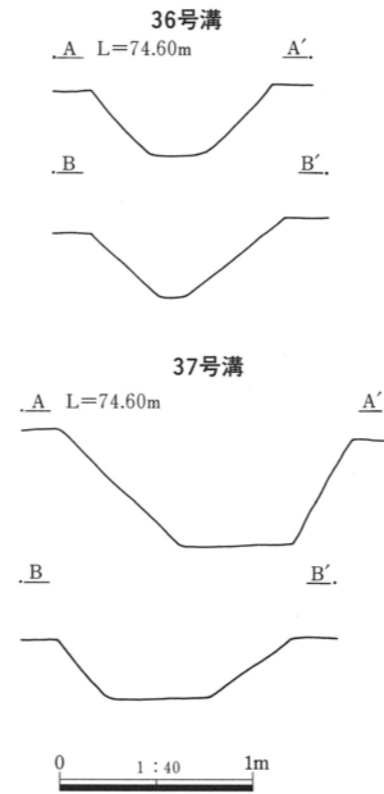
位置 510-505→450-505グリッド

傾斜方向 北→南 高低差 不明

規模 長さ60.80×上幅1.25m 深さ 60cm

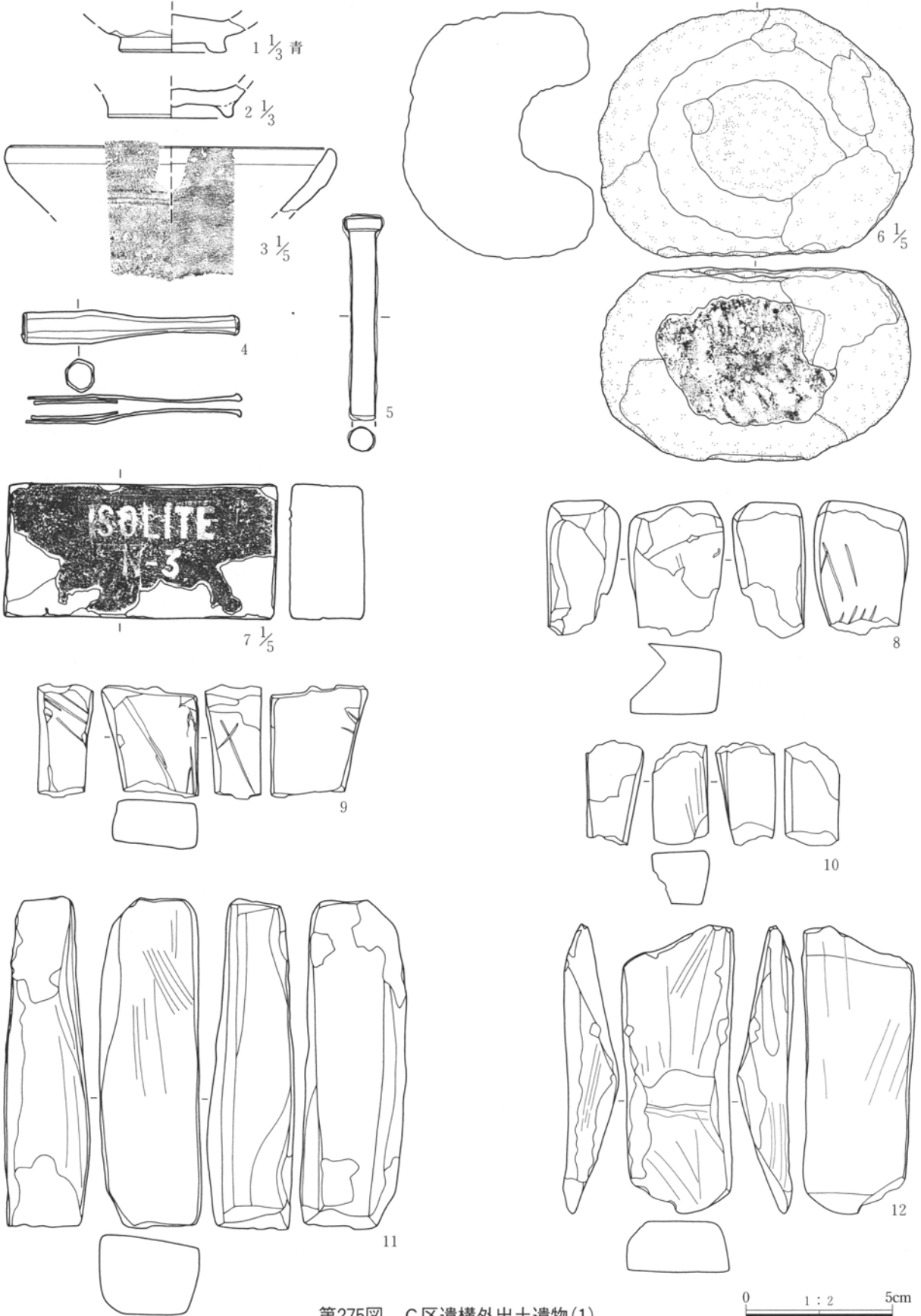
所見 屋敷西堀の西に沿い南北方向に位置する。北は36号溝とほぼ直角に合流し、さらに北側へ延びる。2・36・37号溝は一連の溝で、昭和40年代の前橋市都市計画図に確認できる。底面標高が74.00m程の水路。近現代。

遺物 なし

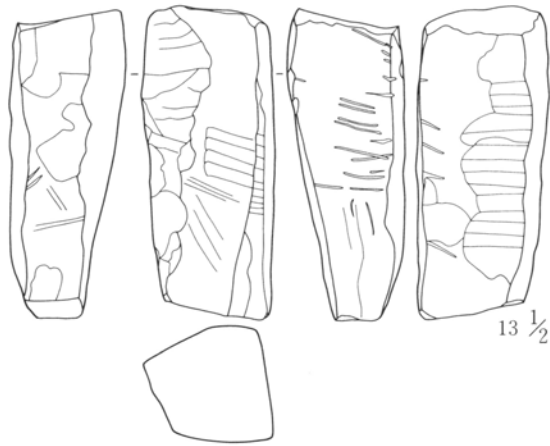


第274図 C区36・37号溝

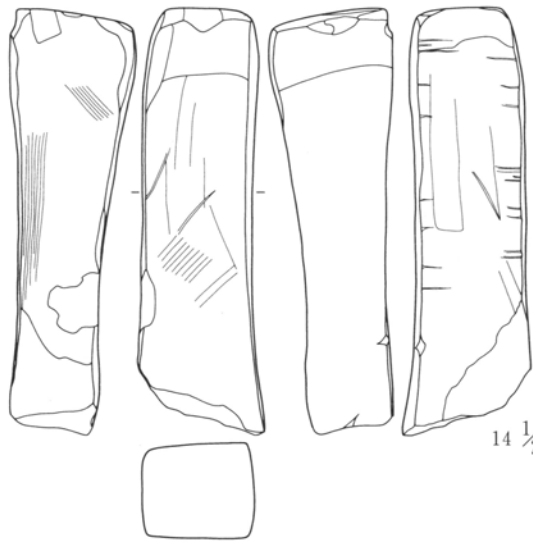
6. 遺構外出土遺物(第275・276図 PL.130)



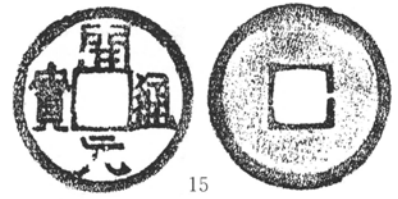
第275図 C区遺構外出土遺物(1)



13 1/2



14 1/2



15



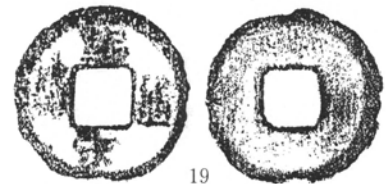
16



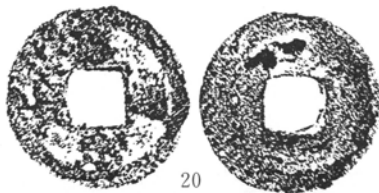
17



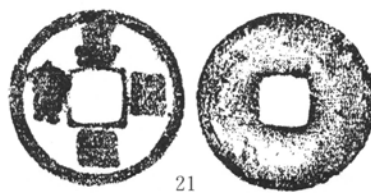
18



19



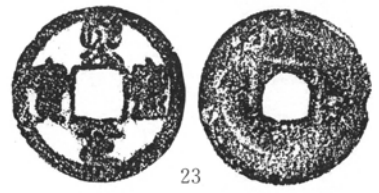
20



21



22



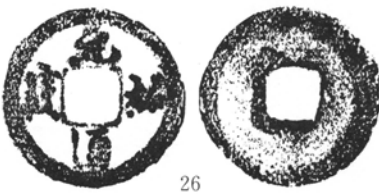
23



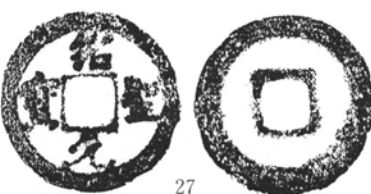
24



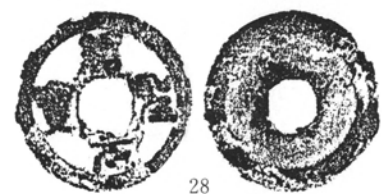
25



26

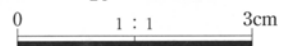


27



28

第276図 C区遺構外出土遺物(2)



第4節 A～C区から検出された遺物の観察

A区 遺物観察表

挿図No 写真No	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値(cm) (推定) <残存値>	色調・石材 焼成	製作技法等の特徴
第12図 PL.88	5住-1 床直	須恵器 皿	口(9.3) 残1/2 高2.1 底4.2	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	やや硬質。底部右回転糸切り、器肉厚い。口縁部強い稜残る。
第12図 PL.88	5住-2 床直	須恵器 皿	口9.2 残完形 高1.8 底5.4	橙 7.5YR6/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り、歪み有り。口縁部補修痕有り。
第12図 PL.88	5住-3 埋没土 高台付塊	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高<2.0> 底(8.0)	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。底部回転糸切り後、付高台。
第12図 PL.88	5住-4 床直	土釜	口(31.0) 残口縁片 高<22.4> 底	にぶい黄橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「く」の字状外反。胴部外面鏡撫で後鏡削り、内面刷毛目。一部いぶし状、褐色。
第12図 PL.88	5住-5 埋没土	土師器 甕	口(18.0) 残口縁片 高<7.9> 底	にぶい黄橙 10YR6/4 酸化	胴部外面鏡削り、内面肩部刷毛目。
第12図 PL.88	5住-6 埋没土	土師器 台付甕	口 残底部片 高<4.3> 底(8.8)	明赤褐 2.5YR5/6 酸化	胴部外面鏡削り、内面鏡撫で。台部横撫で。外面やや剥離、煤付着。
第12図 PL.88	5住-7 埋没土	砥石	長15.1 短3.7	珪質頁岩	PL.88。埋没土。完形。219g。厚1.9cm。砥石として使用か。
第13図 PL.88	6住-1 埋没土	須恵器 皿	口(9.6) 残1/2 高2.7 底(4.8)	橙 5YR6/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り。摩滅気味。
第13図 PL.88	6住-2 埋没土	須恵器 高台付皿	口(13.4) 残1/3 高3.4 底5.6	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内外面摩滅著しい。
第13図 PL.88	6住-3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高<1.7> 底5.5	橙 5YR6/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内面いぶし焼成。暗文。
第13図 PL.88	6住-4 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高<2.2> 底(5.2)	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内外面摩滅著しい。
第14図 PL.88	6住-5 床直	土釜	口(24.0) 残口縁片 高<11.0> 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「く」の字状、外反。胴部外面縦鏡削り、内面肩部刷毛目。赤変、いぶし状。摩滅著しい。
第14図 PL.88	6住-6 床直	土釜	口 残底部片 高<1.5> 底(9.0)	灰黄褐 10YR5/2 酸化	平底、砂粒付着。胴部外面鏡削り。煤付着。
第14図 PL.88	6住-7 埋没土	土師器 台付甕	口 残底部片 高<2.5> 底	浅黄橙 10YR8/3 酸化	内外面指撫で、外面台部刷毛目。
第14図 PL.88	6住-8 床直	羽釜	口(22.5) 残口縁片 高<10.5> 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部やや内傾。口唇部内斜。罌三角形、平ら。
第14図 PL.88	6住-9 埋没土	土錘	長<2.6> 外1.9 内0.5	にぶい黄橙 10YR6/3	PL.88。埋没土。破片。4.8g。筒形か。
第14図 PL.88	6住-10 埋没土	帯飾	長<3.1> 短<1.8>	緑色片岩	PL.88。床直。6.8g。厚0.6cm。貫通する膝り穴2孔。研磨。
第14図 PL.88	6住-11 埋没土	磨石	長15.1 短11.8	石英閃緑岩	PL.88。床直。完形。17.47g。厚4.2cm。上下面共に平滑。
第16図 PL.88	7住-1 埋没土	須恵器 皿	口(17.0) 残1/3 高2.7 底(7.0)	にぶい黄橙 10YR7/2 還元	硬質。底部右回転糸切り。蓋の可能性有り。
第16図 PL.88	7住-2 床直	須恵器 高台付塊	口(12.4) 残1/4 高5.0 底(6.0)	にぶい褐 7.5YR6/3 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。断面黒色。摩滅気味。
第16図 PL.88	7住-3 埋没土	須恵器 塊	口(16.0) 残1/6 高<6.0> 底	にぶい褐 7.5YR6/3 酸化	軟質。内面いぶし焼成、暗文。摩滅気味。
第16図 PL.88	7住-4 床直	須恵器 塊	口(15.0) 残口縁片 高<5.0> 底	橙 2.5YR6/6 酸化	軟質。暗文。
第16図 PL.88	7住-5 床直	須恵器 高台付塊	口(14.6) 残1/3 高6.7 底7.8	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	軟質。内面いぶし焼成、暗文。摩滅気味。
第16図 PL.88	7住-6 床直	土師器 甕	口 残底部片 高<5.5> 底(5.0)	明赤褐 5YR5/6 酸化	胴部外面鏡削り、内面鏡撫で。底部外面鏡削り、いぶし状、黒色。
第16図 PL.88	7住-7 床直	羽釜	口(20.0) 残1/3 高<27.0> 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部内傾。口唇部丸型。罌丸みを持ち上向き。胴部外面鏡削り、内面鏡撫で。内外面上半部煤付着。
第16図 PL.88	7住-8 床直	土錘	長2.3 外1.5 内0.5	灰白 10YR8/1	PL.88。埋没土。1/3。3.7g。筒形。
第16図 PL.88	7住-9 床直	土錘	長2.8 外1.7 内0.4	にぶい橙 7.5YR7/4	PL.88。埋没土。1/4。3.1g。筒形か。
第16図 PL.88	7住-10 床直	土錘	長3.3 外0.9 内0.3	灰褐 5YR5/2	PL.88。埋没土。完形。2.5g。紡錘形。
第16図 PL.88	7住-11 床直	土錘	長3.6 外1.7 内0.5	灰白 10YR8/2	PL.88。埋没土。完形。3.9g。棒状。
第16図 PL.88	7住-12 床直	敲石	長15.4 短6.2	粗粒輝石安山岩	PL.88。床直。完形。895g。厚5.6cm。上下面他多数敲き痕有り。
第18図 PL.89	8住-1 埋没土	灰釉陶器 段皿	口(15.0) 残1/4 高2.4 底(8.5)	灰白 2.5Y7/1	付高台。内面底部平滑。自然釉点状に僅かに付着。
第18図 PL.89	8住-2 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高<1.5> 底(6.0)	赤灰 2.5YR4/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、周辺回転鏡削り、器肉厚い。
第18図 PL.89	8住-3 床直	須恵器 坏	口 残底部片 高<1.8> 底6.1	灰 5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。一部いぶし状。摩滅著しい。
第18図 PL.89	8住-4 床直	須恵器 高台付塊	口(14.6) 残1/3 高5.0 底(6.4)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	軟質。口縁部外面、鏡当てによる稜線多い。内面ややいぶし状、黒色気味、鏡磨き。
第18図 PL.89	8住-5 埋没土	須恵器 坏	口(15.2) 残口縁片 高<4.0> 底	灰白 5Y7/1 還元	軟質。ロクロ目、強く残る。
第18図 PL.89	8住-6 床直	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高<2.0> 底(7.6)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。

第3章 検出された遺構と遺物

第18図 PL.89	8住-7 床直	土釜	口高 <6.5>	残底部片底 (8.0)	橙 5YR6/6 酸化	平底。器肉厚い。4mmの白色粒と赤色粒含む。
第18図 PL.89	8住-8 埋没土	羽釜	口 (25.0) 高 <5.5>	残口縁片底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部内傾、短い。口唇部ほぼ平ら。鈔上向き。
第18図	8住-9	土鍾	長 3.7 外 0.8 内 0.3		にぶい黄橙 10YR7/2	PL.89。埋没土。完形。2.4g。棒状。
第18図	8住-10	土鍾	長 2.9 外 2.0 内 0.5		灰 5Y6/1	PL.89。埋没土。1/4。5.2g。筒形。
第18図	8住-11	土鍾	長 5.3 外 2.0 内 0.4		灰黄 2.5Y7/2	PL.89。埋没土。完形。16.4g。紡錘形。
第18図	8住-12	土鍾	長 5.2 外 2.1 内 0.4		灰白 10YR8/2	PL.89。埋没土。完形。21.8g。紡錘形。
第18図	8住-13	土鍾	長 5.5 外 2.2 内 0.5		灰白 10YR7/2	PL.89。埋没土。完形。20.8g。紡錘形。
第18図	8住-14	砥石	長 7.8 短 2.7 厚 1.3		砥沢石	PL.89。埋没土。1/2。53.2g。4面使用。欠損後も使用。
第20図 PL.89	9住-1 埋没土	灰釉陶器 碗	口 (16.4) 高 <4.2>	残口縁片底	灰白 5Y7/1	口縁上半部施釉、灰オリーブ 5Y6/2。
第20図 PL.89	9住-2 埋没土	須恵器 坏	口高 <1.9>	残底部片底 5.5	灰白 2.5Y8/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。断面底部、黒色。内面底部重ね焼き痕残る。
第20図 PL.89	9住-3 床直	須恵器 坏	口高 <2.6>	残底部片底 6.4	黄灰 2.5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。3mmの白色粒他含む。摩滅著しい。
第20図 PL.89	9住-4 床直	須恵器 坏	口高 <3.2>	残底部片底 6.8	灰黄褐 10YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り。やや摩滅。
第20図 PL.89	9住-5 埋没土	須恵器 碗	口 (13.0) 高 <4.7>	残口縁片底	黄灰 2.5Y6/1 還元	やや軟質。10mmの石粒含む。
第20図 PL.89	9住-6 床直	須恵器 高台付碗	口高 <2.2>	残底部片底 7.2	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。器肉厚い。
第20図 PL.89	9住-7 埋没土	須恵器 高台付皿	口 (16.4) 高 <1.8>	残底部片底 (7.3)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。内面重ね焼き痕。
第20図 PL.89	9住-8 床直	須恵器 甕	口 (56.0) 高 <15.3>	残口縁片底	灰 N5/ 還元	硬質。大型甕。5mmの白色粒僅かに含む。
第20図 PL.89	9住-9 床直	須恵器 甕	口高 <9.5>	残口縁片底	灰 5Y6/1 還元	硬質。大型甕。5mmの白色粒僅かに含む。外面13本1単位の波状文、3条施文。
第22図 PL.89	10住-1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口高 <1.6>	残底部片底 (8.0)	灰白 10YR8/1	付高台。底部内面釉附着。輪状の重ね焼き痕。
第22図 PL.89	10住-2 床直	須恵器 坏	口 (13.1) 高 3.3 底 6.1	残 1/3 底 6.1	黄灰 2.5Y5/1 還元	軟質。底部右回転糸切り、中央器肉薄い。内外面一部黒色。摩滅著しい。
第22図 PL.89	10住-3 埋没土	須恵器 碗	口 (15.0) 高 4.9 底 5.8	残 1/2 底 5.8	灰黄褐 10YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り。一部黒斑。口唇部「U」の字状に欠損。穿孔か。
第22図 PL.89	10住-4 埋没土	須恵器 坏	口 (13.0) 高 <3.5>	残 1/3 底 <5.5>	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部回転糸切りか。摩滅著しく、不明瞭。
第22図 PL.89	10住-5 埋没土	須恵器 坏	口 (13.0) 高 3.0 底 (6.0)	残 1/4 底 (6.0)	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。重ね焼きにより、口縁部灰色、下半部にぶい橙。器肉薄い。
第22図 PL.89	10住-6 埋没土	須恵器 坏	口高 <4.0>	残底部片底 5.3	灰白 5Y8/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。2/3は黒色。やや摩滅。
第22図 PL.89	10住-7 床直	須恵器 高台付碗	口 (16.6) 高 5.0 底 (6.2)	残 1/2 底 (6.2)	明褐灰 7.5YR7/2 還元	軟質。口縁端部灰色、下半部にぶい橙、重ね焼きによる。底部右回転糸切り後、低い付高台。摩滅著しい。
第22図 PL.89	10住-8 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (13.2) 高 4.9 底 (7.2)	残 1/3 底 (7.2)	灰白 2.5YR7/1 還元	軟質。底部付高台。口縁部底部歪み。器面剥離、摩滅著しい。
第22図 PL.89	10住-9 埋没土	須恵器 高台付碗	口 13.5 高 5.8 底 5.6	残 1/2 底 5.6	にぶい橙 5YR6/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。底径小さい。口縁一部煤状の黒色附着。
第22図 PL.89	10住-10 埋没土	須恵器 高台付碗	口 14.3 高 <5.0>	残 3/4 底 6.6	褐灰 7.5YR6/1 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。一部黒色。内面重ね焼き痕。
第22図 PL.89	10住-11 床直	須恵器 高台付碗	口 (14.5) 高	残 2/5 底	灰 5Y5/1 還元	硬質。底部付高台、剥離。口縁部歪み。
第22図 PL.89	10住-12 床直	須恵器 高台付碗	口高 <1.9>	残底部片底 6.3	黒褐 10YR3/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内外面いぶし状、黒色。
第22図 PL.89	10住-13 埋没土	須恵器 高台付碗	口高 <1.8>	残底部片底 (7.2)	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第22図 PL.89	10住-14 埋没土	土師器 高台付碗	口 (14.6) 高 6.3 底 6.0	残 1/2 底 6.0	橙 7.5YR6/6 酸化	底部付高台。外面篋削り、内面篋磨き。一部黒色気味。
第22図 PL.89	10住-15 埋没土	土師器 高台付碗	口 (13.0) 高 <4.3>	残口縁片底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部外面篋削り、内面一部いぶし焼成。
第22図 PL.89	10住-16 埋没土	土師器 高台付碗	口 (14.0) 高 <4.6>	残口縁片底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外面篋削り。
第22図 PL.90	10住-17 埋没土	土師器 坏	口 12.2 高 3.2 底 6.5	残 完形 底 6.5	橙 5YR7/6 酸化	口唇部僅かに内弯。口唇部凹凸有り。底部平ら、型肌。
第22図 PL.90	10住-18 埋没土	土師器 坏	口 12.8 高 3.2 底 7.3	残 完形 底 7.3	にぶい橙 5YR7/4 酸化	口唇部僅かに内弯。底部凹凸あるが安定、型肌。外面口縁部黒色。
第22図 PL.90	10住-19 埋没土	土師器 坏	口 (11.8) 高 3.6 底 (6.0)	残 1/3 底 (6.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反。口唇部僅かに内弯。底部扁平、型肌、器肉薄い。
第22図 PL.90	10住-20 埋没土	土師器 坏	口 12.6 高 3.9 底 7.4	残 2/3 底 7.4	にぶい橙 7.5YR7/3 酸化	口縁部外反。底部平ら、型肌。
第22図 PL.89	10住-21 埋没土	土師器 坏	口 (13.2) 高 3.0 底 (9.2)	残口縁片底 (9.2)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反。底部扁平、歪む、型肌。
第23図 PL.90	10住-22 埋没土	土師器 甕	口 (13.0) 高 <4.4>	残口縁片底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部厚い。胴部外面篋削り、内面篋撫で。摩滅気味。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第23図 PL.90	10住 - 23 埋没土	土師器 甕	口 (12.0) 残口縁片 高 <3.6> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、調整するが直立外反気味。胴部外面 篋削り、内面篋撫で、一部いぶし状、黒色気味。
第23図 PL.90	10住 - 24 床直	土師器 台付甕	口 残 1/2 高 <11.9> 底 8.7	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	胴部外面篋削り、内面篋撫で。台部横撫で。外面一部煤付 着。一部いぶし状、黒色。
第23図 PL.90	10住 - 25 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 残口縁片 高 <10.0> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部やや厚い。胴部外反篋削り、内面刷毛目。口唇部 「U」の字状、穿孔。
第23図 PL.90	10住 - 26 埋没土	土師器 甕	口 (18.0) 残口縁片 高 <8.4> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部やや厚く、短く外反。胴部外面、篋削り内面刷毛目。
第23図 PL.90	10住 - 27 埋没土	土師器 甕	口 (22.0) 残口縁片 高 <6.3> 底	橙 5YR7/6 酸化	口縁部薄く「コ」の字状、撫でを施すが崩れる。胴部外面 篋削り、内面篋撫で。摩滅著しい。
第23図 PL.90	10住 - 28 床直	土師器 甕	口 (22.0) 残口縁片 高 <6.3> 底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部厚く、外反歪む。胴部外反篋削り、内面篋撫で。
第23図 PL.90	10住 - 29 床直	土師器 甕	口 (18.0) 残上半部 高 <15.7> 底	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ外反。胴部外面篋削り、内面篋 撫で、やや厚い。
第23図 PL.90	10住 - 30 埋没土	羽釜	口 19.8 残 3/4 高 27.7 底 7.4	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部大きく内傾。口唇部内斜。鏝上向き。底部篋削り、 平ら。胴部黒斑、下半部赤変。
第23図	10住 - 31	土錘	長 <2.2> 外1.6 内0.5	にぶい褐 7.5YR7/3	PL.90.埋没土。破片。2.6g。紡錘形か。
第23図	10住 - 32	土錘	長3.7 外1.2 内0.3	褐灰 7.5YR4/1	PL.90.埋没土。ほぼ完形。4.2g。細い筒形。いぶし状。
第23図	10住 - 33	鉄製品	長 <5.3> 短 0.9		PL.90.埋没土。破片。厚0.7cm。用途不明。
第25図 PL.90	11住 - 1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 残底部片 高 <3.0> 底 (6.8)	灰白 2.5Y7/1	付高台。口縁部外面一部、釉が垂れる。底部内面一部黒色。 平滑。
第25図 PL.90	11住 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 12.6 残 完形 高 4.3 底 5.7	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。口唇部調整の補修痕あり。
第25図 PL.90	11住 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 13.3 残 3/4 高 4.2 底 7.0	灰白 2.5Y7/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り。底部器肉厚い。
第25図 PL.90	11住 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 12.1 残 3/4 高 3.5 底 6.6	灰白 10YR7/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り。摩滅気味。
第25図 PL.90	11住 - 5 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高 <3.1> 底 (6.6)	灰白 7.5Y8/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。一部黒色。内面重ね焼き痕残る。
第25図 PL.90	11住 - 6 床直	須恵器 高台付碗	口 (14.6) 残 1/2 高 5.3 底 7.8	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。高台部整っているが 口縁部歪む。
第25図 PL.90	11住 - 7 埋没土	須恵器 高台付碗	口 14.4 残 1/2 高 5.0 底 6.4	褐灰 10YR6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。形状は楕円形歪む。 摩滅著しい。
第25図	11住 - 8	土錘	長6.0 外2.0 内0.5	褐灰 10YR6/1	PL.90.埋没土。完形。18.6g。紡錘形。
第25図	11住 - 9	土錘	長5.3 外2.2 内0.4	灰白 10YR8/1	PL.90.埋没土。完形。18.8g。紡錘形。
第25図	11住 - 10	土錘	長3.8 外1.7 内0.4	灰白 10YR8/2	PL.90.埋没土。1/2。7.0g。紡錘形。
第25図 PL.90	11住 - 11 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 残口縁片 高 <7.3> 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部外反、器肉厚い。胴部外面横篋削り、内面横刷毛目。 割れ口に欠損後の穿孔残る。
第25図 PL.90	11住 - 12 埋没土	土師器 甕	口 (14.6) 残口縁片 高 <5.1> 底	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部短く横撫で。胴部内外面、ロクロ調整による横撫で、 内面煤附着。
第25図 PL.90	11住 - 13 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 残 2/3 高 <17.4> 底	にぶい赤褐 5YR6/4 酸化	口縁部外面ボタン状の粘土貼付、補修痕か。胴部外面篋削 り、内面篋撫で。外面黒色。やや摩滅。
第25図 PL.90	11住 - 14 埋没土	土師器 台付甕	口 (12.6) 残 1/4 高 <13.4> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、器肉やや厚く、短い。胴部外面篋削 り内面篋撫で。一部煤附着、褐色。
第25図 PL.90	11住 - 15 埋没土	土師器 甕	口 残胴部片 高 <11.4> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れた形状と思われる。胴部外面縦 篋削り、内面横撫で、器肉やや厚い。外面一部煤附着。
第25図 PL.90	11住 - 16 埋没土	土師器 甕	口 残底部片 高 <1.6> 底 (3.8)	浅黄橙 10YR8/4 酸化	胴部外面縦篋削り、内面横篋撫で。平底、篋削り。
第25図 PL.90	11住 - 17 埋没土	土師器 甕	口 残底部片 高 <2.5> 底 (3.4)	にぶい赤褐 5YR4/3 酸化	胴部外面篋削り、内面篋撫で。底部平底篋削り。外面黒色。
第25図 PL.90	11住 - 18 埋没土	土師器 台付甕	口 10.0 残 2/3 高 <10.7> 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ外反。胴部中央部、最大径。 胴部外面篋削り内面篋撫で。一部煤附着。いぶし状、褐色。
第25図 PL.90	11住 - 19 埋没土	土師器 甕	口 残底部片 高 <4.3> 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	胴部外面、縦篋削り。内面横篋撫で。
第25図 PL.90	11住 - 20 埋没土	須恵器 甕	口 (22.6) 残口縁片 高 <9.3> 底	褐灰 10YR5/1 還元	硬質。ロクロ調整。
第25図 PL.90	11住 - 21 埋没土	土師器 坏	口 (12.8) 残 1/2 高 2.6 底 8.8	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反。底部扁平、篋削り。器高低い。
第25図 PL.90	11住 - 22 埋没土	土師器 坏	口 (10.2) 残口縁片 高 2.8 底 (7.4)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部やや外反。底部扁平、篋削り。
第25図 PL.90	11住 - 23 埋没土	土師器 坏	口 (12.3) 残口縁片 高 3.0 底 (8.3)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反、先端内弯気味。底部平ら篋削り。
第26図 PL.91	12住 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高 <2.2> 底 (10.0)	白灰 2.5Y8/1 還元	硬質。底部と周辺、回転篋削り調整。
第26図 PL.91	12住 - 2 埋没土	須恵器 高台付碗	口 残底部片 高 <2.2> 底 7.2	にぶい黄橙 10YR7/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。
第26図 PL.91	12住 - 3 埋没土	須恵器 碗	口 (16.9) 残口縁片 高 <2.7> 底	浅黄 2.5Y7/3 還元	軟質。器肉薄い。剥離、摩滅著しい。
第26図 PL.91	12住 - 4 埋没土	須恵器 碗	口 (21.0) 残口縁片 高 <3.5> 底	灰 N6/1 還元	硬質。口唇部外反。
第26図 PL.91	12住 - 5 埋没土	須恵器 高台付碗	口 残底部片 高 <2.2> 底 6.8	灰黄褐 10YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。外面黒色気味。

第3章 検出された遺構と遺物

第26図 PL.91	12住 - 6 埋没土	土師器 坏	口 (13.0) 残口縁片 高 3.2 底 (9.3)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反。底部型肌。扁平。
第26図 PL.91	12住 - 7 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 残口縁片 高 <2.8> 底 (6.8)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反。口唇部僅かに内弯。底部斲削り、扁平。
第27図 PL.91	12住 - 8 埋没土	土釜	口 (28.0) 残口縁片 高 <8.8> 底	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部短く、大きく外反、一部黒斑。
第27図 PL.91	12住 - 9 埋没土	羽釜	口 (17.4) 残上半部 高 <14.3> 鏝 (22.6)	にぶい黄褐 10YR5/4 酸化	口縁部内傾。口唇部丸い。鏝太い三角形、やや下向き。
第27図 PL.91	12住 - 10 埋没土	羽釜	口 (18.0) 残上半部 高 <21.8> 鏝 (22.8)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部内傾。口唇部丸く内斜。鏝三角形、上向き。指頭圧痕残る。歪み有り。
第27図 PL.91	12住 - 11 埋没土	羽釜	口 (21.2) 残口縁片 高 <8.8> 鏝 (24.0)	橙 2.5YR7/8 酸化	口縁部僅かに内傾。口唇部平ら。鏝三角形、平ら。
第27図 PL.91	12住 - 12 埋没土	羽釜	口 (20.0) 残口縁片 高 <5.7> 鏝 (21.6)	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部直立、短い。鏝丸みを持ち平ら。一部黒斑。
第27図 PL.91	12住 - 13 埋没土	土釜	口 残底部片 高 <4.3> 底 (11.0)	橙 5YR6/8 酸化	底部平底、調整痕不明。
第27図 PL.91	12住 - 14 埋没土	土師器 台付甕	口 残台部片 高 <3.4> 底 (9.6)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	胴部内面斲撫で。台部器肉厚い。
第27図 PL.91	12住 - 15 埋没土	土錘	長 3.4 外 0.9 内 0.3	灰黄褐 10YR6/2	PL.91。埋没土。ほぼ完形。2.4 g。細い紡錘形。
第27図 PL.91	12住 - 16 埋没土	鉄製品	長 9.6 短 4.7 厚 0.3		PL.91。埋没土。完形。計測値5.4×2.4×0.9。用途不明。
第27図 PL.91	12住 - 17 埋没土	帯飾	長 3.9 短 2.8 厚 0.7	珪質頁岩	PL.91。掘り方。平滑。裏面2穴1付、臍り穴1ヶ所使用。
第29図 PL.91	13住 - 1 床直	須恵器 皿	口 (9.0) 残 1/3 高 2.6 底 (5.2)	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	軟質。底部静止糸切り。周辺斲削り。一部黒色。
第29図 PL.91	13住 - 2 埋没土	須恵器 碗	口 残底部片 高 <1.7> 底 (6.0)	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第29図 PL.91	13住 - 3 床直	須恵器 高台付碗	口 11.7 残 完形 高 4.1 底 6.3	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	軟質。底部糸切り離し後、付高台。口縁部1/3の範囲、煤付着。
第29図 PL.91	13住 - 4 床直	須恵器 高台付碗	口 残底部片 高 <1.5> 底 (5.6)	にぶい黄橙 10YR7/3 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。
第29図 PL.91	13住 - 5 床直	羽釜	口 残底部片 高 <9.4> 底 7.0	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	平底。一部煤付着、褐色。
第29図 PL.91	13住 - 6 床直	把手付甕	口 残把手片 径 11.0 径 3.3	灰黄褐 10YR6/2 酸化	上半部二次加熱赤変。端部黒色、傾斜する。
第29図 PL.91	13住 - 7 床直	土錘	長 4.0 外 1.9 内 0.3	黄灰 2.5YR5/1	PL.91。埋没土。完形。12.6 g。紡錘形。いぶし状、一部黒色。
第29図 PL.91	13住 - 8 床直	釘	長 <6.4> 短 1.1		PL.91。床直。1/2。厚0.6cm。
第29図 PL.91	13住 - 9 床直	釘	長 3.3 短 0.6		PL.91。床直。破片。厚0.4cm。
第29図 PL.91	13住 - 10 床直	磨石	長 <7.1> 短 5.2	石英閃緑岩	PL.91。床直。1/3。255 g。厚4.8cm。擦痕有り。
第30図 PL.91	14住 - 1 床直	須恵器 高台付碗	口 残底部片 高 <2.7> 底 6.6	にぶい黄橙 10YR7/2 酸化	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第30図 PL.91	14住 - 2 床直	須恵器 高台付碗	口 (15.1) 残 1/2 高 5.6 底 7.4	明褐灰 7.5YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。一部黒斑、赤変。内面摩滅著しい。
第32図 PL.91	15住 - 1 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残体部片 高 <2.6> 厚 0.4	浅黄橙 7.5YR8/3	硬質。陰刻花文。施釉、灰オリーブ5Y6/2。
第32図 PL.91	15住 - 2 床直	灰釉陶器 皿	口 (16.8) 残 1/2 高 3.3 底 9.0	灰白 2.5Y7/1	付高台。体部下半回転斲削り。漬け掛け、オリーブ灰2.5GY6/1。底部内面中央も付着。輪状の重ね焼き痕。
第32図 PL.91	15住 - 3 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (10.4) 残 1/3 高 3.7 底 4.6	灰白 2.5Y8/1	付高台。口唇部漬け掛け、オリーブ灰10Y5/2。
第32図 PL.91	15住 - 4 埋没土	須恵器 短頸壺摘	口 残つまみ 高 <1.8> 摘径 3.5	灰白 10YR8/1 還元	やや軟質。ボタン状摘み。頂部回転糸切りか、接合部反転した痕残る。
第32図 PL.91	15住 - 5 床直	須恵器 坏	口 (6.9) 残 1/3 高 4.8 底 (6.1)	にぶい黄 2.5YR6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り。摩滅著しい。
第32図 PL.91	15住 - 6 床直	須恵器 坏	口 残底部片 高 <2.0> 底 (6.2)	にぶい黄橙 10YR6/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り。摩滅気味。
第32図 PL.91	15住 - 7 床直	須恵器 高台付碗	口 残底部片 高 <1.8> 底	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。口縁部中位で欠損後、対応する2ヶ所を5 cm 欠く。高台部も欠損し、耳皿としての二次利用か。
第32図 PL.92	15住 - 8 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (14.2) 残 1/4 高 5.5 底 6.9	灰白 10YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅気味。
第32図 PL.92	15住 - 9 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (14.4) 残 1/4 高 5.7 底 6.0	にぶい橙 5YR6/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。径小さい。摩滅気味。
第32図 PL.92	15住 - 10 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (13.2) 残 2/3 高 4.7 底 6.3	にぶい黄 2.5Y6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第32図 PL.92	15住 - 11 埋没土	須恵器 高台付碗	口 14.4 残 1/2 高 5.7 底 6.2	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。付高台。歪み有り。摩滅気味。
第32図 PL.92	15住 - 12 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (14.4) 残 1/3 高 5.5 底 (6.2)	白灰 5YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。径小さい。6 mm の砂粒僅かに含む。摩滅気味。
第32図 PL.92	15住 - 13 床直	須恵器 高台付碗	口 (15.5) 残 1/2 高 <5.7> 底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	軟質。底部回転糸切り後、付高台。端部欠損。胎土良好。
第32図 PL.91	15住 - 14 床直	須恵器 高台付碗	口 (13.8) 残口縁片 高 <5.1> 底	灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。器肉薄い。摩滅気味。
第32図 PL.91	15住 - 15 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (13.6) 残口縁片 高 <3.8> 底	黄灰 2.5Y6/1 還元	軟質。外面一部黒斑。摩滅気味。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第32図 PL.91	15住 - 16 床直	須恵器 高台付碗	口 高 <3.9>	残底部片 底 (6.1)	にぶい褐 7.5YR6/3 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第32図 PL.91	15住 - 17 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <3.0>	残底部片 底 6.4	にぶい黄橙 10YR7/3 酸化	軟質。付高台。摩滅著しい。
第32図 PL.91	15住 - 18 床直	須恵器 高台付碗	口 高 <1.7>	残底部片 底 7.0	灰白 N7/ 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第32図 PL.92	15住 - 19 埋没土	土師器 坏	口 高 8.6 高 3.5	残 1/3 底 6.2	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部外反歪み有り。器肉薄い。底部型肌。
第32図 PL.92	15住 - 20 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 3.2	残 1/4 底 (6.8)	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	口唇部僅かに内弯。底部型肌。
第32図 PL.92	15住 - 21 埋没土	土師器 坏	口 高 <4.0>	残底部片 底 8.0	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部型肌。
第32図 PL.92	15住 - 22 床直	土師器 坏	口 (13.0) 高 3.2	残口縁片 底 (8.6)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反。器肉薄い。底部型肌。いぶし状、褐色。
第33図 PL.92	15住 - 23 埋没土	須恵器 片口鉢	口 23.8 高<14.0>	残 3/4 底	灰 5Y6/1 還元	軟質。体部下位、横篔割り調整。口縁部楕円形。
第33図 PL.92	15住 - 24 床直	須恵器 甕	口 (20.0) 高 <6.5>	残口縁片 底	灰 N4/ 酸化	硬質。口縁部下半部、縦10mmの篔当て、連続して巡る。
第33図 PL.92	15住 - 25 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 高 (23.5)	残口底片 底 3.0	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れる。底部篔割り、平底、一部黒斑。
第33図 PL.92	15住 - 26 埋没土	土師器 甕	口 (28.0) 高 <6.5>	残口縁片 底	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れる。胴部外面横篔割り、内面横篔撫で。
第33図 PL.92	15住 - 27 埋没土	土師器 甕	口 (20.6) 高 <8.9>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れる。胴部外面横篔割り、摩滅著しい。
第33図 PL.92	15住 - 28	紡錘車	長 4.9	短 4.9	砥沢石	PL.92。埋没土。完形。35.1g。厚1.0cm。不整形。
第33図 PL.92	15住 - 29	敲石	長 19.5	短 6.0	ひん岩	PL.92。埋没土。完形。1.092kg。厚6.1cm。敲き痕、擦痕有。
第33図 PL.92	15住 - 30	敲石	長 12.1	短 8.1	粗粒輝石安山岩	PL.92。埋没土。完形。755g。厚4.8cm。敲き痕、擦痕有。
第33図 PL.92	15住 - 31	磨石	長 7.9	短 6.5	粗粒輝石安山岩	PL.92。埋没土。完形。164g。厚1.8cm。側面に敲き痕。
第35図 PL.92	16住 - 1 床直	土師器 坏	口 13.0 高 3.7	残 完形 底 8.0	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部内弯気味に立ち上がる。底部篔割り、扁平。器肉薄い。摩滅著しい。
第35図 PL.92	16住 - 2 埋没土	土師器 甕	口 高 <6.0>	残肩部片 厚 0.3	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「く」の字状、器肉薄い。
第35図 PL.92	16住 - 3 床直	土師器 甕	口 (20.0) 高<12.9>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部大きく外反。長胴で外面縦篔割り、内面横篔撫で。器肉やや厚い。いぶし状、褐色。
第35図 PL.92	16住 - 4	磨石	長 16.8	短 7.2	石英閃緑岩	PL.92。床直。完形。839g。厚3.9cm。端部に敲き痕。
第35図 PL.92	16住 - 5	磨石	長 9.5	短 4.9	粗粒輝石安山岩	PL.92。埋没土。完形。180g。厚2.5cm。
第35図 PL.92	16住 - 6	磨石	長 11.7	短 4.4	粗粒輝石安山岩	PL.92。埋没土。完形。185g。厚2.5cm。平滑、擦痕。
第35図 PL.92	16住 - 7	磨石	長<10.4>	短<8.0>	粗粒輝石安山岩	PL.92。埋没土。破片。<398>g。厚3.2cm。片面いぶし状。
第37図 PL.93	17住 - 1 埋没土	緑釉陶器 碗	口 (17.0) 高 <3.7>	残口縁片 底	灰白 10YR8/2	軟質。陰刻花文。施釉、オリープ灰10Y6/2。一部剥離。
第37図 PL.93	17住 - 2 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (14.0) 高 4.2	残 1/3 底 (7.3)	明オリープ灰 5GY7/1	付高台。口縁部施釉、オリープ灰2.5GY6/1。釉剥離気味。
第37図 PL.93	17住 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 (13.0) 高 3.7	残 1/3 底 5.0	灰白 2.5Y8/1 還元	軟質。底部回転糸切り。黒斑。摩滅著しい。
第37図 PL.93	17住 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.7>	残底部片 底 5.5	灰 5Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第37図 PL.93	17住 - 5 床直	須恵器 高台付碗	口 13.3 高 5.0	残 完形 底 6.0	灰白 5YR8/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。一部黒斑。
第37図 PL.93	17住 - 6 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.5>	残底部片 底 6.7	灰白 5Y7/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉厚い。
第37図 PL.93	17住 - 7 埋没土	須恵器 高台付碗	口 14.7 高 5.6	残 3/4 底 7.1	灰白 7.5Y7/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第37図 PL.93	17住 - 8 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <4.3>	残底部片 底 6.2	明褐灰 7.5YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内面底部回転伴う篔撫でによる稜、やや強く残る。摩滅気味。
第37図 PL.93	17住 - 9 埋没土	土師器 甕	口 (21.0) 高<17.2>	残上半部 底	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ厚い。胴部外面一部黒色付着。篔割り、内面刷毛目。摩滅。
第38図 PL.93	18住 - 1 床直	須恵器 坏	口 (12.4) 高 3.8	残 2/3 底 6.2	にぶい褐 7.5YR6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り、黒斑。
第38図 PL.93	18住 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 (9.0) 高 2.3	残 1/6 底 (5.0)	橙 5YR6/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り。摩滅気味。
第38図 PL.93	18住 - 3 床直	須恵器 碗	口 15.1 高 4.6	残 完形 底 7.4	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り。口縁部回転伴う篔撫で、凹み残る。
第38図 PL.93	18住 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.0>	残底部片 底 7.0	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り。18住-3に近似。
第39図 PL.93	18住 - 5 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (11.2) 高 4.0	残 1/4 底 (7.0)	灰 10Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。付高台。
第39図 PL.93	18住 - 6 埋没土	青磁 碗	口 高 <2.5>	残体部片 厚 0.6	灰白 2.5Y7/1	貫入。施釉、明オリープ灰2.5GY7/1。龍泉窯系。
第39図 PL.93	18住 - 7 埋没土	羽釜	口 (25.0) 高<10.5>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部内傾、口唇部平ら。鈔上向き。胴部外面縦篔割り、摩滅気味。
第39図 PL.93	18住 - 8	金属片	長 4.3	短 2.9		PL.93。埋没土。破片。厚0.5cm。用途不明。
第39図 PL.93	18住 - 9	砥石	長 <5.0>	短 4.1	砥沢石	PL.93。埋没土。破片。100g。厚2.9cm。四面使用。

第3章 検出された遺構と遺物

第41図 PL.93	19住 - 1 床直	須恵器 蓋	口 (17.0) 高 2.4	残 完形 天径 6.8	灰白 2.5YR7/1 還元	軟質。端部短く折れ、一部補修痕。天井部右回転糸切り。5mmの白色粒含む。摩滅気味。痛み無し。
第41図 PL.93	19住 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 (12.0) 高 3.9	残 1/4 底 (4.6)	灰黄褐 10YR5/2 還元	軟質。底部右回転糸切り。重ね焼きにより、口唇部以外黒色。摩滅気味。
第41図 PL.93	19住 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 高 <0.9>	残底部片 底 <5.8>	灰白 5Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。内面やや摩滅。
第41図 PL.93	19住 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 (14.0) 高 3.9	残 1/3 底 6.4	にぶい赤褐 2.5YR5/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り。口唇部外面黒色。
第41図 PL.93	19住 - 5 床直	須恵器 坏	口 12.9 高 3.2	残 完形 底 5.4	灰白 10YR7/1 酸化	軟質。底部右回転糸切り。口縁部楕円形。摩滅著しい。
第41図 PL.93	19住 - 6 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <4.4>	残底部片 底 7.4	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。7mmの白色粒僅かに含む。
第41図 PL.93	19住 - 7 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.0	残 1/2 底 (8.0)	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部外反。口唇部僅かに内弯。底部篋削り、平ら。
第41図 PL.93	19住 - 8 埋没土	土師器 坏	口 (11.4) 高 3.0	残 1/3 底 8.4	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部外反。底部篋削り、平ら。
第41図 PL.93	19住 - 9 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <5.7>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れる。口唇部大きく外反、やや厚く短い。胴部外面篋削り、内面刷毛目。
第41図 PL.93	19住 - 10 埋没土	土師器 甕	口 (18.8) 高 <6.3>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、器肉薄い。胴部外面横篋削り、篋撫で。
第41図 PL.93	19住 - 11 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <4.8>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、摩滅気味。
第41図 PL.93	19住 - 12 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 高 <6.8>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れる。胴部外面横篋削り、内面篋撫で。摩滅気味。
第41図 PL.93	19住 - 13 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 高 <8.5>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、下部崩れる。器肉薄い。胴部外面篋削り、内面篋撫で。外面一部黒斑。
第42図 PL.93	19住 - 14 埋没土	土師器 甕	口 (18.0) 高 <13.8>	残上半部 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部緩やかに外反。胴部外面横篋削り、内面篋撫で。器肉薄い。
第42図 PL.93	19住 - 15 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 高 <10.6>	残上半部 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部緩やかな「く」の字状、歪み有り。胴部外面横篋削り、内面横篋撫で。器肉薄い。
第42図 PL.93	19住 - 16 埋没土	土師器 甕	口 (22.0) 高 <5.2>	残口縁片 底	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ緩やかに外反。器肉薄い。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第42図 PL.93	19住 - 17 埋没土	土師器 甕	口 (22.0) 高 <5.2>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、下部崩れる。
第42図 PL.93	19住 - 18 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <11.4>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、器肉薄い。胴部一部黒斑、外面篋削り、内面篋撫で。
第42図 PL.93	19住 - 19 埋没土	土師器 甕	口 高 <7.4>	残底部片 底 (3.6)	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り扁平。胴部外面篋削り、内面篋撫で。器肉薄い。
第42図 PL.93	19住 - 20 埋没土	土師器 甕	口 高 <9.2>	残底部片 底 3.5	橙 5YR6/6 酸化	胴部外面縦篋削り、内面篋撫で剥離。器肉薄い。
第42図 PL.93	19住 - 21 埋没土	土師器 甕	口 高 <8.0>	残底部片 底 (3.9)	橙 5YR6/6 酸化	胴部外面縦篋削り、内面篋撫で。内面いぶし状、黒色。器肉薄い。
第42図 PL.93	19住 - 22 埋没土	土師器 甕	口 高 <2.0>	残底部片 底 (4.4)	明赤褐 5YR5/6 酸化	底部篋削り、平ら。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第42図	19住 - 23	鉄製品	長 <5.8>	短 2.2		PL.93.埋没土。茎破片。厚0.4cm。用途不明。
第42図	19住 - 24	刀子	長 <8.4>	短 0.9		PL.93.掘り方。茎破片。厚0.4cm。木質部。
第42図	19住 - 25	磨石	長 8.8	短 5.9	二ツ岳軽石	PL.93.床直。1/2。149g。厚4.6cm。二次利用。擦痕有り。
第42図	19住 - 26	敲石	長 12.4	短 4.9	溶結凝灰岩	PL.93.埋没土。完形。348g。厚4.2cm。敲き痕、擦痕有り。
第42図	19住 - 27	敲石	長 17.7	短 8.0	粗粒輝石安山岩	PL.93.床直。完形。1.368kg。厚6.3cm。磨面。
第43図 PL.94	20住 - 1 床直	須恵器 坏	口 (12.5) 高 4.2	残 1/3 底 6.3	灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り、やや厚い。摩滅気味。
第43図 PL.94	20住 - 2 埋没土	土師器 坏	口 11.6 高 3.5	残 1/2 底 8.8	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部外反、楕円形歪み有り。底部篋削り、扁平。
第43図 PL.94	20住 - 3 埋没土	土師器 坏	口 12.5 高 3.7	残 完形 底 8.0	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反、体部との境に稜。底部篋削り、扁平。器高低い。
第44図 PL.94	20住 - 4 埋没土	土師器 坏	口 (12.4) 高 3.3	残 1/4 底 (8.6)	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部外反。口唇部僅かに内弯。底部平ら、型肌成形の後周辺篋削り。外面一部いぶし状。摩滅気味。
第44図 PL.94	20住 - 5 床直	土師器 坏	口 12.7 高 3.7	残 完形 底 4.3	橙 5YR7/8 酸化	口縁部外反。口唇部強く内弯。歪み。底部篋削り、扁平。摩滅気味。
第44図 PL.94	20住 - 6 床直	土師器 坏	口 11.6 高 3.4	残 完形 底 8.5	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部外反。口唇部内弯。歪み著しい。底部篋削り、扁平。
第44図 PL.94	20住 - 7 埋没土	土師器 鉢	口 (19.0) 高 9.5	残 1/3 底 (10.8)	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部先端やや内弯。体部篋削り、内面横撫で。底部篋削り扁平。
第44図 PL.94	20住 - 8 床直	土師器 甕	口 (21.0) 高 <8.2>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部外面篋削り、内面篋撫で。器肉薄い。
第44図	20住 - 9	土錘	長 3.8 外 1.9 内 0.8		灰白 10YR8/2	PL.94.埋没土。ほぼ完形。9.0g。紡錘形。
第44図	20住 - 10	刀子	長 <13.7>	短 1.1		PL.94.埋没土。破片。厚0.6cm。
第44図	20住 - 11	刀子	長 <13.2>	短 1.8		PL.94.床直。破片。1/2。厚0.7cm。
第44図	20住 - 12	鉄鏃	長 9.8	短 1.0		PL.94.埋没土。完形。厚0.3cm。
第44図	20住 - 13	紡錘車	長 4.4 短 4.3 厚 1.3		蛇文岩	PL.94.埋没土。ほぼ完形。31.8g。刻書「有本」「大用」。
第44図	20住 - 14	磨石	長 12.9	短 4.1	粗粒輝石安山岩	PL.94.埋没土。完形。335g。厚3.5cm。擦痕有り。
第44図	20住 - 15	石皿	長 17.7	短 15.8	粗粒輝石安山岩	PL.94.床直。完形。2.662kg。厚6.0cm。擦痕有り。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第46図 PL.94	21住-1 床直	須恵器 蓋	口 16.6 高 2.8	残 完形 摘径 4.4	白灰 10Y7/1 還元	硬質。環状摘み接合後、天井部篋削り。端部短く折れる。
第46図 PL.94	21住-2 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.8	残口縁片 底 (6.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反、口唇部弱い稜。底部型肌。
第46図	21住-3	磨石	長 13.9	短 4.3	粗粒輝石安山岩	PL.94。床直。完形。493g。厚4.8cm。全面平滑。
第46図	21住-4	磨石	長 10.7	短 3.6	ひん岩	PL.94。床直。完形。235g。厚3.3cm。
第48図 PL.94	22住-1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (15.0) 高 <4.7>	残口縁片 底	灰 7.5Y5/1 還元	軟質。全体いぶし焼成、黒色。
第48図 PL.94	22住-2 床直	土師器 塊	口 14.3 高 5.3	残 2/3 底 5.8	橙 7.5YR7/6 酸化	砂底、平ら。
第48図 PL.94	22住-3 埋没土	土師器 坏	口 (12.3) 高 3.3	残口縁片 底 (10.4)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部内弯。底部篋削り、扁平。器肉薄い。
第48図 PL.94	22住-4 埋没土	土師器 坏	口 (13.2) 高 2.8	残口縁片 底 (10.8)	橙 5YR7/6 酸化	口縁部僅かに内弯。底部篋削り、扁平。器肉薄い。
第48図 PL.94	22住-5 埋没土	土師器 坏	口 (14.0) 高 3.7	残 1/3 底 (9.2)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反、下半部一段篋削り、底部篋削り、扁平。
第48図 PL.94	22住-6 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <5.0>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。内外面摩滅気味。
第48図 PL.94	22住-7 埋没土	土師器 甕	口 (14.0) 高 <5.3>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや厚く崩れる。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第48図 PL.94	22住-8 埋没土	土師器 高坏	口 15.6 高 <5.8>	残坏部片 底	橙 5YR6/6 酸化	坏部内外面、暗文施す。脚部との接合ホゾを差し込む。胎土水漉し緻密。剥離気味。
第48図 PL.94	22住-9 床直	土師器 壺	口 (16.0) 高 <5.9>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部外反。内外面共に放射状、暗文。
第48図 PL.94	22住-10 埋没土	須恵器 甕	口 残胴部片 高 <38.5> 厚 0.8		灰 N5/ 還元	硬質。胴部外面平行叩き目、内面当て目の後、平行叩き目。5mmの白色粒少量含む。
第48図	22住-11	土錘	長 6.3 外 2.1 内 0.3		黒 10YR2/1	PL.94。埋没土。完形。21.1g。紡錘形。いぶし状、黒色。
第48図	22住-12	土錘	長 4.8 外 1.8 内 0.3		褐灰 10YR6/1	PL.94。埋没土。ほぼ完形。15.7g。紡錘形。いぶし状褐色。
第48図	22住-13	土錘	長 5.0 外 1.8 内 0.4		黒 2.5Y2/1	PL.94。埋没土。完形。13.5g。紡錘形。いぶし状、黒色。
第49図 PL.95	23住-1 埋没土	須恵器 坏	口 12.8 高 3.6	残 完形 底 7.2	灰 7.5Y6/1 還元	硬質。底部回転糸切り後、回転篋削り調整。内外面に火襷。
第49図 PL.95	23住-2 床直	須恵器 高台付塊	口 12.5 高 <1.9>	残底部片 底 (7.0)	にぶい黄橙 10YR6/4 酸化	軟質。底部回転糸切り後、付高台。割れ口に穿孔か。
第49図 PL.95	23住-3 埋没土	土師器 坏	口 (11.3) 高 <3.0>	残口縁片 底 (9.5)	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部緩やかに外反。底部篋削り、扁平。
第49図 PL.95	23住-4 埋没土	土師器 甕	口 12.8 高 <1.7>	残底部片 底 (5.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、平底、黒斑。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第49図 PL.95	23住-5 床直	土師器 台付甕	口 12.5 高 <15.7>	残 3/4 胴径 15.3	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、僅かに崩れ外反。胴部外面篋削り、内面篋撫で。台部欠損。
第49図	23住-6	磨石	長 12.3	短 3.7	緑色片岩	PL.95。床直。完形。115g。厚1.8cm。擦痕有り。
第49図	23住-7	磨石	長 13.6	短 5.1	変質安山岩	PL.95。床直。完形。562g。厚3.9cm。全体平滑。
第50図 PL.95	24住-1 埋没土	須恵器 坏	口 (11.6) 高 3.8	残口縁片 底 (5.6)	にぶい黄橙 10YR6/3 還元	軟質。底部平底。口縁部いぶし状、褐色。摩滅気味。
第50図 PL.95	24住-2 埋没土	須恵器 坏	口 12.3 高 3.7	残 1/3 底 (5.0)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部平底。底部黒斑。摩滅気味。
第50図 PL.95	24住-3 床直	須恵器 坏	口 14.4 高 <1.3>	残底部片 底 (8.0)	灰白 5Y7/1 還元	硬質。底部、口縁下部、回転伴う篋削り調整。底部割れ口に穿孔。
第50図 PL.95	24住-4 床直	須恵器 高台付塊	口 (14.4) 高 4.4	残 1/3 底 6.8	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。器肉薄い。摩滅著しい。
第51図 PL.95	24住-5 床直	須恵器 高台付塊	口 (15.2) 高 5.3	残 1/2 底 6.7	にぶい黄橙 10YR6/3 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台か。一部黒斑、赤変。摩滅著しい。
第51図 PL.95	24住-6 床直	須恵器 高台付塊	口 14.0 高 5.2	残 1/2 底 5.8	にぶい橙 5YR6/4 酸化	軟質。付高台。底部摩滅。口縁部歪む。
第51図 PL.95	24住-7 床直	土師器 坏	口 (11.7) 高 3.7	残 1/2 底 (7.0)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	底部型肌、扁平。
第51図 PL.95	24住-8 床直	土師器 甕	口 (20.1) 高 (23.7)	残 1/4 底 4.5	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ歪む、器肉厚い。一部黒斑。胴部一部煤付着。
第51図 PL.95	24住-9 床直	羽釜	口 (25.8) 高 <22.5>	残口縁片 底 (27.8)	にぶい橙 7.5YR7/3 酸化	口縁部直立。口唇部平ら。鏝下向き気味。一部黒斑。赤変。
第51図	24住-10	土錘	長 4.9 外 1.8 内 0.8		浅黄橙 10YR8/3	PL.95。埋没土。完形。9.9g。紡錘形。
第51図	24住-11	磨石	長 9.7 短 2.9 厚 2.2		粗粒輝石安山岩	PL.95。床直。完形。85g。全面平滑。
第53図 PL.95	25住-1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 7.8 高 <3.4>	残底部片 底 7.0	灰白 5Y7/1	付高台。体部下回転篋削り。漬け掛け、灰白2.5Y8/1。内面底部重ね焼き痕、黒色・金色付着、平滑。
第53図 PL.95	25住-2 床直	土師器 耳皿	口 7.8 高 2.1	残 完形 底 3.4	にぶい橙 7.5YR7/4 還元	口縁部対応する2ヶ所、指で摘んで内弯する。内面撫で、外面指押さえ。底部小さく平ら、砂底。
第53図 PL.95	25住-3 床直	須恵器 坏	口 13.8 高 4.3	残 完形 底 6.6	黄灰 2.5Y6/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り。楕円形。
第53図 PL.95	25住-4 床直	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.3	残口縁片 底 (7.5)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部緩やかに外反。底部篋削り、平ら。
第53図 PL.95	25住-5 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (14.0) 高 5.4	残 1/3 底 6.0	灰白 10YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。径小さい。一部赤変。

第3章 検出された遺構と遺物

第53図 PL.95	25住 - 6 床直	須恵器 高台付塊	口 12.8 高 5.3	残底 3/4 底 6.4	灰白 2.5Y8/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。楕円形。摩滅気味。
第53図 PL.95	25住 - 7 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (14.0) 高 5.0	残底 1/4 底 (6.4)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。接合粗雑。摩滅気味。
第53図 PL.95	25住 - 8 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <2.2>	残底部片 底 (7.6)	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。径やや大きい。摩滅著しい。
第53図 PL.95	25住 - 9 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <2.1>	残底部片 底 7.0	明褐灰 7.5YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。断面黒色。
第53図 PL.95	25住 - 10 埋没土	磨石	長 11.2	短 3.6	砂質頁岩	PL.95。埋没土。完形。168g。厚2.3cm。全体ほぼ平滑。
第54図 PL.95	26住 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 (13.3) 高 3.5	残口縁片 底 (6.0)	暗灰黄 2.5Y5/2 還元	軟質。底部回転糸切り。全体いぶし状、黒色。
第54図 PL.95	26住 - 2 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.9>	残底部片 底 6.4	にぶい黄 2.5Y6/3 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。底部外面黒色、内面一部赤変。
第54図 PL.95	26住 - 3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <3.0>	残底部片 底	橙 7.5YR7/6 酸化	軟質。付高台。端部欠損、底部中央薄い。内面いぶし状、褐色。
第54図 PL.95	26住 - 4 埋没土	土師器 坏	口 高 <2.1>	残底部片 底 (6.8)	灰黄褐 10YR5/2 酸化	型肌。底部篋削り、扁平。外面いぶし状、褐色。
第55図 PL.95	27住 - 1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 14.8 高 6.0	残底 2/3 底 8.3	褐 7.5YR4/4 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。高台部一部、歪み有り。5mmの砂粒含む。内面剥離。
第55図 PL.95	27住 - 2 埋没土	羽釜	口 (23.0) 高 <9.7>	残口縁片 鏝 (28.4)	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化	口縁部内傾、先端丸型。鏝三角形、水平、歪み有り。胴部外面縦篋削り、内面篋撫で。
第57図 PL.96	28住 - 1 埋没土	灰陶陶器 高台付碗	口 高 <3.0>	残底部片 底 (6.3)	灰白 5Y8/1	付高台。漬け掛け、灰白2.5Y8/1。
第57図 PL.96	28住 - 2 埋没土	青磁 碗	口 高 <3.0>	残底部片 厚 0.6	灰白 7.5Y7/1	外面篋削り、蓮弁文。施釉、オリープ灰10Y6/2。龍泉窯系。
第57図 PL.96	28住 - 3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.1>	残底部片 底 6.8	にぶい赤褐 5YR7/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。全体いぶし状、黒色。摩滅気味。
第57図 PL.96	28住 - 4 埋没土	須恵器 高台付塊	口 14.0 高 5.4	残底 1/2 底 6.7	灰黄褐 10YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。外面一部黒斑。摩滅著しい。
第57図 PL.96	28住 - 5 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <3.9>	残底部片 底 5.4	黄灰 2.5Y5/1 還元	軟質。付高台。底部黒斑。摩滅著しい。
第57図 PL.96	28住 - 6 埋没土	土師器 坏	口 (12.7) 高 4.1	残底 1/3 底 5.5	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部外反やや歪む。底部周辺篋削り、底部中央に1mmの砂粒付着。
第57図 PL.96	28住 - 7 床直	土師器 甕	口 (20.0) 高 <14.3>	残上半部 底	赤褐 2.5YR4/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ短い。一部黒斑。
第57図 PL.96	28住 - 8 床直	土師器 甕	口 19.0 高 <14.1>	残上半部 底	橙 7.5YR7/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ器肉厚い。外面胴部一部煤付着。
第57図 PL.96	28住 - 9 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <16.0>	残上半部 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ短く外反。器肉厚い。胴部一部黒色。
第57図 PL.96	28住 - 10 埋没土	土師器 甕	口 (18.4) 高 <15.8>	残上半部 底	橙 7.5YR7/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ器肉厚く短い。外面摩滅著しい。
第57図 PL.96	28住 - 11 床直	土師器 甕	口 高 <22.0>	残下半部 底 (5.6)	橙 5YR6/6 酸化	砂底か、平ら。胴部外面一部煤付着。
第57図 PL.96	28住 - 12 埋没土	土師器 甕	口 (12.0) 高 <8.1>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ短い。
第57図 PL.96	28住 - 13 床直	土師器 甕	口 高 <4.8>	残底部片 底 (5.0)	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	砂底、平ら。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第57図 PL.96	28住 - 14 埋没土	土師器 甕	口 高 <4.9>	残底部片 底 4.6	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	砂底、平ら。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第57図 PL.96	28住 - 15 埋没土	土師器 甕	口 高 <1.6>	残底部片 底 4.5	にぶい橙 5YR6/4 酸化	底部篋削り、扁平。胴部外面篋削り、内面刷毛目。全体いぶし状、黒色付着。
第57図 PL.96	28住 - 16 埋没土	土師器 甕	口 高 <2.1>	残底部片 底 (4.0)	灰黄褐 10YR5/2 酸化	底部篋削り、扁平。胴部外面篋削り、内面刷毛目。いぶし状褐色。
第57図 PL.96	28住 - 17 埋没土	土師器 甕	口 高 <2.7>	残底部片 底 (4.4)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	砂底、平ら。胴部外面篋削り、内面刷毛目。
第57図 PL.96	28住 - 18 埋没土	土師器 台付甕	口 高 <2.8>	残底部片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	台部接合後横撫で。いぶし状、褐色。
第59図 PL.96	31住 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 13.4 高 4.0	残底 完形 底 6.4	灰白 10YR8/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。外面口縁部から内面黒色。
第59図 PL.96	31住 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 (12.2) 高 3.2	残口縁片 底 (5.4)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。外面底部黒色。摩滅気味。
第59図 PL.96	31住 - 3 床直	須恵器 坏	口 (12.5) 高 3.9	残底 2/3 底 6.0	明褐灰 7.5YR7/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り。器肉厚い。
第59図 PL.96	31住 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 (12.0) 高 5.8	残口縁片 底 (3.5)	灰 7.5Y5/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。7mmの白色粒少量含む。
第59図 PL.96	31住 - 5 床直	須恵器 高台付塊	口 15.4 高 5.5	残底 3/4 底 7.0	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。形状楕円形。摩滅著しい。
第59図 PL.96	31住 - 6 床直	須恵器 高台付塊	口 17.4 高 7.0	残底 4/5 底 6.8	灰白 5Y8/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。形状楕円形。摩滅著しい。
第59図 PL.96	31住 - 7 床直	須恵器 高台付塊	口 (14.0) 高 5.0	残底 1/4 底 (7.0)	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部付高台。摩滅著しい。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第59図 PL.96	31住 - 8 床直	須恵器 高台付塊	口 (13.6) 高 5.2	残 1/2 底 6.3	にぶい黄橙 10YR7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。一部黒斑、赤変。摩滅著しい。
第59図 PL.96	31住 - 9 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <1.9>	残底部片 底 6.8	灰白 10YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内外面やや摩滅。
第59図 PL.96	31住 - 10 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <2.4>	残底部片 底 8.6	灰 10Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。5mmの砂粒少量含む。
第59図 PL.96	31住 - 11 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <3.6>	残底部片 底 6.2	灰白 2.5Y8/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。底部、橙 5YR6/6。一部黒斑。
第59図 PL.96	31住 - 12 埋没土	須恵器 坏	口 (11.0) 高 <3.3>	残口縁片 底	灰 5Y6/1 還元	硬質。口唇部外反。器高低い。
第59図 PL.96	31住 - 13 床直	土師器 坏	口 (12.6) 高 3.4	残 1/8 底 8.0	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反。底部平ら、型肌。内面やや摩滅。
第59図 PL.96	31住 - 14 床直	土師器 甕	口 (19.0) 高 <6.3>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「く」の字状、外反やや厚く短い。胴部外面篋削り、内面刷毛目残る。
第59図 PL.96	31住 - 15 埋没土	土師器 甕	口 高 <2.7>	残底部片 底 (4.2)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、平底。胴部外面篋削り、内面刷毛目。
第59図 PL.96	31住 - 16 埋没土	埴塙	口 (14.0) 高 <7.0>	残口縁片 底	灰黄 2.5Y7/2	内面熱を受け口唇部、灰白 N7/。底部、灰 N4/。付着物有り。
第60図 PL.96	31住 - 17 床直	須恵器 甕	口 高 <47.0>	残胴部片 厚 0.7	灰 N4/ 還元	硬質。内面当て目残る。胴部下部内外面、回転伴う刷毛目調整。肩部自然釉かかる。6mmの白色粒僅かに残る。丸底。
第60図	31住 - 18	紡錘車	長 4.7 短 4.7 厚 1.4		蛇文岩	PL.96。床直。完形。50.4g。刻書「福道志万家都无」。
第62図 PL.97	33住 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 12.2 高 4.0	残 2/3 底 7.0	黄灰 2.5Y5/1 還元	硬質。底部右回転糸切り、切り離し直し。6mmの白色粒少量含む。
第62図 PL.97	33住 - 2 床直	須恵器 坏	口 (11.8) 高 3.6	残 1/2 底 6.2	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。3mmの白色粒やや多く含む。摩滅気味。
第62図 PL.97	33住 - 3 埋没土	土師器 坏	口 11.8 高 4.5	残 完形 底 8.2	橙 5YR6/6 酸化	口唇部稜を持つ。口縁部外面13mmの粘土、ボタン状に付着。底部篋削り、平ら、一部黒斑。胎土水漉して緻密。
第62図 PL.97	33住 - 4 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.4	残 1/2 底 8.3	にぶい橙 5YR6/3 酸化	口唇部内弯。底部篋削り、平ら。いぶし状、褐色。
第62図 PL.97	33住 - 5 埋没土	土師器 坏	口 (12.4) 高 <2.8>	残 1/3 底 8.3	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、扁平。口縁部やや歪む。
第62図 PL.97	33住 - 6 床直	土師器 坏	口 (12.5) 高 3.2	残 1/3 底 (8.0)	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り、平ら。
第62図 PL.97	33住 - 7 埋没土	土師器 坏	口 (11.7) 高 2.9	残 1/2 底 7.8	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り、平ら。
第62図 PL.97	33住 - 8 埋没土	土師器 坏	口 (13.0) 高 <3.2>	残口縁片 底 (9.2)	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り、扁平。摩滅気味。
第62図 PL.97	33住 - 9 埋没土	土師器 坏	口 (12.3) 高 3.7	残 1/3 底 (8.4)	橙 5YR6/6 酸化	口唇部更に外反するが先端内弯。底部篋削り、平ら。内面墨状、黒色。
第62図 PL.97	33住 - 10 埋没土	土師器 坏	口 (12.1) 高 2.9	残 1/3 底 (8.1)	明赤褐 2.5YR5/6 酸化	底部型肌。篋削り。外面黒斑。
第62図 PL.97	33住 - 11 埋没土	土師器 坏	口 12.0 高 3.6	残 完形 底 9.0	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、扁平。口縁部楕円形。
第62図 PL.97	33住 - 12 埋没土	土師器 坏	口 (11.6) 高 3.0	残 1/2 底 (8.0)	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	底部篋削り、平ら。器高やや低い。内面いぶし状、一部黒色。
第62図 PL.97	33住 - 13 床直	土師器 台付甕	口 (10.7) 高 <13.7>	残 2/3 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部いぶし状、黒色。剥離気味。
第62図 PL.97	33住 - 14 床直	土師器 甕	口 (21.0) 高 <5.7>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。
第62図 PL.97	33住 - 15 床直	土師器 甕	口 19.8 高 <21.0>	残上半部 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。胎土良好。
第62図 PL.97	33住 - 16 埋没土	土師器 甕	口 高 <6.5>	残底部片 底 (3.6)	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り、平ら。
第62図 PL.97	33住 - 17 埋没土	土師器 甕	口 高 <4.5>	残底部片 底 (4.1)	橙 5YR6/8 酸化	底部篋削り。扁平。胎土水漉して緻密。摩滅気味。
第62図	33住 - 18	刀子	長 <11.0>	短 1.4		PL.97。埋没土。1/2。厚0.3cm。
第63図 PL.97	34住 - 1 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <4.7>	残底部片 底 6.2	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器面剥離、摩滅。
第63図 PL.97	34住 - 2 埋没土	須恵器 塊	口 (13.0) 高 4.1	残 1/4 底 (6.6)	灰白 N7/ 還元	軟質。平底、外面黒斑。摩滅気味。
第63図 PL.97	34住 - 3 埋没土	土師器 坏	口 11.0 高 4.1	残 完形 底 4.5	橙 7.5YR6/6 酸化	口唇部内弯。口縁部楕円形、歪む。底部砂底、径小さい。
第63図 PL.97	34住 - 4 床直	土師器 甕	口 (18.0) 高 <6.9>	残口縁片 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状。一部いぶし状、褐色。
第63図	34住 - 5	土錘	長 3.1 外 0.8 内 0.3		にぶい黄橙 10YR7/3	PL.97。埋没土。完形。2.2g。短い棒状。一部黒斑。
第63図	34住 - 6	土錘	長 3.4 外 2.0 内 0.5		にぶい橙 5YR7/4	PL.97。埋没土。1/4。5.6g。紡錘形。
第63図	34住 - 7	土錘	長 5.3 外 1.8 内 0.7		灰白 10YR1/8	PL.97。埋没土。14.3g。完形。筒形。
第65図 PL.97	35住 - 1 埋没土	緑釉陶器 碗	口 高 <2.0>	残底部片 厚 0.3	浅黄橙 10YR8/3	硬質。施釉、灰オリーブ5Y6/2。
第65図 PL.97	35住 - 2 床直	灰釉陶器 碗	口 (16.0) 高 <5.3>	残口底片 底 (7.7)	灰白 2.5Y7/1	付高台。体部下半回転篋削り。塗り掛けか、灰オリーブ7.5Y6/2。

第3章 検出された遺構と遺物

第65図 PL.97	35住 - 3 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (13.5) 高 4.1	残底 (6.6) 1/4	灰白 2.5Y8/1	付高台。漬け掛け、内面自然釉、点状にかかる。
第65図 PL.97	35住 - 4 埋没土	灰釉陶器 高台付皿	口 (15.0) 高 3.7	残口底片底 (7.0)	灰 7.5Y6/1	付高台。漬け掛け、オリブ灰10Y6/2。剥離気味。重ね焼き痕。
第65図 PL.97	35住 - 5 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (11.2) 高 3.3	残底 1/8 5.0	灰白 N7/	付高台。施釉、オリブ灰10Y6/2。内面発泡気味。
第65図 PL.97	35住 - 6 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (15.0) 高 <3.5>	残口縁片底	灰白 2.5Y7/1	付高台。漬け掛け、灰オリブ7.5Y5/2。内面発泡気味。
第65図 PL.97	35住 - 7 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (15.0) 高 <2.6>	残底部片底 (7.4)	灰白 5Y7/1	付高台。漬け掛け、灰白7.5Y8/1。内面輪状に凹み気味。
第65図 PL.97	35住 - 8 埋没土	須恵器 耳皿	口 (8.0) 高 1.9	残底 1/4 (4.0)	にぶい黄橙 10YR7/3 酸化	軟質。底部篋削り、平ら。口唇部折り込む。
第65図 PL.97	35住 - 9 床直	須恵器 坏	口 (14.0) 高 <2.2>	残底部片底 6.4	黒褐 5YR2/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。いぶし焼成、黒色。5mmの砂粒少量含む。
第65図 PL.97	35住 - 10 埋没土	須恵器 碗	口 (12.0) 高 <3.0>	残口縁片底	黄灰 2.5Y6/1 還元	軟質。口縁部外面、ボタン状の粘土塊貼付、補修痕か。
第65図 PL.97	35住 - 11 埋没土	須恵器 碗	口 (12.0) 高 <2.9>	残口縁片底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	軟質。一部黒斑。
第65図 PL.97	35住 - 12 床直	須恵器 碗	口 (15.0) 高 <3.5>	残口縁片底	灰 5Y6/1 還元	軟質。摩滅著しい。
第65図 PL.97	35住 - 13 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (11.6) 高 <1.9>	残底部片底 (6.0)	紫灰 5P6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。
第65図 PL.97	35住 - 14 床直	須恵器 高台付碗	口 (10.8) 高 <2.2>	残底部片底 (7.0)	灰白 10YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅気味。
第65図 PL.97	35住 - 15 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (11.6) 高 <3.1>	残底部片底 (6.2)	にぶい橙 5YR7/4 還元	軟質。付高台。内面いぶし状、一部黒色。赤変。
第65図 PL.98	35住 - 16 床直	土師器 碗	口 (11.6) 高 4.2	残底 1/3	にぶい褐 7.5YR6/4 酸化	砂底。紐づくり、型肌。外面底部黒斑。
第65図 PL.98	35住 - 17 床直	土師器 坏	口 (10.8) 高 4.0	残底 2/3 5.4	にぶい橙 5YR6/4 酸化	砂底か、平ら。紐づくり。内面摩滅気味。
第65図 PL.98	35住 - 18 床直	土師器 坏	口 (11.7) 高 4.7	残底 1/5 (6.2)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	底部型肌、平ら。紐づくり。内面摩滅気味。
第65図 PL.98	35住 - 19 床直	土師器 甕	口 21.0 高 23.6	残底 1/2 (4.6)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「く」の字状、直立気味。器肉厚い。頸径広い。底部砂底。平ら、径小さい。
第65図 PL.98	35住 - 20 床直	土師器 甕	口 (23.0) 高 <16.3>	残上半部底	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れる。頸径広い。器肉やや厚い。粗雑整形。
第65図 PL.98	35住 - 21 埋没土	土師器 甕	口 (11.6) 高 <3.1>	残底部片底 (5.4)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、平ら。
第65図 PL.98	35住 - 22 埋没土	土師器 甕	口 (10.8) 高 <2.3>	残底部片底 (5.0)	橙 5YR6/6 酸化	砂底。平ら。
第65図 PL.98	35住 - 23 床直	土師器 甕	口 (10.8) 高 <3.3>	残底部片底 (6.0)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	底部篋削り、平ら。一部煤付着。
第65図 PL.98	35住 - 24 床直	須恵器 甕	口 (35.0) 高 <5.0>	残口縁片底	灰 5Y5/1 還元	硬質。口縁部大きく外反。頸径広い。
第65図 PL.98	35住 - 25 羽口	長 <5.5> 外6.0 内2.2	にぶい黄橙 10YR7/4	PL.98。床直。破片。胎土水漉しか。焼成受けガラス質。		
第65図 PL.98	35住 - 26 砥石	長 <6.3> 短4.2 厚1.9	砥沢石	PL.98。埋没土。1/2。87.3g。4面使用。欠損後も使用。		
第66図 PL.98	35住 - 27 丸石	長 3.9 短 4.1	珪質変質岩	PL.98。埋没土。完形。75g。厚3.6cm。		
第66図 PL.98	35住 - 28 磨石	長 16.7 短 12.3	粗粒輝石安山岩	PL.98。床直。完形。1.747kg。厚5.7cm。平滑。煤状の黒色。		
第66図 PL.98	35住 - 29 磨石	長 14.6 短 11.7	石英閃緑岩	PL.98。埋没土。完形。992g。厚3.3cm。敲き部分有り。		
第68図 PL.98	36住 - 1 床直	須恵器 高台付碗	口 (13.0) 高 <2.0>	残底部片底 8.0	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。2mmの白色粒少量含む。
第68図 PL.98	36住 - 2 床直	土師器 甕	口 (21.0) 高 <13.2>	残口縁片底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、内面一部いぶし状、黒色。
第68図 PL.98	36住 - 3 石槍	長 <11.1> 短 3.9	黒色安山岩	PL.98。床直。78.47g。厚1.5cm。未製品か。		
第68図 PL.98	36住 - 4 砥石	長 <11.2> 短 3.5	砥沢石	PL.98。床直。2/3。275g。厚2.9cm。4面使用。欠損後使用。		
第68図 PL.98	36住 - 5 台石	長 <9.2> 短 13.6	粗粒輝石安山岩	PL.98。床直。1/2。1.675kg。厚12.2cm。未製品か。		
第69図 PL.98	37住 - 1 床直	須恵器 蓋	口 (13.0) 高 <3.6>	残天井部 摘径 2.9	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。天井部右回転糸切り後、径29mmの環状摘み接合。糸切り痕の周辺、回転篋削り。摩滅気味。
第69図 PL.98	37住 - 2 床直	須恵器 坏	口 (13.0) 高 4.1	残底 1/3 (6.6)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。
第69図 PL.98	37住 - 3 床直	須恵器 坏	口 (12.7) 高 3.5	残底 1/4 (5.5)	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	軟質。底部回転糸切り。摩滅気味。
第69図 PL.98	37住 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 12.7 高 4.0	残底 1/2 7.0	褐灰 10YR5/1 還元	硬質。底部右回転糸切り、切り離し直しか、器肉厚い。内外面に火傷。
第69図 PL.98	37住 - 5 埋没土	須恵器 坏	口 (12.5) 高 <3.6>	残口縁片底	灰 N5/ 還元	硬質。口縁下半部回転篋削り。
第69図 PL.98	37住 - 6 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.5	残底 1/4 (9.6)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、扁平。内面摩滅気味。
第69図 PL.98	37住 - 7 埋没土	土師器 坏	口 (12.3) 高 3.0	残底 1/4 (10.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、平ら。器高低い。
第69図 PL.98	37住 - 8 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.1	残底 1/3 (8.3)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部弱い稜。底部篋削り、平ら。内外面いぶし状、黒色。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第69図 PL.99	37住 - 9 床直	羽釜	口 (21.0) 高<14.3>	残口縁片 鏝 (27.0)	灰 5Y6/1 還元	口縁部内傾。口唇部内斜。鏝台形上向き、やや高い。胴部黒斑。
第69図 PL.99	37住 - 10 床直	須恵器 甕	口 高<8.5>	残肩部片 頸 (10.6)	青灰 5PB5/1 還元	硬質。胴部外面に自然釉かかる、暗オリープ灰2.5GY4/1。
第69図 PL.99	37住 - 11 床直	須恵器 甕	口 高<12.0>	残肩部片 頸 (19.0)	灰 N5/ 還元	硬質。口縁部外反。胴部外面平行叩き目、内面同心円当て目。
第70図	37住 - 12	土錘	長 3.8 外 1.6 内 0.4		灰白 10YR7/1	PL.99.埋没土。完形。紡錘形。いぶし状、黒色。
第70図	37住 - 13	鎌	長<12.9>	短 4.3		PL.99.床直。1/2。厚0.4cm。
第70図	37住 - 14	鎌か	長<3.3>	短<3.0>		PL.99.埋没土。破片。厚0.3cm。
第72図 PL.99	38住 - 1 床直	灰釉陶器 高台付皿	口 13.3 高 2.6	残 3/4 底 7.0	灰白 5Y8/1	付高台。無釉。内面輪状の重ね焼き痕。
第72図 PL.99	38住 - 2 埋没土	須恵器 蓋	口 (14.0) 高<2.0>	残口縁片 厚 0.7	灰白 10YR7/1 還元	軟質。天井部摘み接合後、回転部うろ掘り調整。端部短く折れる。
第72図 PL.99	38住 - 3 床直	須恵器 小皿	口 12.0 高 2.7	残 完形 底 6.0	橙 5YR6/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り。口縁部外面一部黒斑。
第72図 PL.99	38住 - 4 床直	須恵器 小皿	口 10.2 高 2.7	残 完形 底 6.3	橙 5YR7/8 酸化	軟質。底部右回転糸切り。口縁部外面一部黒斑。
第72図 PL.99	38住 - 5 床直	須恵器 小皿	口 9.8 高 2.4	残 完形 底 5.0	橙 5YR7/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り、一部黒斑。
第72図 PL.99	38住 - 6 埋没土	須恵器 小皿	口 (9.0) 高 2.8	残 1/2 底 3.5	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	軟質。底部回転糸切りか。径小さい。摩滅著しい。
第72図 PL.99	38住 - 7 床直	須恵器 小皿	口 (11.0) 高 2.9	残 1/5 底 (6.5)	橙 5YR6/6 酸化	軟質。底部回転糸切り。摩滅気味。
第72図 PL.99	38住 - 8 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (14.4) 高 5.9	残 3/4 底 8.2	にぶい橙 7.5YR6/6 酸化	軟質。底部回転糸切り後、付高台やや高い。内面油煙状の黒色付着。
第72図 PL.99	38住 - 9 床直	須恵器 高台付塊	口 (16.8) 高<4.3>	残 1/4 底	橙 5YR6/8 酸化	軟質。付高台か。内面剥離。
第72図 PL.99	38住 - 10 床直	須恵器 高台付塊	口 (15.0) 高<5.0>	残口縁片 底	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	軟質。底部内面黒色。摩滅気味。
第72図 PL.99	38住 - 11 床直	須恵器 高台付塊	口 (13.6) 高<4.8>	残口縁片 底	灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。摩滅著しい。
第72図 PL.99	38住 - 12 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高<4.8>	残底部片 底 7.8	灰白 2.5Y8/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。器肉厚い。摩滅気味。
第72図 PL.99	38住 - 13 床直	須恵器 高台付塊	口 高<5.1>	残底部片 底 (7.5)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第73図 PL.99	38住 - 14 埋没土	土師器 坏	口 (13.6) 高 2.2	残 1/4 底 (12.3)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部直立気味に内弯。器肉薄く、器高低い。摩滅著しい。
第73図 PL.99	38住 - 15 埋没土	土師器 坏	口 (13.2) 高 3.7	残 1/5 底 (9.0)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口唇部僅かに内弯。底部鋭削り、扁平。
第73図 PL.99	38住 - 16 埋没土	土師器 坏	口 (11.2) 高<3.4>	残口縁片 底 (8.4)	にぶい褐 7.5YR5/3 酸化	底部鋭削り、扁平。内外面いぶし状、褐色気味。
第73図 PL.99	38住 - 17 床直	土師器 坏	口 12.5 高 3.7	残 1/2 底 7.6	橙 5YR6/6 酸化	口唇部僅かに内弯。口縁部橢円形で歪む。底部型肌、扁平。
第73図 PL.99	38住 - 18 埋没土	土師器 台付甕	口 (12.1) 高<8.9>	残上半部 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部外面いぶし状、褐色。
第73図 PL.99	38住 - 19 床直	土師器 台付甕	口 (12.0) 高<9.8>	残上半部 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状。肩部外面煤付着。黒色。胴部外面鋭削り、内面鋭撫で。
第73図 PL.99	38住 - 20 床直	土師器 甕	口 (19.6) 高<6.8>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れる。摩滅気味。
第73図 PL.99	38住 - 21 埋没土	土師器 鉢か	口 (18.0) 高<9.0>	残口縁片 底	にぶい黄橙 10YR6/4 酸化	口縁部内傾。口唇部平ら。上部外面煤状の黒色付着。
第73図 PL.99	38住 - 22 埋没土	土釜	口 (23.0) 高<13.0>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部短く、大きく外反。口縁部外面一部、煤状の黒色付着。一部いぶし状、褐色。
第73図 PL.99	38住 - 23 床直	土釜	口 (20.0) 高 (23.0)	残口底片 底 (10.6)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部短く、外反、歪む。口唇部丸い。口縁部外面、胴部内面油煙状の黒色付着。
第73図 PL.99	38住 - 24 埋没土	羽釜	口 (19.0) 高<11.7>	残口縁片 鏝 (21.2)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部直立。口唇部僅かに内斜。鏝平ら、低い。いぶし状、褐色。
第73図 PL.99	38住 - 25 床直	羽釜	口 (24.0) 高<16.2>	残口縁片 鏝 (26.3)	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部直立。口唇部平ら。鏝下向き。
第73図 PL.99	38住 - 26 埋没土	羽釜	口 23.4 高 16.7	残 2/3 底	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	口縁部やや外傾。口唇部平ら。鏝三角形、上向き。内面いぶし状、黒色。胴部割れ口を研いで、端部として再利用。
第73図 PL.99	38住 - 27 床直	羽釜	口 高<14.0>	残底部片 底 (9.2)	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化	底部鋭削り、平ら。外面煤付着。
第73図	38住 - 28	釘	長<4.5>	短<0.8>		PL.99.床直。破片。厚0.7cm。
第73図	38住 - 29	磨石	長<6.0>	短<10.6>	粗粒輝石安山岩	PL.100.床直。1/2。410g。厚4.6cm。敲き部有り。
第73図	38住 - 30	磨石	長 14.1	短<13.0>	粗粒輝石安山岩	PL.100.床直。完形。960g。厚3.5cm。敲き部有り。
第73図	38住 - 31	磨石	長 14.0	短 4.7	粗粒輝石安山岩	PL.100.床直。完形。440g。厚3.9cm。
第74図	38住 - 32	石皿	長 16.6	短 16.0	ひん岩	PL.100.床直。完形。2.28kg。厚4.5cm。
第74図	38住 - 33	台石か	長<12.5>	短 13.3	粗粒輝石安山岩	PL.100.床直。1/2。2.27kg。厚9.2cm。平滑。
第74図	38住 - 34	台石	長<12.4>	短 18.5	石英閃緑岩	PL.100.床直。2/3。3.02kg。厚9.9cm。平滑。
第74図	38住 - 35	台石	長 27.5	短 11.9	粗粒輝石安山岩	PL.100.床直。完形。4.4kg。厚7.8cm。平滑。敲き部有り。

第3章 検出された遺構と遺物

第76図 PL.100	40住 - 1 床直	須恵器 高台付塊	口 (13.8) 高 4.9	残底 2/3 底 7.0	にぶい黄橙 10YR7/4 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。いぶし状、一部黒色残る。摩滅著しい。
第76図 PL.100	40住 - 2 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <2.9>	残底部片 底 (7.0)	にぶい黄褐 10YR5/3 酸化	軟質。底部回転糸切り後、付高台。接合粗雑。摩滅著しい。
第76図 PL.100	40住 - 3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (14.0) 高 <5.9>	残底 1/5 底 (8.0)	にぶい黄橙 10YR7/3 還元	軟質。付高台。器肉薄い。摩滅著しい。
第76図 PL.100	40住 - 4 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.6>	残底 1/2 底 (6.8)	灰白 7.5Y7/1 還元	軟質。付高台。底部黒斑。口縁部厚み有り。摩滅著しい。
第76図 PL.100	40住 - 5 埋没土	土師器 坏	口 11.7 高 3.7	残完形 底 7.3	橙 5YR6/6 酸化	口縁部緩やかに外反、僅かに歪み有り。底部型肌、平ら。口唇部一部黒色。
第76図 PL.100	40住 - 6 埋没土	土師器 台付甕	口 高 <4.5>	残胴部片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	胴部外面篋削り、内面篋撫で。台部横撫で、器肉厚い。
第76図	40住 - 7	釘	長 <6.1>	短 0.6		PL.100。埋没土。ほぼ完形。厚0.5cm。
第76図	40住 - 8	釘	長 <4.7>	短 0.5		PL.100。埋没土。破片。厚0.5cm。
第76図	40住 - 9	鍛冶滓	長 6.0	短 3.0		PL.100。床直。完形。31.32g。厚1.6cm。
第77図 PL.100	41住 - 1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (13.1) 高 4.8	残底 1/5 底 (6.0)	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。付高台。底部黒斑。摩滅著しい。
第77図 PL.100	41住 - 2 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.9>	残底部片 底 (7.4)	にぶい橙 5YR7/4 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第77図 PL.100	41住 - 3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.2>	残底部片 底 (6.4)	黄灰 2.5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第77図 PL.100	41住 - 4 埋没土	土師器 坏	口 高 <1.7>	残底部片 底 (7.1)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部型肌。口縁下部底部、周辺篋削り調整。外面いぶし状黒色。
第78図 PL.100	41住 - 5 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.2>	残底 1/2 底 5.7	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉薄い。
第78図 PL.100	41住 - 6 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.7>	残底部片 底 6.6	浅黄橙 10YR8/3 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第78図 PL.100	41住 - 7 埋没土	土師器 坏	口 高 <2.3>	残底部片 底 (7.0)	橙 7.5YR7/6 酸化	底部篋削り、扁平。
第78図 PL.100	41住 - 8 埋没土	土師器 台付甕	口 高 <3.5>	残台部片 底 (9.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	台部横撫で。外面煤付着。
第78図 PL.100	41住 - 9 床直	土師器 台付甕	口 高 <3.3>	残台部片 底 (9.6)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	台部横撫で。胎土良好。
第78図 PL.100	41住 - 10 床直	土師器 甕	口 高 <8.6>	残底部片 底 (4.2)	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	底部篋削り、平底。胴部篋削り、内面篋撫で。外面一部煤付着。
第78図 PL.100	41住 - 11 床直	土師器 甕	口 高 <4.3>	残底部片 底 (4.0)	橙 5YR6/6 酸化	底部平底。外面煤付着。
第80図 PL.100	42住 - 1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (13.9) 高 4.9	残底 1/3 底	明赤褐 2.5YR5/6 酸化	軟質。底部回転糸切り後、付高台。内面いぶし状。摩滅気味。
第80図 PL.100	42住 - 2 埋没土	須恵器 塊	口 (13.0) 高 <4.5>	残口縁片 底	灰白 10YR7/1 還元	硬質。高台付塊か。
第80図 PL.100	42住 - 3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (13.2) 高 <4.0>	残底 1/3 底	灰白 5Y7/2 還元	軟質。口縁部一部赤変。摩滅著しい。
第80図 PL.100	42住 - 4 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.2>	残底部片 底 6.4	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	軟質。付高台。摩滅気味。
第80図 PL.100	42住 - 5 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <2.3>	残底部片 底 (6.0)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内面一部油煙付着。
第80図 PL.100	42住 - 6 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <1.5>	残底部片 底 6.8	灰 5Y5/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅気味。
第80図 PL.100	42住 - 7 床直	土師器 甕	口 (13.4) 高 <7.5>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、一部黒色。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第82図 PL.101	43住 - 1 埋没土	須恵器 耳皿	口 高 <1.7>	残底部片 底 (5.0)	黒 5YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。全体いぶし焼成、黒色。内面暗文。
第82図 PL.101	43住 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 (13.9) 高 3.6	残底 2/3 底 6.5	灰白 5Y8/1 還元	軟質。底部左回転糸切り、器肉厚い。一部黒斑。摩滅気味。
第82図 PL.101	43住 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 (14.3) 高 (4.5)	残口底片 底 5.9	にぶい黄橙 10YR7/3 還元	軟質。底部右回転糸切り。外面一部油煙状の黒色流れる。
第82図 PL.101	43住 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 (11.2) 高 4.0	残底 1/8 底 (6.0)	浅黄 2.5Y7/3 還元	軟質。底部右回転糸切り。一部黒斑。摩滅気味。
第82図 PL.101	43住 - 5 埋没土	須恵器 碗	口 高 <2.0>	残底部片 底 6.0	灰 5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り、器肉厚い。摩滅著しい。
第82図 PL.101	43住 - 6 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (14.0) 高 4.2	残底 1/3 底 7.2	灰褐 7.5YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台、凹凸有り。口縁部歪む。摩滅著しい。
第82図 PL.101	43住 - 7 埋没土	須恵器 高台付塊	口 14.2 高 5.2	残完形 底 5.8	灰黄褐 10YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。高台部、口縁部共に歪み有り、粗雑整形。摩滅著しい。
第82図 PL.101	43住 - 8 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <2.4>	残底部片 底 (5.0)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第82図 PL.101	43住 - 9 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <2.9>	残底部片 底 (6.0)	灰黄褐 10YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉薄い。やや摩滅。
第82図 PL.101	43住 - 10 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <3.7>	残底部片 底 (7.0)	浅黄橙 10YR8/3 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第82図 PL.101	43住 - 11 埋没土	須恵器 高台付埴	口 (13.3) 高 5.6	残底部片 底 (5.2)	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。底部付高台。摩滅著しい。
第83図 PL.101	43住 - 12 埋没土	須恵器 高台付埴	口 (13.0) 高 <4.5>	残 1/4 底	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第83図 PL.101	43住 - 13 埋没土	須恵器 高台付埴	口 (14.4) 高 <5.0>	残口縁片 底	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部切り離し後、付高台。摩滅著しい。
第83図 PL.101	43住 - 14 埋没土	土師器 坏	口 12.0 高 4.6	残 3/5 底 6.2	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部、周辺鋭削り、平ら。口縁部楕円形歪む。外面一部黒斑。
第83図 PL.101	43住 - 15 埋没土	須恵器 短頸壺か	口 (9.0) 高 <1.9>	残口縁片 底	灰白 N7/ 還元	硬質。短頸壺。台部剥離。
第83図 PL.101	43住 - 16 埋没土	土師器 坏	口 (12.1) 高 3.3	残 1/3 底 (7.6)	橙 5YR6/6 酸化	底部型肌、平ら。内面摩滅気味。
第83図 PL.101	43住 - 17 床直	土師器 甕	口 (17.0) 高 <5.0>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや厚い。胴部外面鋭削り、内面刷毛目、鋭撫で。
第83図 PL.101	43住 - 18 床直	土師器 甕	口 18.8 高 <18.0>	残 1/2 底	にぶい橙 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状、厚く短い。胴部外面一部煤付着。鋭削り、内面刷毛目。
第83図 PL.101	43住 - 19 床直	土師器 甕	口 (18.0) 高 <6.7>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部外面鋭削り、内面鋭撫で。
第83図 PL.101	43住 - 20 埋没土	土師器 甕	口 (16.0) 高 <5.7>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れる。口縁部外面煤付着。
第83図 PL.101	43住 - 21 埋没土	土師器 台付甕	口 (12.0) 高 <6.9>	残口縁片 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ、器肉やや厚く歪み有り。胴部鋭削り、内面鋭撫で。
第83図 PL.101	43住 - 22 床直	土師器 甕	口 21.0 高 <2.3>	残底部片 底 (7.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部周辺鋭削り、扁平。
第83図 PL.101	43住 - 23 埋没土	土師器 甕	口 高 <0.9>	残底部片 底 (3.2)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部鋭削り、平底。胴部外面鋭削り、内面刷毛目、油煙状の黒色付着。
第83図 PL.101	43住 - 24 埋没土	土師器 台付甕	口 11.6 高 16.6	残 完形 裾 9.2	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部外面鋭削り、内面刷毛目後、鋭撫で。台部横撫で。端部歪み有り。上半部煤付着。
第83図 PL.101	43住 - 25 埋没土	土師器 台付甕	口 高 <4.8>	残台部片 底 (10.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	胴部内外面共に黒色付着。台部横撫で。
第83図 PL.101	43住 - 26 埋没土	土師器 甕	口 高 <5.4>	残胴部片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	胴部鋭削り、内面鋭撫で。いぶし状、黒色。
第83図	43住 - 27	土錘	長 3.4 外 1.1 内 0.4		にぶい橙 5YR6/4	PL.101。堀り方。3/4。3.5g。紡錘形。
第83図	43住 - 28	土錘	長 4.1 外 1.2 内 0.5		にぶい褐 7.5YR5/3	PL.101。床直。完形。4.7g。紡錘形。
第83図	43住 - 29	土錘	長 4.4 外 1.3 内 0.4		にぶい赤褐 5YR5/4	PL.101。埋没土。完形。6.2g。紡錘形。
第83図	43住 - 30	土錘	長 4.8 外 1.2 内 0.4		にぶい褐 7.5YR6/3	PL.101。床直。完形。5.9g。紡錘形。
第83図	43住 - 31	土錘	長 4.5 外 1.1 内 0.4		にぶい橙 7.5YR6/4	PL.101。床直。完形。3.9g。紡錘形。
第83図	43住 - 32	土錘	長 4.0 外 1.2 内 0.4		にぶい橙 7.5YR6/4	PL.101。床直。完形。4.3g。紡錘形。
第83図	43住 - 33	土錘	長 4.6 外 1.4 内 0.4		灰白 10YR8/2	PL.101。床直。完形。7.3g。紡錘形。
第83図	43住 - 34	刀子	長 <10.6> 短 2.6			PL.101。埋没土。1/2。厚1.9cm。
第83図	43住 - 35	鎌	長 <4.0> 短 3.5			PL.101。埋没土。破片。厚0.5cm。
第83図	43住 - 36	鍛冶滓	長 5.1 短 4.5			PL.101。床直。完形。53.37g。厚2.1cm。発泡部分ガラス質。
第84図 PL.101	48住 - 1 床直	須恵器 高台付埴	口 高 <2.0>	残底部片 底 7.0	褐灰 10YR6/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。内外面いぶし焼成、黒色。重ね焼き痕付着。
第84図 PL.101	48住 - 2 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 3.3	残口縁片 底 (7.0)	橙 5YR6/6 酸化	口唇部やや内弯。底部鋭削り、扁平。外面やや摩滅。
第84図 PL.101	48住 - 3 埋没土	須恵器 短頸壺	口 (10.4) 高 <2.5>	残口縁片 底	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。口縁部直立。
第84図	48住 - 4	鍛冶滓	長 6.5 短 4.6			PL.101。床直。完形。52.79g。厚3.0cm。発泡部分ガラス質。
第86図 PL.102	49住 - 1 埋没土	須恵器 高台付埴	口 高 <5.4>	残底部片 底 (6.0)	灰白 7.5Y7/1 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第86図 PL.102	49住 - 2 埋没土	須恵器 高台付埴	口 高 <2.6>	残底部片 底 (8.0)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台、内面黒斑、割れ口に焼成後の穿孔残る。
第86図 PL.102	49住 - 3 埋没土	須恵器 高台付埴	口 高 <3.7>	残底部片 底 (8.2)	灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。径大きい。摩滅著しい。
第86図 PL.102	49住 - 4 床直	須恵器 皿	口 (14.0) 高 <3.2>	残口縁片 底	にぶい褐 7.5YR5/3 酸化	軟質。口唇部大きく外反。一部いぶし状、黒色。
第86図 PL.102	49住 - 5 床直	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.3	残 1/2 底 7.6	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反。口唇部内弯。底部型肌、周辺鋭削り調整。歪み有り。
第86図 PL.102	49住 - 6 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 <3.1>	残口縁片 底 (9.2)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反、底部鋭削り。
第86図 PL.102	49住 - 7 床直	土師器 甕	口 (21.0) 高 <6.9>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。胴部外面横鋭削り、内面鋭撫で。
第86図 PL.102	49住 - 8 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <5.3>	残口縁片 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状。外面一部煤付着。摩滅気味。
第86図 PL.102	49住 - 9 埋没土	土師器 甕	口 (12.4) 高 <5.2>	残口縁片 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部外反。胴部外面横鋭削り、内面刷毛目。肩部外面褐色。
第86図 PL.102	49住 - 10 床直	土師器 小型甕	口 12.2 高 <14.0>	残 1/2 底	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ短く外反。胴部外面鋭削り、内面鋭撫で。外面一部煤付着、褐色気味。器肉厚い。
第86図 PL.102	49住 - 11 埋没土	土師器 甕	口 高 <4.1>	残底部片 底 (3.5)	にぶい黄橙 10YR7/3 酸化	底部鋭削り、平ら。胴部外面鋭削り、内面鋭撫で。外面煤付着、褐色。

第3章 検出された遺構と遺物

第86図 PL.102	49住-12 埋没土	須恵器 凸帯付壺	口 (35.0) 高 <4.2>	残肩部片 厚 0.7	灰 5Y4/1 還元	硬質。タガ状、凸帯巡る。
第86図 PL.102	49住-13 埋没土	須恵器 甕	口 高 <8.5>	残底部片 厚 0.9	灰 N4/ 還元	硬質。底部外面平行叩き目、内面当て目横撫で。4mmの白色粒少量含む。
第86図 PL.102	49住-14	土錘	長 3.3 外 0.7 内 0.3		黒褐 2.5Y3/1	PL.102。埋没土。完形。1.6g。棒状。いぶし状、黒色。
第87図	49住-15	磨石	長 13.7 短 10.8		粗粒輝石安山岩	PL.102。床直。完形。780g。厚3.4cm。擦痕。片面黒色付着。
第87図	49住-16	磨石	長 11.9 短 11.5		石英閃緑岩	PL.102。床直。完形。950g。厚5.1cm。
第87図	49住-17	磨石	長 14.9 短 10.5		粗粒輝石安山岩	PL.102。床直。完形。1.126kg。厚5.6cm。敲き部分有り。
第87図	49住-18	磨石	長 15.9 短 5.8		粗粒輝石安山岩	PL.102。床直。完形。630g。厚4.2cm。敲き部分有り。
第87図	49住-19	石皿	長<24.5> 短<10.1>		粗粒輝石安山岩	PL.102。床直。完形。2.43kg。厚6.5cm。欠損後も利用。
第87図	49住-20	石皿	長 23.0 短 19.7		粗粒輝石安山岩	PL.102。床直。完形。4.5kg。厚7.0cm。
第87図	49住-21	石皿	長 29.4 短 19.7		石英閃緑岩	PL.102。床直。完形。7.4kg。厚6.9cm。
第87図	49住-22	台石	長 23.5 短 12.0		粗粒輝石安山岩	PL.102。床直。完形。2.51kg。厚7.2cm。
第88図 PL.103	50住-1 床直	灰釉陶器 碗	口 (17.3) 高 5.4	残 1/2 底 (8.8)	灰白 2.5Y7/1	付高台。体部外面回転斲削り。塗り掛け。重ね焼き痕。
第88図 PL.103	50住-2 埋没土	灰釉陶器 碗	口 高 <2.3>	残底部片 底 (7.0)	灰白 7.5Y7/1	付高台。体部下半回転斲削り。塗り掛け、オリブ灰10Y6/2。平滑。
第88図 PL.103	50住-3 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (14.4) 高 5.0	残 1/4 底 (8.2)	にぶい橙 5YR6/3 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。全体いぶし状、黒色。
第88図 PL.103	50住-4 埋没土	土師器 台付甕	口 高 <11.0>	残胴部片 胴径 13.5	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	胴部外面斲削り、内面斲撫で。外面煤付着、褐色。胎土良。
第89図 PL.103	51住-1 埋没土	須恵器 碗	口 (14.0) 高 3.9	残 1/5 底 (6.3)	褐灰 10YR6/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り、一部粘土粒付着。口唇部除きいぶし状、黒色気味。外面摩滅気味。
第89図 PL.103	51住-2 埋没土	土師器 甕	口 高 <3.2>	残底部片 底 (4.1)	にぶい褐 7.5YR6/3 酸化	底部斲削り、平底。胴部外面斲削り、内面刷毛目。外面煤付着。
第91図 PL.103	52住-1 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <4.1>	残底部片 底 6.4	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第91図 PL.103	52住-2 床直	土師器 台付甕	口 高 <5.7>	残底部片 底 7.0	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	胴部外面斲削り、内面斲撫で。台部撫で調整。
第91図 PL.103	52住-3 床直	土師器 甕	口 (21.0) 高 <8.9>	残口縁片 底	明褐 7.5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、僅かに崩れ、厚く短い。胴部外面斲削り内面斲撫で。肩部一部黒斑。
第91図 PL.103	52住-4 床直	土師器 甕	口 (19.6) 高 <17.0>	残上半部 高	明褐 7.5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、僅かに崩れ器肉厚く短い。
第91図 PL.103	52住-5 床直	土師器 甕	口 (18.0) 高 <7.2>	残口縁片 底	にぶい褐 7.5YR5/3 酸化	口縁部「コ」の字状、僅かに崩れ短い。胴部外面斲削り、内面摩滅気味。
第92図 PL.103	54住-1 床直	須恵器 高台付碗	口 高 <2.6>	残底部片 底 7.8	灰白 10YR7/1 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第92図 PL.103	54住-2 埋没土	須恵器 甕	口 高 <2.3>	残口縁片 厚 0.7	灰白 5Y7/1 還元	硬質。自然釉、ガラス質点状に付着。
第92図 PL.103	54住-3 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <5.0>	残口縁片 底	橙 7.5YR7/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ外反。歪む。
第92図 PL.103	54住-4 埋没土	土師器 甕	口 高 <7.0>	残底部片 底 3.5	橙 5YR6/6 酸化	底部斲削り後、砂付着、平底径小さい。
第93図 PL.103	53住-1 床直	須恵器 碗	口 (13.4) 高 <2.9>	残口縁片 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	軟質。口縁部上半いぶし状、黒色。
第93図 PL.103	53住-2 埋没土	土師器 坏	口 12.4 高 4.5	残 完形 底 7.8	赤褐 2.5YR4/6 酸化	口縁部外反。外面斲削り調整。口唇部一部黒色。底部斲削り扁平。
第93図 PL.103	53住-3 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.8	残口縁片 底 (9.5)	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部外反。底部型肌。
第93図 PL.103	53住-4 床直	土師器 坏	口 (8.4) 高 <3.6>	残口縁片 底 (7.4)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部外反。外面指押さえ。底部斲削り、扁平。
第93図 PL.103	53住-5 埋没土	須恵器 梅瓶	口 高 <3.5>	残肩部片 底	灰白 5Y7/1 還元	軟質。紐づくり。摩滅気味。
第93図 PL.103	53住-6 床直	土師器 台付甕	口 11.6 高 16.7	残 完形 底 9.2	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状、僅かに崩れ外反。台部除く外面、口縁部内面黒色、褐色の炭化物付着。胎土良好。
第93図 PL.103	53住-7 床直	土師器 台付甕	口 13.4 高 (16.0)	残 1/2 底 9.4	褐 7.5YR4/6 酸化	53住-6に近似。全体に煤付着。
第93図 PL.103	53住-8 埋没土	須恵器 甕	口 (23.0) 高 <10.1>	残口縁片 底	灰 5Y5/1 還元	硬質。頸部小さく口唇部大きく外反。
第94図 PL.103	55住-1 埋没土	灰釉陶器 碗	口 (16.0) 高 <4.6>	残口縁片 底	灰白 2.5Y7/1	体部下半斲削り。漬け掛け、灰白5Y7/2。
第94図 PL.103	55住-2 床直	須恵器 高台付碗	口 高 <2.8>	残底部片 底	にぶい橙 7.5YR7/3 酸化	付高台。内面いぶし焼成、暗文。
第94図 PL.103	55住-3 埋没土	土師器 坏	口 高 <1.3>	残底部片 底 (9.0)	橙 7.5YR7/6 酸化	口縁部下半、底部斲削り。底部扁平。
第94図 PL.103	55住-4 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 <3.4>	残 1/4 底 (8.6)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反。底部斲削りか、扁平。摩滅著しい。
第95図 PL.104	56住-1 床直	灰釉陶器 碗	口 高 <2.8>	残底部片 底 7.8	灰白 5Y7/1	付高台。体部外反回転斲削り。漬け掛け、オリブ灰10Y6/2。内面剥離。
第95図 PL.104	56住-2 床直	須恵器 高台付碗	口 (14.2) 高 5.2	残 1/4 底 (6.2)	灰白 10YR7/1 還元	軟質。付高台。外面一部黒斑。摩滅著しい。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第95図 PL.104	56住 - 3 埋没土	須恵器 高台付埴	口 (15.0) 高 4.5	残底 (6.4)	1/4	橙 5YR6/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉薄い。内面褐色気味。
第95図 PL.104	56住 - 4 埋没土	須恵器 高台付埴	口 (14.4) 高 5.0	残底 7.0	2/3	にぶい黄橙 10YR7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉薄い。底部内面油煙状の煤付着。摩滅気味。
第95図 PL.104	56住 - 5 埋没土	須恵器 高台付埴	口高 <4.3>	残底部片底 (6.5)		褐灰 10YR6/1 還元	軟質。付高台。全体いぶし状、黒色。
第95図 PL.104	56住 - 6 埋没土	須恵器 高台付埴	口高 <3.2>	残底部片底 6.6		灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第95図 PL.104	56住 - 7 床直	土師器 甕	口高 <9.0>	残底部片底 4.0		橙 7.5YR6/6 酸化	砂底、平ら。径小さい。胴部外面煤付着。
第95図 PL.104	56住 - 8 床直	土師器 甕	口高 <4.9>	残底部片底 (4.6)		にぶい橙 5YR6/4 酸化	砂底、平ら。胴部外面一部、黒色付着。
第95図 PL.104	56住 - 9 床直	土師器 台付甕	口高 <3.5>	残台部片底 10.8		にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	台部横撫で、端部僅かに歪む。内面いぶし状、黒色。
第95図 PL.104	56住 - 10 床直	土師器 台付甕	口高 <6.5>	残台部片底 9.9		にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	台部横撫で、端部僅かに歪む。胴部外面煤付着。
第96図	56住 - 11	土鍾	長 4.4 外 1.6 内 0.5			暗赤灰 2.5YR3/1	PL.104。埋没土。完形。9.6g。紡錘形。いぶし状、黒色。
第96図	56住 - 12	土鍾	長 4.4 外 1.7 内 0.4			オリーブ黒 5Y3/1	PL.104。埋没土。ほぼ完形。11.7g。紡錘形。いぶし状。
第96図	56住 - 13	土鍾	長 3.7 外 1.6 内 0.5			明褐灰 7.5YR7/2	PL.104。埋没土。1/2。4.9g。筒型。
第96図	56住 - 14	土鍾	長 3.3 外 1.3 内 0.5			黒 2.5Y2/1	PL.104。埋没土。完形。5.2g。筒型。いぶし状、黒色。
第96図	56住 - 15	土鍾	長 5.4 外 1.3 内 0.5			黒 2.5Y2/1	PL.104。埋没土。完形。7.1g。棒状。いぶし状、黒色。
第96図	56住 - 16	土鍾	長 2.5 外 1.2 内 0.3			黒 10YR2/1	PL.104。埋没土。1/2。5.6g。筒型。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 17	土鍾	長 3.5 外 0.9 内 0.3			灰褐 7.5YR5/2	PL.104。埋没土。完形。2.1g。細い紡錘形。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 18	土鍾	長 3.6 外 0.9 内 0.3			明灰黄 2.5Y5/2	PL.104。埋没土。完形。3.1g。細い紡錘形。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 19	土鍾	長 3.6 外 1.0 内 0.4			極暗赤褐 10R2/2	PL.104。埋没土。完形。2.6g。棒状。いぶし状、黒色。
第96図	56住 - 20	土鍾	長 3.2 外 1.1 内 0.3			灰黄褐 10YR6/2	PL.104。埋没土。2/3。3.0g。細い紡錘形。
第96図	56住 - 21	土鍾	長 3.2 外 0.9 内 0.3			灰黄褐 10YR5/2	PL.104。埋没土。完形。2.2g。細い紡錘形。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 22	土鍾	長 4.1 外 0.9 内 0.3			灰褐 7.5YR5/2	PL.104。埋没土。完形。2.9g。細い紡錘形。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 23	土鍾	長 3.3 外 0.9 内 0.3			にぶい黄橙 10YR6/3	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.3g。細い紡錘形。
第96図	56住 - 24	土鍾	長 3.4 外 1.0 内 0.3			暗赤褐 5YR3/2	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.4g。細い紡錘形。いぶし状。
第96図	56住 - 25	土鍾	長 3.4 外 0.9 内 0.3			にぶい褐 7.5YR6/3	PL.104。埋没土。完形。2.3g。細い紡錘形。
第96図	56住 - 26	土鍾	長 3.7 外 0.9 内 0.4			灰褐 5YR4/2	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.7g。細い紡錘形か。いぶし状。
第96図	56住 - 27	土鍾	長 3.2 外 0.9 内 0.3			にぶい黄橙 10YR7/3	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.4g。細い紡錘形。
第96図	56住 - 28	土鍾	長 3.0 外 1.0 内 0.4			にぶい褐 7.5YR5/3	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.3g。細い紡錘形か。いぶし状。
第96図	56住 - 29	土鍾	長 3.9 外 0.8 内 0.3			灰黄褐 10YR5/2	PL.104。埋没土。完形。2.2g。細い紡錘形。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 30	土鍾	長 3.0 外 0.9 内 0.4			灰褐 7.5YR5/2	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.1g。棒状。
第96図	56住 - 31	土鍾	長 3.7 外 0.9 内 0.3			灰褐 7.5YR4/2	PL.104。埋没土。完形。3.0g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 32	土鍾	長 2.6 外 0.9 内 0.4			にぶい褐 7.5YR3/5	PL.104。埋没土。2/3。1.7g。棒状。
第96図	56住 - 33	土鍾	長 2.8 外 0.9 内 0.3			褐灰 7.5YR4/1	PL.104。埋没土。2/3。2.0g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 34	土鍾	長 1.6 外 0.8 内 0.3			灰褐 5YR4/2	PL.104。埋没土。1/3。0.9g。紡錘形。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 35	土鍾	長 3.3 外 0.8 内 0.3			にぶい赤褐 5YR5/3	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.1g。棒状か。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 36	土鍾	長 3.3 外 0.9 内 0.3			にぶい褐 7.5YR5/3	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.6g。棒状。
第96図	56住 - 37	土鍾	長 2.7 外 0.9 内 0.3			褐灰 10YR1/4	PL.104。埋没土。2/3。1.9g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 38	土鍾	長 2.9 外 0.9 内 0.2			にぶい褐 7.5YR6/3	PL.104。埋没土。2/3。2.0g。棒状。
第96図	56住 - 39	土鍾	長 3.3 外 0.9 内 0.3			灰褐 7.5YR4/2	PL.104。埋没土。2/3。2.5g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 40	土鍾	長 3.1 外 0.8 内 0.3			褐灰 10YR4/1	PL.104。埋没土。完形。1.9g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 41	土鍾	長 3.1 外 0.9 内 0.3			灰黄褐 10YR5/2	PL.104。埋没土。2/3。2.3g。棒状。
第96図	56住 - 42	土鍾	長 3.2 外 0.7 内 0.3			黒褐 2.5Y3/1	PL.104。埋没土。2/3。1.9g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 43	土鍾	長 3.1 外 0.9 内 0.4			にぶい黄橙 10YR6/3	PL.104。埋没土。2/3。2.5g。棒状。
第96図	56住 - 44	土鍾	長 4.4 外 0.8 内 0.3			灰黄褐 10YR5/2	PL.104。埋没土。完形。3.2g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 45	土鍾	長 3.6 外 0.8 内 0.3			黒褐 10YR3/2	PL.104。埋没土。完形。1.9g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 46	土鍾	長 3.4 外 0.9 内 0.3			褐灰 10YR6/1	PL.104。埋没土。完形。1.8g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 47	土鍾	長 3.2 外 0.8 内 0.3			褐灰 7.5YR4/1	PL.104。埋没土。完形。2.3g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 48	土鍾	長 3.4 外 0.9 内 0.4			灰褐 7.5YR4/2	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.5g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 49	土鍾	長 3.2 外 0.9 内 0.3			灰褐 7.5YR4/2	PL.104。埋没土。ほぼ完形。2.3g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 50	土鍾	長 2.7 外 0.8 内 0.3			灰褐 7.5YR4/2	PL.104。埋没土。2/3。1.9g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 51	土鍾	長 2.6 外 0.9 内 0.3			褐灰 7.5YR4/1	PL.104。埋没土。2/3。1.7g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 52	土鍾	長 2.4 外 0.8 内 0.3			灰褐 7.5YR5/2	PL.104。埋没土。完形。1.7g。細い紡錘形。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 53	土鍾	長 2.1 外 0.9 内 0.3			にぶい褐 7.5YR5/3	PL.104。埋没土。1/3。1.4g。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 54	土鍾	長 1.9 外 0.8 内 0.4			灰褐 5YR4/2	PL.104。埋没土。1/3。1.2g。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 55	土鍾	長 2.1 外 0.9 内 0.4			にぶい橙 7.5YR6/4	PL.104。埋没土。1/3。1.8g。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 56	土鍾	長 2.1 外 0.8 内 0.3			褐灰 10YR4/1	PL.104。埋没土。1/2。1.4g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 57	土鍾	長 3.4 外 0.8 内 0.3			灰褐 7.5YR6/2	PL.104。埋没土。2/3。2.1g。棒状。
第96図	56住 - 58	土鍾	長 2.7 外 0.9 内 0.3			灰褐 7.5YR5/2	PL.104。埋没土。1/2。2.1g。棒状。いぶし状、褐色。
第96図	56住 - 59	磨石	長 5.5 短 5.1			粗粒輝石安山岩	PL.104。埋没土。完形。183g。厚4.6cm。6面平滑。
第98図 PL.103	57住 - 1 床直	土師器 坏	口 12.0 高 3.7	残底 8.0		橙 7.5YR6/6 酸化	口唇部僅かに外反。底部型肌、平ら。
第98図 PL.103	57住 - 2 埋没土	土師器 甕	口 (18.0) 高 <7.5>	残口縁片底		にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部外面篋削り、内面刷毛目。一部煤付着。
第98図 PL.103	57住 - 3 埋没土	土師器 甕	口高 <2.8>	残底部片底 (4.2)		にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	底部篋削り、平ら。胴部外面篋削り、内面刷毛目。外面煤付着。57住-2と同一の可能性有り。

第3章 検出された遺構と遺物

第98図 PL.103	57住-4 床直	羽釜	口(21.0) 残口縁片 高<9.8> 底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部内傾。口唇部内斜。鋤台形、上向き。
第98図	57住-5	土錘	長4.4 外2.5 内0.9	橙 5YR6/8	PL.103。埋没土。完形。23.9g。筒形。
第98図	57住-6	釘	長<5.7> 短 0.6		PL.103。埋没土。1/2。厚0.5cm。
第98図	57住-7	鎌	長<16.3> 短 3.9		PL.103。床直。1/2。厚0.4cm。
第100図 PL.105	60住-1 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高<1.3> 底 5.4	灰白 10YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。
第100図 PL.105	60住-2 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高<1.1> 底 6.2	橙 7.5YR6/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り。一部黒斑。
第100図 PL.105	60住-3 床直	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高<3.0> 底 8.8	橙 2.5YR6/6 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。
第100図 PL.105	60住-4 床直	土師器 坏	口(12.4) 残 1/5 高<3.2> 底 (9.2)	橙 5YR6/6 酸化	口唇部僅かに外反。底部斲削り、扁平。
第100図 PL.105	60住-5 床直	土師器 坏	口(13.8) 残 1/4 高 3.9 底 (9.9)	橙 5YR6/6 酸化	口唇部僅かに内弯。器肉薄く、歪む。底部斲削り、扁平。
第100図 PL.105	60住-6 床直	土師器 坏	口 11.8 残 完形 高 3.4 底 7.9	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部外反。口唇部歪み有り。底部斲削り、扁平。
第100図 PL.105	60住-7 床直	土師器 坏	口(11.6) 残 2/3 高 3.5 底 8.3	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口唇部僅かに内弯。底部斲削り、扁平。
第100図 PL.105	60住-8 床直	土師器 坏	口 15.0 残 1/3 高<5.7> 底 (9.3)	橙 7.5YR7/6 酸化	口唇部僅かに外反。口縁下半部横斲削り、底部斲削り、扁平。内面放射状の暗文。
第100図 PL.105	60住-9 床直	土師器 甕	口(20.0) 残口縁片 高<7.4> 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。
第100図 PL.105	60住-10 床直	軟質陶器 培塔か	口 残底部片 高<0.7> 厚 0.7	黄灰 2.5Y6/1	磨滅著しい。
第100図 PL.105	60住-11 埋没土	須恵器 甕	口(21.0) 残口縁片 高<3.3> 底	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。口縁部やや短い。
第100図	60住-12	刀子	長<7.7> 短 1.9		PL.105。床直。破片。厚0.4cm。
第100図	60住-13	鉄製品	長<5.4> 短 1.7		PL.105。床直。破片。厚0.8cm。火打ち金か。
第100図	60住-14	釘	長<5.7> 短 0.7		PL.105。床直。破片。厚0.8cm。
第100図	60住-15	鉄製品	長 3.3 短 0.8		PL.105。床直。破片。厚0.9cm。用途不明。
第100図	60住-16	台石	長<16.0> 短 13.3	石英閃緑岩	PL.105。床直。2/3。4.9kg。厚13.0cm。未製品か。
第102図 PL.105	61住-1 床直	須恵器 皿	口(13.0) 残口縁片 高<2.0> 底	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。外面煤付着。磨滅著しい。
第102図 PL.105	61住-2 埋没土	須恵器 皿	口(13.0) 残口縁片 高<2.0> 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	軟質。口唇部外反。
第102図 PL.105	61住-3 床直	須恵器 高台付皿	口(13.4) 残 1/2 高<2.6> 底 (7.0)	にぶい橙 5YR6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉厚い。磨滅著しい。
第102図 PL.105	61住-4 床直	須恵器 高台付皿	口 12.8 残 完形 高 3.3 底 6.4	黄灰 2.5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉厚い。全体いぶし状、黒色。
第102図 PL.105	61住-5 床直	須恵器 皿	口 残底部片 高<1.7> 底 (7.5)	灰白 7.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り、器肉薄い。磨滅著しい。
第102図 PL.105	61住-6 埋没土	須恵器 坏	口(12.0) 残 1/4 高 4.4 底 (6.0)	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。底部回転糸切り。
第102図 PL.105	61住-7 埋没土	須恵器 坏	口(13.0) 残口縁片 高<3.2> 底	褐灰 10YR6/1 還元	やや軟質。
第102図 PL.105	61住-8 床直	須恵器 高台付塊	口 15.0 残 完形 高 5.2 底 7.3	灰 5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、短い付高台。器肉厚い。磨滅気味。
第102図 PL.105	61住-9 床直	須恵器 高台付塊	口 15.0 残 3/4 高 4.9 底 7.0	灰 5Y6/1 還元	軟質。付高台、器肉厚い。磨滅著しい。
第102図 PL.105	61住-10 埋没土	須恵器 高台付塊	口(14.0) 残 1/4 高 5.1 底 (7.1)	灰 7.5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。磨滅気味。
第103図 PL.105	61住-11 床直	須恵器 高台付塊	口(15.0) 残 1/2 高 5.1 底 7.6	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。
第103図 PL.105	61住-12 床直	須恵器 高台付塊	口 13.4 残 完形 高 5.2 底 7.6	黄灰 2.5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、短い付高台、黒斑。器肉厚い。
第103図 PL.105	61住-13 床直	須恵器 高台付塊	口 14.9 残 1/2 高 4.8 底 7.4	褐灰 10YR6/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。磨滅気味。
第103図 PL.105	61住-14 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高<2.6> 底 8.0	黄灰 2.5Y7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。磨滅著しい。
第103図 PL.105	61住-15 埋没土	須恵器 高台付塊	口(14.2) 残 1/3 高 5.6 底 (7.4)	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。外面墨書、口縁部「□林」、底部「林」。
第103図 PL.106	61住-16 埋没土	須恵器 甕	口 残底部片 高<6.5> 底 (8.0)	灰 10Y6/1 還元	硬質。外面平行叩き目、内面撫で調整。底部叩き目。扁平。
第103図 PL.106	61住-17 埋没土	須恵器 甕	口 残肩部片 厚 0.6	暗灰 N3/ 還元	硬質。胴部外面平行叩き目、内面同心円当て目。1~5mmの白色粒含む。
第103図 PL.106	61住-18 床直	須恵器 甕	口 残胴部片 高<14.3> 厚 0.7	灰 N4/ 還元	硬質。内外面回転伴う刷毛目。4mmの白色粒僅かに含む。
第103図 PL.106	61住-19 床直	土師器 坏	口(12.0) 残 1/4 高 2.4 底 (9.5)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部内弯気味立ち上がる。口唇部と底部の割れ口に穿孔。底部斲削り、平ら。器高低い。
第103図 PL.106	61住-20 埋没土	土師器 坏	口 残底部片 厚 0.5	にぶい橙 5YR6/4 酸化	底部斲削り、平ら。内面墨書「林」。外面いぶし状、褐色。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第103図 PL.106	61住 - 21 床直	土師器 坏	口 (11.6) 高 3.6	残底 1/2 8.7	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反、撫でによる稜有り。底部篋削り、扁平。底部内外面に墨書、「林」。
第103図 PL.106	61住 - 22 埋没土	土師器 坏	口 12.0 高 3.5	残底 3/4 8.0	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部外反。口縁部楕円形、歪む。底部篋削り、扁平。
第103図 PL.106	61住 - 23 床直	土師器 坏	口 11.8 高 6.8	残底 3/4 3.2	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反。底部篋削り、平ら。口縁部楕円形。外面一部、黒色付着。
第103図 PL.106	61住 - 24 埋没土	土師器 坏	口 (8.0) 高 3.5	残底 1/4 (8.0)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部やや長く指押さえ残る。楕円形、歪み有り。口唇部僅かに内弯。底部篋削り、平ら。
第103図 PL.106	61住 - 25 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.1	残底 1/3 (7.6)	明赤褐 5YR5/6 酸化	底部篋削り、平ら。内面一部、黒色付着。
第103図 PL.106	61住 - 26 床直	土師器 坏	口 12.0 高 3.1	残底 完形 8.4	橙 7.5YR6/6 酸化	口唇部内弯。口縁部紐づくり接合痕残る。底部篋削り、扁平。
第103図 PL.106	61住 - 27 床直	土師器 坏	口 12.0 高 3.4	残底 3/4 8.6	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化	底部篋削り、平ら。口縁部一部黒斑。
第103図 PL.106	61住 - 28 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 <3.1>	残口縁片 底 (8.0)	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部外反。口唇部僅かに内弯。一部黒斑。底部篋削り、扁平。
第103図 PL.106	61住 - 29 埋没土	土師器 坏	口 11.8 高 3.0	残底 3/4 8.6	橙 5YR6/6 酸化	口唇部僅かに内弯。底部篋削り、平ら。外面底部黒色付着。
第103図 PL.106	61住 - 30 床直	土師器 坏	口 11.5 高 2.9	残底 完形 8.5	にぶい橙 5YR7/4 酸化	口唇部僅かに内弯。底部篋削り、平ら。
第103図 PL.106	61住 - 31 床直	土師器 坏	口 (12.8) 高 3.0	残底 1/3 (8.4)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部指押さえ残る。口唇部一部黒色。底部篋削り、扁平。
第103図 PL.106	61住 - 32 床直	土師器 坏	口 11.8 高 3.2	残底 2/3 8.0	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口唇部僅かに内弯。口縁部歪む。底部篋削り、平ら。
第103図 PL.106	61住 - 33 床直	土師器 坏	口 12.2 高 3.5	残底 2/3 8.5	明褐 7.5YR5/6 酸化	口唇部僅かに内弯。口縁部歪む。底部篋削り、平ら。
第104図 PL.106	61住 - 34 床直	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.0	残口縁片 底 (8.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、平ら。胎土水澆しで良好。内面一部褐色。
第104図 PL.106	61住 - 35 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 2.7	残口縁片 底 (8.2)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、平ら。胎土水澆しで良好。摩滅気味。
第104図 PL.106	61住 - 36 床直	土師器 坏	口 (11.6) 高 3.1	残口縁片 底 (8.6)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	底部篋削り、平ら。
第104図 PL.106	61住 - 37 床直	土師器 坏	口 11.6 高 3.0	残底 1/2 7.8	にぶい橙 5YR6/4 酸化	底部篋削り、平ら。一部煤付着、褐色。
第104図 PL.106	61住 - 38 埋没土	土師器 坏	口 (12.4) 高 3.4	残口縁片 底 (7.4)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口唇部黒斑。口縁部楕円形歪む。底部篋削り、平ら。
第104図 PL.106	61住 - 39 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 <2.7>	残口縁片 底 8.8	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口唇部僅かに内弯。底部篋削り、扁平。
第104図 PL.106	61住 - 40 床直	土師器 甕	口 (18.8) 高 <11.8>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。
第104図 PL.106	61住 - 41 床直	土師器 甕	口 (19.5) 高 <5.5>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。
第104図 PL.106	61住 - 42 床直	土師器 甕	口 (21.0) 高 <8.7>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉やや厚い。一部黒色付着。
第104図 PL.106	61住 - 43 床直	土師器 甕	口 (19.6) 高 <6.5>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。一部煤付着。
第104図 PL.106	61住 - 44 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <8.2>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。
第104図 PL.106	61住 - 45 床直	土師器 甕	口 (18.0) 高 <8.3>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状。肩部外面一部黒斑。
第104図 PL.106	61住 - 46 床直	土師器 甕	口 (20.0) 高 <6.2>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。
第104図 PL.106	61住 - 47 床直	土師器 甕	口 (19.4) 高 <4.5>	残口縁片 底	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。一部煤付着。
第104図 PL.106	61住 - 48 埋没土	土師器 甕	口 高 <2.5>	残口縁片 厚 0.5	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部外反。内面煤付着、褐色。
第104図 PL.106	61住 - 49 埋没土	土師器 甕	口 高 <5.0>	残胴部片 厚 0.3	橙 5YR6/6 酸化	器肉薄い。
第104図 PL.106	61住 - 50 埋没土	土師器 甕	口 高 <3.9>	残底部片 底 4.1	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	底部篋削り、平ら。胴部外面煤付着、褐色。
第104図 PL.106	61住 - 51 埋没土	土師器 小型甕	口 高 <3.0>	残底部片 底 (3.7)	橙 7.5YR6/6 酸化	底部篋削り、平ら。
第104図 PL.106	61住 - 52 埋没土	土師器 甕	口 高 <3.6>	残底部片 底 (4.0)	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り、平ら。外面煤付着。
第104図 PL.106	61住 - 53 床直	土師器 甕	口 高 <3.4>	残底部片 底 4.0	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り、平ら。外面一部煤付着、褐色。
第104図 PL.106	61住 - 54 埋没土	土師器 甕	口 高 <3.5>	残底部片 底 (4.6)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、平ら。外面一部煤付着、褐色。
第104図 PL.106	61住 - 55 埋没土	土師器 甕	口 高 <4.5>	残胴部片 底	橙 5YR6/6 酸化	外面摩滅気味。
第104図 PL.106	61住 - 56 埋没土	土師器 台付甕	口 高 <3.3>	残台部片 底 (9.0)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	台部横撫で。外面煤付着、褐色。

第3章 検出された遺構と遺物

第104図	61住 - 57	土錘	長 4.6 外 1.6 内 0.4	灰白 10YR8/2	PL.106。床直。完形。9.3g。筒形。一部黒色。
第104図	61住 - 58	土錘	長 3.9 外 1.6 内 0.6	灰白 7.5YR8/2	PL.106。床直。完形。8.9g。紡錘形。一部いぶし状。
第104図	61住 - 59	土錘	長 4.4 外 1.8 内 0.7	灰黄 2.5YR7/2	PL.106。床直。完形。12.3g。筒形。
第104図	61住 - 60	土錘	長 4.1 外 1.5 内 0.5	灰白 2.5Y7/2	PL.106。床直。完形。8.9g。筒形。一部黒斑。
第104図	61住 - 61	土錘	長 2.8 外 0.9 内 0.3	灰褐 7.5YR6/2	PL.106。埋没土。完形。2.1g。細い紡錘形。いぶし状。
第104図	61住 - 62	土錘	長 2.7 外 0.9 内 0.3	明褐灰 7.5YR8/3	PL.106。埋没土。完形。2.3g。細い紡錘形。
第104図	61住 - 63	土錘	長 3.4 外 0.8 内 0.3	明褐灰 7.5YR7/2	PL.106。埋没土。完形。2.3g。棒状。
第104図	61住 - 64	石鏃	長 1.3 短 1.1	チャート	PL.106。埋没土。完形。0.24g。厚0.2cm。
第104図	61住 - 65	釘	長 <5.4> 短 0.5		PL.106。埋没土。破片。厚0.6cm。
第104図	61住 - 66	釘	長 12.4 短 1.3		PL.106。埋没土。3/4。厚0.7cm。
第107図 PL.107	62住 - 1 埋没土	灰釉陶器 壺	口 (10.0) 残口縁片 高 <2.8> 底	灰白 2.5Y7/1	口縁部外反。内外面施釉、灰オリーフ7.5Y5/3。
第107図 PL.107	62住 - 2 床直	須恵器 高台付皿	口 (14.0) 残口縁片 高 <3.0> 底	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。付高台。口縁部いぶし状、一部黒色。摩滅気味。
第107図 PL.107	62住 - 3 床直	須恵器 高台付皿	口 (12.8) 残 1/2 高 <2.1> 底	灰 N6/ 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。剥離、摩滅著しい。
第107図 PL.107	62住 - 4 床直	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <1.8> 底 6.4	にぶい褐 7.5YR6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。全体いぶし状、褐色。
第107図 PL.107	62住 - 5 床直	須恵器 坏	口 (11.6) 残 1/4 高 <3.9> 底 (6.7)	黄灰 2.5Y5/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り。
第107図 PL.107	62住 - 6 床直	須恵器 坏	口 13.0 残 完形 高 4.1 底 5.4	にぶい黄橙 10YR7/2 酸化	軟質。底部右回転糸切り、径小さい、黒斑。
第107図 PL.107	62住 - 7 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高 <2.9> 底 (7.0)	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第107図 PL.107	62住 - 8 埋没土	須恵器 坏	口 (13.0) 残 1/5 高 3.0 底 (5.6)	灰白 7.5Y8/1 還元	軟質。底部回転糸切り。口唇部一部歪み有り。
第107図 PL.107	62住 - 9 床直	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <1.8> 底 6.0	にぶい黄橙 10YR7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内外面煤付着。底部外面墨書、「林」。
第107図 PL.107	62住 - 10 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <2.3> 底 (7.0)	にぶい黄橙 10YR7/2 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。体部いぶし状、黒色。摩滅気味。
第107図 PL.107	62住 - 11 床直	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <2.5> 底 6.4	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り、細い付高台。内面黒色。
第107図 PL.107	62住 - 12 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <3.5> 底 5.5	灰 5Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、短い付高台。口縁部器肉薄い。
第107図 PL.107	62住 - 13 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <3.2> 底 (7.6)	灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。付高台。摩滅気味。
第107図 PL.107	62住 - 14 埋没土	須恵器 甕	口 (18.0) 残口縁片 高 <5.3> 底	浅黄 2.5Y7/3 酸化	軟質。口縁部「く」の字状外反短い。摩滅気味。
第107図 PL.107	62住 - 15 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 残口縁片 高 <6.2> 底	橙 5YR6/8 酸化	口縁部「コ」の字状。胎土水澆して緻密。摩滅著しい。
第107図 PL.107	62住 - 16 床直	土師器 甕	口 20.0 残口胴片 高 <24.6> 底	にぶい橙 7.5YR7/3 酸化	口縁部外反、一部黒斑。外面下半部一部いぶし状。
第107図 PL.107	62住 - 17 床直	土師器 甕	口 (13.0) 残口縁片 高 <7.0> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部外面篋削り、煤状の黒色付着。
第107図 PL.107	62住 - 18 埋没土	土師器 甕	口 残底部片 高 <5.0> 底 (4.5)	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化	底部篋削り、平ら。外面黒斑。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第107図	62住 - 19	土錘	長 2.7 外 0.8 内 0.3	にぶい橙 7.5YR6/4	PL.107。埋没土。3/4。1.5g。棒状。
第107図	62住 - 20	土錘	長 5.3 外 2.2 内 0.7	浅黄 10YR8/3	PL.107。埋没土。完形。18.1g。紡錘形。
第107図	62住 - 21	磨石	長 13.4 短 11.7	粗粒輝石安山岩	PL.107。床直。完形。1.132kg。厚5.2cm。敲石にも使用。
第108図 PL.103	63住 - 1 床直	須恵器 坏	口 12.6 残 完形 高 4.0 底 7.4	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り。摩滅気味。
第108図 PL.103	63住 - 2 床直	須恵器 坏	口 10.5 残 完形 高 3.1 底 6.0	にぶい橙 5YR7/4 酸化	軟質。底部右回転糸切り。摩滅気味。
第108図 PL.103	63住 - 3 床直	須恵器 坏	口 10.2 残 1/2 高 2.8 底 5.8	橙 2.5YR6/6 酸化	軟質。平底。内面一部黒色。摩滅著しく、成整形不明瞭。
第108図 PL.103	63住 - 4 床直	土師器 坏	口 12.1 残 完形 高 3.4 底 6.8	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反。口唇部僅かに内弯。楕円形歪む。底部型肌、扁平。
第109図 PL.107	64住 - 1 埋没土	須恵器 塊	口 (13.4) 残 2/5 高 4.1 底 7.0	にぶい黄橙 10YR7/2 還元	軟質。剥離、摩滅著しく、成整形不明瞭。
第109図 PL.107	64住 - 2 埋没土	須恵器 皿	口 (15.2) 残口縁片 高 <2.5> 底	灰 N5/ 還元	硬質。器肉薄い。3mmの白色粒少量含む。
第111図 PL.107	65住 - 1 床直	灰釉陶器 高台付碗	口 13.0 残 1/2 高 4.0 底 6.6	灰白 7.5Y7/1	付高台。体部下回転篋削り。施釉、灰白5Y7/2。剥離気味。内面重ね焼き痕、剥離。凹む。
第111図 PL.107	65住 - 2 床直	須恵器 高台付塊	口 (14.0) 残 1/5 高 4.5 底 (6.4)	にぶい褐 7.5YR6/3 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第111図 PL.107	65住 - 3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (13.0) 残口縁片 高 <4.0> 底	橙 5YR6/6 酸化	軟質。摩滅気味。
第111図 PL.107	65住 - 4 埋没土	土師器 坏	口 (12.6) 残 1/3 高 3.2 底 (7.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部外反。口唇部僅かに内弯。底部型肌。
第111図 PL.107	65住 - 5 床直	土師器 甕	口 残底部片 高 <2.5> 底 (4.0)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	底部平ら、砂底。胴部外面篋削り、内面篋撫で。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第113図 PL.107	67住 - 1 床直	須恵器 高台付塊	口 13.8 高 5.1	残 完形 底 (6.4)	灰白 2.5Y8/2 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。口縁部楕円形、歪む。一部赤変。摩滅気味。
第113図 PL.107	67住 - 2 床直	須恵器 高台付塊	口 (14.4) 高 5.6	残 1/3 底 6.1	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、楕円状付高台、歪む。底部内面黒斑。摩滅著しい。
第113図 PL.107	67住 - 3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <4.0>	残底部片 底 (7.3)	灰 5Y5/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。
第113図 PL.107	67住 - 4 埋没土	土師器 坏	口 (12.2) 高 3.8	残 1/3 底 (7.2)	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部外反。口唇部僅かに内弯。砂底。
第113図 PL.107	67住 - 5 埋没土	土師器 甕	口 (22.0) 高 <20.4>	残口胴片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反、器肉厚い。
第113図 PL.107	67住 - 6 埋没土	土師器 台付甕	口 高 <3.2>	残台部片 底 (9.8)	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	台部貼付。器肉厚く、撫で調整。
第114図 PL.107	68住 - 1 床直	須恵器 蓋	口 高 <3.1>	残天井部 摘径 3.2	灰白 2.5Y7/1 還元	やや軟質。天井部環状摘み接合後、回転篋削り調整。
第114図 PL.107	68住 - 2 床直	土師器 坏	口 11.7 高 3.7	残 完形 底 5.6	橙 5YR6/6 酸化	底部型肌、平ら。径小さい。内面摩滅気味。
第116図 PL.108	72住 - 1 埋没土	須恵器 蓋	口 (15.0) 高 <2.5>	残端部片 厚 0.9	灰白 10Y7/1 還元	硬質。天井部摘み接合後、撫で調整。
第116図 PL.108	72住 - 2 床直	須恵器 高台付塊	口 (15.3) 高 <3.7>	残口縁片 底	黄灰 2.5Y6/1 還元	軟質。全体いぶし状、黒色気味。器面12mmの砂粒含む。
第116図 PL.108	72住 - 3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (14.0) 高 <4.2>	残口縁片 底	灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。摩滅気味。2mmの砂粒僅かに含む。
第116図 PL.108	72住 - 4 床直	土師器 甕	口 (19.0) 高 <11.9>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ器肉やや厚く短い。一部煤付着。
第116図 PL.108	72住 - 5 埋没土	羽釜	口 高 <6.0>	残胴部片 厚 0.7	灰 5Y6/1 還元	軟質。下部欠損後、端部調整し使用か。
第118図 PL.108	73住 - 1 床直	須恵器 高台付塊	口 13.0 高 4.7	残 1/3 底 (5.8)	褐灰 10YR7/1 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第118図 PL.108	73住 - 2 床直	須恵器 高台付塊	口 (13.4) 高 5.6	残 1/3 底 6.7	にぶい褐 7.5YR5/3 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第118図 PL.108	73住 - 3 床直	須恵器 高台付塊	口 高 <2.2>	残底部片 底 (6.4)	褐灰 10YR6/1 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第118図 PL.108	73住 - 4 床直	土師器 甕	口 (18.8) 高 24.2	残 1/2 底 3.6	橙 5YR7/6 酸化	口縁部「コ」の字状、歪み有り。胴部煤付着。
第118図 PL.108	73住 - 5 床直	土師器 甕	口 (21.0) 高 <7.6>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れる。胴部外面篋削り、内面刷毛目の後篋撫で。
第118図 PL.108	73住 - 6 埋没土	土師器 台付甕	口 (13.0) 高 <12.1>	残上半部 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや短い。外面から口縁部内面煤付着。
第118図 PL.108	73住 - 7 床直	土師器 甕	口 (11.6) 高 <3.6>	残口縁片 底	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部「く」の字状、外反。器肉やや厚い。胴部外面横篋削り、内面篋撫で。胴部外面一部黒色。
第118図 PL.108	73住 - 8 床直	土師器 台付甕	口 高 <4.0>	残底部片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	胴部外面篋削り、内面篋撫で。台部横撫で。外面煤付着。
第118図 PL.108	73住 - 9	土錘	長 3.6 外 1.1 内 0.3		黒褐 10YR3/1	PL.108。床直。完形。4.1g。棒状。一部いぶし状。
第118図 PL.108	73住 - 10	土錘	長 3.8 外 1.9 内 0.8		にぶい黄橙 10YR7/3	PL.108。床直。2/3。9.1g。紡錘形。
第120図 PL.108	74住 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 (12.2) 高 3.3	残 1/3 底 8.4	灰白 10YR7/1 還元	硬質。底部回転篋削り、平ら。
第120図 PL.108	74住 - 2 床直	須恵器 坏	口 13.0 高 4.1	残 2/3 底 6.4	にぶい黄橙 10YR7/2 酸化	軟質。底部右回転糸切り、外面黒斑。摩滅気味。
第120図 PL.108	74住 - 3 床直	須恵器 坏	口 (12.8) 高 4.0	残口縁片 底 (8.0)	灰 5Y5/1 還元	硬質。底部回転篋削り調整。
第120図 PL.108	74住 - 4 床直	須恵器 坏	口 高 <2.7>	残底部片 底 (7.6)	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。摩滅著しい。
第120図 PL.108	74住 - 5 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.3>	残底部片 底 (8.0)	灰白 2.5Y8/1 還元	軟質。平底。摩滅著しい。
第120図 PL.108	74住 - 6 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.7>	残底部片 底 (6.0)	灰 5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。摩滅気味。
第120図 PL.108	74住 - 7 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高 <3.0>	残底部片 底 (10.0)	褐灰 10YR5/1 還元	硬質。付高台、端部平ら。
第120図 PL.108	74住 - 8 床直	土師器 坏	口 (14.4) 高 2.2	残口縁片 底 (11.5)	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り、平ら。器高低い。
第120図 PL.108	74住 - 9 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.1	残口縁片 底 (7.6)	明赤褐 5YR5/6 酸化	口唇部内弯気味。底部篋削り、平ら。
第120図 PL.108	74住 - 10 埋没土	土師器 坏	口 12.4 高 3.5	残 1/2 底 10.0	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部内弯気味立ち上がる。底部篋削り、扁平。器高低い。
第120図 PL.108	74住 - 11 埋没土	須恵器 甕	口 高 <4.9>	残口縁片 底	灰白 5Y8/1 還元	やや軟質。口縁部外反。内面剥離。
第120図 PL.108	74住 - 12 床直	土師器 甕	口 (14.0) 高 <7.0>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状。一部煤付着。口唇部一部折り返し部有り。
第120図 PL.108	74住 - 13 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 高 <9.4>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状。
第120図 PL.108	74住 - 14 床直	土師器 甕	口 22.8 高 <9.5>	残口縁片 底	明赤褐 5YR5/8 酸化	口縁部「く」の字状、外反。外面煤付着、一部褐色。

第3章 検出された遺構と遺物

第120図 PL.108	74住 - 15 床直	土師器 甕	口 21.8 高 31.9	残 3/4 底 6.0	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「く」の字状、外反。内面一部いぶし状。胴部外面 篋削り、内面篋撫で。底部平ら。一部黒斑。
第120図 PL.108	74住 - 16 床直	土師器 甕	口 22.0 高<12.7>	残上半部 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「く」の字状、外反。胴部長胴、外面煤付着。器肉 薄い。
第120図 PL.108	74住 - 17 床直	土師器 甕	口 高<2.2>	残底部片 底 (3.6)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	底部篋削り、平ら。外面煤付着。
第120図 PL.108	74住 - 18 床直	土師器 台付甕	口 高<3.3>	残台部片 底 9.6	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部横撫で、端部歪む。
第120図 PL.108	74住 - 19 床直	土師器 甕	口 22.5 高 (27.7)	残口底片 底 (4.4)	にぶい黄褐 10YR5/3 酸化	口縁部外反、器肉厚い長胴。外面縦篋削り、内面横篋撫で、 一部煤付着。
第120図 PL.109	74住 - 20 床直	磨石	長 13.2	短 8.2	粗粒輝石安山岩	PL.108。床直。完形。783 g。厚4.5cm。
第121図 PL.109	78住 - 1 床直	須恵器 坏	口 13.3 高 3.8	残 完形 底 6.0	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第121図 PL.109	78住 - 2 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高<1.9>	残底部片 底 6.4	灰黄褐 10YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。全体いぶし状、黒色。
第121図 PL.109	78住 - 3 床直	須恵器 高台付塊	口 13.7 高 5.2	残 3/4 底 5.2	灰白 2.5Y8/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、低い付高台。径小さい。摩滅 気味。
第122図 PL.109	80住 - 1 埋没土	土師器 坏	口 (12.1) 高 4.0	残口縁片 底 (6.5)	にぶい褐 7.5YR6/3 酸化	口縁部やや長く口唇部外反。底部型肌。外面いぶし状、一 部黒色。
第122図 PL.109	80住 - 2 床直	土師器 甕	口 (13.0) 高<5.2>	残口縁片 底	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ器肉やや厚い。胴部外面縦 篋削り、煤付着。内面横篋撫で。
第122図 PL.109	80住 - 3 床直	須恵器 把手付甕	口 高<7.0>	残肩部片 厚 0.6	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。ロクロ整形による横撫で。把手部貼付。
第122図 PL.109	80住 - 4 床直	磨石	長 7.1	短 5.1	軽石	PL.109。床直。完形。20 g。厚2.6cm。
第123図 PL.109	82住 - 1 床直	須恵器 高台付塊	口 14.0 高 5.7	残 2/3 底 (6.6)	にぶい黄橙 10YR7/3 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。内面黒斑。
第123図 PL.109	82住 - 2 床直	須恵器 高台付塊	口 (14.4) 高 6.4	残 1/2 底 4.6	にぶい橙 5YR7/4 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅気味。
第123図 PL.109	82住 - 3 床直	須恵器 高台付塊	口 (16.6) 高<6.4>	残 3/4 底	灰黄褐 10YR5/2 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内外面一部油煙付着。
第123図 PL.109	82住 - 4 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (12.8) 高<3.7>	残口縁片 底	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化	軟質。内面「▽」篋記号か。
第123図 PL.109	82住 - 5 床直	須恵器 高台付塊	口 高<2.4>	残底部片 底 6.8	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅気味。
第123図 PL.109	82住 - 6 床直	須恵器 高台付塊	口 高<2.2>	残底部片 底 6.8	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。外面いぶし状。
第123図 PL.109	82住 - 7 床直	須恵器 高台付塊	口 高<4.8>	残底部片 底 6.2	灰白 10YR7/1 還元	軟質。付高台、器肉厚い。径小さい。摩滅気味。
第123図 PL.109	82住 - 8 埋没土	土師器 甕	口 高<1.5>	残底部片 底 (8.2)	浅黄橙 10YR8/3 酸化	底部篋削り、扁平。外面一部黒斑。
第124図 PL.109	83住 - 1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (14.6) 高 7.0	残 1/4 底 5.1	にぶい褐 7.5YR6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅気味。
第124図 PL.109	83住 - 2 埋没土	須恵器 高台付皿	口 (13.6) 高 3.3	残 1/3 底 (6.0)	灰白 5Y7/1 還元	軟質。付高台。口縁部外面黒斑。摩滅著しい。
第124図 PL.109	83住 - 3 床直	須恵器 高台付塊	口 (12.6) 高<3.8>	残口縁片 底	にぶい橙 5YR6/4 酸化	軟質。内面底部 黒色。
第124図 PL.109	83住 - 4 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高<2.1>	残底部片 底 6.0	灰白 2Y8/2 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第124図 PL.109	83住 - 5 埋没土	土師器 台付甕	口 高<4.2>	残台部片 底 9.6	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	台部横撫で、端部やや楕円形歪む。
第126図 PL.109	87住 - 1 埋没土	緑釉陶器 碗	口 (16.0) 高<3.1>	残口縁片 厚 0.4	灰 5Y6/1	硬質。輪花。陰刻花文。施釉、オリープ黄7.5Y6/3。
第126図 PL.109	87住 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 高<2.6>	残底部片 底 (6.0)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。摩滅著しい。
第126図 PL.109	87住 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 (13.0) 高<3.4>	残口縁片 底	灰 5Y6/1 還元	軟質。摩滅著しい。
第126図 PL.109	87住 - 4 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高<2.5>	残底部片 底 (7.0)	にぶい橙 7.5YR7/4 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内面いぶし焼成、暗 文。
第127図 PL.109	88住 - 1 床直	土師器 坏	口 12.0 高 3.4	残 完形 底 8.6	にぶい橙 7.5YR7/6 酸化	口縁部外反。底部篋削り、扁平。歪み有り。外面一部いぶ し状、黒色。
第127図 PL.109	88住 - 2 床直	磨石	長 13.4	短 3.8	粗粒輝石安山岩	PL.109。床直。完形。340 g。厚2.8cm。
第131図 PL.110	2 堅 - 1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高<1.9>	残底部片 底 6.3	黒褐 10YR3/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。いぶし状、黒色。
第131図 PL.110	2 堅 - 2 埋没土	須恵器 高台付塊	口 高<2.3>	残底部片 底 6.0	灰白 5Y8/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。楕円形歪む。一部黒斑。
第131図 PL.110	2 堅 - 3 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高<3.0>	残口縁片 底 (8.0)	橙 5YR6/6 酸化	口唇部僅かに内弯。底部篋削り、平ら。
第131図 PL.110	2 堅 - 4 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高<6.0>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れる。胎土良好。
第131図 PL.110	2 堅 - 5 埋没土	土錘	長 3.3 外 0.9 内 0.2		にぶい褐 7.5YR6/3	PL.110。埋没土。完形。2.1 g。棒状。一部いぶし状、褐色。
第131図 PL.110	2 堅 - 6 埋没土	土錘	長 4.9 外 1.6 内 0.4		にぶい黄橙 10YR7/3	PL.110。埋没土。完形。10.8 g。紡錘形。
第131図 PL.110	2 堅 - 7 埋没土	鉄製品	長<5.6>	短 1.2		PL.110。埋没土。破片。厚0.6cm。用途不明。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第131図	2 堅 - 8	敲石	長<12.8>	短 5.6	粗粒輝石安山岩	PL.110。床直。3/4。560g。厚4.6cm。平滑、擦痕有り。
第131図 PL.110	4 堅 - 1 埋没土	須恵器 台付壺	口 高 <6.5>	残胴部片 厚 (0.8)	褐灰 7.5YR4/1 還元	硬質。ロクロ整形。胴部外面一部、黒色付着。
第131図 PL.110	5 堅 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 12.8 高 3.2	残 3/4 底 9.0	灰白 10YR7/1 還元	硬質。底部回転斡削り調整、径大きい。器高低い。
第131図 PL.110	6 堅 - 1 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 (14.0) 高 <6.0>	残口縁片 底	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。器高高い。外面摩滅気味。
第131図 PL.110	6 堅 - 2 埋没土	土師器 台付甕	口 高 <3.2>	残台部片 底 (9.0)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	台部横撫で。外面摩滅気味。
第131図	6 堅 - 3	土鍾	長 4.2 外 1.9 内 0.5		にぶい橙 7.5YR6/4	PL.110。埋没土。完形。13.6g。紡錘形。
第131図	6 堅 - 4	鉄鏃	長 15.5	短 2.0		PL.110。埋没土。完形。厚0.7cm。有茎。
第134図 PL.110	34ビ - 1 埋没土	土師器 坏	口 (12.4) 高 4.4	残 1/2 底 7.0	灰褐 7.5YR4/2 酸化	底部型肌、平ら。いぶし状。
第134図	34ビ - 2	砥石	長 12.0	短 5.2	砥沢石	PL.110。埋没土。2/3。190g。厚2.1cm。5面使用。
第134図 PL.110	38ビ - 1 床直	須恵器 高台付瓿	口 高 <2.4>	残底部片 底 (8.6)	橙 5YR6/6 酸化	軟質。やや高い付高台。
第134図	58ビ - 1	釘	長<13.0>	短 0.5		PL.110床直。3/4。厚0.5cm。
第134図 PL.110	70ビ - 1 埋没土	土師器 坏	口 (10.0) 高 <2.8>	残口縁片 底 (6.8)	明赤褐 5YR5/6 酸化	口唇部僅かに内弯。底部斡削り、扁平。
第134図	83ビ - 1	土鍾	長 4.4 外 1.6 内 0.6		灰白 7.5YR8/2	PL.110。床直。完形。9.5g。紡錘形。
第134図	84ビ - 1	刀子	長 30.3	短 1.6		PL.110。床直。完形。厚0.5cm。目釘穴3ヶ所。茎木質残存。
第134図	90ビ - 1	砥石	長 <6.7>	短 3.0	砥沢石	PL.110。床直。1/3。107.9g。厚2.2cm。5面、欠損後も使用。
第144図	9 掘 - 1	土鍾	長 3.4 外 1.5 内 0.6		灰褐 5YR6/2	PL.110。埋没土。ほぼ完形。5.7g。筒形。いぶし状。
第144図	9 掘 - 2	土鍾	長 2.7 外 0.8 内 0.4		黒褐 7.5YR3/1	PL.110。埋没土。ほぼ完形。1.7g。棒状。いぶし状。
第151図 PL.110	5 井 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.1>	残底部片 底 6.0	にぶい赤褐 5YR4/3 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第151図 PL.110	21 井 - 1 埋没土	灰釉陶器 高台付皿	口 (13.6) 高 2.7	残 1/4 底 (6.0)	灰白 5Y7/1	付高台後、体部下半回転斡削り。内面透明釉。輪状の凹み重ね焼き。
第151図 PL.110	21 井 - 2 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 (14.4) 高 <4.5>	残 1/4 底	にぶい黄橙 10YR7/3 還元	軟質。底部左回転糸切り後、付高台。黒斑。摩滅気味。
第151図 PL.110	21 井 - 3 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 <3.3>	残口縁片 底 (8.6)	橙 5YR6/6 酸化	底部型肌。
第152図 PL.111	22 井 - 1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 高 (5.0)	残口底片 底 (7.0)	暗灰黄 2.5Y5/2	付高台。漬け掛け。内面全体、施釉、オリーブ黄5Y6/3。やや厚く発泡気味。
第152図 PL.111	22 井 - 2 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 (13.6) 高 5.2	残 1/4 底 (7.0)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。
第152図 PL.111	22 井 - 3 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 高 <2.4>	残底部片 底 (6.5)	灰白 2.5Y8/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台、外面底部黒斑。
第152図	22 井 - 4	土鍾	長 4.0 外 1.3 内 0.5		にぶい黄橙 10YR7/2	PL.111。埋没土。完形。5.9g。筒形。
第152図	22 井 - 5	敲石	長 14.7	短 8.3	粗粒輝石安山岩	PL.111。埋没土。完形。1.39kg。厚7.6cm。
第152図 PL.110	23 井 - 1 埋没土	須恵器 短頸壺	口 (12.0) 高 <8.5>	残肩部片 厚 0.9	褐灰 10YR6/1 還元	胴部回転伴う横撫で。
第152図 PL.110	23 井 - 2 埋没土	甗	口 高 <3.9>	残底部片 厚 1.5	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化	底部裾部、平らに接合。内径 (8.8)cm、外径 (20.0)cm、内面黒色。
第152図 PL.111	24 井 - 1 埋没土	灰釉陶器 高台付皿	口 (12.0) 高 <2.7>	残口縁片 底	灰 10Y6/1	付高台。漬け掛け、灰白5Y8/1。
第152図 PL.111	24 井 - 2 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 高 <1.4>	残底部片 底 6.0	黄灰 2.5Y4/1 酸化	底部右回転糸切り後、付高台。いぶし状、黒色。
第152図 PL.111	24 井 - 3 埋没土	土師器 甕	口 (19.0) 高 <7.0>	残口縁片 底	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉薄い。
第152図	24 井 - 4	磨石	長 15.5	短 13.6	粗粒輝石安山岩	PL.111。埋没土。完形。1.123kg。厚4cm。片面凹部有。
第152図	25 井 - 21	上白	長 28.7	短 27.6	粗粒輝石安山岩	PL.111。埋没土。3/4。<10.1>kg。厚(11)cm。2井戸と接合。
第152図 PL.112	26 井 - 1 埋没土	羽釜	口 (26.0) 高 <7.0>	残口縁片 鏝 (30.0)	灰黄 2.5Y7/2 還元	口唇部やや内傾。口唇部平ら。鏝三角形上向き。
第153図 PL.111	25 井 - 1 埋没土	灰釉陶器 高台付皿	口 (15.8) 高 2.8	残 1/8 底 (6.0)	灰白 10Y8/1	付高台後、体部外面回転斡削り。口縁部漬け掛け、灰オリーブ7.5Y6/2。口唇部巾18mmで凹み。輪花か。
第153図 PL.111	25 井 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 (13.0) 高 4.0	残口縁片 底 (6.6)	にぶい橙 7.5YR6/4 還元	軟質。底部右回転糸切り。一部黒斑。
第153図 PL.111	25 井 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.5>	残底部片 底 (6.0)	灰 7.5Y5/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。2mmの白色粒含む。
第153図 PL.111	25 井 - 4 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 高 <2.6>	残底部片 底 6.0	にぶい橙 10YR7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。割れ口に穿孔2ヶ所。
第153図 PL.111	25 井 - 5 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 (13.3) 高 6.2	残 2/3 底 6.0	にぶい黄橙 10YR6/3 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台、歪む、黒斑。
第153図 PL.111	25 井 - 6 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 高 <1.7>	残底部片 底 (7.6)	灰白 7.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台、やや歪む。
第153図 PL.111	25 井 - 7 埋没土	須恵器 高台付瓿	口 14.4 高 5.4	残 2/3 底 7.8	黄灰 2.5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。いぶし状、黒色。摩滅気味。
第153図 PL.111	25 井 - 8 埋没土	須恵器 碗	口 (14.8) 高 <4.3>	残口縁片 底	灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。摩滅著しい。
第153図 PL.111	25 井 - 9 埋没土	須恵器 台付壺	口 高 <6.5>	残底部片 底 11.0	灰 5Y6/1 還元	軟質。付高台。摩滅気味。

第3章 検出された遺構と遺物

第153図 PL.111	25井-10 埋没土	土師器 坏	口 12.4 残 完形 高 3.8 底 7.2	橙 7.5YR6/6 酸化	底部型肌。篋削り、平ら。口唇部内面煤付着。
第153図 PL.111	25井-11 埋没土	土師器 坏	口 13.0 残 完形 高 3.8 底 8.0	橙 5YR6/6 酸化	底部型肌、平ら。内面粘土貼付、補修。
第153図 PL.111	25井-12 埋没土	土師器 坏	口 (12.7) 残 2/3 高 3.7 底 8.6	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	紐つくり。底部型肌、平ら。口縁部僅かに内弯。
第153図 PL.111	25井-13 埋没土	土師器 坏	口 12.0 残 3/4 高 2.7 底 7.3	にぶい橙 5YR6/3 酸化	底部型肌、平ら。
第153図 PL.111	25井-14 埋没土	土師器 坏	口 (13.0) 残 1/2 高 3.7 底 7.6	橙 7.5YR6/6 酸化	底部型肌、平ら。口唇部外面一部黒斑。
第153図 PL.111	25井-15 埋没土	土師器 甕	口 (10.7) 残口縁片 高 <6.7> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ肉内僅かに厚い。外面いぶし状、褐色。胴部穿孔か。
第153図 PL.111	25井-16 埋没土	土師器 甕	口 (11.0) 残口縁片 高 <4.9> 底	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れる。外面煤付着。
第153図 PL.111	25井-17 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 残口縁片 高 <7.2> 底	にぶい褐 7.5YR5/3 酸化	口縁部「コ」の字状。外面いぶし状、褐色。
第153図	25井-18	土錘	長 4.8 外 1.1 内 0.4	にぶい褐 7.5YR6/3	PL.111。埋没土。完形。4.3g。細長い紡錘形。
第153図	25井-19	銅製品	長 2.9 短 1.4		PL.111。埋没土。破片。厚0.1cm。用途不明
第153図	25井-20	砥石	長<10.5> 短 3.4	粗粒輝石安山岩	PL.111。埋没土。2/3。厚3.1cm。4面使用。
第154図 PL.112	27井-1 埋没土	須恵器 甕	頸 (9.6) 残胴部片 高 <6.0> 厚 0.8	褐灰 7.5YR5/1 還元	硬質。胴部外面横撫で、灰白、灰オリーブ釉付着。自然軸か。
第154図 PL.112	27井-2 埋没土	須恵器 甕	口 残胴部片 高 <7.2> 厚 1.0	褐灰 7.5YR5/1 還元	硬質。内外面横撫で調整。
第154図	27井-3	磨石	長14.2 短11.8 厚4.6	粗粒輝石安山岩	PL.112。埋没土。完形。1.182kg。敲石。上下面油煙状黒色。
第154図 PL.112	31井-1 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 残 1/6 高 3.7 底 (6.4)	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	底部型肌、平ら。口縁部やや高く外反。
第154図 PL.112	31井-2 埋没土	青磁 碗	口 残体部片 高 <3.5> 厚 0.4	黄灰 2.5Y6/1	内面篋削り、花卉文。施釉、オリーブ灰5GY6/1。同安窯系。
第154図 PL.112	31井-3 埋没土	焼締陶器 甕	厚 1.2 残底部片 高 <9.2> 底 (12.0)	にぶい褐 7.5YR5/3	底部平底。付着物有り。胴部外面篋撫で、印花文。内面撫で。灰白、灰オリーブ自然釉が底部付近にかかる。知多窯。
第154図 PL.112	32井-1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <2.4> 底 (6.2)	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	軟質。底部回転糸切り後、付高台。内面重ね焼き痕。外面底部黒斑。
第154図 PL.112	32井-2 埋没土	須恵器 甕	口 (17.8) 残口縁片 高 <9.9> 底	褐 10YR4/4 還元	硬質。頸部狭い。口唇部外へ折り返す。口縁～肩部外面灰白の自然釉かかる。
第154図	33井-1	刀子	長 <3.8> 短 1.1		PL.112。埋没土。刀部片。厚0.5cm。
第158図 PL.112	130土-1 床直	土師器 坏	口 12.1 残 完形 高 3.7 底 5.7	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部僅かに外反。口唇部内弯。底部型肌、平ら。外面一部煤付着。
第158図 PL.112	130土-2 床直	土師器 坏	口 11.9 残 4/5 高 3.2 底 (5.3)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部僅かに外反。口唇部内弯。底部型肌、平ら。
第158図 PL.112	130土-3 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 残口縁片 高 <2.8> 底 (9.4)	明褐 7.5YR5/6 酸化	口縁部外反。口唇部内弯。一部いぶし状、褐色。
第158図 PL.112	130土-4 床直	土師器 坏	口 残底部片 高 <1.1> 底 5.4	にぶい赤褐 5YR5/3 酸化	底部外面から貼付、型肌。
第158図 PL.112	130土-5 埋没土	土師器 台付甕	口 残台部片 高 <3.0> 底 8.8	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	裾部歪む。
第158図 PL.112	130土-6 埋没土	須恵器 甕	口 残口縁片 高 <10.5> 厚 1.1	灰白 N7/ 還元	硬質。口縁部中位6本一単位の波状文4段。外面オリーブ灰10Y4/2。内面灰白、灰オリーブ7.5Y6/の自然釉付着。
第158図 PL.112	4土-1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (17.5) 残口底片 高 (6.0) 底 7.0	灰白 10YR7/1	付高台。重ね焼き凹み痕。内面一部自然釉。
第158図	9土-1	土錘	長 3.1 外 1.6 内 0.4	にぶい橙 7.5YR7/3	PL.112。埋没土。1/4。4.6g。筒形か。
第158図	9土-2	土錘	長 5.0 外 1.7 内 0.6	にぶい黄橙 10YR7/3	PL.112。埋没土。完形。11.4g。細長い紡錘形。いぶし状。
第158図	9土-3	土錘	長 4.9 外 1.4 内 0.4	灰白 5YR8/1	PL.112。埋没土。完形。8.0g。細長い紡錘形。いぶし状。
第158図	17土-1	土錘	長 3.9 外 1.1 内 0.4	灰黄褐 10YR5/2	PL.112。埋没土。完形。4.0g。細長い紡錘形。いぶし状。
第158図	18土-1	磨石	長 7.6 短 3.5 厚 2.5	頁岩	PL.112。埋没土。完形。109g。平滑、擦痕有り。
第158図 PL.112	100土-1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <4.2> 底 (7.2)	灰 N5/ 還元	硬質。付高台。4mmの白色粒少量含む。
第158図 PL.112	108土-1 埋没土	灰釉陶器 耳皿	口 (9.0) 残口縁片 高 (3.0) 底	灰白 2.5Y7/1	口縁部内弯。施釉、内面底部オリーブ灰10Y6/2。
第158図	108土-2	鉄製品	長 <3.4> 短 1.2		PL.112。埋没土。破片。厚0.6cm。用途不明。
第158図 PL.112	112土-1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 残底部片 高 <3.3> 底 6.8	灰黄褐 10YR6/2	付高台。塗り掛け、施釉、オリーブ灰2.5GY6/1。
第158図 PL.112	113土-1 埋没土	灰釉陶器 壺	口 (10.0) 残口縁片 高 <1.5> 底	灰白 10YR7/1	口縁部外反。内外面施釉、灰黄2.5Y7/2。
第158図	113土-2	丸石	長 8.8 短 8.2 厚 7.5	珪質変質岩	PL.112。埋没土。完形。382g。
第158図 PL.112	117土-1 埋没土	土師器 坏	口 (13.0) 残口縁片 高 3.3 底 (9.0)	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部弱い稜。底部篋削り、平ら。
第158図 PL.112	119土-1 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高 <1.2> 底 (6.0)	橙 7.5YR6/6 酸化	軟質。底部回転糸切り。
第158図	119土-2	鎌	長 <8.2> 短 3.6		PL.112。床直。1/2。厚0.2cm。
第158図	119土-3	釘	長 9.4 短 0.6		PL.112。床直。ほぼ完形。厚0.6cm。
第158図	119土-4	銅銭	外径 2.4 内径 0.7	天聖元寶	PL.112。埋没土。完形。2.13g。北宋。1023年。篆書。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第158図	119土-5	銅銭	外径 2.4 内径 0.7		熙寧元寶	PL.112。埋没土。完形。2.41g。北宋。1068年。篆書。
第160図 PL.113	11溝-1 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <1.5> 底 5.9	黄灰 2.5Y4/1 還元		軟質。底部右回転糸切り後、付高台。いぶし状、褐色。摩滅。
第160図 PL.113	11溝-2 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <1.8> 底 6.0	浅黄橙 10YR8/3 酸化		軟質。
第160図 PL.113	11溝-3 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <1.5> 底 (6.6)	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化		軟質。底部回転糸切り後、付高台。
第160図 PL.113	11溝-4 埋没土	陶器 播鉢	口 (15.0) 残口縁片 高 <3.8> 底	暗褐 7.5YR3/3		5本一単位の刷毛目。内面施釉。3mmの白色粒含む。信楽。
第160図	11溝-5	砥石	長 4.1 短 2.3 厚 1.4		粗粒輝石安山岩	PL.113。埋没土。破片。25.0g。1面使用。3面調整。
第161図 PL.113	12溝-1 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残底部片 高 <3.5> 厚 0.5	灰白 2.5Y8/2		軟質。施釉、剥離。
第161図 PL.113	12溝-2 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <2.5> 底 7.2	黄灰 2.5Y5/1 還元		やや軟質。底部右回転糸切り後、付高台、割れ口に穿孔。
第161図 PL.113	12溝-3 埋没土	土師器 甕	口 残底部片 高 <2.2> 底 (3.6)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化		胴下部～底部篋削り。底部に穿孔か。
第161図 PL.114	37溝-1 埋没土	須恵器 坏	口 (12.7) 残 1/3 高 3.8 底 (5.7)	灰白 2.5Y7/1 還元		軟質。平底。摩滅著しい。
第161図	37溝-2	砥石	長 <3.7> 短 3.0		砥沢石	PL.114。埋没土。破片。22.9g。厚1.4cm。3面使用。
第161図	37溝-3	石製品	長 18.6 短 12.7		二ツ岳石	PL.114。埋没土。ほぼ完形。2.19kg。厚10.2cm。未製品か。
第161図	37溝-4	板碑	長<11.9> 短<15.4>		雲母石英片岩	PL.114。埋没土。破片。<960>g。厚<2.1>cm。梵字。
第161図	37溝-5	尖頭器	長 6.2 短 (2.4)		黒色頁岩	PL.114。埋没土。ほぼ完形。8.29g。厚0.9cm。有舌。
第161図	37溝-6	無茎石鏃	長<1.8> 短<1.1>		黒曜石	PL.114。埋没土。2/3。<0.51>g。厚0.2cm。
第163図 PL.113	13溝-1 埋没土	須恵器 坏	口 (12.6) 残 2/3 高 3.8 底 6.2	灰黄褐 10YR6/2 還元		軟質。底部右回転糸切り。口縁部一部黒斑。摩滅気味。
第163図 PL.113	13溝-2 埋没土	須恵器 坏	口 (11.8) 残 1/8 高 <2.8> 底 (6.0)	灰白 2.5Y8/2 還元		軟質。平底。
第163図 PL.113	13溝-3 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高 <2.1> 底 (7.0)	褐灰 10YR6/1 還元		硬質。底部右回転糸切り。
第163図 PL.113	13溝-4 埋没土	須恵器 高台付塊	口 (13.6) 残口縁片 高 <3.3> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化		軟質。器肉薄い。
第163図 PL.113	13溝-5 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <2.0> 底 (6.0)	灰黄 2.5Y7/2 還元		軟質。底部右回転糸切り後、付高台。黒斑。内面篋による回転撫で。底部黒斑。
第163図 PL.113	13溝-6 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <2.1> 底 6.3	にぶい黄橙 10YR7/3 酸化		軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第163図 PL.113	13溝-7 埋没土	須恵器 高台付塊	口 残底部片 高 <2.5> 底 5.8	灰白 7.5Y7/1 還元		やや軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉厚い。
第163図 PL.113	13溝-8 埋没土	青磁 碗	口 残体部片 高 <2.0> 厚 0.6	灰白 10Y7/1		内面篋削り、花卉文。同安窯系。
第163図 PL.113	13溝-9 埋没土	土師器 坏	口 (13.0) 残口縁片 高 2.6 底 (9.2)	橙 5YR7/6 酸化		口縁部短く外反、稜を持つ。底部篋削り、扁平。器高低い。
第163図 PL.113	13溝-10 埋没土	土師器 甕	口 19.0 残口縁片 高<10.3> 底	赤褐 2.5YR4/6 酸化		口縁部「コ」の字状、やや崩れ、器肉厚い、歪み有り。胴部一部黒斑。
第163図 PL.113	13溝-11 埋没土	土釜	口 残底部片 高 <1.5> 底 (9.0)	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化		底部篋削り、平底。一部いぶし状。
第163図	13溝-12	鍛冶滓	長 4.3 短 3.6 厚 1.7			PL.113。埋没土。完形。11.33g。発泡部分ガラス質有り。
第163図	13溝-13	鍛冶滓	長 5.8 短 5.0 厚 2.7			PL.113。埋没土。完形。65.30g。発泡部分ガラス質有り。
第167図 PL.114	32溝-1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (13.0) 残 1/4 高 2.5 底 (7.6)	灰白 7.5Y8/1		底部円形粘土塊貼付撫で調整、付高台。無釉。内面平滑。
第167図 PL.114	32溝-2 埋没土	灰釉陶器 高台付皿	口 (15.2) 残底部片 高 (3.4) 底 (6.3)	灰白 2.5Y7/1		付高台後、外面口縁下半部回転篋削り。漬け掛け、底部中央施釉。内面底部重ね焼き痕、平滑。
第167図 PL.114	32溝-3 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 残底部片 高 <2.1> 底 (7.0)	灰黄 2.5Y6/2		付高台。内面全体、外面口縁部施釉、オリーブ黄7.5Y6/3。
第167図 PL.114	32溝-4 埋没土	須恵器 小皿	口 (10.0) 残 1/4 高 2.6 底 (7.2)	橙 5YR7/6 還元		軟質。底部回転篋削り、平ら。
第167図 PL.114	32溝-5 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高 <3.2> 底 (8.4)	灰白 7.5Y8/1 還元		やや軟質。口縁下半部底部回転篋削り調整。
第167図 PL.114	32溝-6 埋没土	須恵器 坏	口 残底部片 高 <1.8> 底 (4.5)	赤 10Y5/6 酸化		軟質。平底。摩滅著しい。
第167図 PL.114	32溝-7 埋没土	羽釜	口 (18.0) 残口縁片 高 <6.0> 鏝 (21.5)	橙 5YR6/6 酸化		口縁部短い。口唇部、鏝歪む。
第167図 PL.114	32溝-8 埋没土	須恵器 播鉢	口 (31.0) 残口縁片 高 <6.9> 厚 1.1	褐灰 10YR6/1 還元		硬質。巾35mm片口。外面縦篋削り。内面下半部平滑。
第167図 PL.114	32溝-9 埋没土	土師器 小型甕	口 (9.0) 残口縁片 高 <3.8> 底	明赤褐 5YR5/6 酸化		口縁部「コ」の字状、崩れ短く器肉やや厚い。外面いぶし状か。摩滅気味。
第167図	32溝-10	磨石	長 11.0 短 5.5		粗粒輝石安山岩	PL.114。埋没土。ほぼ完形。368g。厚3.7cm。
第167図	32溝-11	磨石	長 12.7 短 4.0		ひん岩	PL.114。埋没土。完形。267g。厚4.0cm。平滑。擦痕有り。
第167図	32溝-12	磨石	長 15.2 短 5.5		ひん岩	PL.114。埋没土。完形。545g。厚4.4cm。擦痕有り。
第167図	32溝-13	磨石	長 13.6 短 5.6		粗粒輝石安山岩	PL.114。埋没土。完形。328g。厚2.5cm。平滑。
第167図	32溝-14	磨石	長 11.9 短 5.3		石英閃緑岩	PL.114。埋没土。完形。355g。厚3.4cm。平滑。
第167図	32溝-15	磨石	長 10.9 短 5.2		変玄武岩	PL.114。埋没土。完形。352g。厚4.2cm。平滑。
第167図	32溝-16	敲石	長 12.8 短 6.2		石英閃緑岩	PL.114。埋没土。完形。428g。厚3.2cm。平滑。擦痕有り。

第3章 検出された遺構と遺物

第168図 PL.113	33溝 - 1 埋没土	灰軸陶器 高台付碗	口 (14.0) 高 <3.2>	残口縁片 底	灰白 7.5Y8/1	底部下半回転篋削り。薄く施釉。
第168図 PL.113	33溝 - 2 埋没土	灰軸陶器 高台付皿	口 高 <1.6>	残底部片 底 (8.0)	灰白 5Y7/1	付高台。体部下半回転篋削り。施釉、灰オリープ7.5Y5/2。発泡状で厚い。
第168図 PL.113	33溝 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 (12.8) 高 4.3	残 2/3 底 (6.0)	にぶい橙 5YR6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り、外面黒斑。
第168図 PL.113	33溝 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.7>	残底部片 底 (6.6)	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部回転篋切り。
第168図 PL.113	33溝 - 5 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (15.0) 高 <5.3>	残口縁片 底	灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。摩滅著しい。
第168図 PL.113	33溝 - 6 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.3>	残底部片 底 (5.8)	灰褐 5YR6/2 酸化	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。
第168図 PL.113	33溝 - 7 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.4>	残底部片 底 (6.5)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。付高台。摩滅著しい。
第168図 PL.113	33溝 - 8 埋没土	土師器 坏	口 12.2 高 3.8	残 1/2 底 7.8	にぶい褐 7.5YR5/3 酸化	底部型肌、平ら。いぶし状、底部内面油煙付着。
第168図 PL.113	33溝 - 9 埋没土	土師器 甕	口 (11.0) 高 <6.0>	残口縁片 底	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部外面横篋削り、内面横刷毛目。外面一部煤付着、褐色。
第168図 PL.113	33溝 - 10 埋没土	須恵器 甕	口 (21.5) 高 <2.5>	残口縁片 底	灰 7.5Y5/1 還元	硬質。頸部広い。口縁部短く外反。
第168図 PL.113	33溝 - 11 埋没土	土錘	長 2.8 外 1.1 内 0.5		にぶい赤褐 5YR5/4	PL.113。埋没土。完形。3.4g。筒型。
第168図 PL.114	45溝 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 (14.6) 高 3.9	残 1/5 底 7.0	灰白 10Y8/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。摩滅気味。
第168図 PL.114	45溝 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.1>	残底部片 底 5.8	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り、外面黒斑。
第168図 PL.114	45溝 - 3 埋没土	須恵器 皿	口 高 <1.5>	残底部片 底 6.8	灰 5Y5/1 還元	硬質。底部右回転糸切り、周辺回転篋削り調整。2mmの白色粒含む。
第168図 PL.115	45溝 - 4 埋没土	須恵器 坏	口 高 <3.0>	残底部片 底 (6.0)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。
第168図 PL.115	45溝 - 5 埋没土	須恵器 坏	口 (11.7) 高 <3.3>	残口縁片 底 (7.0)	灰白 10YR7/1 還元	硬質。底部回転篋切りか。
第168図 PL.115	45溝 - 6 埋没土	須恵器 坏	口 (13.0) 高 <3.1>	残口縁片 底	灰 N4/ 還元	硬質。底部回転篋切りか。
第168図 PL.114	45溝 - 7 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (15.8) 高 <5.1>	残坏部片 底	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台、黒斑。摩滅気味。
第168図 PL.114	45溝 - 8 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <3.3>	残底部片 底 7.5	灰 5Y6/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。
第168図 PL.114	45溝 - 9 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <4.0>	残底部片 底 (6.6)	灰白 10YR7/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。
第168図 PL.114	45溝 - 10 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.9>	残底部片 底 (6.2)	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第168図 PL.114	45溝 - 11 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.3>	残底部片 底 (6.5)	灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。
第168図 PL.115	45溝 - 12 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <3.4>	残底部片 底 (8.0)	オリープ黒 7.5Y3/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。いぶし状、黒色。
第168図 PL.115	45溝 - 13 埋没土	灰軸陶器 水注壺	口 高 <7.2>	残肩部片 厚 0.4	灰白 10YR7/1	把手、胴上部に貼付。外面施釉、灰オリープ7.5Y5/3。
第168図 PL.115	45溝 - 14 埋没土	須恵器 高台付壺	口 高 <7.5>	残底部片 底 (9.6)	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。付高台。胴部外面、平行叩き目、内面撫で。
第168図 PL.115	45溝 - 15 埋没土	土師器 甕	口 (16.0) 高 <4.6>	残口縁片 底	にぶい赤褐 2.5YR4/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れ器肉厚い。内面いぶし状、褐色。
第168図 PL.115	45溝 - 16 埋没土	土師器 甕	口 (20.0) 高 <5.5>	残口縁片 底	橙 5YR6/8 酸化	口縁部「コ」の字状。摩滅著しい。
第168図 PL.115	45溝 - 17 埋没土	土師器 甕	口 高 <2.2>	残底部片 底 (3.6)	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	底部篋削り、平ら。外面いぶし状、黒色付着。
第168図 PL.115	45溝 - 18 埋没土	平瓦	縦 <10.9> 横 <7.8>	残 破片 厚 1.3	灰黄 2.5Y6/2	上面布撫で消し、下面篋撫で。吉井・藤岡産。
第168図 PL.114	45溝 - 19 埋没土	土錘	長 5.1 外 1.7 内 0.7		浅黄橙 10YR8/3	PL.114。埋没土。完形。14.5g。筒型。
第169図 PL.113	30溝 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 (12.4) 高 3.7	残 1/5 底 (6.0)	灰白 10YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り、黒斑。摩滅気味。
第169図 PL.113	30溝 - 2 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.0>	残底部片 底 5.9	灰黄褐 10YR6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り。内面いぶし状、黒色。
第169図 PL.113	30溝 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.1>	残底部片 底 (6.2)	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。器肉厚い。
第169図 PL.113	30溝 - 4 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.8>	残底部片 底 (8.0)	浅黄橙 2.5Y7/3 還元	軟質。付高台。底部内面黒斑。
第169図 PL.113	30溝 - 5 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.5>	残底部片 底 (6.2)	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。付高台。内面一部いぶし状。摩滅気味。
第169図 PL.113	30溝 - 6 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (9.2) 高 4.6	残 1/7 底 (6.5)	灰白 10YR7/1 還元	硬質。底部回転糸切り後、付高台。
第169図 PL.113	30溝 - 7 埋没土	須恵器 台付壺	口 高 <3.2>	残底部片 底 (6.0)	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。長頸壺か。底部内面、灰白の自然釉、径25mmの範囲でかかる。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第169図 PL.113	30溝 - 8 埋没土	須恵器 台付壺	口 残底部片 高 <2.7> 底	灰白 N7/ 還元	硬質。
第169図 PL.113	30溝 - 9 埋没土	羽釜	口 (26.0) 残口縁片 高 <9.0> 底	灰白 10YR8/1 還元	口縁部平ら、一部黒斑、摩滅。鏝三角形、上向き。
第169図	30溝 - 10	土鍾	長 3.4 外 1.1 内 0.3	淡黄 2.5Y7/3	PL.113。埋没土。完形。2.2g。紡錘形。
第169図 PL.113	39溝 - 1 埋没土	土師器 甕	口 (13.0) 残口縁片 高 <5.7> 底	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状。器肉やや厚い。いぶし状、外面煤付着。胴部割れ口に穿孔。
第169図 PL.113	39溝 - 2 埋没土	土師器 甕	口 (11.0) 残口縁片 高 <4.1> 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ器肉やや厚い。
第169図 PL.113	39溝 - 3 埋没土	須恵器 高台付碗	口 残底部片 高 <1.5> 底 (5.8)	明褐灰 5YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。
第169図 PL.113	39溝 - 4 埋没土	須恵器 紡錘車	外径 5.0 残 1/2 内径 0.8 厚 0.7	浅黄橙 10YR8/2 還元	軟質。割れ口面取り、中央9mmの穿孔。碗底面二次利用品。
第169図	39溝 - 5	土鍾	長 3.5 外 1.5 内 0.4	浅黄橙 10YR8/3	PL.113。埋没土。ほぼ完形。5.9g。紡錘形。
第169図	39溝 - 6	土鍾	長 4.9 外 1.8 内 0.8	灰白 10YR8/2	PL.113。埋没土。完形。11.8g。紡錘形。
第170図 PL.114	40溝 - 1 埋没土	須恵器 台付壺	口 残胴部片 高 <6.8> 厚 1.0	褐灰 10YR6/1 還元	やや軟質。内外面横撫で調整。内面、にぶい橙7.5YR7/4。
第170図 PL.114	40溝 - 2 埋没土	土師器 磨	口 (19.0) 残口縁片 高 <10.5> 底	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ器肉厚い。
第170図	40溝 - 3	磨石	長 <6.4> 短 9.5	粗粒輝石安山岩	PL.114。床直。1/2。359g。厚3.5cm。平滑面中央。
第170図	40溝 - 4	石皿	長 <6.1> 短 <5.9>	粗粒輝石安山岩	PL.114。埋没土。破片。193g。厚 <3.8> cm。凹面・下面平滑。
第171図 PL.115	遺外 - 1 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残口縁片 高 <1.6> 厚 0.4	灰白 5Y8/2	軟質。施釉、オリープ黄5Y6/3。釉剥離気味。
第171図 PL.115	遺外 - 2 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残口縁片 高 <1.9> 厚 0.4	灰白 2.5Y7/1	硬質。陰刻花文。施釉、剥離。
第171図 PL.115	遺外 - 3 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残口縁片 高 <3.3> 厚 0.4	灰白 2.5Y8/2	硬質。輪花。陰刻花文。施釉、灰オリープ5Y6/2。
第171図 PL.115	遺外 - 4 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残体部片 高 <1.5> 厚 0.4	灰白 2.5Y8/2	軟質。施釉、オリープ黄7.5Y6/3。剥離気味。
第171図 PL.115	遺外 - 5 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残体部片 高 <2.3> 厚 0.4	灰白 2.5Y8/2	硬質。施釉、灰オリープ5Y6/2。摩滅気味。
第171図 PL.115	遺外 - 6 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残体部片 高 <2.0> 厚 0.4	灰白 5Y8/2	硬質。陰刻花文。施釉、オリープ黄5Y6/3。
第171図 PL.115	遺外 - 7 埋没土	緑釉陶器 碗	厚 0.4 残底部片 高 <1.5> 底 (6.0)	灰白 5Y8/2	硬質。付高台。陰刻花文。施釉、オリープ灰10Y6/2。
第171図 PL.115	遺外 - 8 埋没土	緑釉陶器 碗	口 残体部片 高 <3.2> 厚 0.4	灰白 10YR8/2	軟質。施釉、灰オリープ7.5Y6/2。
第171図 PL.115	遺外 - 9 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 (17.0) 残口縁片 高 <3.6> 底	灰白 5Y8/1	体部下半回転篋削り。薄く漬け掛け。
第171図 PL.115	遺外 - 10 埋没土	灰釉陶器 皿	口 (14.4) 残 1/3 高 <3.1> 底 (6.2)	灰白 5Y8/1	段皿。付高台後、体部下半、回転篋削り。漬け掛け、灰オリープ7.5Y6/2。
第171図 PL.115	遺外 - 11 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 残底部片 高 <2.1> 底 (6.0)	灰白 2.5Y8/1	付高台。体部下半、回転篋削り。漬け掛け、内面底部一部、釉付着。重ね焼き痕。
第171図 PL.115	遺外 - 12 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 残底部片 高 <2.1> 底 7.6	灰白 10Y7/1	付高台。漬け掛け、灰白、灰オリープ5Y6/2。内面輪状の重ね焼き痕。
第171図 PL.115	遺外 - 13 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 残底部片 高 <1.9> 底 (7.6)	灰黄 2.5Y6/1	付高台。施釉、灰オリープ7.5Y5/2。内面輪状の重ね焼き痕。
第171図 PL.115	遺外 - 14 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 残底部片 高 <2.2> 底 (7.4)	灰白 5Y8/1	付高台。体部下半、回転篋削り。施釉、オリープ黄7.5Y6/3。内面輪状の重ね焼き痕。器肉やや厚い。
第171図 PL.115	遺外 - 15 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 残底部片 高 <1.4> 底 (6.4)	灰白 5Y7/1	付高台。器肉厚い。内面重ね焼き痕。
第171図 PL.115	遺外 - 16 埋没土	灰釉陶器 耳皿	口 残底部片 高 <0.9> 底 (4.4)	灰白 5Y7/1	底部右回転糸切り。2ヶ所内湾。施釉、灰オリープ7.5Y7/1。内面やや厚い。
第171図 PL.115	遺外 - 17 埋没土	灰釉陶器 耳皿	口 残底部片 高 <0.8> 底 (5.0)	灰白 10Y7/2	底部左回転糸切り。施釉、灰オリープ7.5Y5/2。内面厚い。貫入。
第171図 PL.115	遺外 - 18 埋没土	灰釉陶器 壺	口 (10.0) 残口縁片 高 <2.2> 底	灰白 2.5Y7/1	口縁部外反。内面自然釉。灰オリープ7.5Y6/2。
第171図 PL.115	遺外 - 19 埋没土	灰釉陶器 台付壺	口 残底部片 高 <3.6> 底 (9.0)	灰白 5Y7/1	付高台。内面僅かに自然釉。
第171図 PL.115	遺外 - 20 埋没土	須恵器 蓋	口 (15.3) 残口縁片 高 <2.5> 厚 0.5	黄灰 2.5Y5/1 還元	硬質。端部短く内側に折れる。
第171図 PL.115	遺外 - 21 埋没土	須恵器 蓋	口 (18.0) 残口縁片 高 <1.9> 厚 0.7	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。頂部摘み接合後、篋削り調整。端部短く折れる。
第171図 PL.115	遺外 - 22 埋没土	須恵器 蓋	口 (15.8) 残口縁片 高 <2.5> 厚 0.8	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。頂部摘み接合後、篋削り調整。端部短く折れる。
第171図 PL.115	遺外 - 23 埋没土	須恵器 蓋	厚 1.0 残天井片 高 <2.9> 摘径 4.0	灰白 N7/ 還元	硬質。頂部ボタン状摘み接合後、篋削り。外面灰白色の自然釉かかる。
第171図 PL.115	遺外 - 24 埋没土	須恵器 蓋	厚 0.6 残 摘部 高 <1.5> 摘径 4.8	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。環状摘み。内面器面平滑。
第171図 PL.115	遺外 - 25 埋没土	須恵器 蓋	厚 0.5 残 摘部 高 <1.6> 摘径 2.3	灰白 5Y7/1 還元	硬質。頂部径23mmのボタン状摘み接合。

第3章 検出された遺構と遺物

第171図 PL.115	遺外 - 26 埋没土	須恵器 坏	口 12.6 高 3.7	残底 6.6	完形	黄灰 2.5YR6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第171図 PL.115	遺外 - 27 埋没土	須恵器 坏	口 (8.6) 高 4.0	残底 (6.0)	1/5	にぶい橙 5Y6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り、内面いぶし状、一部黒色。黒斑。
第171図 PL.115	遺外 - 28 埋没土	須恵器 碗	口 (12.4) 高 4.9	残底 (4.8)	1/2	灰 N6/ 還元	硬質。底部右回転糸切り。6mmの白色粒僅かに含む。
第171図 PL.115	遺外 - 29 埋没土	須恵器 坏	口 高 <3.0>	残底部片 底 6.7		灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。
第171図 PL.115	遺外 - 30 埋没土	須恵器 坏	口 (12.3) 高 3.1	残底 (6.8)	1/5	灰 5Y5/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。3mmの白色粒少量含む。
第171図 PL.115	遺外 - 31 埋没土	須恵器 坏	口 (11.2) 高 4.5	残底 7.0	1/2	明紫灰 5P7/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第171図 PL.115	遺外 - 32 埋没土	須恵器 坏	口 (12.5) 高 3.4	残底 (5.2)	1/4	褐灰 10YR6/1 還元	軟質。底部回転糸切り。
第171図 PL.115	遺外 - 33 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.9>	残底部片 底 (5.4)		灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。
第171図 PL.115	遺外 - 34 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.1>	残底部片 底 (7.0)		灰白 5Y7/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第171図 PL.115	遺外 - 35 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.2>	残底部片 底 (5.6)		にぶい黄橙 10YR7/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り。かわらけ。
第172図 PL.115	遺外 - 36 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.5>	残底部片 底 7.4		灰白 2.5Y8/1 還元	やや軟質。
第172図 PL.115	遺外 - 37 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.2>	残底部片 底 7.2		灰白 2.5Y7/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、周辺篋削り。
第172図 PL.115	遺外 - 38 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.2>	残底部片 底 (6.2)		灰白 7.5YR8/2 還元	軟質。底部回転伴う篋削り。
第172図 PL.115	遺外 - 39 埋没土	須恵器 碗	口 (12.0) 高 3.6	残底 5.6	1/3	灰白 N7/ 還元	軟質。底部右回転糸切り、黒斑。摩滅著しい。
第172図 PL.115	遺外 - 40 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.9>	残底部片 底 5.2		灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。摩滅著しい。
第172図 PL.115	遺外 - 41 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.0>	残底部片 底 (7.1)		褐灰 10YR5/1 還元	硬質。底部篋削り調整か。外面灰白の自然釉。
第172図 PL.115	遺外 - 42 埋没土	須恵器 坏	口 高 <1.9>	残底部片 底 (5.8)		灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り。黒斑。
第172図 PL.115	遺外 - 43 埋没土	須恵器 坏	口 (12.0) 高 3.2	残底 (6.9)	1/5	灰白 2.5Y8/1 還元	やや軟質。底部回転糸切り。
第172図 PL.116	遺外 - 44 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (17.2) 高 6.4	残底 6.1	1/3	灰白 2.5Y8/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台、黒斑。摩滅気味。
第172図 PL.116	遺外 - 45 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <4.9>	残底部片 底 6.8		灰褐 5YR5/2 酸化	軟質。付高台。内面剥離。
第172図 PL.116	遺外 - 46 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <3.0>	残底部片 底 7.7		明褐 7.5YR7/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り後、付高台。
第172図 PL.116	遺外 - 47 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.3>	残底部片 底 8.0		青灰 5PB6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉薄い。
第172図 PL.116	遺外 - 48 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <4.0>	残底部片 底 6.5		褐灰 10YR6/2 還元	軟質。付高台、歪む。
第172図 PL.116	遺外 - 49 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.6>	残底部片 底 6.6		灰白 5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。僅かに歪む。内面摩滅気味。
第172図 PL.116	遺外 - 50 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.7>	残底部片 底 6.2		灰黄 2.5Y7/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。器肉薄い。
第172図 PL.116	遺外 - 51 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.7>	残底部片 底 (7.0)		黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。付高台。
第172図 PL.116	遺外 - 52 埋没土	須恵器 碗	口 高 <2.4>	残底部片 底 7.0		明黄褐 2.5Y7/6 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第172図 PL.116	遺外 - 53 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.3>	残底部片 底 (7.4)		浅黄 2.5Y7/3 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台、黒斑。
第172図 PL.116	遺外 - 54 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (14.8) 高 4.8	残底 (7.0)	1/5	灰白 5Y7/1 還元	軟質。付高台。底部黒斑。
第172図 PL.116	遺外 - 55 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <3.4>	残底部片 底 (8.8)		にぶい灰黄 2.5Y6/2 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。内面、重ね焼き痕。
第172図 PL.116	遺外 - 56 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.4>	残底部片 底 7.0		灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。器肉厚い。摩滅著しい。
第172図 PL.116	遺外 - 57 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <2.3>	残底部片 底 5.8		にぶい褐 7.5YR5/3 酸化	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第172図 PL.116	遺外 - 58 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <4.1>	残底部片 底 8.8		にぶい褐 7.5YR5/3 酸化	軟質。付高台。内面いぶし焼成黒色。底面剥離。口縁部外面一部油煙付着。
第172図 PL.116	遺外 - 59 埋没土	須恵器 坏	口 (12.8) 高 4.1	残底 (5.8)	1/3	灰白 10YR7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り。口唇部更に外反、歪む。
第172図 PL.116	遺外 - 60 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.6>	残底部片 底 4.7		灰白 5YR7/4 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第172図 PL.116	遺外 - 61 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.9>	残底部片 底 6.2		灰 10Y6/1 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。摩滅気味。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第172図 PL.116	遺外-62 埋没土	須恵器 高台付埴	口 高 <1.3>	残底部片 底 6.0	灰白 2.5Y7/1 還元	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。摩滅著しい。
第172図 PL.116	遺外-63 埋没土	土師器 高台付埴	口 高 <1.7>	残底部片 底 7.2	明赤褐 2.5YR5/6 酸化	軟質。口縁部欠損後、割れ口調整再利用。底面黒色、平滑。
第172図 PL.116	遺外-64 埋没土	須恵器 高台付埴	口 (13.0) 高 <5.7>	残口縁片 底	灰黄 2.5Y6/2 還元	硬質。口縁下半部、筧削り調整。
第172図 PL.116	遺外-65 埋没土	須恵器 甕	口 (50.0) 高 <8.8>	残口縁片 底	灰 N5/ 還元	硬質。大型の甕。口縁部大きく外反。2mmの白色粒僅かに含む。
第172図 PL.116	遺外-66 埋没土	須恵器 甕	口 高 <6.0>	残口縁片 厚 1.2	灰白 10YR7/1 還元	硬質。口縁部大きく外反。
第172図 PL.116	遺外-67 埋没土	須恵器 甕	口 高 <4.5>	残口縁片 厚 1.2	灰 N5/ 還元	硬質。口縁上半部、波状文、灰白の自然釉かかる。
第172図 PL.116	遺外-68 埋没土	須恵器 甕	口 高 <6.8>	残口縁片 厚 1.1	灰 5Y5/1 還元	硬質。頸部狭い。
第172図 PL.116	遺外-69 埋没土	須恵器 甕	口 高 <10.0>	残底部片 底 (14.0)	灰 N6/ 還元	硬質。底部筧削り、平ら。内面、灰オリーブ5Y5/2の自然釉。
第172図 PL.116	遺外-70 埋没土	須恵器 甕	口 高 <2.2>	残裾部片 底 (22.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	軟質。胴部下半に(12.0)mmの凹み1ヶ所確認。棒を差し込み糞の子状にして使用か。
第173図 PL.116	遺外-71 埋没土	羽釜	口 (20.0) 高 <5.7>	残口縁片 鏝 (24.0)	灰 7.5Y5/1 還元	口縁部内傾。口唇部平ら。鏝三角形、上向き。
第173図 PL.116	遺外-72 埋没土	羽釜	口 (18.0) 高 <7.2>	残口縁片 鏝 (22.0)	灰白 2.5Y7/1 還元	口縁部内傾、短い。口唇部内斜。鏝三角形、上向き。
第173図 PL.116	遺外-73 埋没土	羽釜	口 (22.0) 高 <10.8>	残口縁片 鏝 (25.0)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部直立。口唇部内斜、短い。鏝三角形、上向き、やや歪む。
第173図 PL.116	遺外-74 埋没土	羽釜	口 (22.2) 高 <11.3>	残口縁片 鏝 (24.0)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部直立。口唇部平ら、やや短い。鏝丸く平らで短い。2mmの白色粒少量含む。褐色。
第173図 PL.116	遺外-75 埋没土	土釜	口 (24.0) 高 <7.5>	残口縁片 底	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部短く外反。口唇部外斜。
第173図 PL.116	遺外-76 埋没土	土師器 耳皿	口 8.0 高 <2.3>	残 4/5 底 4.4	にぶい黄橙 10YR7/2 酸化	口縁部2ヶ所やや長く、内側に曲げる。底部外面黒斑。
第173図 PL.116	遺外-77 埋没土	土師器 坏	口 (10.0) 高 2.7	残口縁片 底 (7.0)	明赤褐 2.5YR5/6 酸化	底部筧削り、平ら、底部に穿孔。内面放射状の暗文。
第173図 PL.116	遺外-78 埋没土	土師器 坏	口 (13.0) 高 4.1	残 3/5 底 6.2	にぶい褐 7.5YR6/3 酸化	口縁部外反。体部下半、底部筧削り、平ら。
第173図 PL.116	遺外-79 埋没土	土師器 坏	口 12.0 高 4.0	残 1/2 底 (5.6)	明赤褐 5YR5/6 酸化	口縁部外反。体部下半、底部筧削り、平ら。口唇部油煙付着。灯明皿として使用か。
第173図 PL.116	遺外-80 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 2.4	残 1/4 底 (9.0)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口唇部内弯。底部筧削り、平ら。器高浅い。
第173図 PL.116	遺外-81 埋没土	土師器 坏	口 (13.0) 高 <2.8>	残口縁片 底 (11.6)	にぶい橙 7.5YR7/4 酸化	口唇部内弯。底部筧削り、扁平。器高低い。
第173図 PL.116	遺外-82 埋没土	土師器 坏	口 11.6 高 3.5	残 3/4 底 9.0	橙 7.5YR6/6 酸化	口唇部内弯、歪む。底部筧削り、扁平。
第173図 PL.116	遺外-83 埋没土	土師器 坏	口 (11.4) 高 2.5	残口縁片 底 (6.6)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口唇部内弯。底部筧削り、平ら。
第173図 PL.116	遺外-84 埋没土	土師器 坏	口 (11.6) 高 3.8	残 1/2 底 8.0	橙 7.5YR6/4 酸化	口唇部僅かに内弯。底部筧削り、扁平。外面一部煤付着、褐色。
第173図 PL.116	遺外-85 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 3.3	残口縁片 底 (8.6)	橙 7.5YR6/6 酸化	口唇部僅かに内弯、歪む。底部筧削り、平ら。
第173図 PL.116	遺外-86 埋没土	土師器 坏	口 (11.2) 高 4.2	残 1/4 底 (10.0)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口唇部僅かに内弯、歪む。底部筧削り、扁平。
第173図 PL.116	遺外-87 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 <2.5>	残口縁片 底 (9.4)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部短く立ち上がる、一部黒斑。底部筧削り、扁平。
第173図 PL.117	遺外-88 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 3.0	残口縁片 底 (10.0)	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部内傾気味、立ち上がる。底部筧削り、丸底。
第173図 PL.117	遺外-89 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 <2.9>	残口縁片 底 (8.2)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部短く立ち上がる。底部筧削り、扁平。
第173図 PL.117	遺外-90 埋没土	土師器 坏	口 (12.0) 高 <2.9>	残口縁片 底 (8.6)	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	口縁部弱い稜。底部筧削り、平ら。
第173図 PL.117	遺外-91 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 <3.3>	残口縁片 底 (9.0)	橙 5YR6/6 酸化	口唇部外反。底部筧削り、平ら。
第173図 PL.117	遺外-92 埋没土	土師器 坏	口 (12.2) 高 3.8	残口縁片 底 (6.0)	灰褐 5YR6/2 酸化	底部型肌、平ら。外面煤付着。
第173図 PL.117	遺外-93 埋没土	土師器 坏	口 (10.4) 高 <2.7>	残口縁片 底 (8.5)	橙 5YR6/6 酸化	口唇部僅かに内弯。
第173図 PL.117	遺外-94 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 <3.5>	残口縁片 底 (8.0)	橙 5YR6/6 酸化	底部筧削り、平ら。
第173図 PL.117	遺外-95 埋没土	土師器 坏	口 (11.0) 高 3.2	残口縁片 底 (8.2)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	底部筧削り、平ら。一部煤付着、褐色。
第173図 PL.117	遺外-96 埋没土	土師器 坏	口 (13.0) 高 <3.0>	残口縁片 底 (10.6)	にぶい黄橙 10YR7/4 酸化	底部筧削り、扁平。
第173図 PL.117	遺外-97 埋没土	土師器 坏	口 (12.2) 高 2.6	残口縁片 底 (10.4)	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部筧削り、扁平。器高低い。

第3章 検出された遺構と遺物

第173図 PL.117	遺外-98 埋没土	土師器 坏	口(12.2) 高 2.7	残口縁片 底 (8.5)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	底部篋削り、扁平。
第173図 PL.117	遺外-99 埋没土	土師器 坏	口(12.3) 高 2.8	残口縁片 底 (8.5)	にぶい赤褐 5YR5/3 酸化	口縁部外反。底部篋削り、扁平。器肉やや厚い。
第173図 PL.117	遺外-100 埋没土	土師器 坏	口(12.5) 高 3.7	残 1/4 底 (8.5)	橙 5YR6/6 酸化	口縁部外反。底部篋削り、平ら。
第173図 PL.117	遺外-101 埋没土	土師器 坏	口(12.4) 高 <3.0>	残口縁片 底 (8.6)	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部外反。底部篋削り。
第173図 PL.117	遺外-102 埋没土	土師器 手捏	口 高 <2.5>	残底部片 底 (4.6)	にぶい黄橙 10YR6/4 酸化	平底。内面強めの指撫で調整。一部黒斑。
第173図 PL.117	遺外-103 埋没土	土師器 甕	口 7.6 高 <6.6>	残上半部 底	浅黄 2.5Y7/4 酸化	口縁部外反。紐づくり。胴部外面縦刷毛目、内面横刷毛目。
第173図 PL.117	遺外-104 埋没土	土師器 埴	口 高 <3.1>	残底部片 底 2.6	にぶい黄橙 10YR6/4 酸化	平底。底面黒斑。
第173図 PL.117	遺外-105 埋没土	土師器 埴	口 高 <2.9>	残底部片 底 2.2	橙 5YR6/6 酸化	底部平ら。器肉厚い。摩滅気味。
第174図 PL.117	遺外-106 埋没土	土師器 甕	口(24.0) 高<11.2>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ器肉厚い。
第174図 PL.117	遺外-107 埋没土	土師器 甕	口(20.0) 高<5.3>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状。胴部外面篋削り、内面篋撫で。
第174図 PL.117	遺外-108 埋没土	土師器 甕	口(20.0) 高<6.3>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状。摩滅気味。
第174図 PL.117	遺外-109 埋没土	土師器 甕	口(20.0) 高<7.2>	残口縁片 底	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ短く、器肉厚い。
第174図 PL.117	遺外-110 埋没土	土師器 甕	口(19.0) 高<5.4>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、僅かに崩れる。内面いぶし状、褐色。
第174図 PL.117	遺外-111 埋没土	土師器 甕	口(18.0) 高<5.0>	残口縁片 底	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ短く、器肉厚い。
第174図 PL.117	遺外-112 埋没土	土師器 甕	口(16.0) 高<7.3>	残口縁片 底	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	口縁部「コ」の字状、器面いぶし状、褐色。
第174図 PL.117	遺外-113 埋没土	土師器 甕	口(20.0) 高<5.0>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れる。
第174図 PL.117	遺外-114 埋没土	土師器 小型甕	口(12.0) 高<5.2>	残口縁片 底	橙 7.5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、器肉厚い。外面いぶし状、褐色。
第174図 PL.117	遺外-115 埋没土	土師器 甕	口(12.0) 高<4.0>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、器肉薄い。外面摩滅、赤変、煤付着。
第174図 PL.117	遺外-116 埋没土	土師器 小型甕	口(12.0) 高<4.1>	残口縁片 底	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、やや崩れる。
第174図 PL.117	遺外-117 埋没土	土師器 甕	口(11.0) 高<5.0>	残口縁片 底	橙 5YR6/6 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ短く、器肉厚い。摩滅著しい。
第174図 PL.117	遺外-118 埋没土	土師器 甕	口 高<1.3>	残底部片 底 3.5	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	底部篋削り、平ら。内面いぶし状、黒色気味。
第174図 PL.117	遺外-119 埋没土	土師器 甕	口 高<2.8>	残底部片 底 (4.0)	にぶい褐 7.5YR5/4 酸化	底部篋削り、平ら。いぶし状、一部黒色。
第174図 PL.117	遺外-120 埋没土	土師器 甕	口 高<5.7>	残底部片 底 (3.6)	橙 5YR6/6 酸化	底部篋削り、平ら。摩滅気味。
第174図 PL.117	遺外-121 埋没土	土師器 台付甕	口 高<6.7>	残胴部片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	台部剥離。外面煤付着。
第174図 PL.117	遺外-122 埋没土	土師器 台付甕	口 高<2.2>	残台部片 底 9.0	にぶい赤褐 5YR5/4 酸化	台部横撫で。胎土水澆して緻密。
第174図 PL.117	遺外-123 埋没土	須恵器 足高台	口 高<4.7>	残高台片 底 (13.0)	にぶい褐 7.5YR6/3 酸化	軟質。椀か。
第174図 PL.117	遺外-124 埋没土	青磁 碗	口 高<1.9>	残口縁片 厚 0.6	灰白 10YR7/1	外面篋彫り、蓮弁文。施釉、オリープ灰10Y6/2。龍泉窯系。
第174図 PL.117	遺外-125 埋没土	青磁 碗	口 高<2.6>	残口縁片 厚 0.6	灰白 5Y7/1	内面篋彫り、花卉文。施釉、灰オリープ5Y6/2。同安窯系。
第174図 PL.117	遺外-126 埋没土	青磁 碗	口(15.0) 高<2.1>	残口縁片 厚 0.4	灰白 10Y6/1	外面篋彫り、蓮弁文。口唇部輪花か。施釉美しく、オリープ灰10Y6/2。龍泉窯系。
第174図 PL.117	遺外-127 埋没土	青磁 碗	口 高<1.7>	残体部片 厚 0.5	灰白 10Y7/1	内面篋彫り、花卉文。貫入。施釉、オリープ灰2.5GY6/1。同安窯系。
第174図 PL.117	遺外-128 埋没土	陶器 灯明受皿	口(10.0) 高 1.5	残 1/3 底 (4.8)	褐 7.5YR4/4	底部と口縁部、回転篋削り調整。内面、黒褐10YR2/2。外面刷毛塗り。
第174図 PL.117	遺外-129 埋没土	磁器 飯碗	口(11.4) 高 5.1	残 1/3 底 3.8		型紙染付、濃青色。扇に菊とあやめ文。見込に草花文。
第174図 PL.117	遺外-130 埋没土	軟質陶器 焙烙	口(34.0) 高 4.7	残口縁片 底 (32.0)	浅黄橙 10YR8/3	底部平ら。口縁部いぶし状、黒色。
第174図	遺外-131	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	紹聖元寶	PL.117。埋没土。ほぼ完形。2.62 g。北宋。1094年。行書。
第174図	遺外-132	釘	長 <6.2>	短 0.5		PL.117。埋没土。1/2。厚0.6cm。
第174図	遺外-133	刀子	長<16.7>	短 3.3		PL.117。埋没土。茎破片。厚0.6cm。
第174図	遺外-134	紡錘車	外<5.0>内5.0	厚1.0	二ッ岳石	PL.117。埋没土。完形。33.0 g。側面荒い面取り。未製品か。
第174図	遺外-135	無茎石鏃	長 <1.6>	短 1.7	黒曜石	PL.118。埋没土。1/3。0.44 g。厚0.2cm。
第174図	遺外-136	無茎石鏃	長 2.9	短 1.4	チャート	PL.118。埋没土。完形。1.40 g。厚0.8cm。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第175図	遺外-137	砥石	長<10.9> 短 3.1	流紋岩	PL.118。埋没土。2/3。120.3g。厚2.9cm。4面も欠損後使用。
第175図	遺外-138	打製石斧	長<8.5> 短 6.4	黒色頁岩	PL.118。埋没土。2/3。<79.0>g。厚1.7cm。未製品。
第175図	遺外-139	土鍾	長 7.6 外 4.1 内 1.1	にぶい黄橙 10YR6/4	PL.118。埋没土。ほぼ完形。94.6g。紡錘形。いぶし状。
第175図	遺外-140	土鍾	長 5.0 外 2.6 内 0.9	にぶい褐 7.5YR6/3	PL.118。埋没土。完形。28.5g。筒型。
第175図	遺外-141	土鍾	長 4.6 外 2.3 内 0.6	にぶい黄橙 10YR7/4	PL.118。埋没土。完形。20.6g。筒型。
第175図	遺外-142	土鍾	長 5.5 外 1.9 内 0.8	にぶい黄橙 10YR7/3	PL.118。埋没土。完形。13.0g。紡錘形。黒斑。
第175図	遺外-143	土鍾	長 5.2 外 2.0 内 0.6	灰白 10YR7/1	PL.118。埋没土。ほぼ完形。15.2g。紡錘形。
第175図	遺外-144	土鍾	長 4.8 外 1.6 内 0.5	黒褐 10YR3/1	PL.118。埋没土。ほぼ完形。9.5g。紡錘形。いぶし状、黒色。
第175図	遺外-145	土鍾	長 4.2 外 2.2 内 0.5	にぶい黄橙 10YR7/3	PL.118。埋没土。完形。13.6g。紡錘形。黒斑。
第175図	遺外-146	土鍾	長 4.6 外 1.4 内 0.4	にぶい黄橙 10YR7/3	PL.118。埋没土。完形。7.2g。紡錘形。
第175図	遺外-147	土鍾	長 4.3 外 1.6 内 0.4	灰黄褐 10YR6/2	PL.118。埋没土。完形。7.3g。紡錘形。
第175図	遺外-148	土鍾	長 4.4 外 1.7 内 0.4	にぶい黄橙 10YR7/3	PL.118。埋没土。完形。8.7g。紡錘形。
第175図	遺外-149	土鍾	長 4.1 外 1.5 内 0.5	にぶい黄橙 10YR7/3	PL.118。埋没土。完形。9.0g。紡錘形。一部いぶし状、褐色。
第175図	遺外-150	土鍾	長 4.7 外 1.4 内 0.5	灰黄褐 10YR6/2	PL.118。埋没土。完形。9.0g。細い紡錘形。
第175図	遺外-151	土鍾	長 4.6 外 1.2 内 0.4	にぶい橙 7.5YR7/3	PL.118。埋没土。ほぼ完形。5.6g。棒状。
第175図	遺外-152	土鍾	長 4.9 外 1.1 内 0.5	灰褐 7.5YR4/2	PL.118。埋没土。完形。5.9g。棒状。いぶし状、褐色。
第175図	遺外-153	土鍾	長 3.3 外 0.7 内 0.2	にぶい黄橙 10YR6/3	PL.118。埋没土。完形。2.0g。棒状。一部いぶし状。
第175図	遺外-154	土鍾	長 3.2 外 0.9 内 0.2	褐灰 5YR5/1	PL.118。埋没土。ほぼ完形。2.5g。棒状。いぶし状。
第175図	遺外-155	土鍾	長 3.3 外 0.8 内 0.3	橙 5YR6/6	PL.118。埋没土。ほぼ完形。2.1g。棒状。
第175図	遺外-156	土鍾	長<3.4>外1.7 内0.9	灰黄褐 10YR5/2	PL.118。埋没土。1/2。9.6g。筒形。いぶし状。
第175図	遺外-157	土鍾	長<2.4>外1.5 内0.5	橙 7.5YR7/6	PL.118。埋没土。破片。3.9g。筒型。
第175図	遺外-158	土鍾	長<2.1>外0.8 内0.3	灰黄褐 10YR6/2	PL.118。埋没土。1/2。1.1g。棒状。
第175図	遺外-159	須恵器	口 (13.2) 残口縁片	灰白 2.5Y7/1	軟質。口唇部外反。やや摩滅減味。
PL.112	埋没土	高台付皿	高<2.1> 底	還元	
第175図	遺外-160	須恵器	口 (12.0) 残口縁片	褐灰 10YR6/1	硬質。底部回転糸切り後、付高台。
PL.112	埋没土	高台付碗	高<3.5> 底	還元	
第175図	遺外-161	須恵器	口 残底部片	褐灰 5YR5/1	軟質。底部右回転糸切り後、付高台。いぶし状、黒色。
PL.112	埋没土	高台付碗	高<1.9> 底	還元	
第175図	遺外-162	須恵器	口 (32.0) 残口縁片	灰白 5Y7/1	硬質。外面中位2本一単位の波状文2段。
PL.112	埋没土	甕	高<4.5> 底	還元	
第175図	遺外-163	須恵器	口 残底部片	灰白 2.5Y7/1	軟質。底部右回転糸切り。外面剥離。
PL.112	埋没土	壺	高<7.8> 底 (6.0)	還元	
第175図	遺外-164	須恵器	口 残胴底片	灰白 5Y7/1	硬質。底部右回転糸切り。胴部内面下半、絞り痕。
PL.112	埋没土	梅瓶	高<17.0> 底 5.5	還元	

B区 遺物観察表

挿図No 写真No	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値(cm) (推定) <残存値>	色調・石材 焼成	製作技法等の特徴
第177図 PL.118	1住-1 埋没土	土師器 台付甕か	口 (13.0) 残口縁片 高<10.5>	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	内外面煤付着。
第177図 PL.118	1住-2 床直	土師器 甕	口 (16.0) 残口縁片 高<4.5> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、崩れ器肉厚い。
第177図 PL.118	1住-3 埋没土	羽釜	口 (21.0) 残口縁片 高<10.8>	灰白 5Y7/1 酸化	口縁部僅かに内傾、短い。口唇部内斜。鏝三角形上向き。
第178図 PL.118	2住-1 床直	須恵器 高台付碗	口 残底部片 高<4.1> 底 (6.6)	にぶい黄橙 10YR7/2 還元	軟質。摩滅著しい。
第179図 PL.118	3住-1 床直	須恵器 高台付碗	口 (14.8) 残 1/3 高 5.1 底 6.8	灰白 2.5Y7/1 還元	やや軟質。底部右回転糸切り後、付高台。4mmの灰白粒僅かに含む。
第179図 PL.118	3住-2 床直	土師器 甕	口 11.6 残口縁片 高<5.7> 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状、短い。内面黒色。外面煤付着。
第179図 PL.118	4住-1 埋没土	須恵器 坏	口 (15.0) 残口縁片 高<4.2> 底	にぶい黄橙 10YR7/3 還元	軟質。口唇部大きく外反。摩滅著しい。
第185図 PL.119	灌漑-1 埋没土	陶器 灯明皿	口 (10.6) 残 1/6 高<2.1> 底	にぶい黄橙 10YR7/3	底部外面回転篋削り。内面径2mmのトチン痕、施釉、にぶい黄2.5Y6/3。
第185図 PL.119	灌漑-2 埋没土	陶器 菊皿	口 残底部片 高<2.3> 底 (6.6)	灰白 2.5Y8/2	底部菊文、型押し。外面口縁部から内面施釉、浅黄5Y7/4。
第185図 PL.119	灌漑-3 埋没土	陶器 碗	口 残底部片 高<3.6> 底 5.3	にぶい黄橙 10YR7/2	付高台。畳付き部を除き、施釉、灰黄2.5Y7/2。貫入。肥前、呉器手碗。
第185図 PL.119	灌漑-4 埋没土	陶器 飯碗	口 残底部片 高<2.2> 底 5.4	浅黄 2.5Y7/3	削り出し高台。貫入。黄瀬戸。
第185図 PL.119	灌漑-5 埋没土	陶器 飯碗	口 12.0 残口縁片 高<6.0> 底	にぶい黄橙 10YR6/3	削り出し高台。鏽釉。
第185図 PL.119	灌漑-6 埋没土	陶器 碗	口 残底部片 高<2.7> 底 (5.0)	褐灰 10YR6/1	削り出し高台。外面青色染付。端部除き、施釉、暗オリーブ灰2.5GY7/1。内面輪状の凹み。貫入。肥前、陶胎染付。
第185図 PL.119	灌漑-7 埋没土	陶器 碗	口 残底部片 高<2.9> 底 (5.0)	灰白 10YR7/1	削り出し高台。外面青色染付。端部口紅か、灌漑-6と同色の施釉。貫入。肥前、陶胎染付。
第185図 PL.119	灌漑-8 埋没土	陶器 急須	口 残注ぎ口 高 厚 0.3	灰白 5Y7/1	注ぎ口の元6mmの穿孔3ヶ所。施釉、灰オリーブ5Y6/2。貫入。
第185図 PL.119	灌漑-9 埋没土	陶器 大皿	口 残底部片 高<2.4> 底 17.0	灰白 5Y8/2	付高台。外面左回転篋削り調整。外面底部以外施釉。内面径8mmの重ね焼き痕。馬の目皿か。益子。

第3章 検出された遺構と遺物

第185図 PL.119	灌溉 - 10 埋没土	陶器 鉢	口 高 <2.4>	残底部片 底 (14.4)	にぶい橙 7.5YR7/3	削り出し高台、底面回転篋削り。内面施釉、褐7.5YR4/3。鉄釉。
第185図 PL.119	灌溉 - 11 埋没土	陶器 捏鉢	口 (24.6) 高 <14.3>	残口縁片 底	灰白 2.5Y8/2	口縁部外折り返し、内弯。内外面施釉、淡黄2.5Y8/4。
第185図 PL.119	灌溉 - 12 埋没土	磁器 猪口	口 高 <2.3>	残底部片 底 2.8		青色染付。瀬戸・美濃。
第185図 PL.119	灌溉 - 13 埋没土	磁器 湯飲碗	口 高 <4.6>	残底部片 底 3.6		青色染付。草花文。高台に銘。波佐見。
第185図 PL.119	灌溉 - 14 埋没土	磁器 水滴	口 高 <1.7>	残 1/3 底		型押し成形。青色染付。扇形か。
第185図 PL.120	灌溉 - 15 埋没土	磁器 徳利	口 高 <12.9>	残 1/2 底 6.1		青色染付。草花文。瀬戸・美濃。
第185図 PL.120	灌溉 - 16 埋没土	磁器 鉢	口 <12.8> 高 7.4	残 1/2 底 <13.0>		型紙染付。菊花文、鹿子文。下部櫛目文。瀬戸・美濃。
第185図 PL.120	灌溉 - 17 埋没土	軟質陶器 焙烙	口 (31.0) 高 <3.2>	残口縁片 厚 (32.0)	灰白 2.5Y8/2	口縁部短く、直立。平底。
第185図 PL.120	灌溉 - 18 埋没土	軟質陶器 焙烙	口 (32.0) 高 <3.1>	残口縁片 底 (33.6)	にぶい橙 7.5YR7/4	口縁部短く、直立。底部扁平か、黒斑。
第185図 PL.120	灌溉 - 19 埋没土	軟質陶器 焙烙	口 高 <2.5>	残口縁片 厚 0.9	灰 N4/	いぶし状、黒色。焼成後、穿孔1ヶ所確認。
第185図	灌溉 - 20	鉄製品	長 5.1	短 1.6		PL.120。埋没土。ほぼ完形。厚0.2cm。用途不明。
第185図	灌溉 - 21	蹄鉄	長 11.9	短 10.4		PL.120。埋没土。完形。厚0.6cm。後左足用。3本の釘打つ。
第185図	灌溉 - 22	砥石	長 12.5	短 4.0	炭化珪素	PL.120。埋没土。完形。162g。厚2.0cm。2面使用。現代。
第195図 PL.119	2井 - 1 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口 高 <16.7>	残口胴片 底	暗灰黄 2.5Y5/2	内外面いぶし状、煤付着。
第195図 PL.119	2井 - 2 埋没土	軟質陶器 播鉢	口 (32.0) 高 <12.0>	残口縁片 底	にぶい橙 5YR6/4	口唇部巾3cmで外折れ、片口。内面2.5cm巾6本一単位の荒い刷毛目。内面黒斑。剥離著しい。
第195図	2井 - 3	石鉢	口 28.0	高 16.0	粗粒輝石安山岩	PL.119。埋没土。完形。6.2kg。底14.8cm。片口。
第195図	2井 - 4	石鉢	口 (23.4)	高 <6.0>	粗粒輝石安山岩	PL.119。埋没土。口縁片。<120>g。片口。
第195図	2井 - 5	石鉢	底 (16.8)	高 <9.0>	粗粒輝石安山岩	PL.119。埋没土。底部片。<1.0>kg。
第195図	2井 - 6	軽石	長 10.8	短 10.5	二ッ岳軽石	PL.119。埋没土。完形。575g。厚9.4cm。
第195図	2井 - 7	砥石	長 <10.2>	短 4.5	砥沢石	PL.119。埋没土。3/4。<165>g。厚2.0cm。
第197図 PL.119	13土 - 1 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.6>	残底部片 底 6.6	にぶい黄橙 10YR7/3 還元	軟質。付高台。5mmの砂粒少量含む。摩滅気味。
第202図 PL.120	15溝 - 1 埋没土	青磁 碗	口 高 <1.6>	残体部片 厚 0.8	灰白 5Y7/1	外面蓮弁、内面木の葉文。施釉、オリーブ黄7.5Y6/3。龍泉窯系。
第202図 PL.120	15溝 - 2 埋没土	軟質陶器 鉢	口 高 <4.6>	残底部片 底 (12.0)	黄灰 2.5Y6/1	硬質。平底。内面横方向のキズ、摩滅。
第205図 PL.120	13溝 - 1 埋没土	陶器 皿	口 (12.8) 高 2.1	残 1/4 底 (8.8)	浅黄橙 10YR8/3	削り出し高台。底部外面施釉、剥離。内面径4mmのトンチン痕。貫入。志野。
第207図 PL.120	3溝 - 1 埋没土	磁器 飯碗	口 高 <5.1>	残 1/2 底		染付。梅花文。肥前、波佐見。高台に銘。くらわんか碗。
第207図	3溝 - 2	砥石	長 8.9	短 3.2	砥沢石	PL.120。埋没土。3/4。160g。厚2.6cm。4面使用。
第208図 PL.120	遺外 - 1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 高 <1.3>	残底部片 底	灰白 2.5Y7/1	全体施釉、灰オリーブ7.5Y5/2。器肉厚い。
第208図 PL.120	遺外 - 2 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口 高 <1.7>	残底部片 底 (7.0)	灰白 5Y7/1	付高台。内面口縁部、施釉。底面中央平滑、内面金彩痕か。
第208図 PL.120	遺外 - 3 埋没土	須恵器 坏	口 (11.2) 高 3.6	残 1/4 底 (6.0)	紫灰 5P6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り。
第208図 PL.120	遺外 - 4 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.7>	残底部片 底 7.2	灰白 5Y7/1 還元	軟質。付高台。底部右回転糸切り。やや摩滅。
第208図 PL.120	遺外 - 5 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.8>	残底部片 底 (6.8)	灰白 N7/ 還元	硬質。付高台。口縁部下位回転篋削り調整。
第208図 PL.120	遺外 - 6 埋没土	須恵器 高台付碗	口 高 <1.8>	残底部片 底 (6.6)	黄灰 2.5Y6/1 還元	硬質。底部右回転糸切り後、付高台、内面重ね焼き痕、僅かに残る。
第208図 PL.120	遺外 - 7 埋没土	須恵器 高台付碗	口 (16.3) 高 <6.5>	残口縁片 底	にぶい黄橙 10YR6/3 還元	軟質。底部回転糸切り、付高台、欠損。摩滅著しい。
第208図 PL.120	遺外 - 8 埋没土	磁器 湯飲碗	口 8.9 高 <4.7>	残 1/2 底 <4.5>		染付。草花文、文字。青色、一部緑色。見込に五弁花文。
第208図 PL.120	遺外 - 9 埋没土	陶器 皿	口 (16.0) 高 2.8	残 1/4 底 (6.6)	灰白 7.5Y7/1	削り出し高台。口縁部外面から内面に施釉、浅黄5Y7/3。底部内面輪状、重ね焼き痕。
第208図 PL.120	遺外 - 10 埋没土	陶器 皿	口 (12.0) 高 2.5	残 1/6 底 (6.2)	灰白 2.5Y8/2	削り出し高台。施釉、浅黄5Y7/4。内面底部輪状、重ね焼き痕。
第208図 PL.120	遺外 - 11 埋没土	陶器 菊皿	口 (14.6) 高 3.4	残 1/5 底 (6.9)	灰白 2.5Y8/2	内面底部重ね焼き痕。施釉、浅黄2.5Y7/3。口唇部、明オリーブ7.5Y5/2。黄瀬戸。美濃。
第208図 PL.120	遺外 - 12 埋没土	陶器 碗	口 高 <3.5>	残底部片 底 5.0	灰白 2.5Y7/1	青色染付。削り出し高台。畳付き部分褐彩。施釉、明オリーブ灰5GY7/1。貫入。
第208図 PL.120	遺外 - 13 埋没土	陶器 碗	口 (11.3) 高 <5.0>	残 1/3 底 4.0	灰白 7.5Y8/2	外面青色染付。削り出し高台以外に施釉、灰白5Y7/2。
第208図 PL.120	遺外 - 14 埋没土	陶器 灯明皿	口 (1.9) 高 1.9	残 1/3 底 4.0	褐灰 7.5YR6/1	口縁内外面錆釉。内面輪状の重ね焼き痕。瀬戸・美濃。江戸。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第208図 PL.120	遺外-15 埋没土	陶器 灯明受皿	口(10.2) 高 2.2	残底 1/6 (4.5)	明褐灰 7.5YR7/2	内面にかえり、1ヶ所切り込み。錆釉、外面拭い取る。外面底部輪状、重ね焼き痕。瀬戸・美濃。江戸。
第208図 PL.120	遺外-16 埋没土	陶器 灯明受皿	口(10.9) 高 1.8	残底 1/4 (6.0)	にぶい黄橙 10YR7/2	内面にかえり、1ヶ所切り込み。錆釉、外面拭い取る。外面底部輪状、重ね焼き痕。瀬戸・美濃。江戸。
第208図 PL.120	遺外-17 埋没土	陶器 灯明皿高	口 高 <1.1>	残底部片 底 4.0	褐灰 7.5YR6/1	内面にかえり、錆釉、外面拭い取る。外面底部輪状、重ね焼き痕。瀬戸・美濃。江戸。
第208図 PL.120	遺外-18 埋没土	陶器 皿	口 高 <2.0>	残底部片 底 (6.0)	灰白 N8/1	染付。見込は蛇の目軸剥ぎ。外面高台端部の他、施釉。
第208図 PL.120	遺外-19 埋没土	土師器 坏	口(14.0) 高 <4.0>	残口縁片 底	にぶい橙 5YR7/4 酸化	口縁部短く外反。底部篋削り、丸底。内面放射状の暗文。外面底部黒斑。
第208図 PL.120	遺外-20 埋没土	土師器 坏	口(11.0) 高 3.8	残底 1/4 (7.3)	にぶい橙 5YR6/4 酸化	口縁部外反。底部型肌、平ら。一部いぶし状、褐色。
第208図 PL.120	遺外-21 埋没土	土師器 甕	口(12.0) 高 <5.5>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	口縁部「コ」の字状。いぶし状、黒色。
第208図 PL.120	遺外-22 埋没土	土師器 甕	口(23.0) 高 <9.0>	残口縁片 底	にぶい橙 7.5YR6/4 酸化	器肉厚い。やや歪む。
第208図 PL.120	遺外-23 埋没土	須恵器 壺	口 高 <3.5>	残肩部片 厚 4.5	灰 5Y5/1 還元	硬質。肩部把手、1ヶ所確認。欠損し形状不明瞭。
第208図 PL.120	遺外-24 埋没土	須恵器 凸帯付壺	口 高 <7.2>	残肩部片 厚 0.7	灰 N5/ 還元	硬質。1mmの白色粒僅かに含む。凸帯丁寧な整形。
第208図 PL.120	遺外-25 埋没土	軟質陶器 控鉢	口(31.0) 高 14.0	残底 1/5 (13.0)	にぶい黄橙 10YR6/4	平底。口唇部僅かに内弯。摩滅著しい。
第208図	遺外-26	土錘	長<4.2>外1.2 内0.4		褐灰 10YR6/1	PL.120。埋没土。ほぼ完形。5.5g。細長い棒形。
第208図	遺外-27	土錘	長5.2 外1.8 内0.6		にぶい黄橙 10YR7/3	PL.120。埋没土。ほぼ完形。13.2g。紡錘形。
第208図	遺外-28	土錘	長4.3 外1.8 内0.7		黄灰 2.5Y4/1	PL.120。埋没土。1/2。13.8g。筒形。いぶし状。
第208図	遺外-29	鉄鏃	長4.2 巾3.3 厚0.8			PL.120。埋没土。3/4。全長<7.2>cm。有茎。両刃。わたくり。
第208図	遺外-30	鉄製品	長<7.8> 短<4.0>			PL.120。埋没土。破片。厚0.5cm。用途不明。

C区 遺物観察表

挿図No 写真No	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値(cm) (推定) <残存値>		色調・石材 焼成	製作技法等の特徴
第211図 PL.121	屋敷-1 埋没土	陶器 皿	口(12.0) 高 3.1	残底 1/4 (6.0)	灰白 5Y8/1	削り出し高台。漬け掛けか、施釉、灰オリーブ5Y6/2。内面底部輪状の重ね焼き痕。
第211図 PL.121	屋敷-2 埋没土	陶器 菊皿	口 高 <1.7>	残底部片 底 (7.8)	灰白 2.5Y8/2	付高台。口縁部施釉、オリーブ黄5Y6/3。貫入。
第211図 PL.121	屋敷-3 埋没土	陶器 天目茶碗	口 高 <2.2>	残底部片 底 5.5	淡黄 2.5Y8/3	削り出し高台。体部下半回転篋削り。瀬戸・美濃。
第211図 PL.121	屋敷-4 埋没土	陶器 湯飲碗	口 高 <2.3>	残底部片 底 5.0	橙 5YR6/6	高台端部の他を施釉、明オリーブ灰2.5GY7/1。鼠志野。
第211図 PL.121	屋敷-5 埋没土	陶器 灯明皿	口 高 <2.3>	残底部片 底 6.2	灰白 10YR8/2	底部削り出し。内面錆釉、外面軸剥ぎ。
第211図 PL.121	屋敷-6 埋没土	磁器 仏飯器	口 高 <4.7>	残底部片 底		青色染付。全体施釉。
第211図 PL.121	屋敷-7 埋没土	磁器 小鉢	口 高 <4.7>	残底部片 底 7.7		青色染付。外面丸文、櫛目高台。見込に松竹梅。
第211図 PL.121	屋敷-8 埋没土	軟質陶器 焙烙	口(31.0) 高 <3.8>	残口縁片 底 (32.0)	浅黄橙 7.5YR8/3	口唇部丸い。口縁部短く直立。底部扁平。
第211図 PL.121	屋敷-9 埋没土	軟質陶器 播鉢	口(33.0) 高 <11.8>	残口縁片 底	橙 5YR7/6	無釉。内面巾30mm 1単位12本の刷毛目、全体に施す。
第211図 PL.121	屋敷-10 埋没土	須恵器 播鉢	口 高 <3.7>	残底部片 底 (12.0)	灰 N5/ 還元	硬質。底部篋削り、平ら。内面巾33mm 6～7本単位の刷毛目。
第211図 PL.121	屋敷-11 埋没土	軟質陶器 骨蔵器	口 高 <17.2>	残底部片 底 11.6	灰白 10YR7/1	短頸壺か。底部左回転糸切り、平ら。外面剥離著しい。
第211図	屋敷-12	土錘	長4.5 外1.2 内0.3		灰黄褐 10YR6/2	PL.121。埋没土。完形。9.6g。棒状。いぶし状、褐色。
第211図	屋敷-13	丸石	長 4.2 短 4.1		粗粒輝石安山岩	PL.121。埋没土。完形。40g。厚3.4cm。
第211図	屋敷-14	凹石	長 11.1 短 9.5		二ツ岳石	PL.121。埋没土。完形。723g。厚7.8cm。
第211図	屋敷-15	磨石	長 8.7 短 8.5		変質安山岩	PL.121。埋没土。完形。285g。厚1.9cm。
第211図	屋敷-16	砥石	長 <8.9> 短 5.2		砥沢石	PL.121。埋没土。1/2。252.0g。厚3.3cm。3面使用。
第211図	屋敷-17	銅銭	外径 2.5 内径 0.6		寛永通寶	PL.121。埋没土。完形。2.46g。背文「文」文銭。新寛永。
第211図	屋敷-18	銅銭	外径 2.3 内径 0.7		熙寧元寶	PL.121。埋没土。完形。3.10g。北宋。1068年。篆書。
第211図	屋敷-19	銅銭	外径 2.4 内径 0.6		熙寧元寶	PL.121。埋没土。3/4。<0.96>g。北宋。1068年。篆書。
第211図	屋敷-20	銅銭	外径 2.4 内径 0.7		嘉祐通寶	PL.121。埋没土。ほぼ完形。1.63g。北宋。1056年。真書。
第211図	屋敷-21	銅銭	外径 2.5 内径 0.7		皇宋通寶	PL.121。埋没土。ほぼ完形。2.54g。北宋。1038年。真書。
第216図	13溝-1	砥石	長 <7.9> 短 2.6		砥沢石	PL.127。埋没土。1/2。96.8g。厚2.8cm。5面使用残る。
第216図	13溝-2	砥石	長 <7.2> 短 4.8		砥沢石	PL.127。埋没土。1/2。133.7g。厚2.9cm。5面使用残る。
第216図	13溝-3	砥石	長 7.6 短 3.0		砥沢石	PL.127。埋没土。1/2。107.6g。厚1.9cm。4面使用。
第216図	16溝-1	砥石	長 8.9 短 5.1		デイサイト	PL.127。埋没土。1/2。292.0g。厚3.4cm。3面使用。
第216図	16溝-2	砥石	長 15.5 短 2.5		砥沢石	PL.127。埋没土。3/4。152.0g。厚1.8cm。5面使用。
第216図	16溝-3	砥石	長 11.3 短 3.4		砥沢石	PL.127。埋没土。破片。100.6g。厚3.0cm。3面使用。
第216図	16溝-4	砥石	長 <7.2> 短 3.4		砥沢石	PL.127。埋没土。1/2。175.0g。厚2.8cm。4面使用。

第3章 検出された遺構と遺物

第217図 PL.128	16溝 - 5 埋没土	須恵器 灯明皿	口 6.9 高 1.8	残底 3/4 底 4.9	にぶい橙 7.5YR7/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り、切り離し直し。内面口縁部1/2に黒色。
第217図 PL.128	16溝 - 6 埋没土	かわらけ 皿	口 7.2 高 1.9	残底 完形 底 4.2	橙 5YR7/6 酸化	軟質。底部左回転糸切り。
第217図 PL.128	16溝 - 7 埋没土	かわらけ 坏	口 高 <2.6>	残底部片 底 6.4	にぶい黄橙 10YR7/2 酸化	軟質。底部左回転糸切り。
第217図 PL.128	16溝 - 8 埋没土	かわらけ 坏	口 (13.6) 高 3.1	残口縁片 底 (7.0)	浅黄橙 10YR8/3 酸化	軟質。底部回転糸切り。
第217図 PL.128	16溝 - 9 埋没土	陶器 片口搥鉢	口 (15.0) 高 <3.3>	残口縁片 底	灰白 7.5Y8/1	口縁部漬け掛けか、オリブ黄7.5Y6/3。口唇部1ヶ所巾12mm弱く外反。内面底部刺突。
第217図 PL.128	16溝 - 10 埋没土	軟質陶器 搥鉢	口 (28.0) 高 (11.6)	残口底片 底 (12.5)	灰黄褐 10YR6/2	口唇部内弯。平底。内面下半部4本一単位の刷毛目曲線を描く。内面いぶし状。
第217図 PL.128	16溝 - 11 埋没土	軟質陶器 捏鉢	口 高 <9.0>	残口底片 底 (12.0)	橙 2.5YR6/6	平底。内面下部黒色気味、平滑。摩滅著しい。
第217図 PL.128	16溝 - 12 埋没土	軟質陶器 搥鉢	口 (30.0) 高 <6.5>	残口縁片 底	灰白 2.5Y7/1	硬質。口縁部巾30mmで外反、片口。内面下半部横方向にキズ平滑。
第217図 PL.128	16溝 - 13 埋没土	軟質陶器 鉢	口 高 <7.8>	残底部片 底 12.0	黄灰 2.5Y6/1	底部左回転糸切り。内面平滑、剥離著しい。いぶし状、黒色。
第217図 PL.128	16溝 - 14 埋没土	軟質陶器 片口鉢	口 (26.0) 高 <9.0>	残口縁片 底	灰白 10YR7/1	口縁部巾30mm僅かに外反。内面やや平滑。
第217図 PL.128	16溝 - 15 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口 (32.0) 高 <11.5>	残口縁片 底	灰白 2.5Y7/1	口縁部短く外反。1ヶ所紐状、把手受ける凹部。外面胴部黒色、煤付着。
第217図 PL.128	16溝 - 16 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口 (30.0) 高 14.5	残口底片 底 15.8	灰白 10YR7/1	硬質。口縁部外反、口唇部僅かに内弯。1ヶ所把手、貼付痕。底部扁平。外面一部煤付着。
第217図 PL.128	16溝 - 17 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口 (31.0) 高 <11.0>	残口縁片 底	褐灰 10YR5/1	硬質。口縁部外反。
第217図 PL.128	16溝 - 18 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口 高 <6.5>	残口縁片 厚 1.1	灰 N5/	硬質。口縁部僅かに外反。内面把手、貼付。外面胴部一部煤付着。
第217図	16溝 - 19	石鉢	口 (28.0)	高 <8.3>	粗粒輝石安山岩	PL.127。埋没土。口縁片。580g。
第217図	16溝 - 20	石鉢	厚 4.9	高 <9.5>	粗粒輝石安山岩	PL.127。埋没土。破片。680g。
第217図	16溝 - 21	凹石	長 <14.0>	短 <13.8>	二ッ岳軽石	PL.127。埋没土。2/3。1.063kg。厚8.2cm。
第217図	16溝 - 22	骨蔵器か 石皿	長 20.0	短 19.7	二ッ岳石	PL.127。埋没土。完形。3.77kg。厚11.8cm。
第217図	16溝 - 23	石皿	長 <9.0>	短 <14.6>	石英閃緑岩	PL.127。埋没土。1/3。1.32kg。厚5.2cm。
第217図 PL.128	19溝 - 1 埋没土	焼締陶器 甕	口 (42.0) 高 <9.4>	残口縁片 厚 11.0	黒褐 5YR3/1	硬質。口縁部短く、口唇部折り返し。頸部広い。胴部外面平行叩き目。常滑。
第218図 PL.128	26溝 - 1 埋没土	軟質陶器 捏鉢	口 (32.0) 高 <11.8>	残口縁片 厚 0.9	灰 5Y6/1	口唇部内弯。内面下半部、横方向にキズ。内外面一部いぶし状。一部剥離。
第218図 PL.128	26溝 - 2 埋没土	軟質陶器 鉢	口 (28.0) 高 <7.2>	残口縁片 厚 1.1	にぶい黄橙 10YR7/3	硬質。口縁部内弯。内面やや平滑。
第218図 PL.128	26溝 - 3 埋没土	軟質陶器 鉢	口 (28.0) 高 <8.8>	残口縁片 厚 1.4	褐灰 7.5YR5/1	硬質。口縁部内弯。内面下半部、横方向キズ、摩滅。一部剥離。
第218図 PL.128	26溝 - 4 埋没土	軟質陶器 鉢	口 (28.0) 高 <10.0>	残口縁片 厚 1.1	灰 10Y6/1	硬質。内面下半部、横方向キズ多い。外面煤付着、剥離。
第218図	26溝 - 5	空風輪	長 <16.3>	短 <14.3>	流紋岩質凝灰岩	PL.128。埋没土。破片。<1.04>kg。厚<9.4>cm。
第218図	26溝 - 6	水輪	長 27.6	短 26.8	流紋岩質凝灰岩	PL.129。埋没土。完形。12.2kg。厚19.3cm。
第218図	26溝 - 7	火輪	長 31.2	短 30.9	流紋岩質凝灰岩	PL.129。埋没土。3/4。<8.6>kg。厚18.6cm。
第218図	26溝 - 8	火輪	長 31.5	短 29.8	流紋岩質凝灰岩	PL.129。埋没土。3/4。<8.1>kg。厚11.9cm。
第218図	26溝 - 9	地輪	長 30.5	短 30.4	流紋岩質凝灰岩	PL.129。埋没土。3/4。<9.5>kg。厚<13.8>cm。
第218図	26溝 - 10	砥石	長 14.0	短 3.2	砥沢石	PL.128。埋没土。ほぼ完形。114.4g。厚2.4cm。4面使用。
第240図	14井 - 1	銅銭	外径 2.4	内径 0.8	皇宋通寶	PL.121。埋没土。完形。2.91g。北宋。1038年。真書。
第240図	14井 - 2	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	熙寧元寶	PL.121。埋没土。ほぼ完形。2.38g。北宋。1068年。篆書。
第240図 PL.121	19井 - 1 埋没土	軟質陶器 捏鉢	口 高 <6.3>	残底部片 底 (14.0)	褐灰 10YR6/1	硬質。底部キズ、平底、平滑。
第241図	1井 - 3	上白	長 29.0	短 28.8	粗粒輝石安山岩	PL.123。埋没土。完形。8.6kg。厚8.7cm。使い込んで傾き有。
第241図	1井 - 4	下白	長 31.1	短 30.8	粗粒輝石安山岩	PL.122。埋没土。完形。10.7kg。厚10.5cm。
第241図 PL.121	4井 - 1 埋没土	羽釜	口 高 <4.5>	残口縁片 厚 0.6	灰白 2.5Y7/1 還元	口縁部内傾。口唇部丸く、内斜。鈔高く平ら。
第241図	4井 - 2	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	大観通寶	PL.121。埋没土。ほぼ完形。1.97g。北宋。1107年。
第241図	4井 - 3	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	皇宋通寶か	PL.121。埋没土。ほぼ完形。2.91g。北宋。1038年。真書。
第241図	22井 - 1	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	至元通寶	PL.121。埋没土。完形。2.63g。北宋。995年。真書。
第241図	22井 - 2	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	元豊通寶	PL.121。埋没土。ほぼ完形。2.11g。北宋。1078年。篆書。
第241図	22井 - 3	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	政和通寶	PL.121。埋没土。完形。2.27g。北宋。1111年。篆書。
第242図	1井 - 1	上白	長 31.5	短 31.2	粗粒輝石安山岩	PL.122。埋没土。ほぼ完形。9.8kg。厚10.3cm。
第242図	1井 - 2	下白	長 30.5	短 30.1	粗粒輝石安山岩	PL.122。埋没土。完形。15.2kg。厚9.6cm。
第242図	5井 - 1	砥石	長 10.6	短 2.7	砥沢石	PL.122。埋没土。3/4。111.7g。厚2.0cm。4面使用。
第242図 PL.121	11井 - 1 埋没土	須恵器 坏	口 高 <2.8>	残底部片 底 (6.6)	にぶい黄橙 10YR6/3 酸化	軟質。底部右回転糸切り。内面油煙状黒色付着。
第243図	8井 - 1	砥石	長 <8.7>	短 3.7	砥沢石	PL.122。埋没土。1/2。233.0g。厚3.7cm。4面使用。
第243図	8井 - 2	敲石	長 11.5	短 5.0	石英閃緑岩	PL.122。埋没土。完形。292g。厚3.1cm。擦痕有り。
第243図	8井 - 3	磨石	長 12.0	短 4.2	ひん岩	PL.122。埋没土。完形。358g。厚4.3cm。擦痕有り。
第243図	8井 - 4	磨石	長 15.3	短 <10.8>	粗粒輝石安山岩	PL.122。埋没土。1/2。<1.06>kg。厚3.7cm。凹み集中3ヶ所。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第243図 PL.122	10井-1 埋没土	灰釉陶器 高台付碗	口高 <2.2>	残底部片 底	灰白 10YR8/1	付高台。外面口縁下半部、回転削り。口縁部施釉、内面灰オーリーブ5Y6/2、厚く発泡。内面輪状、剥離。
第243図 PL.123	10井-2 埋没土	軟質陶器 掃鉢	口 (32.4) 高 13.5	残 1/2 底 10.7	褐灰 10YR6/1	底部左回転削り、平ら。内面5ヶ所巾27mm 一単位7本の刷毛目、平滑。口唇部内弯。外面摩滅。
第243図 PL.122	10井-3 埋没土	須恵器 片口鉢	口高 <3.0>	残口縁片 厚 1.1	灰 N4/ 還元	硬質。口唇部巾3～4cm で外反した片口。
第243図 PL.122	10井-4 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口 (31.0) 高<10.0>	残口縁片 厚 0.9	灰白 5Y7/1	内面やや摩滅。外面一部、煤付着。
第243図 PL.122	10井-5 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	厚 0.7 高 <5.5>	残底部片 底 (19.0)	灰 N5/	内面やや摩滅。外面煤付着。平底、薄い。
第243図 PL.122	10井-6 埋没土	軟質陶器 掃鉢	口 (31.0) 高 <5.3>	残底部片 底 (10.0)	褐灰 10YR6/1	底部右回転削り。内面7本一単位の刷毛目、器面平滑。底部中央内面から穿孔。
第243図 PL.123	10井-7 埋没土	軟質陶器 釜形土器	口 (13.5) 高<19.3>	残口胴片 厚 1.0	にぶい黄橙 10YR7/3	口縁部ほぼ直立。一對の耳貼付。下部に受けを組む。内面いぶし状、黒色。栃木県佐野の写しか。14C後～16C中期。
第243図 PL.123	10井-8 埋没土	陶器 高台付鉢	口 (33.0) 高 (10.8)	残口胴片 厚 0.9	灰白 2.5Y7/1	外面口縁部から内面施釉、オリーブ黄5Y6/3。内径1～2cm トチン痕、6ヶ所か。
第243図	10井-9	磨石	長 11.9	短 10.7	粗粒輝石安山岩	PL.123。埋没土。完形。665g。厚3.2cm。敲き痕、擦痕有り。
第243図	10井-10	磨石	長 16.2	短 7.0	粗粒輝石安山岩	PL.123。埋没土。完形。805g。厚3.8cm。ほぼ全面平滑。
第256図	13土-1	敲石	長 12.0	短 4.8	粗粒輝石安山岩	PL.127。埋没土。完形。334g。厚3.5cm。平滑。
第256図 PL.126	29土-1 埋没土	須恵器 片口鉢	口 (30.0) 高 <9.9>	残口胴底 底 (10.0)	褐灰 10YR6/1 還元	硬質。底部右回転削り、平ら、内面平滑。口縁部片口。
第256図	55土-1	砥石	長 8.5	短 2.5	砥沢石	PL.127。埋没土。破片。54.3g。厚1.1cm。3面使用残る。
第256図	61土-1	鉄製品	長 <7.0>	短 1.1		PL.127。埋没土。茎破片。厚0.5cm。用途不明。
第256図	74土-1	鍛冶滓	長 3.7	短 3.5		PL.127。埋没土。完形。55.12g。厚2.3cm。発泡している。
第256図 PL.126	110土-1 埋没土	軟質陶器 掃鉢	口 (29.0) 高 <9.5>	残口縁片 厚 1.4	灰黄褐 10YR6/2	硬質。口唇部内弯。内面下半部、横方向キズ。剥離気味。いぶし状、褐色。
第256図 PL.126	160土-1 埋没土	軟質陶器 鉢	口 (29.0) 高 <8.3>	残口縁片 厚 1.1	にぶい橙 7.5YR7/3	硬質。口縁部やや内弯。外面煤付着。内面剥離。
第256図	172土-1	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	皇宋通寶	PL.127。埋没土。ほぼ完形。2.24g。北宋。1038年。真書。
第256図	172土-2	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	元豊通寶	PL.127。埋没土。3/4。<1.89>g。北宋。1078年。行書。緑青。
第260図	2墓-1	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	判読不能	PL.124。埋没土。完形。2.45g。緑青付着。
第260図	2墓-2	銅銭	外径 2.5	内径	判読不能	PL.124。埋没土。完形。4.10g。付着物多。
第260図 PL.126	4火-1 埋没土	灰釉陶器 水注	口 (5.8) 高 <13.0>	残 1/4 底	黄灰 2.5Y6/1	肩部外面10mmの穿孔後、注口貼付。把手も貼付。自然釉か、灰オーリーブ5Y4/2。錆色付着。
第260図	4火-2	下臼	長 29.1	短 <23.6>	粗粒輝石安山岩	PL.126。埋没土。3/4。11.1kg。厚11.3cm。
第260図	11墓-1	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	景祐元寶	PL.124。埋没土。完形。2.89g。北宋。1034年。篆書。
第260図	13墓-1	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	天聖元寶	PL.124。床直。完形。3.13g。北宋。1023年。篆書。緑青。
第260図	13墓-2	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	嘉祐通寶か	PL.124。床直。完形。2.26g。北宋。1056年。篆書。緑青。
第262図	16墓-1	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	開元通寶	PL.124。埋没土。完形。2.59g。南唐。960年。緑青付着。
第262図	16墓-2	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	開元通寶	PL.124。埋没土。完形。2.80g。背左月。南唐。960年。
第262図	16墓-3	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	開元通寶	PL.124。埋没土。完形。3.05g。南唐。960年。
第262図	16墓-4	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	開元通寶	PL.124。埋没土。ほぼ完形。2.32g。背右星。南唐。960年。
第262図	16墓-5	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	軋元重寶	PL.124。埋没土。完形。2.97g。唐。758年。
第262図	16墓-6	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	太平通寶	PL.124。埋没土。完形。2.49g。北宋。976年。
第262図	16墓-7	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	至道元寶	PL.124。埋没土。完形。3.65g。北宋。995年。草書。緑青。
第262図	16墓-8	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	咸平元寶	PL.124。埋没土。完形。3.15g。北宋。998年。真書。緑青。
第262図	16墓-9	銅銭	外径 2.5	内径 0.65	祥符元寶	PL.124。埋没土。完形。3.35g。北宋。1009年。真書。
第262図	16墓-10	銅銭	外径 2.4	内径 0.65	天禧通寶	PL.124。埋没土。完形。3.40g。北宋。1017年。真書。
第262図	16墓-11	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	天禧通寶	PL.124。埋没土。ほぼ完形。2.46g。北宋。1017年。真書。
第262図	16墓-12	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	天禧通寶	PL.124。埋没土。完形。2.78g。北宋。1017年。真書。緑青。
第262図	16墓-13	銅銭	外径 2.5	内径 0.75	天聖元寶	PL.124。埋没土。完形。3.24g。北宋。1023年。真書。
第262図	16墓-14	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	天聖元寶	PL.124。埋没土。ほぼ完形。2.89g。北宋。1023年。真書。
第262図	16墓-15	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	天聖元寶	PL.124。埋没土。完形。2.90g。北宋。1023年。真書。
第262図	16墓-16	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	天聖元寶	PL.124。埋没土。完形。2.89g。北宋。1023年。真書。
第262図	16墓-17	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	天聖元寶	PL.124。埋没土。ほぼ完形。2.82g。北宋。1023年。篆書。
第262図	16墓-18	銅銭	外径 2.4	内径 0.75	天聖元寶	PL.124。埋没土。完形。3.14g。北宋。1023年。篆書。
第262図	16墓-19	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	天聖元寶	PL.124。埋没土。ほぼ完形。2.99g。北宋。1023年。篆書。
第262図	16墓-20	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	景祐元寶	PL.124。埋没土。完形。2.94g。背上星。1034年。篆書。
第262図	16墓-21	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	景祐元寶	PL.124。埋没土。完形。2.98g。北宋。1034年。篆書。
第262図	16墓-22	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。2.57g。北宋。1038年。篆書。緑青。
第262図	16墓-23	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。3.50g。北宋。1038年。真書。緑青。
第262図	16墓-24	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。2.98g。北宋。1038年。篆書。
第263図	16墓-25	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。3.01g。北宋。1038年。篆書。緑青。
第263図	16墓-26	銅銭	外径 2.4	内径 0.65	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。2.91g。北宋。1038年。篆書。
第263図	16墓-27	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。3.01g。北宋。1038年。真書。
第263図	16墓-28	銅銭	外径 2.4	内径 0.75	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。2.85g。北宋。1038年。篆書。緑青。
第263図	16墓-29	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。2.52g。北宋。1038年。篆書。緑青。
第263図	16墓-30	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。3.67g。北宋。1038年。真書。緑青。
第263図	16墓-31	銅銭	外径 2.3	内径 0.75	皇宋通寶	PL.124。埋没土。完形。3.12g。北宋。1038年。篆書。
第263図	16墓-32	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	至和通寶か	PL.124。埋没土。ほぼ完形。2.70g。1054年。真書。緑青。
第263図	16墓-33	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	聖宋元寶か	PL.124。埋没土。3/4。<1.35>g。北宋。1101年。篆書。
第263図	16墓-34	銅銭	外径 2.4	内径 0.8	嘉祐通寶	PL.124。埋没土。完形。2.37g。北宋。1056年。篆書。

第3章 検出された遺構と遺物

第263図	16墓-35	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	嘉祐通寶	PL.124. 埋没土。完形。2.38 g。北宋。1056年。真書。緑青。
第263図	16墓-36	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	嘉祐通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.73 g。1056年。真書。緑青。
第263図	16墓-37	銅銭	外径 2.3	内径 0.55	洪武通寶	PL.125. 埋没土。完形。2.92 g。明。1368年。
第263図	16墓-38	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	治平元寶	PL.125. 埋没土。完形。4.19 g。北宋。1064年。真書。
第263図	16墓-39	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	治平元寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。3.44 g。北宋。1064年。篆書。
第263図	16墓-40	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	紹聖通寶か	PL.125. 埋没土。完形。3.18 g。北宋。1094年。行書。緑青。
第263図	16墓-41	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。3.09 g。北宋。1068年。真書。
第263図	16墓-42	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。3.15 g。北宋。1068年。真書。
第263図	16墓-43	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。2.70 g。北宋。1068年。真書。
第263図	16墓-44	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。3.33 g。1068年。真書。緑青。
第263図	16墓-45	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。2.67 g。北宋。1068年。真書。
第263図	16墓-46	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。3.48 g。北宋。1068年。真書。
第263図	16墓-47	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。6.77 g。1068年。篆書。61と付着。
第263図	16墓-48	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。3.24 g。北宋。1068年。篆書。
第264図	16墓-49	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.65 g。北宋。1068年。篆書。緑青。
第264図	16墓-50	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.93 g。北宋。1068年。篆書。
第264図	16墓-51	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。4.12 g。北宋。1068年。真書。緑青。
第264図	16墓-52	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	熙寧元寶	PL.125. 埋没土。完形。3.31 g。北宋。1068年。真書。緑青。
第264図	16墓-53	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	天禧通寶	PL.125. 埋没土。完形。3.12 g。北宋。1017年。真書。
第264図	16墓-54	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元豊通寶	PL.125. 埋没土。完形。2.80 g。北宋。1078年。篆書。
第264図	16墓-55	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元豊通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.72 g。北宋。1078年。行書。
第264図	16墓-56	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元豊通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.58 g。北宋。1078年。行書。
第264図	16墓-57	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元豊通寶	PL.125. 埋没土。完形。2.45 g。北宋。1078年。行書。緑青。
第264図	16墓-58	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	元豊通寶	PL.125. 埋没土。完形。3.66 g。北宋。1078年。行書。
第264図	16墓-59	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	元豊通寶	PL.125. 埋没土。完形。3.57 g。北宋。1078年。行書。
第264図	16墓-60	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元豊通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。3.30 g。北宋。1078年。行書。
第264図	16墓-61	銅銭	外径 2.4	内径 0.65	元祐通寶	PL.125. 埋没土。完形。6.77 g。1068年。行書。47と付着。
第264図	16墓-62	銅銭	外径 2.4	内径 0.65	元祐通寶	PL.125. 埋没土。完形。3.33 g。北宋。1086年。篆書。緑青。
第264図	16墓-63	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元祐通寶	PL.125. 埋没土。完形。3.30 g。北宋。1086年。篆書。緑青。
第264図	16墓-64	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	元符通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.85 g。1098年。行書。緑青。
第264図	16墓-65	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	元符通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。3.17 g。1098年。行書。緑青。
第264図	16墓-66	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	聖宋元寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.96 g。1101年。行書。緑青。
第264図	16墓-67	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	聖宋元寶か	PL.125. 埋没土。完形。2.55 g。北宋。1101年。行書。
第264図	16墓-68	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	政和通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。3.48 g。北宋。1111年。分楷。
第264図	16墓-69	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	政和通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.21 g。1111年。篆書。緑青。
第264図	16墓-70	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	淳熙元寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.54 g。1174年。真書。「十五」
第264図	16墓-71	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	慶元通寶	PL.125. 埋没土。ほぼ完形。2.39 g。南宋。1195年。緑青。
第264図	16墓-72	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	至元通寶	PL.125. 埋没土。完形。3.73 g。元。1285年。
第265図	16墓-73	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	洪武通寶	PL.125. 埋没土。完形。3.88 g。明。1368年。背文「漸」。
第265図	16墓-74	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	洪武通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.02 g。明。1368年。緑青付着。
第265図	16墓-75	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	洪武通寶	PL.126. 埋没土。完形。2.99 g。明。1368年。
第265図	16墓-76	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	洪武通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.24 g。明。1368年。
第265図	16墓-77	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	洪武通寶	PL.126. 埋没土。完形。2.55 g。明。1368年。緑青付着。
第265図	16墓-78	銅銭	外径 2.4	内径 0.5	洪武通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.50 g。明。1368年。緑青付着。
第265図	16墓-79	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。2.04 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-80	銅銭	外径 2.4	内径 0.55	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.27 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-81	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.71 g。明。1408年。
第265図	16墓-82	銅銭	外径 2.5	内径 0.5	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.33 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-83	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.32 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-84	銅銭	外径 2.5	内径 0.55	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.91 g。明。1408年。
第265図	16墓-85	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.94 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-86	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。2.80 g。明。1408年。
第265図	16墓-87	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。4.07 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-88	銅銭	外径 2.5	内径 0.55	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。3.91 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-89	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	永楽通寶	PL.126. 埋没土。完形。2.79 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-90	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	永楽通寶	PL.126. 埋没土。ほぼ完形。3.22 g。明。1408年。緑青付着。
第265図	16墓-91	銅銭	外径 2.5	内径 0.65	紹聖元寶か	PL.126. 埋没土。ほぼ完形。1.91 g。北宋。1094年。行書。
第265図	16墓-92	銅銭	外径 2.5	内径 0.6	紹聖元寶	PL.126. 埋没土。完形。2.94 g。北宋。1094年。篆書。
第265図	16墓-93	銅銭	外径 2.5	内径 0.7	元祐通寶	PL.126. 埋没土。ほぼ完形。3.50 g。1086年。行書。緑青。
第265図	16墓-94	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元豊通寶か	PL.126. 埋没土。完形。3.35 g。北宋。1078年。篆書。緑青。
第265図	16墓-95	銅銭	外径 2.4	内径 0.6	皇宋通寶	PL.126. 埋没土。完形。2.77 g。北宋。1038年。篆書。緑青。
第265図	16墓-96	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	判読不能	PL.126. 埋没土。ほぼ完形。2.26 g。
第266図	33溝-1	砥石	長 8.2	短 2.4	砥沢石	PL.129. 埋没土。1/2。67.1 g。厚2.1cm。4面使用。
第268図	12溝-1	砥石	長 9.4	短 2.4	砥沢石	PL.128. 埋没土。2/3。117.8 g。厚2.3cm。4面使用。
第268図	17溝-1	砥石	長 10.5	短 3.0	砥沢石	PL.128. 埋没土。ほぼ完形。84.7 g。厚1.8cm。4面使用。
第269図 PL.129	2溝-1 埋没土	陶器 徳利	口 3.2 高<11.6>	残上半部 厚 0.5	にぶい黄橙 10YR7/3	内面一部、外面錆蝕、赤褐2.5YR4/6。
第269図 PL.129	2溝-2 埋没土	磁器 鉢	口<14.0> 高 5.2	残 1/2 底 6.3		型紙染付。青色。口唇部外面、花文。見込は松竹梅。
第269図 PL.129	2溝-3 埋没土	軟質陶器 釜輪か	口 高 <3.8>	残底部片 底 (24.0)	にぶい黄橙 10YR7/2	内面一部、黒色付着。

第4節 A～C区から検出された遺物の観察

第269図 PL.129	2溝-4 埋没土	軟質陶器 焙烙	口(30.0) 高<3.4>	残口縁片 底(30.6)	灰褐 7.5YR6/2	口唇部丸い。口縁部短く、直立。内面把手貼付。器高低い。外面煤付着。
第269図	2溝-5	煙管	径 1.2	厚 0.1		PL.129。埋没土。雁首長5.3cm、吸い口長10.1cm、羅字残存。
第269図	2溝-6	鉄棒	長<23.7>	短 1.2		PL.129。埋没土。ほぼ完形。長方形厚0.5cm、円形厚1cm。
第269図	10溝-1	銅銭	外径 2.3	内径 0.7		PL.129。埋没土。完形。5.2g。10溝-2付着。資料裏面のみ。
第269図	10溝-2	銅銭	外径 2.4	内径 0.7		PL.129。埋没土。完形。5.2g。10溝-1付着。資料裏面か。
第269図	25溝-1	空風輪	長 27.8	短 17.7	流紋岩質凝灰岩	PL.129。埋没土。ほぼ完形。5.5kg。厚<16.6>cm。
第269図	25溝-2	凹石	長 16.7	短 14.2	二ツ岳石	PL.129。埋没土。ほぼ完形。2.205kg。厚12.4cm。
第269図	25溝-3	水輪	長 29.0	短 28.7	流紋岩質凝灰岩	PL.129。埋没土。ほぼ完形。14.3kg。厚21.8cm。
第269図	25溝-4	地輪	長 30.3	短 28.8	流紋岩質凝灰岩	PL.129。埋没土。ほぼ完形。22.1kg。厚25.5cm。転用品。
第269図 PL.129	31溝-1 埋没土	軟質陶器 捏鉢	厚 1.5 高<10.8>	残底部片 底(12.0)	灰 N5/	平底。内面下半部摩滅。
第273図 PL.129	6溝-1 埋没土	軟質陶器 鉢か	厚 0.6 高<4.3>	残底部片 底(17.0)	灰白 7.5Y7/1	平底、器肉薄い。内外面いぶし状、黒色。
第275図 PL.130	遺外-1 埋没土	青磁 碗	厚 0.9 高<2.0>	残底部片 底 5.5	灰白 5Y8/1	削り出し高台。底・高台部釉を拭い取ったか、錆色付着。施釉灰オリーブ5Y6/2。龍泉窯系。
第275図 PL.130	遺外-2 埋没土	須恵器 高台付碗	厚 0.7 高<1.7>	残底部片 底 6.6	灰白 N7/ 還元	軟質。底部回転糸切り後、付高台。中央粘土魂付着。摩滅気味。
第275図 PL.130	遺外-3 埋没土	軟質陶器 捏鉢か	口(28.0) 高<5.5>	残口縁片 厚 1.1	にぶい黄橙 10YR7/2	口縁部内弯気味。内面いぶし状、褐色。
第275図	遺外-4	煙管	長 7.5	短 1.1		PL.130。埋没土。完形。厚0.1cm。羅字残存。
第275図	遺外-5	釘	長<7.1>	短 0.9		PL.130。埋没土。1/2。厚0.7cm。
第275図	遺外-6	石鉢	長 26.7	短 21.4	角閃石安山岩	PL.130。埋没土。ほぼ完形。10.8kg。厚16.5cm。
第275図 PL.130	遺外-7	耐火レンガ	長 23.5	短 11.6	浅黄橙 10YR8/3	埋没土。ほぼ完形。厚6.5cm。一部黒色。「ISOLITE N-3」刻印。イソライト工業製。
第275図	遺外-8	砥石	長<4.6>	短 3.2	砥沢石	PL.130。埋没土。破片。45.3g。厚2.3cm。4面使用。
第275図	遺外-9	砥石	長 3.7	短 2.9	砥沢石	PL.130。埋没土。破片。33.8g。厚1.5cm。4面使用。
第275図	遺外-10	砥石	長<3.5>	短 1.8	砥沢石	PL.130。埋没土。破片。17.3g。厚1.8cm。4面使用。
第275図	遺外-11	砥石	長 11.3	短 3.4	デイサイト	PL.130。埋没土。3/4。166.6g。厚2.6cm。4面使用。
第275図	遺外-12	砥石	長 10.0	短 3.8	砥沢石	PL.130。埋没土。ほぼ完形。80.1g。厚1.8cm。4面使用。
第276図	遺外-13	砥石	長<8.2>	短 3.5	砥沢石	PL.130。埋没土。1/2。119.9g。厚3.1cm。4面使用。
第276図	遺外-14	砥石	長 10.8	短 2.9	砥沢石	PL.130。埋没土。3/4。165.0g。厚2.5cm。4面と欠損後使用。
第276図	遺外-15	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	開元通寶	PL.130。埋没土。完形。1.66g。唐。621年。
第276図	遺外-16	銅銭	外径 2.3	内径 0.75	開元通寶か	PL.130。埋没土。3/4。<1.73>g。背廣。
第276図	遺外-17	銅銭	外径 2.4	内径 0.75	皇宋通寶	PL.130。埋没土。ほぼ完形。3.37g。1038年。篆書。緑青。
第276図	遺外-18	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	皇宋通寶	PL.130。埋没土。完形。1.96g。北宋。1038年。真書。緑青。
第276図	遺外-19	銅銭	外径 2.3	内径 0.75	皇宋通寶	PL.130。埋没土。ほぼ完形。2.41g。1038年。真書。緑青。
第276図	遺外-20	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	皇宋通寶	PL.130。埋没土。ほぼ完形。2.91g。北宋。1038年。真書。
第276図	遺外-21	銅銭	外径 2.3	内径 0.7	嘉祐通寶	PL.130。埋没土。完形。4.03g。北宋。1056年。篆書。
第276図	遺外-22	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	熙寧元寶	PL.130。埋没土。完形。4.75g。1068年。真書。銅銭付着。
第276図	遺外-23	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	熙寧元寶	PL.130。埋没土。ほぼ完形。3.24g。北宋。1068年。篆書。
第276図	遺外-24	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元豊通寶	PL.130。埋没土。ほぼ完形。2.68g。1078年。篆書。緑青。
第276図	遺外-25	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元祐通寶	PL.130。埋没土。ほぼ完形。2.46g。北宋。1086年。行書。
第276図	遺外-26	銅銭	外径 2.4	内径 0.7	元祐通寶	PL.130。埋没土。ほぼ完形。3.46g。1086年。行書。緑青。
第276図	遺外-27	銅銭	外径 2.4	内径 0.65	紹聖元寶	PL.130。埋没土。ほぼ完形。3.58g。1094年。行書。緑青。
第276図	遺外-28	銅銭	外径 2.3	内径 0.6	紹聖元寶	PL.130。埋没土。完形。2.29g。背上月。1094年。篆書。

第4章 自然科学分析

株式会社 古環境研究所

第1節 C区19号井戸の土層観察と放射性炭素 (^{14}C) 年代測定

1. 19号井戸の土層について

前田遺跡C区において検出された19号井戸について、用途などに関する微化石分析に先だつて地質調査を行い、土層の層序の記載を行うとともに、分析試料の採取を行った。

ほぼ円形(直径約1m)の19号井戸内に堆積した土層は、下位より灰色粘質土(層厚2cm)、植物遺体混じり暗褐色粘質土(層厚2cm、 ^{14}C 年代測定試料)、若干色調の暗い灰色粘質土(層厚10cm)、暗褐色砂質土(層厚3cm)、灰色粘質土(層厚10cm)からなる。(第277図)

2. 放射性炭素(^{14}C)年代測定

(1) 試料と方法

19号井戸内の堆積物のうち、下位より2層目の有機質の暗褐色粘質土を対象に、加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(^{14}C)年代測定を行った。処理や調整の手順は次表のとおりである。

試料の採取地点	種類	前処理・調整	測定法
19号井戸	有機質堆積物	酸-アルカリ-酸洗浄・石墨調整	AMS法

(2) 測定結果

^{14}C 年代 (年 BP)	$\delta^{13}\text{C}$ ($^{\circ}/_{\infty}$)	補正 ^{14}C 年代 (年 BP)	暦年代	測定 No. Beta -
490 \pm 40	-25.3	490 \pm 40	交点：AD 1430 2 δ (確率95%)：AD1405 TO 1460 1 δ (確率68%)：AD1420 TO 1445	125279

1). ^{14}C 年代測定値

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在(1950年 AD)から何年前(BP)かを計算した値。 ^{14}C の半減期は5568年を用いた。

2). $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)。この値は標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差($^{\circ}/_{\infty}$)で表す。

3). 補正 ^{14}C 年代値

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正值を加えた上で算出した年代。

4). 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動を補正することにより、暦年代(西暦)を算出した。補正には年代既知の樹木年輪の ^{14}C の詳細な測定値を使用した。暦年代の交点とは補正 ^{14}C 年代値と暦年代補正曲線との交点の暦年代値を意味する。1 δ (68%確率)・2 δ (95%確率)は、補正 ^{14}C 年代値の偏差の幅を補正曲線に投影した暦年代の幅を示す。

3. 小結

19号井戸の埋没開始(あるいは使用年代)は、15世紀前半である可能性が高い。

第2節 C区19号井戸における植物珪酸体分析

1. はじめに

植物珪酸体は、おもにイネ科植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸(SiO_2)が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石(プラント・オパール)となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出する分析であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている(杉山、1987)。

2. 試料

分析試料は、19号井戸内の堆積物から採取された5点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。(第279図)

3. 分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法(藤原、1976)をもとに、次の手順で行った。

- 1). 試料を105℃で24時間乾燥(絶乾)
- 2). 試料約1gに直径約40 μm のガラスビーズを約0.02g添加(電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量)
- 3). 電気炉灰化法(550℃・6時間)による脱有機物処理
- 4). 超音波水中照射(300W・42KHz・10分間)による分散
- 5). 沈底法による20 μm 以下の微粒子除去
- 6). 封入剤(オイキット)中に分散してプレパラート作成
- 7). 検鏡・計数

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体をおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数(機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位:10⁻⁵g)をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。イネ(赤

第4章 自然科学分析

米)の換算係数は2.94、ヒエ属(ヒエ)は8.40、ヨシ属(ヨシ)は6.31、ススキ属(ススキ)は1.24、ネザサ節は0.48、クマザサ属(チシマザサ節・チマキザサ節)は0.75である。

4. 分析結果

(1) 分類群

分析試料から検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を表15および第279図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。(第281図)

[イネ科]

イネ、ヒエ属型、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型(おもにススキ属)、ウシクサ族A(チガヤ属など)、シバ属

[イネ科-タケ亜科]

ネザサ節型(おもにメダケ属ネザサ節)、クマザサ属型(チシマザサ節やチマキザサ節など)、未分類等

[イネ科-その他]

表皮毛起源、棒状珪酸体(おもに結合組織細胞由来)、茎部起源、未分類等

(2) 植物珪酸体の検出状況

19号井戸内の堆積物(試料1~5)について分析を行った。その結果、棒状珪酸体が多量に検出され、イネやウシクサ族Aも比較的多く検出された。イネの密度は最大5200個/gと高い値であり、稲作跡の検証や探査を行う場合の判断基準としている5000個/gを上回っている。また、キビ族型、ヨシ属、シバ属、ネザサ節型なども少量検出され、土坑底部(試料4)ではヒエ属型も700個/gと少量検出された。ヒエ属型には栽培種のヒエの他にイヌビエなどの野生種が含まれるが、現時点ではこれらを完全に識別するには至っていない(杉山ほか、1988)。おもな分類群の推定生産量によると、イネおよびヨシ属が優勢であることが分かる。

5. 考察

19号井戸が埋没された(あるいは使用された)当時は、遺跡周辺で稲作が行われていたと考えられ、そこから遺構内に何らかの形でイネの植物珪酸体が混入したものと推定される。また、当時の遺跡周辺にはウシクサ族(チガヤ属など)、シバ属、ヒエ属、ネザサ節などが生育していたと考えられ、ヨシ属などが生育する湿地的なところも見られたものと推定される。

文献

杉山真二(1987) 遺跡調査におけるプラント・オパール分析の現状と問題点 植生史研究, 第2号, p.27-37

杉山真二・松田隆二・藤原宏志(1988)

機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用

—古代農耕追求のための基礎資料として— 考古学と自然科学, 20, p.81-92

藤原宏志(1976) プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)

—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法— 考古学と自然科学, 9, p.15-29

藤原宏志・杉山真二(1984) プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)

—プラント・オパール分析による水田址の探査— 考古学と自然科学, 17, p.73-85

第3節 C区19号井戸における寄生虫卵および花粉分析

1. はじめに

分析を行ったC区19号井戸についてトイレ遺構である可能性も想定されたため、寄生虫卵分析、花粉分析、種実同定を総合的に行った。トイレ遺構等の糞便の堆積物は、寄生虫卵、花粉群集、種実群集の密度や組成が特異であり、その遺体群集から摂取された食物の種類を探ることも可能である。

2. 試料

試料は、19号井戸内の堆積物から採取された2点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。(第278図)

3. 寄生虫卵分析

(1) 方法

花粉粒の分離抽出は、寄生虫卵に以下の物理化学処理を加えて行った。

- 1). 堆積物(試料) 1 cc を採量し、脱イオン水を加え攪拌する。
- 2). 篩別により大きな砂粒や木片等を除去し、沈澱法を施す。
- 3). 25%フッ化水素酸を加え、2・3度混和しつつ、30分間静置する。
- 4). 遠心分離器によって水洗後、残渣を2分する。
- 5). 片方にアセトリシス処理を施す。
- 6). 両方のサンプルを染色後グリセリンゼリーで封入し、それぞれ標本を作製する。
- 7). 生物顕微鏡下で直線視野法によって検鏡・計数を行う。

以上の物理・化学の各処理間の水洗は、1500rpm、2分間の遠心分離を行った後、上澄みを捨てるという操作を3回繰り返して行った。

(2) 結果

分析の結果、試料1からは回虫卵、鞭中卵、異形吸虫卵、試料2からは回虫卵、鞭虫卵が検出されたが、いずれも低密度である。(表16)

4. 花粉分析

(1) 方法

花粉粒の分離抽出は、基本的には中村(1973)を参考にして、試料に以下の物理化学処理を施して行った。

- 1). 5%水酸化カリウム溶液を加え15分間湯煎する。
- 2). 水洗した後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法を用いて砂粒の除去を行う。
- 3). 25%フッ化水素酸溶液を加えて30分放置する。
- 4). 水洗した後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理(無水酢酸9:1濃硫酸のエルドマン氏液を加え1分間湯煎)を施す。
- 5). 再び氷酢酸を加えた後、水洗を行う。
- 6). 沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色を行い、グリセリンゼリーで封入しプレパラートを作製する。

以上の物理・化学の各処理間の水洗は、遠心分離1500rpm、2分間の後、上澄みを捨てるという操作を3

第4章 自然科学分析

回繰り返して行った。検鏡はプレパラート作製後直ちに、生物顕微鏡によって300~1000倍で行った。花粉の同定は、島倉(1973)および中村(1980)をアトラスとして、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類した。複数の分類群にまたがるものはハイフン(-)で結んで示した。なお、科・亜科や属の階級の分類群で一部が属や節に細分できる場合はそれらを別の分類群とした。イネ属に関しては、中村(1974・1977)を参考にして、現生標本の表面規模・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して分類しているが、個体変化や類似種があることからイネ属型とした。

(2) 結果

出現した分類群は、樹木25、樹木花粉と草本花粉をふくむもの2、草本18、シダ植物孢子2形態の計47である。これらの学名と和名および粒数を表18に示し、主要な分類群を写真に示す(第282図)。以下に出現した分類群を記す。(第280図)

樹木花粉:モミ属、トウヒ属、ツガ属、マツ属複維管束亜属、マツ属単維管束亜属、スギ、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科、サワグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属-アサダ、クリ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、ニレ属-ケヤキ、エノキ属-ムクノキ、センダン属、キハダ属、カエデ属、トチノキ、ツバキ属、エゴノキ属、ニワトコ属-ガマズミ属

樹木花粉と草本花粉を含むもの:クワ科-イラクサ科、マメ科

草本花粉:ガマ属-ミクリ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、ホシグサ属、ミズアオイ属、タデ属サナエタデ節、ソバ属、アカザ科-ヒユ科、ナデシコ科、キンボウゲ属、アブラナ科、アリノトウグサ属-フサモ属、チドメグサ亜科、シソ科、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属

シダ植物孢子:単条溝孢子、三条溝孢子

検出された花粉群集は、樹木花粉、草本花粉とも多くの分類群から構成されるが、組成では草本花粉の占める割合が極めて高く、イネ属型を含むイネ科が優占する。草本花粉では他にカヤツリグサ科、ヨモギ属の出現率が比較的高く、アカザ科-ヒユ科、ナデシコ科が伴われる。樹木花粉は低率であり、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、スギなどが出現する。

5. 種実同定

(1) 方法

種実の分離抽出は以下の方法で行った。

- 1). 試料(堆積物)100cc 単位で0.25mm 篩を用いて水洗選別を行う。
- 2). 残渣を肉眼および実体顕微鏡で観察し、同定計数を行う。

同定は形態的特徴および現生標本との対比で行い、同定レベルによって種、属、科などの階級で分類した。

(2) 結果

同定の結果、試料1ではカヤツリグサ科、シソ属がわずかに検出された。試料2ではカヤツリグサ科がやや多く、カヤツリグサ属、コナギなどが伴われる。以下に出現した分類群を記す。(表17、第278図)

樹木・草本を含むもの:ウコギ科

草本:イネ科、ホタルイ属、カヤツリグサ属、カヤツリグサ科、コナギ、ヒユ属、シソ属

6. 考察

19号井戸の堆積物からは、回虫、鞭虫、異形吸虫の寄生虫卵が検出されたが、いずれも低密度であり、集

第3節 C区19号井戸における寄生虫卵および花粉分析

落における通常の汚染程度とみなされる。したがって、今回の結果からは19号井戸がトイレ遺構であると断定することはできない。寄生虫卵は、遺構の底面直上に集中して集積する傾向があることから、試料数を増やすなどさらに細かな分析が必要と考えられる。主な分類群について顕微鏡写真を示す。(第283図)

なお、花粉分析ではイネ科(イネ属型を含む)、カヤツリグサ科、ヨモギ属を主に風媒花植物の花粉が優占し、ソバ属も検出された。また、種実ではカヤツリグサ科を主に雑草類が出現している。これらのことから、当時は周辺で水田稲作をはじめソバなどを栽培する畑作が行われていたと考えられ、イネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属、アカザ科-ヒユ科、ナデシコ科などの草本も生育していたものと推定される。

文献

中村 純(1973) 花粉分析 古今書院, p.82-110

金原正明(1993) 花粉分析法による古環境復元 新版古代の日本 第10巻 古代資料研究の方法, 角川書店, p.248-262

島倉巳三郎(1973) 日本植物の花粉形態 大阪市立自然科学博物館収蔵目録 第5集, p.60

中村 純(1980) 日本産花粉の標微 大阪自然史博物館収蔵目録 第13集, p.91

中村 純(1974) イネ科花粉について、とくにイネ(*Oryza sativa*)を中心として 第四紀研究, 13, p.187-193

中村 純(1977) 稲作とイネ花粉 考古学と自然科学, 第10号, p.21-30

Peter J.Warnock and Karl J.Reinhard (1992)

Methods for Extraxting Pollen and Parasite Eggs from Latrine Soils.Journal of Archaeological Science 19, p.231-245

金原正明・金原正子(1992) 花粉分析および寄生虫 藤原京跡の便所遺構-藤原京7条1坊-, 奈良国立文化財研究所, p.14-15

金子清俊・谷口博一(1987) 線形動物・扁形動物 医動物学, 新版臨床検査講座, 8, 医歯薬出版, p.9-55

金原正明・松井 章・金原正子(1994) 便所堆積物から探る古代人の食生活 助成研究報告(平成4年度), 財団法人味の素の文化センター, p.35-48

第4章 自然科学分析

第15表 C区19号井戸の植物珪酸体分析結果

検出密度 (単位: ×100個/g)		C区173号土坑				
分類群	学名	1	2	3	4	5
イネ科	Gramineae (Grasses)					
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	22	52	29	30	14
ヒエ属型	<i>Echinochloa</i> type				7	
キビ族型	Paniceae type	7	7		7	7
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	7	37	22	7	7
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type			30	15	
ウシクサ族A	Andropogoneae A type	44	96	59	67	63
シバ属	<i>Zoisa</i>	7			22	14
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)					
ネササ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	7	7	7		14
クマザサ属型	<i>Sasa</i> (except <i>Miyakozasa</i>)	7	7			
未分類等	Others			7		14
その他のイネ科	Others					
表皮毛起源	Husk hair origin	7		7		7
棒状珪酸体	Rod-shaped	204	370	344	296	303
茎部起源	Stem origin			7		
未分類等	Others	386	556	410	407	416
(海綿骨針)	Sponge			7		7
植物珪酸体総数	Total	700	1178	887	859	860
おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m ² ・cm)						
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	0.64	1.52	0.86	0.87	0.41
ヒエ属型	<i>Echinochloa</i> type				0.62	
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	0.46	2.34	1.39	0.47	0.44
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type			0.37	0.18	
ネササ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	0.03	0.04	0.04		0.07
クマザサ属型	<i>Sasa</i> (except <i>Miyakozasa</i>)	0.05	0.06			
タケ亜科の比率 (%)						
ネササ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	39	39	100		100
クマザサ属型	<i>Sasa</i> (except <i>Miyakozasa</i>)	61	61			

第16表 C区19号井戸の寄生虫卵分析結果

分類群	学名	C区173号土坑	
		1	2
Helminth eggs	寄生虫卵		
<i>Ascaris</i>	回虫卵	8	1
<i>Trichuris</i>	鞭虫卵	2	2
<i>Metagonimus-Heterophyes</i>	異形吸虫卵	1	
Total	計	11	3
	試料1cc中の寄生虫卵密度	9.9×10^{-1}	3.9×10^{-1}
	明らかな消化残渣	(-)	(-)

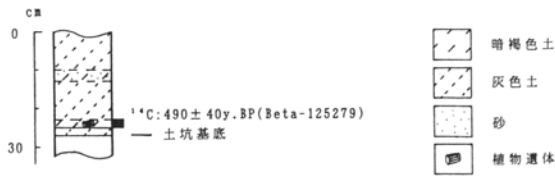
第17表 C区19号井戸の種実同定結果

分類群	学名	和名	C区173号土坑	
			(200cc中) 部位	1 2
arbor·herb	樹木・草本			
Araliaceae	ウコギ科	種子	1	
herb	草本			
Gramineae	イネ科	果実(穎)		2
<i>Scirpus</i>	ホタルイ属	果実		2
<i>Cyperus</i>	カヤツリグサ属	果実		5
Cyperaceae	カヤツリグサ科	果実	1	18
<i>Monochoria vaginalis Presl</i>	コナギ	種子		4
var. <i>plantaginea Solms Laub.</i>				
<i>Amaranthus</i>	ヒユ属	種子		1
<i>Perilla</i>	シソ属	果実	1	
Total	合計		3	32
Unknown	不明		0	0

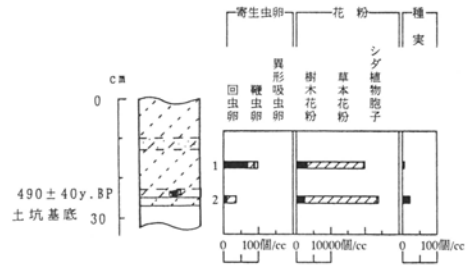
第18表 C区19号井戸の花粉分析

学名	分類群	和名	C区173号土坑	
			1	2
Arboreal pollen		樹木花粉		
<i>Abies</i>		モミ属	2	
<i>Picea</i>		トウヒ属	2	1
<i>Tsuga</i>		ツガ属	3	1
<i>Pinus subgen. Diploxylon</i>		マツ属榎榎管束亜属	4	4
<i>Pinus subgen. Haploxylon</i>		マツ属単榎管束亜属	1	
<i>Cryptomeria japonica</i>		スギ	15	4
Taxaceae-Cephalotaxaceae-Cupressaceae		イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科	3	
<i>Pterocarya rhoifolia</i>		サウルグミ	1	
<i>Alnus</i>		ハンノキ属	5	3
<i>Betula</i>		カバノキ属	5	3
<i>Carpinus-Ostrya japonica</i>		クマシデ属-アサダ	3	
<i>Castanea crenata</i>		クリ	1	1
<i>Castanopsis</i>		シイ属	4	5
<i>Fagus</i>		ブナ属	6	2
<i>Quercus subgen. Lapidobalanus</i>		コナラ属コナラ亜属	17	11
<i>Quercus subgen. Cyclobalanopsis</i>		コナラ属アカガシ亜属	12	9
<i>Ulmus-Zelkova serrata</i>		ニレ属-ケヤキ	8	3
<i>Celtis-Aphananthe aspera</i>		エノキ属-ムクノキ	1	
<i>Melia</i>		センダングラ	1	
<i>Phellodendron</i>		キハダ属	1	
<i>Acer</i>		カエデ属	1	
<i>Aesculus turbinata</i>		トチノキ	1	
<i>Camellia</i>		ツバキ属		1
<i>Syrax</i>		エゴノキ属		1
<i>Sambucus-Viburnum</i>		ニワトコ属-ガマズミ属		1
Arboreal · Nonarboreal pollen		樹木・草本花粉		
Moraceae-Urticaceae		クワ科-イラクサ科	7	5
Leguminosae		マメ科	1	8
Nonarboreal pollen		草本花粉		
<i>Typha-Sparganium</i>		ガマ属-ミクリ属		1
Gramineae		イネ科	245	241
<i>Oryza type</i>		イネ属型	32	52
Cyperaceae		カヤツリグサ科	92	43
<i>Eriocaulon</i>		ホシクサ属	1	
<i>Monochoria</i>		ミズアオイ属	1	
<i>Polygonum sect. Persicaria</i>		タデ属サナエタ節	1	1
<i>Fagopyrum</i>		ソバ属		1
Chenopodiaceae-Amaranthaceae		アカザ科-ヒユ科	14	5
Caryophyllaceae		ナデシコ科	9	1
<i>Ranunculus</i>		キンポウゲ属		2
Cruciferae		アブラナ科	5	2
<i>Halarogis-Myriophyllum</i>		アリノトウグサ属-フサモ属	1	
Hydrocotyloideae		チドメグサ亜科	1	
Labiatae		シソ科		1
Lactuoidae		タンポポ亜科	7	1
Asteroidae		キク亜科	12	5
<i>Artemisia</i>		ヨモギ属	41	39
Fern spore		シダ植物胞子		
Monolate type spore		単葉溝胞子	5	4
Trilate type spore		三葉溝胞子	2	2
Arboreal pollen		樹木花粉	97	50
Arboreal · Nonarboreal pollen		樹木・草本花粉	8	13
Nonarboreal pollen		草本花粉	462	395
Total pollen		花粉総数	567	458
		試料1cc中の花粉密度	2.0×10^{-4}	2.4×10^{-4}
Unknown pollen		未同定花粉	1	4
Fern spore		シダ植物胞子	7	6

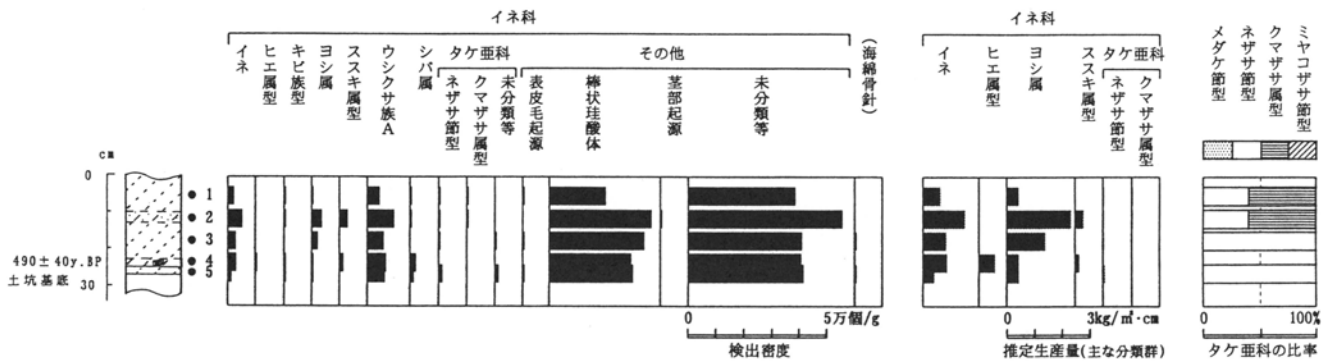
第3節 C区19号井戸における寄生虫卵および花粉分析



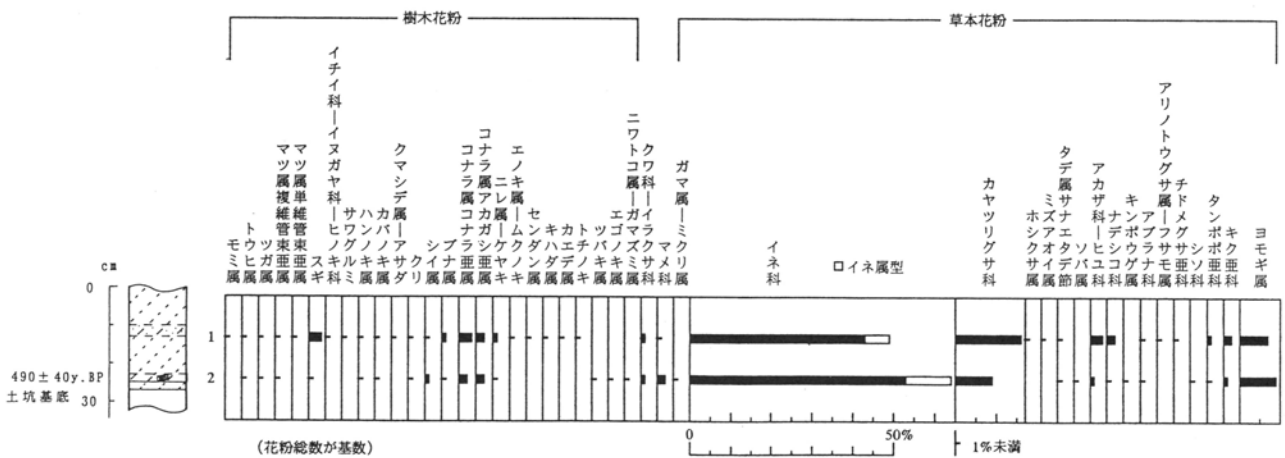
第277図 C区19号井戸底部の土層柱状図



第278図 C区19号井戸における寄生虫卵・花粉・種実出現密度



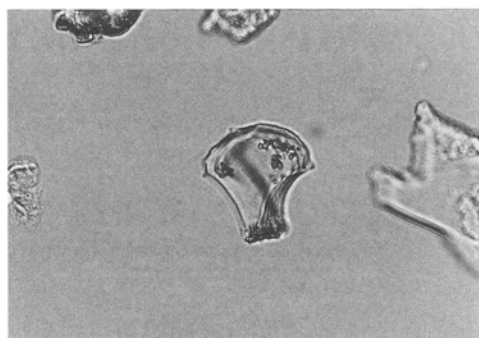
第279図 C区19号井戸における植物珪酸体分析結果



第280図 C区19号井戸における花粉分析ダイヤグラム

第4章 自然科学分析

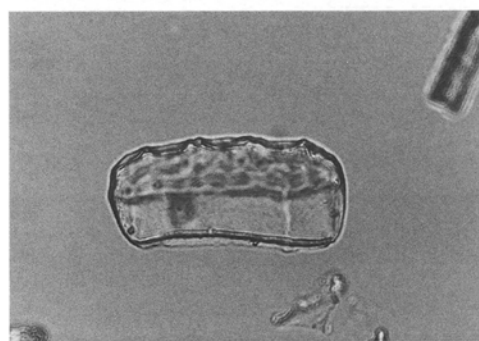
No	分類群	試料名
1	イネ	3
2	イネ	1
3	ヒエ属型	4
4	ヨシ属	2
5	ススキ属型	5
6	ウシクサ族A	5
7	シバ属?	1
8	棒状珣酸体	5
9	海綿骨針	3



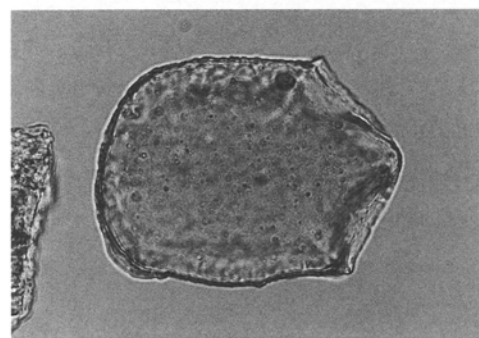
1



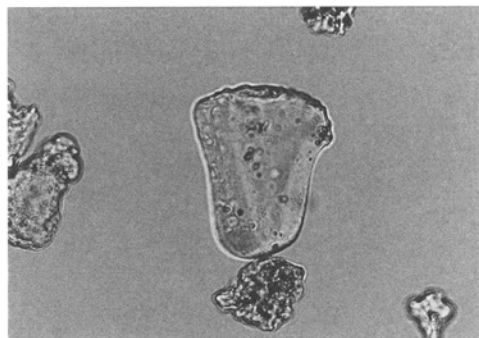
2



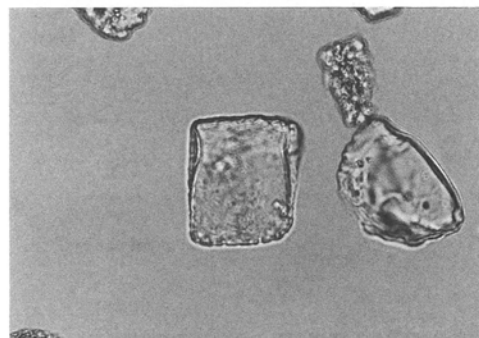
3



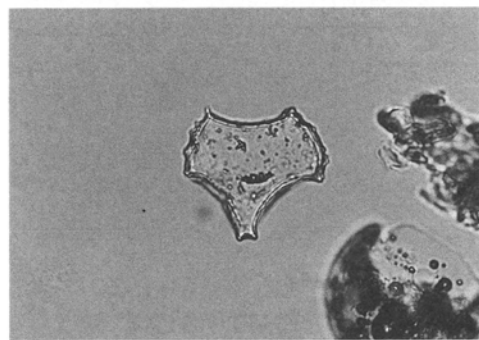
4



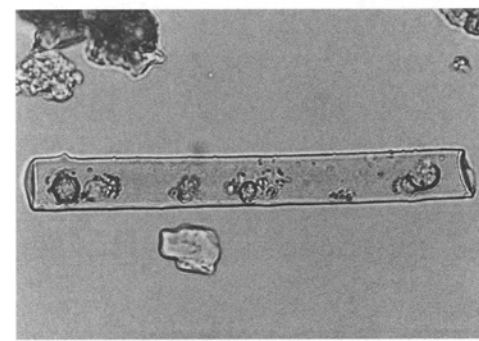
5



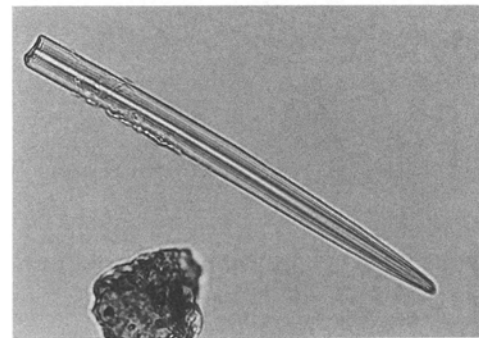
6



7



8

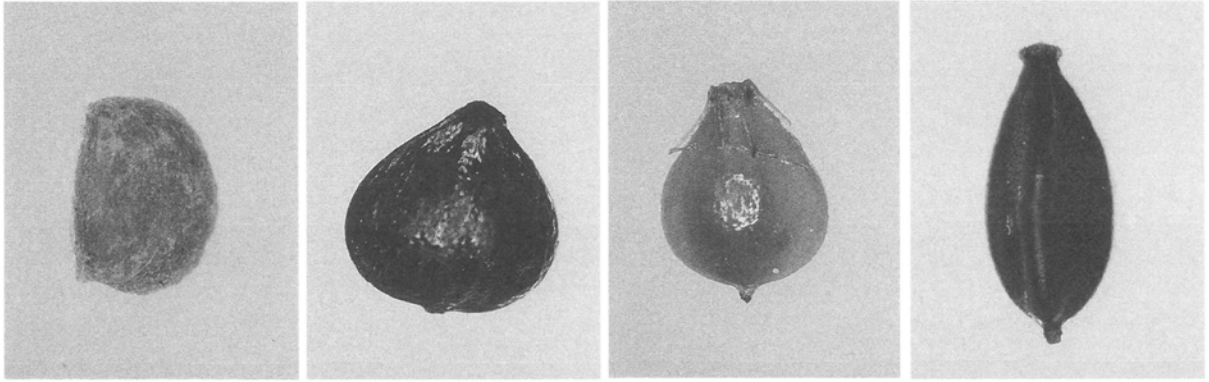


9

第281図 C区19号井戸の植物珣酸体の顕微鏡写真

0 50 100μm

前田遺跡の種実

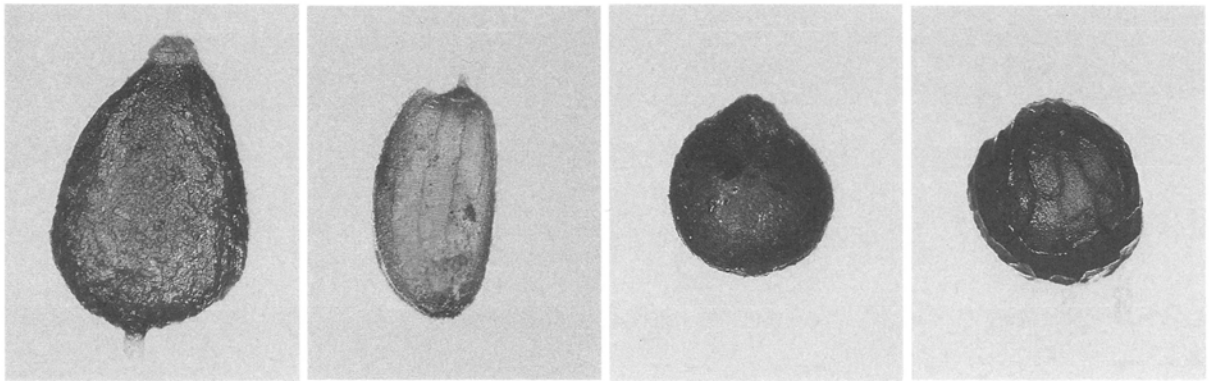


1 ウコギ科種子
0.5mm

2 ホタルイ属果実
0.5mm

3 ホタルイ属果実
0.5mm

4 カヤツリグサ属果実
0.5mm



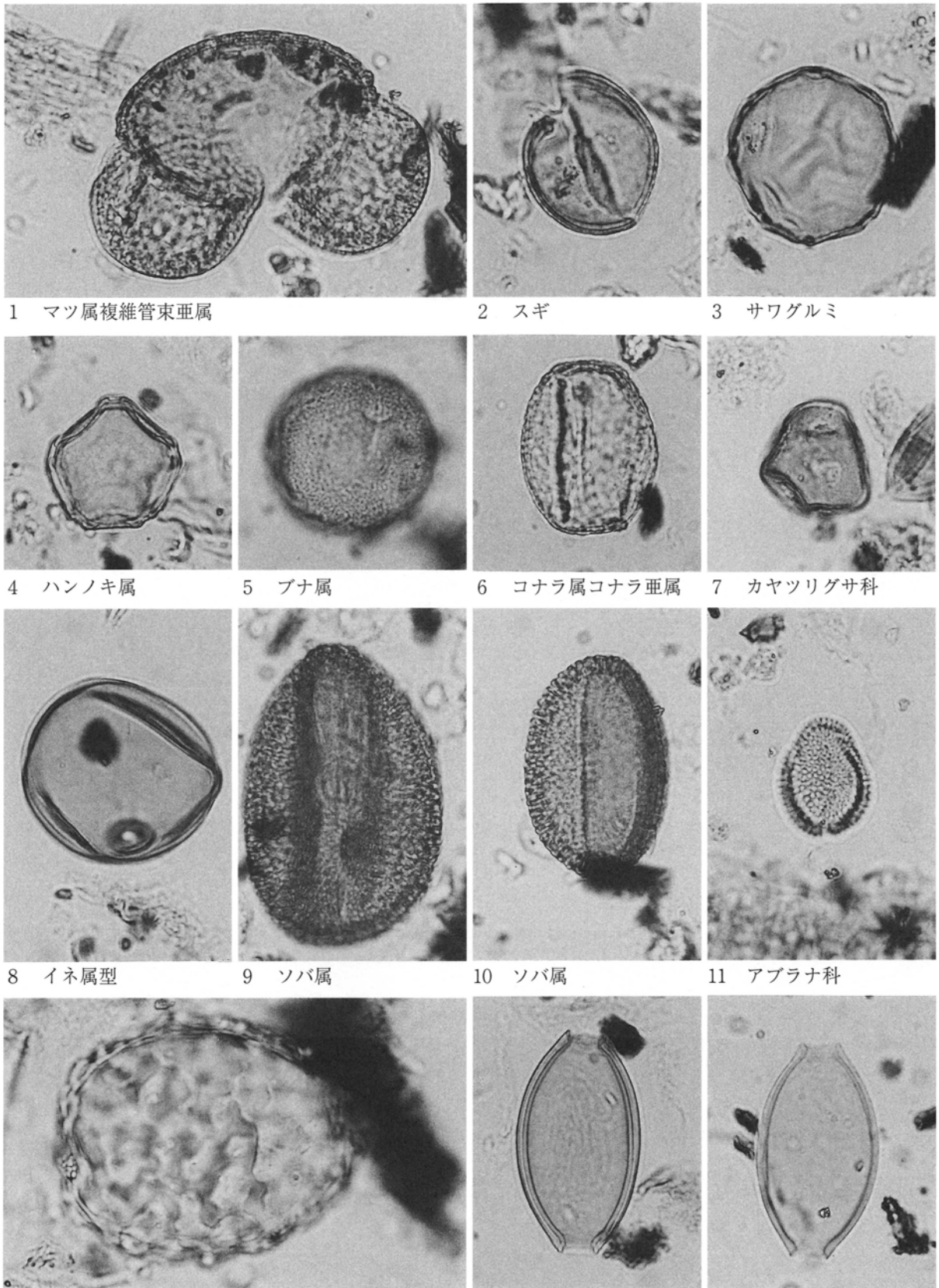
5 カヤツリグサ科種子
0.5mm

6 コナギ種子
0.5mm

7 ヒユ属種子
0.5mm

8 シソ属果実
0.5mm

第282図 C区19号井戸の花粉・寄生虫卵写真



1 マツ属複維管束亜属

2 スギ

3 サワグルミ

4 ハンノキ属

5 ブナ属

6 コナラ属コナラ亜属

7 カヤツリグサ科

8 イネ属型

9 ソバ属

10 ソバ属

11 アブラナ科

12 回虫卵

13 鞭虫卵

14 鞭虫卵

第283図 C区19号井戸の種実写真

— 10 μ m

第5章 まとめ

第1節 前田遺跡出土の文字資料

高島英之

北関東自動車建設に伴う前田遺跡の調査に際して、刻書紡錘車2点と墨書土器が4点出土したので、その概要について記す。なお、各資料の出土遺構や出土状況、記載された文字内容、文字記入位置等については、下記表1を参照されたい。

本遺跡A区で検出された古代の竪穴住居跡は、調査区の中で北西端部・中央部・南端部の各付近にそれぞれ集中しており、大まかに3グループに分けることが可能である。このうち、墨書土器4点はいずれも調査区南端部に位置する住居跡群内の住居跡から、また刻書紡錘車2点は調査区北西端部に位置する住居跡群内の竪穴住居跡から出土している。

墨書土器4点のうち3点はA区61号住居跡から出土している。1点はA区62号住居跡から出土している。この両住居跡は切り合っており、切り合い関係から見れば61号住居跡の方が新しい。一方、刻書紡錘車がそれぞれ1点ずつ出土したA区20号住居跡とA区31号住居跡は、ともに近接して存在している。

墨書土器が出土した住居跡2棟と刻書紡錘車が出土した住居跡2棟とは、調査区内でそれぞれ離れて位置している異なる住居跡群にグルーピングでき、それぞれの資料の文字内容からみても双方の資料の間には積極的に関連性を見いだすことは出来ない。

1. 墨書土器

先述したように本遺跡から出土した墨書土器4点は、いずれも調査区南端部付近に所在する住居跡群に所属する住居跡から出土している。しかも墨書土器4点のうち3点がA区61号住居跡から出土している。しかしながら、4点とも記されているのはいずれも「林」あるいは「□林」という文字である。墨書土器が出土した住居跡はお互いが近接し、しかも重複しているので、これらの文字はそれぞれが関連を有するものとみて間違いないところであろう。

A区61号住居跡出土の須恵器碗61住-15のみ底部外面と体部外面の2箇所に墨書があり、しかも体部外面には「□林」と2文字記されているが、他の例はいずれも「林」1文字である。集落遺跡出土の墨書土器に通常よく見られる1文字書きの墨書・刻書が意味するところについては、これまでの研究により、集落内における何らかの祭祀や儀礼等の行為に伴って、祭祀を執り行った、あるいは祭祀に参画した集落内の各種単位集団の標識的・文字であり、祭祀を行った単位集団の存在を、祭祀の対象となった崇り神や鬼神・怨霊・悪霊などを含んだ意味における「神仏」に対して示すためのものであったと考えられている。本遺跡で出土した墨書土器に記された「林」という文字も、この遺跡で検出された竪穴住居群にかつて居住した人々によって構成された何らかの単位集団の標識的・文字であり、集落内における祭祀や儀礼等の行為に伴って土器に記されたものと考えることが出来る。ただし、わずか4点の出土であるので、単位集団の動向や文字の意味、祭祀の目的や内容など具体的な様相を明らかにすることは不可能である。

なお、墨書の部位・方向等を見ると、須恵器碗はいずれも底部外面、土師器杯はいずれも底部内面にそれぞれ墨書されている。あたかも器種によって墨書部位の区別がなされたかのように見受けられなくもないが、この点もわずか4点でのことなので、何とも言い難い。

2. 刻書紡錘車

8世紀以降の紡錘車には、しばしば文字が記されたものが確認できる。紡錘車に記された文字は、土製・石製のものを問わず圧倒的に刻書されたものが多い。文字が記された古代の紡錘車は、現在までのところ、全国的に見ても出土範囲が非常に限定されており、京都府長岡京市長岡京跡右京6条2坊7坪出土の資料1点と岩手県水沢市伯濟寺遺跡出土の資料1点以外は、関東地方にのみに限られる。とりわけ群馬県南西部から埼玉県北西部にかけての地域を中心に集中して出土する極めて局部分布を呈する遺物と言える。

群馬県内出土の墨書・刻書紡錘車の資料数は、これまでのところ管見の限り約60点であり、埼玉県など近県からの出土例を併せても、まだ全国で100点程度であろう。

群馬県内で現在までに出土したところはいずれも刻書紡錘車であり、文字が墨書されたものは見られない。文字が記載された紡錘車の割合は、群馬県内出土の奈良・平安時代の全紡錘車の1割強にのぼる。同時代の土器全体に占める墨書・刻書土器の割合がおおよそ数パーセントに過ぎない点からみれば、文字が記されたものの率は土器に比べて高いと言えるだろう。これは、古代の刻書紡錘車の出土が多い群馬県に特徴的な現象である。もちろん、墨書・刻書紡錘車の出土事例が多い埼玉県にもあてはまる現象であろう。

群馬県内出土の刻書紡錘車にみられる年代的あるいは形態的な特徴は、文字が記されていない他の一般的な紡錘車の全体的な傾向とはほぼ一致している。このことは言い換えれば、特段、大型重量あるいはその逆で小型軽量のものや、特殊な材質のものなど、特徴的な紡錘車が選ばれて文字が記されたのではなく、ごく一般的な、日常使用されている紡錘車に、ある時点で何らかの必要があって文字が記されていたということを改めて明確に指摘することができた。この点は、墨書・刻書土器でも、特別精巧な土器やあるいは祭祀・儀礼用の土器が選ばれて文字が記されているわけではないという現象と全く同様である。

文字が記された面や部位・位置・方向などはまちまちで、書式として完備していたわけではないようである。この点は墨書・刻書土器にみえる文字の記載方法と共通する。しかしながら、記された文字については、1文字のみ記載のものは却って少なく、複数の文字が記されたものがほとんどであり、墨書・刻書土器の様相と非常に異なる特徴と言うことができる。記された文字のうち、内容が明らかなものをみると、人名が記されたものが目立つ。また、単語の羅列のような表現のものがある一方で、神仏に対して何らかの願い事をした際の願文のような、明らかに文章の意をなしているような例もある。墨書・刻書土器の例と同じく、記載内容は多種多様であり、墨書・刻書紡錘車の機能自体も一概ではなく、多様であったと推察できる。墨書・刻書土器に比べて、出土点数が圧倒的に少ない分、墨書・刻書土器よりも類型化が容易な部分も存在するように思われる。

従来から言われているように、墨書・刻書紡錘車が集落内における何らかの祭祀・儀礼等の行為に際して使用されたのであり、記された人名や地名は祭祀や儀礼の行為の主体者・願主に関わるものと考えることができる。祭祀・儀礼等の行為の中で、祭祀・儀礼等の行為の主体者たちが祭祀・儀礼等を執り行ったのがどこに住む誰であるということを鬼神や疫神・崇神・悪霊を含むところの神仏に対して明示したものと考えられるだろう。

祭祀・信仰に関わるとみられる文言や絵画が記されたり描かれたりしている紡錘車の存在からも、墨書・刻書土器と同様、墨書・刻書紡錘車が何らかの祭祀・儀礼等の行為の中で使用されたことは明白である。ただし、最初にも述べたように、墨書・刻書紡錘車に記された文字の記載内容は実に多種多様であり、祭祀・儀礼それ自体の形態や、祭祀・儀礼の中での紡錘車の使用方法などはそれぞれの事例によってケース・バイ・ケース的に多様であったと見るのが妥当であろう。

紡錘車は糸紡ぎの道具であるが、具体的な祭祀・儀礼の内容については、紡織という紡錘車本来の用途に関わるものであるのか否か、明確にしがたいものがほとんどである。しかしながら、宗像・沖の島の出土例に見られるように、紡錘車そのものがその他の紡織具・織機具とならんで祭具として奉納されている事例もあり、また、『肥前国風土記』基肄郡条に引かれた伝承には、「臥機」「絡塚」が女神に関わる祭具的存在として見える点や、神話等の記載に女神のシンボルとして紡織具が多く見られる点からみても、紡錘車それ自体が祭祀と密接に結びつくものであったわけである。千葉縣市川市下総国分寺跡出土の石製紡錘車のように、上面に文字と併せて紡錘車で糸を紡ぐ様子を表現した絵画が刻画された例も存在しており、墨書・刻書紡錘車が紡織に関わる祭祀・儀礼等の行為に際して使用される場合があったことは、それらの用途の一例としては間違いないところであろう。

また、その一方で、紡錘車本来の用途を離れた祭祀・儀礼の場で使用されるような場合も存在したと考えられる。

墨書・刻書紡錘車が使用された祭祀・儀礼等の行為は、紡錘車本来の用途・機能に関連する紡織に関わるものである場合と、紡錘車本来の用途・機能からは全くかけ離れたものである可能性の二通りが想定可能である。現在までの群馬県内出土の事例からは、祭祀・儀礼の具体的な内容を明確にできるものはほとんどないというのが現状である。しかしながら、紡錘車を含む広義の紡織具が祭祀に使用されたということや、他県からではあるが紡錘車に糸紡ぎの様子が刻画された資料が出土していることからみても、それら墨書・刻書紡錘車が広義の紡織作業に関わる祭祀・信仰・儀礼の中で使用された場合が存在したことは間違いないところであろう。

それら文字が記された紡錘車が群馬県西南部から埼玉県北西部の地域一帯に特に集中して出土する理由については、現段階では明確にしがたい部分が多い。しかしながら、墨書・刻書紡錘車の出土が集中する地域即ち紡錘車に文字を記す風習が盛行した地域は、近代まで連綿と続く一大養蚕地域とほぼオーバーラップしている。また、群馬県西南部一帯が古代において布生産の盛行した地域の一つであったことは従来から指摘されているとおりである。この地域一帯に墨書・刻書紡錘車の分布が特に著しいことの背景を、養蚕と絹織物生産の盛行と結びつけることも可能性の一つとしては想定できるのではないだろうか。すなわち絹織物生産を含む広範囲にわたる布生産の盛行に伴う特徴的な信仰及び祭祀・儀礼形態の存在が、祭祀・儀礼等の行為に際して紡錘車に文字を記入するという行為の母胎になっているのではないかという仮説が成立する。

近年、各地から出土が報じられている刻書紡錘車には、絵画が描かれた資料を含め、仏教関係の内容を有するものが目立ってきている。これまで、古代の在地社会における信仰については、神祇祭祀的な面がクローズアップされてきたが、昨今の古代東国の集落遺跡からの仏教関係遺物の出土状況を勘案すれば、神祇信仰・道教的信仰とともに仏教信仰も想像以上に古代東国村落社会の人々に浸透していたことが判明する。従来、古代の民衆社会における仏教的信仰の浸透状況については、畿内を中心とする西日本地域については『日本霊異記』所収の説話などによって明らかであったが、東国社会においても、相応に古代の民衆社会に仏教的信仰が根付いていた様子が、これらの出土文字資料から明らかになってきている。仏教的な文言や絵画などが記された紡錘車も、東国の民衆社会における仏教信仰盛行の中で、地域における特徴的な祭祀・信仰の形態と結びついて形成されたものと考えることができよう。

先述したように本遺跡から出土した刻書紡錘車2点は、いずれも調査区北西部に位置する竪穴住居跡からそれぞれ1点ずつ出土している。20住-13はA区20号住居跡の埋土中竈前中央部から出土している。伴出遺物の年代はおよそ9世紀前半頃に比定できるようである。

第5章 まとめ

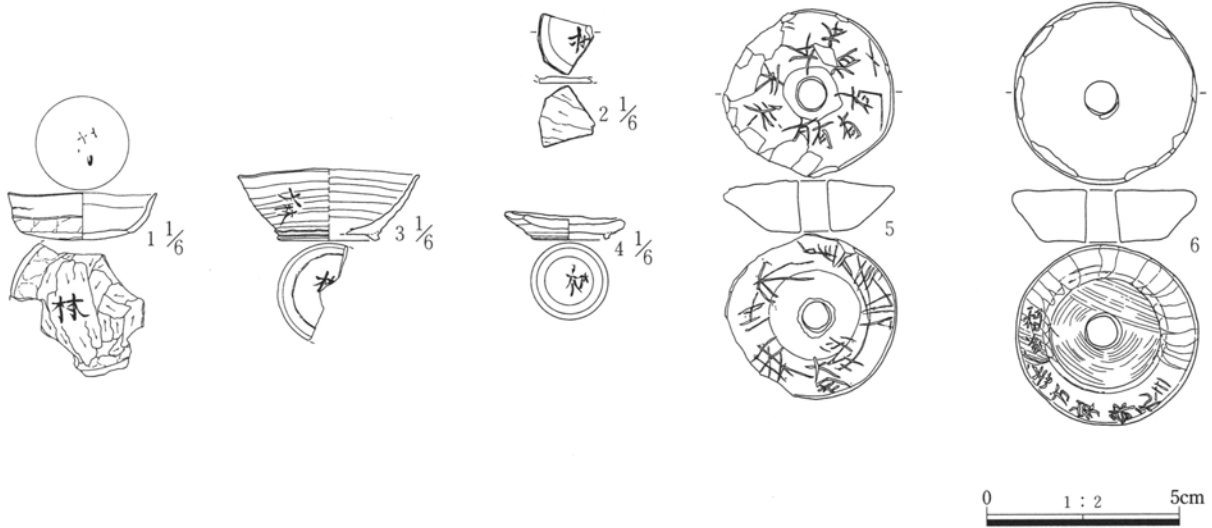
紡錘車の上に「有」が5文字、「本」が4文字刻書されており、側面から下面にかけて逆位で「大用」と刻書されている。紡錘車上面における刻書文字は、配列から見てあたかも習書であるかのように見ることが出来なくもないが、紡錘車のような刻書しにくいものにわざわざ習書をしたとは考えにくい。

県内でも例えば富士見村見眼遺跡5号竪穴住居跡出土の刻書紡錘車に記された「見見見利利利」、あるいは高崎市熊野堂遺跡81号竪穴住居跡出土の刻書紡錘車に記された「万 大大大大」と、また吉井町矢田遺跡88号竪穴住居跡出土の刻書紡錘車に記された「万万 八」などの例のように、あたかも習書であるかのように同じ文字を複数記す例が存在しており、20住 - 13についても、紡錘車への文字記入のスタイルとして、これらの類例と同様の例といえることができる。

31住 - 18は、20住 - 13が出土したA区20号住居跡の西側に位置するA区31号住居跡の住居内東側壁近くの床面直上から出土している。伴出遺物から9世紀後半代と考えられる。側面に横位で、「福道志万家都无」と刻書されている。「都无」は「紡」であり、すなわち紡錘車そのものを指す文言である。その前に記された「福道志万家」と言う文言のうち、「福道」と「志万」という二人の人物の「家」を意味しているのか、あるいは「福島志万」という一人の人物の「家」という意味にとるべきか、定かにはしがないが、いずれにせよ「福島志万」は人物名であり、その「家」の「都无」=紡錘車という意味と考えられる。このように紡錘車の所有を示す文言が記された墨書・刻書紡錘車の事例は現在までに例がない。このように紡錘車の所有を示した文言が記された紡錘車の例が無いところから見ても、これは単に紡錘車の所有を示す文言ではなく、集落内における祭祀・儀礼等の行為に際して、祭祀の主体者である「福島志万」が、神仏に対し、紡錘車の所有を示すための刻書であったと解釈できる。

引用参考文献

- ・井上唯雄 「線刻をもつ紡錘車について」 (『古代学研究』115 1987)
- ・関 和彦 『日本古代生活史の研究』 校倉書房 1996
- ・中沢 悟 「紡錘車の基礎研究」(1) (『財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要』13 1996)
- ・中沢 悟 「紡錘車の基礎研究」(2) (『専修考古学』6 1996)
- ・宮瀧交二 「日本古代の民衆と「村堂」」 (野田嶺志編『村のなかの古代史』岩田書院 2000)
- ・平川 南 『墨書土器の研究』 吉川弘文館 2000
- ・高島英之 『古代出土文字の資料研究』 東京堂出版 2000
- ・鈴木孝之・若松良一 「信仰資料としての紡錘車」
(『財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要』16 2001)
- ・高島英之・宮瀧交二 「群馬県出土の刻書紡錘車についての基礎的研究」
(『群馬県立歴史博物館研究紀要』23 2002)
- ・高島英之 「群馬県多野郡吉井町大字神保字北高原出土の刻書紡錘車について」
(『財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要』23 2004)



第284図 前田遺跡出土の文字資料

第19表 前田遺跡出土の文字資料一覧

番号	遺物番号	出土遺物	出土位置	器種	文字記入位	文字	種別
1	61住-21	A区61号住居跡	住居内中央部埋土中	土師器坏	底部内面	「林」	墨書土器
2	61住-20	〃	住居内埋土中	土師器坏	底部内面	「林」	墨書土器
3	61住-15	〃	竈前床面直上	須恵器碗	底部外面 体部外面横位	「林」 「口林」	墨書土器
4	62住-9	A区62号住居跡	住居内南西床面直上	須恵器碗	底部外面	「林」	墨書土器
5	20住-13	A区20号住居跡	住居内中央部埋土中	石製紡錘車	上面 側面・逆位 側面～下面	「有有有有有本力 本本本」「大用」 (矢印様記号)	刻書紡錘車
6	31住-18	A区31号住居跡	住居内東部床面直上	蛇紋岩製紡錘車	側面・横位	「福道志万家都无」	刻書紡錘車

第2節 前田遺跡について

1. A区について

A区で検出された遺構は、8世紀代から10世紀代までの古代の集落と、中世と推定される掘立柱建物群と溝、用水路に使用されていた近現代の溝である。

〈古代の遺構〉

古代の集落は、中世と推定される掘立柱建物および溝の下層で検出された66軒の竪穴住居の他に、土坑・竪穴状遺構・井戸・溝がある。竪穴住居以外については、時期が明確でないものも多く、一部を除いては集落に関わる遺構であるか否かを確定することは難しい。

住居は、出土遺物の様相から、集落が断絶することなく営まれたことが想定される。

溝は、同一の溝が住居を切っていると同時に、他の部分では切られているものがあり、集落が営まれている期間内に溝が造られ廃棄されたことがわかる。44号溝は、27・55号住居に切られているが14号住居を切っている。また45号溝は、23・24号住居に切られているが40・41号住居を切っている。50号溝は45号溝と覆土が類似しており、一部併行する位置関係にあることから同時存在が想定される。また37号溝も49号住居に切られており、覆土の状況から集落に伴うものと考えられる。それ以外の溝は、確認面が住居確認面よりも高く、覆土が異なっていることから、集落廃絶後に造られたものと考えられる。

土坑は37基検出されている。規模・形状・確認面がさまざまで、古代の集落に伴うものと集落廃絶後に造られたものがある。時期については、一部を除いてははっきりしない。住居と重複する土坑は98・101・103～105・112～117・130号土坑の12基である。このうち130号土坑は、重複する41号住居よりも古い。その他の土坑は、重複する住居より新しい。しかし、重複する住居より新しい土坑や、住居と重複関係のない土坑の中に、集落を構成するものが存在する可能性は当然考えられる。

竪穴状遺構は、形態的に竪穴住居や土坑に近いが、これらに断定出来ないもの6基を竪穴状遺構とした。1号竪穴状遺構は浅間C軽石を多量に含んでおり古代の集落が形成される以前と考えられる。3～6号竪穴状遺構の4基は、重複する住居より古く、集落形成の比較的早い段階で造られたものと考えられる。2号竪穴状遺構は、出土遺物の様相から集落に伴うものである。

井戸は、22・25号井戸から平安期の遺物が多く出土している。また覆土中にAs-B軽石を含まない6・21・23・26・28・29号井戸も古代の集落に伴うと考えられる。

〈中世の遺構〉

掘立柱建物・柵列を構成するピットは、古代集落面より上層で確認した。また溝・井戸・土坑の多くは、古代集落の検出面より上層で確認したが、一部はやや下層で住居を切っている。やや下層に位置するこれらの遺構と古代集落との関係ははっきりしない。

溝は、重複関係から、これを3段階に分類した。上層から下層へⅠ～Ⅲの順で記す。

Ⅰ．13・17・36・42号溝は、検出面と覆土から同時存在と思われる。13号溝は1・2号掘立柱建物を囲み、西側があいた「コの字状」で、42号溝は南部分に近接して併行する。17号溝は13号溝東部分の延長と推定。

Ⅱ．18号溝は、西側があいた「コの字状」で13号溝と同様の形状を持つ。

Ⅲ．12号溝は、北西部分の掘立柱建物を南側から囲むような位置関係にある。29・30・32・33・35号溝は重複している。覆土が近似するため時期的に近接していると考えられるが、それぞれの新旧関係は不明。

旧地形は、北東から南西へと傾斜している。掘立柱建物を囲むように位置する溝は、出水時に排水をする役割を持っていたことが考えられる。

掘立柱建物と柵列は、調査区のはほぼ中央を境として、北西と南東部分の二ヶ所にわかれる。

北西部分は、6～13号掘立柱建物と1・2号柵列。11号掘立柱建物と1号柵列の東側柱穴列は、35号溝の西に沿っていることから、溝Ⅲ段階と同時に存在した可能性が考えられる。南東部分は、1～5・14・15掘立柱建物。1・2号掘立柱建物以外は、北西・南東部分とともに、近接あるいは併行する時期であると考えられる。1・2号掘立柱建物は、溝Ⅰと同時に存在した最も新しい遺構である。

井戸は、31・32号井戸から中世の遺物が出土している。31号井戸からは、同安窯系の青磁片と知多窯の甕破片を出土しており、平安末期～鎌倉初期と思われる。またAs-B軽石を覆土中に多く含む2～5号井戸についても、ともに掘立柱建物に伴うと考えられる。

〈近現代の遺構〉

昭和40年代の県営前橋南部土地改良事業の時点で、11号溝は用水路として使用されていた。しかし掘削時期は不明。また検出されたピットや土坑については、古代・中世の遺構と確定出来ないもののなかに、近現代の遺構となるものがあると思われる。

2. B区について

B区で検出された古代の遺構は、A区から続く竪穴住居・溝、As-B下水田。中世の遺構は屋敷跡。近世は灌漑用井戸等。近現代の遺構は、土地改良以前の用水路等の溝、まんがら池である。

〈古代の遺構〉

竪穴住居は、調査区の南西隅に1～4号住居跡を検出。西隣A区の南東隅に位置する、A区37・68・78号住居の竈部分と考えられる。

溝は、33号溝がA区50号溝と同一で古代の集落に伴う。

As-B下水田は、天仁元年(1108)降下とされる浅間B軽石(As-B)により埋没した遺構。遺構は調査区北東部分で検出したが、続く西・南側部分は、後世にAs-B軽石堆積面下まで削られているため確認できない。

〈中世の遺構〉

屋敷跡は、調査区中央から東側に確認した。検出した部分から全体を推定すると、堀を含めて1/3町程の規模の屋敷になると考えられる。掘立柱建物・柵列・井戸・火葬跡・溝(8・9・11号溝)と土坑の一部を屋敷内から検出した。時期は、2号井戸、ピットからの出土遺物により室町時代(15世紀)と考えられる。

掘立柱建物の大部分は、屋敷内南側の前橋市教育委員会調査の側道部分から検出。屋敷内のほぼ中央は、調査時に掘られた東西方向の排水溝があり、この部分にかかる掘立柱建物は検出できなかった。

井戸は、屋敷内の北西部に検出。排水のための8・9号溝が井戸に接続していた。

土坑は、屋敷内中央の排水溝を境に北側に多くを南に一部を検出。また調査区西に、A区から続く土坑を検出した。

火葬跡は、屋敷内の北寄りでも東西にほぼ一列に並ぶ。

溝は、39号溝がA区32号溝と、40号溝がA区33号溝と同一で、A区南東の掘立柱建物と関連すると考えられる。

〈近世の遺構〉

灌漑用井戸は、すでに埋没していた屋敷東2堀を拡張して造られたと考えられる。また北に13号溝が接続

第5章 まとめ

している。旧地形を見ると周辺部に小河川がないことから、取水を目的として灌漑用井戸が掘削されたと考えられる。13号溝から江戸時代の遺物が検出されている。

〈近現代の遺構〉

まんがら池は、灌漑用井戸の中央部を掘り込み、土地改良前まで悪水溜として使用していた。接続する3号溝は用水路。用水路からまんがら池に土管をつなぎ、用水の一部を流し入れたと考えられる。

溝は、中世の屋敷跡の西側で検出した15号溝と19号溝が方形に巡る。また15・19号溝の南側、西寄り部分が2m前後途切れている。溝内に遺構は検出されていないが、15・19号溝を外構とする屋敷跡の可能性が考えられる。また20・38号溝は、覆土が表土と類似している。

3. C区について

〈古代までの遺構〉

C区における最も古い遺構は、調査区西寄りに位置する20・21・30号溝である。これらの溝の時期は、はっきりしないがAs-C軽石を含み、As-B軽石を含まないという特徴がある。

調査区東南部には、As-B下水田が存在する。水田確認部分以外は、As-B軽石が認められないため、As-B軽石の堆積層は削られているものと考えられる。従って水田は、かつて広範囲に存在していた可能性がある。

〈中世の屋敷跡〉

調査区中央に位置する。屋敷の規模は、東堀を除いて近世以降に拡張掘削が行われているため、正確ではないが、堀を含めて一辺が48m前後の正方形と考えられ、1/2町よりもやや小規模となる。屋敷の主軸は、原形が残存している東堀底部で計測すると、N-3°-Wとなる。屋敷堀内は、多くの遺構が重複しており、主要な溝および一部の遺構以外の新旧関係は不明である。

屋敷は、主要な溝の重複関係から三時期の設定が可能である。屋敷は当初、正方形に巡る堀と、堀内を区画する19・26号溝をもって造成された(第1期)。造成の時期は、東堀および19・26号溝出土の遺物から14世紀と考えられる。その後19・26号溝は埋められて、新たに13・22号溝が掘削された(第2期)。13・22号溝から土器類の出土は無いが、当初の26号溝内に15世紀と思われる土器が存在することから、13・22号溝が掘削されたのは15世紀に入ってからと考えられる。だが13・22号溝もやがて埋められ、台形に近い形で堀内を巡る16号溝が掘られることになる。それと同時に東2堀が設定されたが、東2堀より東側の部分は11・12号溝等のごく一部の遺構を除いて、16号溝内側の遺構覆土とは異なっている。従ってこの段階では、東2堀より東側部分の利用は極めて限定的であったと考えられる。16号溝覆土からは、15世紀代全般にわたる遺物が出土しており、屋敷は15世紀代には存在していたことがわかる(第3期)。

各段階における屋敷の特徴として次の諸点をあげることが出来る。

第1期 当初の屋敷は、堀内の19・26号溝により三区画となる。

北西の区画は、東西46m・南北約51mである。南側の19号溝の中央やや西寄り部分が約2mのブリッジとなっており、ここが出入り口と考えられる。この出入り口の西側に、南北方向の2号柵列(柱穴10本)が存在する。柵列の東側には掘立柱建物が集中しているが、出入り口北側は通路と考えられるので、この通路のさらに東側に位置する掘立柱建物に、主殿が存在するものと考えられる。

北東の区画は、東西約17m・南北24mである。中央部には第3期に掘削された東2堀および16号溝等があるため、かつてここに存在した遺構の60%は不明だが、存在する遺構は地下式土坑および土坑が主体でピットは僅かである。このことから、北東区画については主として食料等の貯蔵施設が存在していたものと考え

られる。

南の区画は、3号柵列と10号掘立柱建物の存在が想定される。3号柵列は、19号溝ブリッジ(出入り口)を囲むような形で存在しており、東から3・4番目のピットは、間隔が他のピットの間隔と比べて約2 m(他は約3 m)と短い。この間隔が短い部分は、19号溝ブリッジ部分の南側への延長上にあたることから、そこへ通じる出入り口(門)と考えられる。10号掘立柱建物は、第2期の13号溝と重複し、第3期の16号溝の入り口付近に存在することから、第2・3期ではないと考えられる。10号掘立柱建物を第1期と考えると、10号掘立柱建物は19号溝ブリッジに至る通路東側の建物となる。

第2期 19・26号溝が埋められ、13・22号溝が掘削された段階を第2期とした。

北西の区画は、東西約29m・南北約30m、第1期に比べてそれぞれ広がっている。13号溝ブリッジの位置は、第1期で19号溝ブリッジに至る通路部分であり、南の区画から北西区画へと至る通路は殆ど変更がなかったと考えられる。

北東の区画は、東西約11m・南北約29mである。第1・2期の遺構の分離は殆ど困難だが、4号柵列は13号溝に沿っており、第2期に入ってから設置された可能性が高い。遺構の状況から、第1期から連続して食料等の貯蔵施設が存在していたものと考えられる。

南の区画は、東西約43m・南北約9.6mである。第1期に存在していた10号掘立柱建物は、13号溝設置のため撤去され、また3号柵列は13号溝ブリッジとの整合性がなく、第2期には存在しなかったと考えられる。溝以外の遺構の時期を特定することは出来なかった。

第3期 13・22号溝が埋められて、新たに東2堀・16号溝が掘削された段階である。16号溝は、台形に近い形で、南側に3.4mのブリッジがつく。また東側中央付近にもブリッジが存在した可能性がある。掘立柱建物は、16号溝西側と併行する6・9号掘立柱建物が、第1・2期の溝と走行が整合しないことを考えると第3期の可能性がある。地下式土坑の129・148・208号土坑は、入り口部分が16号溝内に造られているという特徴がある。

〈中世屋敷第3期～屋敷廃絶後の遺構〉

火葬跡・土坑墓・土坑・溝は、時期を特定することが困難である。

火葬跡は、10基調査した。16号溝によって囲まれた台形の南部分に位置する。9・10号火葬跡は、39・53号土坑に切られている。その他の火葬跡は、重複する他の遺構に比べて新しい。2・5～10号火葬跡は第3期の掘立柱建物と重複しないことから、第3期の可能性は否定出来ないが重複する1・3・4号火葬跡とともに屋敷廃絶後の遺構である可能性もある。それぞれの火葬跡の時期は、比較的上層にまとまっていることから近接していると考えられる。

土坑墓は、5基調査した。14号土坑墓は、検出面の標高が掘立柱建物と近いとため、同時期の可能性が強い。また他の4基は、火葬跡の検出面の標高とほぼ同じであるため、第3期あるいは屋敷機能廃絶後に造られたと考えられる。

土坑は、掘立柱建物と同一面で検出されたものがある。また掘立柱建物より上層で検出した土坑は、屋敷機能廃絶後に造られた可能性がある。ただし、屋敷機能時に造られた土坑であってもそれぞれの土坑が屋敷のどの段階で造られたかを特定することは困難である。

溝は、屋敷内での重複が著しい。東2堀と16号溝に挟まれた部分は、平面的な遺構確認が困難でセクションベルトで数本の溝を確認した。東1堀と東2堀に挟まれた部分の11・12号溝と、屋敷内北部分の14号溝は、重複関係で最も新しく、第3期あるいは屋敷廃絶後と考えられる。

第5章 まとめ

屋敷堀内は、遺構の重複が著しく、平面的に確認が出来なかった遺構も少なくない。上層の遺構は、その殆どが他の遺構の覆土中に造られているため、覆土中の遺構には、第3期および屋敷廃絶後の遺構が多く含まれていた可能性がある。

〈近世～現代の遺構〉

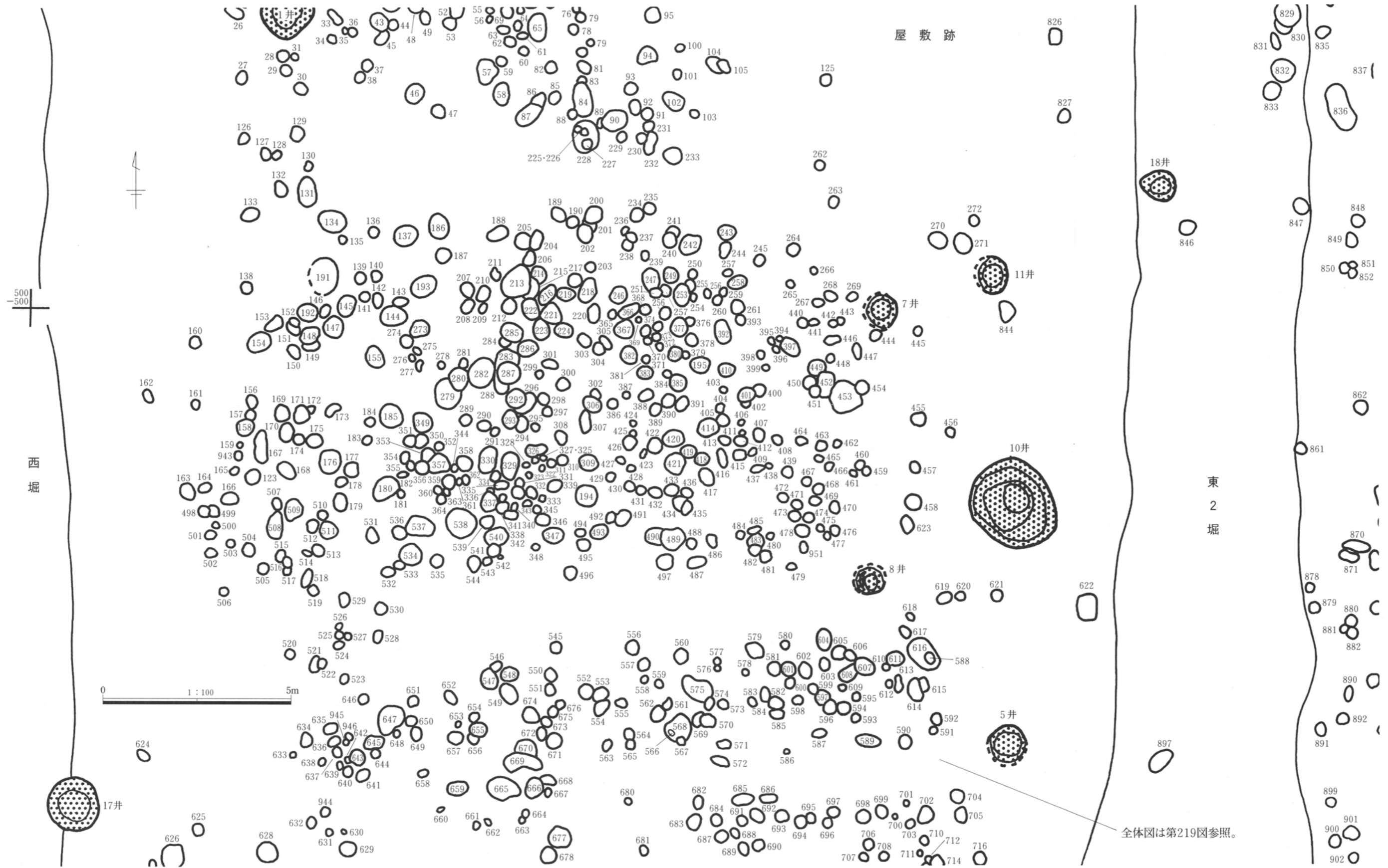
近世遺構は、東2堀の埋没後に東2堀をやや拡張して造られた灌漑用井戸と、正確がはっきりしない北堀・西堀・南堀の拡張掘削遺構がある。また屋敷堀外東側の32～34号溝は、北東から南西方向へ走行し、屋敷堀の手前で不明瞭となるが、溝底面に砂の水性堆積がある。覆土の様相から近世以降と推定できるが時期の特定は出来ない。最も新しい遺構は、1・2号溝で土地改良前まで水路として使用されていた。

灌漑用井戸は、平面と断面のみの確認である。平面形は「単頭石棒状」、断面からは造成後あまり時を経ずに浅間A軽石が降下した状況が窺える。

拡張掘削遺構からは、近世の遺物が出土している。南堀覆土を観察すると数回の掘り直しが行われており、最も新しい部分は表土に類似していることから、時期が下がると考えられる。また南堀底面やや上方に、河原石が不規則に敷かれたような部分がある。西堀底面付近には、自然木が集積していた。これらの拡張掘削遺構は、灌漑用水の取水施設あるいは悪水溜としての性格が考えられる。



第285図 B区ピット群拡大図



全体図は第219図参照。

第286図 C区ピット群拡大図



(財)群馬埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告書第335集

前田遺跡

《本文編》

北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域
埋蔵文化財発掘調査報告書 第26集

平成16年9月25日 印刷

平成16年9月30日 発行

編集・発行／財団法人 群馬埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県勢多郡北橋村下箱田784番地の2

電話(0279)52-2511(代表)

<http://www.gunmaibun.org/>

印刷／杉浦印刷株式会社